

古代地球と宇宙人

ファーストコンタクト最新情報

宇宙の光 TAKESHI 濑戸武志
チャネリングメッセージ集



天の川銀河の

叡智あるマスターたち

古代地球と宇宙人

チャネリングメッセージ集

著者 TAKESHI

瀬戸武志

表紙デザイン 瀬戸武志

出版 宇宙の光 出版局

古代地球と宇宙人



今回出版された「古代地球と宇宙人」という本は2部構成となっております。

第1部は2024年1月から4月までチャネリングライブとコズミックワークで話された内容を元にして作られております。

その内容とは古代の地球で地球人を生み出すために、どのような星の種族がどのようなことを行ってきたのか、また地球人が成長して様々な文明を作るにあたって宇宙種族がどのような働きをしたのか、という地球人の誕生秘話と古代から地球に関わってきた地球外種族たちがどのように地球人を支配しコントロールしてきたのかという話をしております。

宇宙人の存在を認めていない方には非常に驚かれるような内容ですが、類人猿から地球人に進化するときにたくさんの宇宙種族が関わり、自分たちの遺伝子などを提供して思考力を持った存在として地球人は進化していったのです。

またそのような地球人を支配することを目的として宇宙から複数の地球外種族たちが地球に訪れ、それぞれのやり方で地球人をコントロールしてきました。

そして地球外種族たちの統治は今も続いております。

これらの話は、実際に古代から地球に関わってきた種族の者から直接伝えられた内容を TAKESHI がチャネリングして皆さまにお伝えしたものです。

Zoom で行われたチャネリングライブなどでは、地球人を支配していた地球外種族たちによって地球人の遺伝子や意識などが地球人を隸属化するために操作を受けておりますので、それらの修復なども瞑想ワークを通して行われております。

私がチャネリングライブやコズミックワークを行っているときは、実際に宇宙種族のマスターたちが私たちの元に現れ、私たちの遺伝子の修復や意識の修復などを行ってくれておりましたので、非常に効果の高い瞑想ワークが行われておりました。

すべての瞑想ワークを動画で体験できますが、その場に宇宙種族のマスターたちが直接いるわけではないので瞑想ワークの効果はさほど高くないかと思います。

この本の第2部は前回出版致しましたササニ文明のサファイアさんが昨年11月と12月にチャネリングライブで話された内容や宇宙連合のマスターからのメッセージも収めておりますので、アセンションやファーストコンタクトの最新情報としてお読みください。

これから地球人はアセンションして新たな時代を迎えますし、宇宙種族とのファーストコンタクトも予定されておりますので、こ

の本は大切な羅針盤になると思います。

私たち宇宙の光は毎週土曜日に Zoom を使用してチャネリングライブやコズミックワークを行っております。

その中では高次元存在たちのお話をチャーリングでお伝えし、彼らの瞑想ワークも行っておりますので、御興味がある方は私のアメーバー・ブログをお読みください。

この本は素人編集による本ですので誤字脱字は御容赦ください。

この本はアセンションを志す方たちのために書かれた本ですので、一般の方全てに当てはまる内容ではありませんのでご了承ください。

私を支えてくれた宇宙の光のメンバーたちと家族に感謝いたします。

TAKESHI(瀬戸 武志)

【Vimeo&YouTube 動画のご案内】

今回の本の内容に関する動画はこちらからご覧ください。

アメーバー・ブログは「アセンション 光りの世界へ TAKESHI」で検索

動画「Vimeo 瀬戸武志」でご検索ください。

アメバーブログ

<https://ameblo.jp/e-stone1/>

動画サイト Vimeo

<https://vimeo.com/hikarilove>

古代地球と宇宙人 Vimeo

<https://vimeo.com/showcase/11046243>

「古代地球と宇宙人」目次



第1部 古代地球と宇宙人

第1章 地球種族の誕生1

シャンバラと地球の地底世界

PART1 地球の地底世界の秘密	8
PART2 地底世界から地球を運営するシャンバラ	11
PART3 シャンバラの種族が地底世界で行ったこと	16
PART4 地底世界を訪ねる瞑想ワーク	19
PART5 シャンバラのマスターからのメッセージ	23

第2章 地球種族の誕生2

古代地球とリラの種族

PART1 アンドロメダ文明とリラ星の種族	25
PART2 リラ星の崩壊と地球への移住	29
PART3 アンドロメダの種族と地球人の融合	31

第3章 地球種族の誕生3

アンドロメダ銀河から来たリラ種族

PART1 アンドロメダ銀河から来たリラ種族	35
PART2 天の川銀河の種族の育成と地球	38

第4章 地球種族の誕生4

太陽種族による地球種族の誕生

PART1 太陽種族の働きについて	44
PART2 地球種族が誕生した秘密	46
PART3 太陽種族の教えと規範	50

第5章 地球種族の誕生5

太陽系の惑星に栄えた古代文明

PART1 宇宙図書館をもつ水星	54
PART2 古代にドーム都市を持っていた金星	55
PART3 戦争によって滅びた古代文明の星、木星	57
PART4 衛星間の戦争によって破滅した土星	59

第6章 地球種族の誕生6

金星人と地球種族

PART1 地球に降りたイエス・キリストと金星の人々	61
PART2 地球人種族を育てたサナート・クマラ	64
PART3 愛の遺伝子をもつ地球人	66
PART4 高次のパラレルワールドの多くが金星人	68
PART5 金星人と地球人の遺伝子とライトコード	71
PART6 自分の意識を魂の意識と繋げる	75

第7章 地球人を支配した種族1

シリウス、アンドロメダ、プレアデス

PART1 アセンションゲートとシリウスの人々	80
PART2 戦争から愛を学んだアンドロメダの種族	84
PART3 地球人の遺伝子を操作したプレアデス	87
PART4 ディセンションをした種族から自由になる	89

PART5 プレアデスによる遺伝子の修正	91
PART6 シリウス＆アンドロメダ種族からの開放	93

第8章 地球人を支配した種族2

レプティリアンとアルクトゥールスの種族

PART1 月は地球人をコントロールしていた	96
PART2 ホワイト＆ブラック・レプティリアン	98
PART3 意識をコントロールしたアルクトゥールス	102

PART4 ホワイト・レプティリアンのサポート	104
PART5 瞑想ワーク「真実を見極める力」	106

第9章 地球人を支配した種族3

ピラミッド文明の創建と崩壊

PART1 地球のアセンションとアルビレオ星	109
PART2 古代エジプト文明の繁栄と崩壊	112
PART3 マヤ文明、インカ文明の創成と破滅	117

PART4 自分の意思で自分の人生を創造する力	120
-------------------------	-----

第10章 地球人を支配した種族4

超古代日本の民族を生み出した種族

PART1 古代日本に生まれた種族の秘密	122
PART2 ベガ星の種族と日本神話の神々	125
PART3 ディセンションをしたベガ種族の支配	129

PART4 ベガの遺伝子の活性化……………132

第11章 地球人を支配した種族 5

オリオン座 おうし座、アルクツールス

PART1 オリオン座の三ツ星の種族……………135

PART2 勝負にこだわるリゲル星のオリオン種族…138

PART3 勇壮なおうし座騎士団の次元上昇と下降・141

PART4 地球人をコントロールするアルクツールス・145

PART5 瞑想ワーク 真実を見極める力の活性化…149

第2部 ササニ文明サファイア&宇宙連合のマスター

第1章 2000年後の地球から来たマスター

地球人の進化について

PART1 地球人の進化について……………152

PART2 地球人の肉体と意識について……………155

PART3 2000 年後の地球人の様子……………158

PART4 物質体の意識と非物質体の意識……………161

PART5 2000年後のマスターに対する質疑応答・165

第2章 地球人が3次元世界に残る理由

PART1 地球人が3次元世界に残る理由……………171

PART2 アセンションする世界へのシンクロ……………173

第3章 愛の地球に意識を合わせる

PART1 愛の地球に意識を合わせる……………176

PART2 自分の問題を宇宙意識で解決する……………180

PART3 瞑想ワーク 宇宙意識で現実世界を見る…183

第4章 守護者とのゲートを開く

PART1 パラレルワールドとアセンション……………187

PART2 心を愛の意識に向ける……………189

PART3 自分を守護する存在とのゲートを開く…192

第5章 地球の意思と地球人の選択

PART1	自分軸が作る自分の未来	197
PART2	地球の意思と地球人の選択	200
PART3	アセンションする地球のパラレルワールド	202
PART4	地球人の肉体と意識の本質	204
PART5	地球は種族融合のための人工の星	210
PART6	ファーストコンタクトで学ぶこと	213

第6章 宇宙を発展させる地球人としての経験

PART1	宇宙を発展させる地球人としての経験	219
-------	-------------------	-----

第7章 宇宙連合のマスター

地球での体験とアセンション

PART1	アセンションは宇宙の流れ	224
PART2	地球での体験を宇宙に持ち帰る大切さ	229

第1章

地球種族の誕生1

シャンバラと

地球の地底世界

2024年2月2日

第1章目次

PART1 地球の地底世界の秘密

PART2 地底世界から地球を運営するシャンバラ

PART3 シャンバラの種族が地底世界で行ったこと

PART4 地底世界を訪ねる瞑想ワーク

PART5 シャンバラのマスターからのメッセージ

PART1 地球の地底世界の秘密

私は地球の2000年先の未来から来たマスターです。

この地球では肉体を持つ存在と肉体を持たない存在が一緒に存在しておりますがそれはとても珍しいことなのです。

この天の川銀河の中でも地球のような星はありません。

天の川銀河の中には、皆さまと同じように惑星の上で暮らしている種族、物質的な世界を持って暮らしている種族はそれほど多くありません。

たとえ有ったとしても、物質世界を持っている種族のほとんどが

その惑星の内部に住んでおります。

地球で言うと地底世界ことになるかもしれません。

もちろん2000年後の地球においても、地上に住んでいる種族もありますし、地球の内部に住んでいる種族もいます。

それはどういう理由かと申しますと、今皆さまが住んでいる惑星の表面は、太陽の直射日光を直接受けますし、また冬と夏では気温の差が大きく、同じ場所でも気候の変化が大きいので非常に敏感な感性を持っている存在たちや一定の環境の中でしか生きていけない生命たちは、この気温差や季節の移り変わりに対応できない場合もあります。

今皆さまが住んでいらっしゃる地球においても、そのような種族は地球の内部で暮らしております。

皆さんに「地球の内部に人が暮らしている」と言ったらとても驚かれるかもしれません。

また中には地球空洞説や地底人が存在していることを御存じの方もいらっしゃるかもしれませんので、今日はそのことについて詳しくお話をしたいと思います。

まずひとつの形として地球がレムリア時代にアセンションをしたことは、皆さまは御存じだと思います。

そしてその時代にアセンションをした地球とディセンションをした地球に分かれて、今皆さまはそのときにディセンションをした地球に住んでいらっしゃいます。

そしてその地球がまた進化して、現在アセンションを目指しているところです。

このレムリア時代にアセンションをした地球とレムリア時代にディセンションをした地球が分かれてしまふと、皆さまの地球ではとても大きな争いが起こりました。

皆さまが御存じのようにレムリアとアトランティスの戦いです。

かつてアトランティスの人々は海の底に住んでいました。

皆さまたちがディズニーの映画で見る世界と同じような世界が海の中にありました。

しかしアトランティスの人々が進化して地上に現れ、様々な支配を繰り広げることで、アトランティスとレムリアを中心とした大きな争いが起こったのです。

そしてその後、地球は大きなグレートリセットを起こして地上にあった文明を洗い流しました。

アトランティスやレムリアもそうですが、他の種族の者たちも一瞬のうちに地球の内部に跡形も無く引きずり込まれてしまいました。

しかしながらそのことを予知していた種族たちがいたのです。

それがアセンションをしたレムリアの人々とシャンバラと呼ばれる種族です。

彼らは恐らくこのままでは地上にある文明は全て滅びてしまう

のではないか、ということを危惧しておりました。

そしてレムリアの人は別の地球にアセンションをしていきましたし、シャンバラの人たちは、地球の地底にある世界、今皆さまが住んでいらっしゃる世界とはまた別の次元に移っていました。

これは実際に地底の中に彼らが住んでいた世界があるのか、あるいは地球の中の別次元なのかと言う論議もございましたが、このことについて私の方から御説明したいと思います。

彼らが地上で生きていた場所を離れ、地上ではない別の次元に入ることによって、結果的にはこの地底に関わる次元というものが幾つかの種族にとって生存できるような場所に変わっていました。

そしてそこから実際に地底の中に住むという種族も現れてくれました。

皆さまはこの地球の地底はマントルと申しますか、固い鉱物の層でできていると考えいらっしゃる方が多いと思います。

そしてその中心が地球の核になっているわけです。

もちろん地球の現実的な科学の中ではそのように観察されておりますが、実際は異なっております。

その科学的に観察された地球と同じようなパラレルワールドの地球もあるかもしれません、他のパラレルワールドの地球においては、マントルや核だけが存在しているわけではありません。

地底に地球を動かし続けるシステムなどが存在している地球もあります。

これは皆さま方の選択によってどのような地球に自分たちが住むのか、ということにも関係してきます。

地球の内部は全て鉱物で占められ、生命が存在する余地など無いという地球を想定してそのような地球に住むこともできます。またそうではなく地球の中心は人工的に作られたスペースがあり、地球を運営するための技術もある。

そしてその中心は大きなクリスタルが地球の原動力となっており、そのクリスタルを使用して人工的な地球を操作している者たちもいる、というふうな地球に住むこともできます。

私たちは人工的な地球の中でクリスタルを原動力として地球が動いているというパラレルワールドの地球の中に存在しております。

PART2 地底世界から地球を運営するシ

ヤンバラ

そして今話しましたシャンバラの人たちはやがて意識進化した後に、この地球の地底部分に降りて来られました。

彼らは、最初は地球の内部がこのようになっているとは気付いておりませんでした。

ただ地上にある文明が全て壊滅するだろうから、どこかに逃げなければならぬと考えていたのです。

そしてそのようなシャンバラの人たちの気持ちを察した宇宙連合の方たちが、シャンバラの人たちが住むことができる次元というものを作ったのです。

最初から地球の内部にシャンバラの人たちを送り込んだわけではありません。

シャンバラの人たちがいくら聰明な方たちとはいえ、技術的にも知識的にもそのようなことを知る状態ではありませんので、いきなり地底世界で地球を運営している様子を見せられてしまったら驚いて大変なことになってしまいます。

そのために宇宙連合はシャンバラの人たちがその当時暮らしていた環境に良く似た次元を作り、そこでシャンバラの人たち育っていくことにしたのです。

もうひとつ小さな地球といつても良いかもしれません、シャンバラの人たちはそこでゆっくりと成長していきました。

そして宇宙連合の方たちともお会いして、幾つかの種族とファーストコンタクトを行いながら、自分たちの意識や愛を高めていったのです。

そして宇宙連合は時を見計らって、地球の内部へとシャンバラの人たちを導きました。

おそらくシャンバラの人たちが別の次元に移って 500 年あるいは 1000 年ぐらいたった頃かもしれません。

シャンバラの人たちがアセンションをして、宇宙の真実に気付くことができるような意識状態になった頃に、この地球の内部へと彼らを導いたのです。

さすがに彼らもこの地球の内部を見て驚きました。

彼らはすでにアセンションをしていますので「物質的な世界が全てだ」というふうには考えてはいませんが、さすがに地底世界を見て驚いたようです。

この地球の内部にある世界は物質的な世界でもあります、非物質的な世界もあります。

これはとてもおかしな言い方なのですが、物質的に存在してい

る部分と非物質的に存在している部分が共存しているといつても良いかもしれません。

物質的なところというのは、実際に地球の内部には地球を運営するためのシステムが存在しており、地球の自然環境をコントロールしてより多くの生命が快適に住むことができるような地球を維持していくことが、この地底の物理的な世界の中で行われております。

そしてまた非物質的な部分とは何かと申しますと、このシステムを扱っているのは物質的な肉体を持っている種族たちだけでなく、物質的な肉体を持たない種族の者たちがこのシステムに関わっています。

それは地球のエネルギーの原動力であるクリスタルのエネルギーを物質的なエネルギーに変換していくというような仕事をしているのです。

もちろんここは地球の表面に住んでいる地球人たちが立ち入れる場所ではありませんが、地球人と同じ姿をしたヒューマノイド型の種族が物質的に存在しています。

そして同様に意識体、スピリット体の種族たちもこの地球の地下に存在しているのです。

そして彼らはこの地球の種族たちの成長を見守っておりました。また彼らは月のシステムとも深く関わっておりますので、月のシステムをコントロールしながら地球により豊かな自然を生み出し、生命たちの進化というものを起こしていったのです。

これは皆さま方にとって目に見えない存在、意識体の存在たちの働きです。

また多くの種族たちが、この地球の地底部分へとやってきましたが、ある程度進化した意識体は地球の内部に入ることができます。

肉体を持っている存在たちは、地球がとても厚い地殻で被われていますので、この地殻を通り抜けて、この地球の地底部分に入ることは困難です。

肉体を持たない存在は地球の内部へと入ることができますが、宇宙連合を中心とした地底世界を管理している者たちの許可がなければ、地底世界に入ることはできません。

この場所にとって有益な存在たちだけがこの場所に入ることができたのです。

そしてシャンバラの人たちが宇宙連合の指示のもとにこの地底世界に入りました。

彼らはもともと地球の種族として、この地球をどのように運営していくのか選択する権利を持っておりますので、シャンバラの人たちが成長した後は、地球の内部はシャンバラの人たちが中心になって運営をしていくことになりました。

シャンバラの人たちも優秀な宇宙種族の指導のもとに成長を繰り返し、さらなるアセンションを行いました。

彼らのなかには2度目もしくは3度目のアセンションを地球の地底世界で迎える人も出てきました。

そしてアセンションをしたシャンバラの人たちの中には、半物質体や非物質体の存在となって地球をベースに天の川銀河の幾つもの星に行き、その星の種族の人たちをサポートする役目を担っている方たちもいらっしゃいます。

またシャンバラの種族の中には、地上に生きる地球種族たちがしっかり成長してアセンションをしていけるように導いていこうと考えている者たちもいます。

シャンバラの人たちは、地球の内部から皆さまの生活や進化の在り方を見ながら、皆さまにとって必要なタイミングで皆さまを導いていったのです。

皆さまの前にシャンバラの人たちが現れたこともありますので、御存じの方もいらっしゃるかもしれません、彼らはとても深い愛に満ちた存在です。

地球の種族というものは基本的に宇宙の愛から生まれた種族ですので、この地球に育った種族や地球人を基本とした種族の者たちはとても深い愛を持っています。

そしてそれは長い間この地球人の中で受け継がれてきた伝統でもあるのです。

シャンバラの人たちもとても深い愛を持っていらっしゃる方たちです。

そして愛を持ってこの地球の人たちを見守ってきました。

しかしながらシャンバラの人たちも地球人をサポートしてきたのですが、地球人はとても支配欲が強く、争いが大好きな地球外種族にコントロールされていましたので、地球の各地で大きな戦争や争いなどが起こってきました。

また地球外種族の中にはとても優秀な種族たちもたくさんありますので、この地球が人工的に作られた星であることも知っており、この地球の原動力が地下にあることも彼らはよく知っています。

そのために支配欲が強い地球外種族の中には、この地球の内部に入り込み、この地球の内部のシステムを自分たちがコントロールしたいと考える者たちもたくさんいました。

そのために多くの種族たちが地球の地底世界へと入ろうとして宇宙連合の方たちとの間に抗争といいますか、争いが起こりました。

ただ宇宙連合の方たちはとても大きな愛のバリア、光のバリアを持っており、最終的には地球外種族の者たちが地底世界に入り、地球をコントロールすることはできませんでした。

しかしながら彼らは月に備えてある技術を用いて、地球人をコン

トロールしたり、地球人を支配したりするようなことを行っていました。

月と地球は深い関係が有り、月にあるシステムが地球人の意識や精神状態をコントロールできることを知っている地球外種族が、月のシステムを使って地球人を混乱させたり、欲望を生み出させたりして地球を荒廃させていったのです。

そして地球が荒廃してしまった隙に、地球を支配しようとする地球外種族の者たちが地球に入りこみ、地球の人達をコントロールすることで、世界各地の種族の間で多くの争いが繰り広げられてきたのです。

シャンバラの人たちをはじめ、宇宙連合の者たちは、そのような混乱や争いを抑えるために地球の内部から地球人の意識を穏やかにするためのエネルギーを送ったりしておりましたが、地球外種族によって支配されている地球人たちの心を安静にさせたり、

意識を穏やかな状態にすることはなかなかできませんでした。

そのために地球は多くの争いや戦争によって多くの人々が亡くなり、地球自体も荒廃していったのです。

ただその過程において、そのような地球から逃げ出そうとする宇宙種族の人たち、あるいは戦争によって親を失い傷ついた子供たちを宇宙連合の方たちは救い出して、シャンバラの人たちと同じように別の次元に移したり、地底の中で地底とは気付かれないような場所を作つて、そのような種族の人たちや戦争によつて傷ついた人たちを匿つていたこともあります。

今はそのような人たちが立派に育つて意識的な進化を行い、シャンバラの人たちと共に地球人として地底の中で活動していらっしゃいます。

彼らは地球の戦禍に満ちあふれた土地や自然破壊にあった地球で過ごすのではなく、この地底で過ごすことを今でも選択しております。

そしてそのような人たちが地底の中でアセンションを行つて進化した後、時々ではありますが、地球人として地上に出て行かれる場合もあります。

これは地球の様子を観察しながら、地球の人々が争いや支配によつて壊滅するようなことが起こらないように、地球人を導く役目を持って地上に出ていくのです

そしてインドやチベットのマスター、あるいは各地のシャーマン、原住民族のリーダー、そのような人たちの中にはこの地底から地上に戻られて、地球の人々たちを指導する役目を持っている方たちもいらっしゃいました。

そういう方たちの話の中で、この地球の中には地底世界があり、そこに人が住んでいる、というような話が出てきたのではないかと思います。

確かに地底世界というのは有りますが、それは皆さまが想像するような地底世界ではなく、この地球を運営するための大切な場所でありますし、この地球を中心として、他の星々の種族の人たちと交流するための場所でもあるのです。

今の地球人の皆さまは、地底にいらっしゃる皆さまとの間に接点というものが作られておりません。

今はまだ皆さま方の地上世界と地底の世界は完全に分かれております。

しかしながら皆さまがアセンションをした後、この地上の世界と地底の世界の垣根が取り払われていくことになるでしょう。

皆さまがアセンションをしてファーストコンタクトを行うことによって、皆さまの意識はとても大きく開かれていきます。

そうすることによって皆さまはこの地上に生きている自分たちだけが地球人ではないことに気付き始めるのです。

皆さまがファーストコンタクトを終わってもっと広い意識でこの地球を見るができるようになったときに、地底の人たちからもコンタクトが有るのではないかと思います。

それは地上に生きる地球人と地底で生きてきた地球人の素晴らしい出会いとなることでしょう。

皆さまと彼らは同じ地球人でありながら、別々の場所で進化を遂げてきました。

地底で生きてきた人たちはすでにアセンションを終わっておりまして、地球の表面で生きてきた人たちよりも進化しているといつても良いかもしれません、彼らと地上の人たちはまるで兄弟のような関係ですので、そこで新たな交流ができるでしょう。

それは地球にとってとても大きな進化をもたらします。

地球の本当の役割そして地球がこれから果たすべき使命についてこれから皆さまも深く知ることになります。

地底で生きる中心的な存在であるシャンバラの人たちは地球人に対してとても深い愛を教えてくれることでしょう。

そしてその愛を学んだ方たちの中から、シャンバラの人たちのようにこの天の川銀河の星々を訪ね、その星の種族の人たちが成長するのを助ける仕事をなさる方たちが出てこられるでしょう。その時期は決して遠いわけではありません。

もしかしたら皆さまが生きている間に地底人と会う時期が来るかもしれません。

それは地球の表面に生きる皆さま方の意識次第です。

皆さま、ではここでシャンバラの人たちと話をわりたいと思います。

今皆さまの人たちにシャンバラの人たちがどのような役目を担っているのかご紹介することによって、シャンバラの人たちの事をもっと深く理解し話を聞くことができるでしょう。

では意識をシャンバラの人へと渡していきたいと思います。

PART3 シャンバラの種族が地底世界

で行ったこと

私はシャンバラの種族の1人です。

私たちは皆さまと何度かお会いして、一緒に祈りを捧げてきましたが、そのときはまだ私たちの本当の姿を皆さまにお見せしておりませんでした。

それは、皆さま方に本当の話をする時期ではないと、教えていたからです。

しかしながら皆さまはこの数か月の間にとても多くのことを学び、体験されてきましたので、私たちは皆さまに本当のことをお伝えして、共に祈りを捧げるために、皆さまのもとに参りました。先ほど「2000年先の未来から来られたマスター」がお話しされたように、私たちはその当時このまま地球に残っていたら、とても大変なことになるのではないかという危機感を持ったために、地球の中でも安全な場所に移りたいと考えていたのです。

レムリアの一部の方たちはたくさんの方たちが住んでいらっしゃる場所から離れ、とても高い山の中に移られたと聞いております。

私たちも同じように街から離れ、人があまり住んでいない場所や人々に気付かれない場所に移ろうと思ったのですが、私たちの種族ごと移動することはできませんでした。

私たちの種族の者が全員移動したとしても、その場所で私たちが生きていけるだけの食料や水があるわけではありませんし、種族単位でそのような移動をすることによって、アトランティスの人たちに気付かれて攻撃されるかもしれませんのです。

そのために私たちの神官たちが中心になって、この地球の中で安全な場所に行くための方法や他の種族に分からぬようない場所に私たちが移動する方法について研究しておりました。

今の皆さまの言葉で言うとパラレルシフトする方法はないかということを考えていたのです。

そして地球の中のあらゆる場所を探査して、私たちが隠れることができる場所を探しましたがなかなか上手くいきません。

そのようなときに私たちの神官に対して宇宙連合の方からアクセスが有ったのです。

宇宙連合の方たちは直接私たちの元に現れ、私たちがパラレルシフトする方法を教えてくださいました。

パラレルシフトしていった先は宇宙連合の方たちが準備されていた場所でした。

最初はそのようなことも分からず、ここは地球のどこだろう、私

たちは安全な場所に来たのだろうか、という思いがあり不安だったのですが、宇宙連合の方から「安心してここで自分たちの生活を始めなさい、ここで自分たちの文明を築きなさい」ということを言われましたので、私たちは不安を持ちながらもそこで暮らし始めたのです。

その場所は私たちが育った場所とそれほど大きく変わらぬような場所ではありませんでしたので、そこが人工的に作られた場所であることに私たちは気づいていませんでした。

そして神官の方たちを通して宇宙連合の方から様々なメッセージを頂きました。

時として宇宙連合の方たちは、私たちのもとにいらして、私たちに愛について、宇宙の真理について教えてくださいました。

私たちは自分たちに与えられた場所をしっかりと耕し、野菜や果実ができるような畠に変えていきました。

私たちはそこで平和でそして楽しく暮らしていましたし、宇宙連合の方から習う様々な真理や宇宙の知識についても一生懸命勉強しておりました。

そして私たちは最初のアセンションを迎えたのです。

それは肉体を持ってのアセンションでした。

皆さまが第一アセンションと呼ばれているものです。

私たちはアセンションすることによって、これからいろんな星の人たちと出会えるということをお聞きしました。

私たちは宇宙連合の方たちとお会いしていたのですが、そんなに多くの方たちとお会いしたわけではありません。

宇宙連合の皆さまから、お話を伺ったり、学びの体験を得られることがありました。一緒に暮らしたり、一緒に活動したりすることはありませんでした。

しかし、私たちがアセンションをしてからは、新たな星の人々と出会い、その人たちと一緒に活動しながら、私たちは新しい経験を積んでいったのです。

私たちは幾つかの種族の人たちと出会うことによって、とても感性が豊かになっていきました。

そして自然を中心にして生きていくこと、高次元存在や他の星の人たちと言葉を使わずに語り合うこと、そして祈りを通じて宇宙の愛のエネルギーや高次の存在たちと繋がることを学んできました。

そして第2アセンションが終わった後に、宇宙連合の人たちが私たちを別の場所へと導いてくれたのです。

年老いた者たちは今まで暮らしていた場所に残りましたが、若い者たちが宇宙連合の人たちに連れられてやってきたのがこの地底世界です。

地球の中にこういう世界があったことに、私たちは本当にびっくりしました。

もちろんそれらしいことはお話を聞いておりましたが、私たちは本当にこの地底世界に入るまでは、そのような場所があるとは信じられませんでした。

地底世界は大きなクリスタルによって成り立っていました。

クリスタルの周りにはとても素晴らしい高次のエネルギー体たちがたくさん存在して、このクリスタルを保持しそのエネルギーを、地球を運営するためのエネルギーに変えていました。

そして多くのことを私たちは地底世界で学んだのです。

このクリスタルと共に祈ることによって、私たちの意識はさらに高まっていました。

私たちの体も変わりました。

完全な物質体から半物質体へ、そして時間はかかりましたが非物質体へと変わっていきました。

半物質体、非物質体となった私たちはとても自由になりましたので、自分の好きな場所、自分の好きな時間帯へいつでもいくことができるようになりました。

そして私たちは宇宙連合の人たちと一緒に多くの星の人たちをサポートするという役目も行うようになったのです。

私たちはその役目をとても誇りに思っています。

私たちは多くの星の方々がアセンションをして、宇宙連合の仲間として一緒に活動することを宇宙連合の方たちと共にサポートしてきました。

そしてやっとこの地球がアセンションをする時期を迎えた。

私たちはこの時を待っていたのです。

私たちは地球の方々を一生懸命サポートしてきましたが、この地球の環境はどんどん悪くなるばかりです。

私たちはやがて地球自体が荒廃してしまうのではないかと心配しているのです。

しかしながら地球の意思が「このままでは地球は荒廃てしまい、この地底世界もだめになってしまってアセンションをして新たな地球を創ろう」と言うことを決められました。

そしてそのエネルギーを地球の人たちに向かって発信し続けていたのです。

ようやくアセンションをしたいと願っている人たちがたくさん現れてきましたので、私たちはそのような人たちとコミュニケーションを取りながら、地球がアセンションをして新たな波動の中に生まれ変わることができるよう今全力で仕事をさせていただいております。

今日はこのような場所に皆さまを迎えることができて、私たちはとても嬉しく思っています。

皆さまが私たちと共にこの地球の地底世界を体験されることで、

皆さまの意識の中に「地底世界が存在しそこで地球が運営されている」という意識が残ります。

それはまだ僅かですが、地球人の集合意識の中にも残っていくことになります。

我々はその意識を広げ、やがて地球の人たちがアセンションをした後に、我々地底人と会っても何の違和感もないように地球人の意識を育てていきたいと考えているのです。

どうかお手伝いくださいますようお願ひいたします。

PART4 地底世界を訪ねる瞑想ワーク

それでは私と共に瞑想ワークに入っていきましょう。

ゆっくりと目を閉じて皆さまの意識を感じてください。

今はまだ皆さまの意識は体とひとつになっています。

それで結構です。

ただその意識がどんどん周りに広がっていきます。

まるで皆さまのオーラが広がっていくように感じてください。

皆さまの意識が拡張していく感覚です。

皆さまの部屋の中から家、そして家から外に広がっていきます。

そして私たちの意識とひとつになります。

私たちの意識はとても大きいものです。

とても大きくて皆さまには想像できないかもしれません。

この日本を取り込む取り囲むぐらい大きな意識です。

皆さまはまずその意識の中に入ってください。

私たちの意識と皆さまが肉体を持ちながら拡張した意識がひとつになります。

私たちの中に溶け込んでいくといつても良いかもしれません。

あるいは皆さまの高次の意識とひとつになって私たちと繋がるというふうに考えられても結構です。

ではゆっくりと深呼吸して私たちシャンバラの者たちの意識とひとつになります。

とてもリラックスしてください。

とても柔らかいエネルギーが皆さまを包み込んでいると思います。

とても優しく愛に満ちあふれた意識です。

そしてゆっくりと私たちと一緒に光の中に入っていきます。

暖かい光、柔らかい光が皆さまを包んでいます。
やがて光の中に入るとひとつの扉が見えてきます。
最初の扉は皆さまの物理世界のホログラムから出ていく扉です。
皆さまが3次元意識の中で作られた3次元世界というホログラムの中から、私たちは意識として出ていきます。
そこにはとても小さいのですが、とても美しい空間が有ります。
そして皆さまの体ほどのクリスタルが有ります。
まずそのクリスタルの周りに集まって皆さまの意識をこのクリスタルと同調してください。
1人の女性の方がそのクリスタルの前で祈っていると思います。
この女性の方と意識を同調してもらって結構です。
クリスタルを囲んで皆さまの中にクリスタルのエネルギーを満たしてください。
美しい光、美しい愛のエネルギーがクリスタルを通して皆さまに伝わっていきます。
皆さまはこのクリスタルと同調することによって、地底世界に有るとしても大きなマザークリスタルと意識が共鳴できるような状態になっていきます。
では深呼吸して目の前にある皆さまと等身大のクリスタルと意識をひとつにしてください。
皆さまの心がとても静かで落ち着いてきました。
そして美しい純粋な愛の光が皆さまの心の内側に満ちあふれてきますで、ゆっくりと立ち上がり、そのクリスタルに祈りを捧げていた女性に感謝の気持ちを込めてこの場所を立ち去ります。

さらに奥に行くとまた美しく大きな扉が有ります。
その扉は私が開きますので、その扉の中に入ってください。
そうするととても美しい光のトンネルです。
皆さまはそのトンネルの中に入していくとまるで滑り台のようにスーッとその光のトンネルの中を降りていきます。
螺旋状にそのトンネルは地下へ、地下へと降りていきます。
皆さまの意識でその地下へと降りて行ってください。
地下に降りるたびにそのトンネルの光が更に強くなります。
そしてストーンと地底に着きます。
皆さまはそのトンネルから降りると、今自分の足で立っています。
そしてそこにはとても大きな扉が有ります。
美しく荘厳な扉です。
その扉を開くと巨大なクリスタルに照らされたひとつの世界が見えてきます。
ここは地底世界の入り口です。

このクリスタルはマザークリスタルの一部です。
その奥にはもっともっと大きなクリスタルが有りますが、今日は

まずこの場所に私たちは皆さまをご案内することにいたします。

ここは地底世界の入り口とも言われている場所です。

ではゆっくりと深呼吸しましょう。

この広場の中に入つて行くと中央には美しい泉も有ります。

そしてこの場所はとても大きなクリスタルによって光り輝き素晴らしいエネルギーに満ちあふれています。

周りを見渡してください。

このクリスタルに祈りを捧げている人もいます。

またこのクリスタルのエネルギーを受けて自分の体を癒やしている人たちもいます。

あるいは意識進化のためにクリスタルのエネルギーを瞑想に使っている人もいます。

ひとりひとりが様々な形でこのクリスタルの前に集い、楽しんでいるのです。

ここにいる人たちの多くがシャンバラの方や地上から宇宙連合によって助け出された人たちですが、その多くは元々地球人です。

しかしながら中には地球人ではない人たちもいます。

彼らはこの地球にやってきた地球外種族だったのですが、余りにも地球を支配する者たちの力が強くて、この場所に逃げてきた人たちです。

この奥にはもともと地球を運営するシステムを創り上げてきた種族の者たちもいますが、今日はまだその者たちとはお会いすることはないでしょう。

まずはこのシャンバラの最初のドームで皆さまと一緒に時間を過ごしたいと思います。

ではゆっくりと深呼吸しましょう。

中央に大きなクリスタルが有りますので目を閉じてそのクリスタルと皆さまの意識をひとつに合わせてください。

ゆっくりと深呼吸しながら皆さまのハートの中にこの大きなクリスタルのエネルギーが入ってくるのを感じてください。

目の前にある大きなクリスタルのエネルギーが皆さまを包みます。

そして目の前にある泉も皆さまの体を癒やすためにそのエネルギーを送っています。

では泉の手前まで進んで行きましょう。

そして泉を囲むようにクリスタルを正面にして立ちましょう。

ゆっくりと深呼吸して自分の気持ちとクリスタルの意識をひとつにします。

そうすることによって今皆さまにとって必要なことが起こります。

もし自分の体が癒やされる必要があるならば自分の癒やされるべき場所にこのクリスタルと「癒やしの水」のエネルギーが送ら

れます。

また自分の中で不要なこだわりや感情、怒りや憎しみなどの感情がなかなか取れない方は、このクリスタルのエネルギーと「癒やしの水」によってその感情がゆっくりと癒やされていく様子を想像しましよう。

また自分に何か問題が起こってその問題を解決できなくて苦しんでいる場合には、その問題が解決するためのシンクロが起こっていく様子を感じてください。

この場所は自分にとって必要なことが起こる場所です。

ではこのクリスタルの前に立って祈りを捧げていきましょう。

しばらく時間を取りますので、自分のやり方で祈ってください。

(瞑想時間)

では少し自分の意識を元に戻します。

先ほどの巨大なクリスタルを感じてください。

ゆっくりと深呼吸して気持ちを落ち着けます。

ただこのクリスタルと意識の同調はまだ外さないでください。

クリスタルと意識を同調させたままゆっくりと気持ちを整えていきます。

自分のハートに手を当ててフーッと大きな深呼吸をして、自分の意識を感じます。

今、皆さまは自分の意識を大きく拡張してシャンバラの人たちと意識をひとつにしたままこの地底世界にいます。

この美しい地底世界ではクリスタルの光を使って地球のエネルギーを稼働させているのです。

そしてこのクリスタルの光で自分の体を癒やしている人たち、自分の意識や自分の愛のエネルギーを高めている人たちもたくさんいます。

皆さまがリラックスして、ゆっくりと暮らしています。

しばらくこの場所のエネルギーを感じてください。

そしてこの場所にいる人たちのエネルギーも感じます。

PART5 シャンバラのマスターからのメッセージ

地底世界を運営しているシャンバラのマスターから少しお話が有るようです。

皆さま、この世界に来てくださったことを私たちは心から嬉しく思います。

今までこの地球は地上に住む人たちと地底に住む人たちに分かれておりました。

シャンバラの者を始め、数名の者たちが地上の世界に入り、地上の人々と地底の人々たちをつなぎ止めようとしましたがなかなか上手くいきません。

また今の地上のエネルギーでは、この地底の世界も影響を受けていますので、私たちもあえてコンタクトをとることを控えておりました。

そしてそのような中で皆さまをお迎えすることができて本当に嬉しく思います。

これからアセンションをしていく地球はきっと今までにない素晴らしい地球になることでしょう。

私たちのこの地底世界と同じような、またそれ以上に美しく素晴らしい地球となることでしょう。

私たちはそのことを深く願っています。

そしてそのことが実現されたとき、私たちは皆さまの前に姿を現し、地上の人々と地底の人々がまた一緒に同じ地球人として暮らしていくようにしていきたいと考えております。

今回皆さま方を通じて地上に生きる人たちと交流できたことを私たちは嬉しく思います。

また何度もこの場所に来てください。

そして皆さまの心を癒やし、皆さまの意識を高め、皆さまの愛を広げてください。

皆さまひとりひとりから大きな愛のエネルギーが広がることによって地上に生きる人たちも大きく変わっていきます。

私たちはまた皆さまを通してこの地上の人たちに多くの愛を贈りたいと思っているのです。

どうかまたお会いできますようにお願いいいたします。

では気をつけてお帰りになられてください。

私たちはこの偉大なるマスターに会釈して感謝の気持ちを捧げます。

ありがとうございます。

ご招待頂きまして、本当にありがとうございます。
私たちも皆さまとともに同じ地球人として暮らしていけるよう
にこれからも努力したいと思います。
よろしくお願ひいたします。

そして私たちを導いてくれたガイドとともにこの場所をゆっくり
と歩いて扉の方に向かいましょう。
この場所でくつろいでいる人たちも私たちを見て笑顔を向けて
くれます。

言葉にならないとても美しいエネルギーを私たちひとりひとり
に送ってくれています。

本当に素晴らしい愛の世界です。

私たちは地底世界の扉の前にたち、扉を開いて外に出ます。
大きくて莊厳な扉の後ろには、今度は竜巻から巻き上げられる
ように体が浮かび上がり、スーツと地上の世界に向かって昇って
いきます。

そしてゆっくりともう一つの扉の前に立ちます。

その扉を開くと私たちは3次元意識の世界へと帰っていくこと
になります。

ではゆっくりと扉を開き、静かに自分の世界へと戻りましょう。
自分の拡張した意識を一度小さくして、ゆっくりと自分の場所へ
戻ります。

そして自分の意識に戻ります。

大きく深呼吸して少し体を動かしてみてください。

第2章

地球種族の誕生2

古代地球とリラの種族

アンドロメダ文明のマスター

2024年2月17日

第2章目次

PART1 アンドロメダ文明とリラ星の種族

PART2 リラ星の崩壊と地球への移住

PART3 アンドロメダの種族と地球人の融合

PART1 アンドロメダ文明とリラ星の種

族

皆さま初めまして、私たちはシャンバラの皆さまと共にこの地底世界の中で活動している者です。

私たちはシャンバラの人たちよりも少し早く地底世界に入っております。

シャンバラの人たちが地底世界に入られたのはレムリアとアトランティスの大きな争いの少し前でした。

シャンバラの人たちは直接地底世界に入ったのではなく、地底世界の中にある別次元もしくは地球の中にある別次元の中でし

しばらく時を過ごし、そしてアセンションをなさりながらこの地底世界に入る準備をされていたのです。

そして第1アセンション、人によっては第2アセンションを行った後に地底世界の中に入ることが決められておりました。

そしてしばらくした後に地底世界へとシャンバラの人たちを迎えることができました。

私たちはそれよりも以前に地底世界に入っております。

私たちは以前お話ししましたようにレムリアやアトランティス文明が始まる前にこの地球に存在したアンドロメダ文明に由来する者たちです。

以前皆さんにはアンドロメダ文明というものがこの地球の中に起こったことをお話ししました。

それはアンドロメダ座星系の中で起こった大きな争いを逃れてこの地球にやってきた者たちが、この地球に定住してアンドロメダ文明というものを築き上げたのです。

アンドロメダ座の人たちが地球にやってきたときに、地球には数少ないのですが幾つかの種族が存在していました。

地球人と言ってもアンドロメダ座の人たちが来る以前は、類人猿のような動物の姿をしておりました。

そしてまた人間としての知性もさほど持ってはいませんでした。

皆さんも御存じのように類人猿、つまり人類に進化する前の動物、そのような種族がこの地球の中に存在していたのです。

私たちもその類人猿という種族の遺伝子を受け継いでおります。そしてアンドロメダ座からやってこられた方たちをこの地球に定住させるためには、類人猿の肉体が更に進化していかなければならなかつたのです。

その当時地球にいた種族にはまだ知恵というものが育っておりませんでしたので、自分たちの身の回りにいる小さな動物たちや川で泳ぐ魚たちを捕まえて食べたりしておりました。

あるいは木の実や草などを食べておりました。

さすがにそのような生命体の体では、アンドロメダ文明の人たちの意識が入ることができませんでしたので、アンドロメダ座の人たちは急いで地球人の遺伝子を変革し、更にアンドロメダ座の人たちの思考や肉体の形質を地球人たちの体にインプットして新しい種族というものを作られたのです。

アンドロメダ座の方たちはとても優秀な技術を持っておりますし、優れた思考や自分の想念を使っていろんな物を作り上げる能力も持っていました。

そのような能力をその当時地球にいた種族たちに埋め込んでいました。

私たちの先祖はいったい自分たちに何が起こっているのか、おそらく理解できなかつたと思います。

今までの地球人は自分たちの本能で生きておりましたので、自

私たちを冷静に見る、自分たちの進化を見守る、ということは到底その類人猿たちにはできるものではありませんでした。

そのような地球の種族たちに新たな遺伝子が組み込まれ、肉体の遺伝子に対しても大きな変更が行われましたので、瞬く間に私たちの先祖の種族は大きく成長していきました。

その遺伝子の操作を受けた者たちが新しい子供を産むことによって、新しい遺伝子が肉体の中に少しずつ定着していきます。

そのような変更が3回、4回、5回と繰り返される中で、新しい世代の子供が生まれるたびに、新しい肉体や新しい脳の働きを持った地球人種族というものが生まれてきたのです。

そしてそのような変革から地球には新しい種族が育っていき、私たちの種族が生まれていったのです。

この地球種族の進化に関してはアンドロメダ座だけでなく、他の星の種族も関わっております。

この地球は、当初から天の川銀河の「統合の種族」を生み出すことにひとつの目的が置かれていましたが、幾つもの星の争いの中で困難な状況にある種族たちを緊急避難させるという目的もあったようです。

そしてその目的を果たすために、地球に送り込まれた種族もありました。

その代表的な種族が、皆さまがリラ星と呼ばれている星の種族たちでした。

リラ星というのは天の川銀河のとても古い時代に、高い叡智を持つ種族として活躍していた種族ですが、ある事故によりリラ星が壊滅し、リラ星の種族は幾つもの星々に分かれて住んでおりました。

そのリラ星の種族のひとつが、自分たちも含め他の種族がこの地球に定住できるように地球の種族を育てていたことがありました。

リラ星の人たちや宇宙の優秀な叡智を持つ種族たちが、幾つもの種族が地球で生きていくことができるよう、この地球を創り直し、地底世界からしっかりと運営することで、地表に幾つもの種族が定住できる土台を作ったと言えるでしょう。

リラ星の人たちは、地球を運営するために自分たちが持つ叡智と技術を惜しみなく提供してくれたのです。

そしてリラの種族とアンドロメダ座の種族がひとつになって地球人の種族を成長させていくという仕事を行っていました。

リラの星の人たちにはとても大きな秘密が有ります。

現在このリラ星はどこにも存在していませんが、このリラの種族が天の川銀河に存在する多くの宇宙種族の元になったのです。その当時は、各星々で生きていた原始的な種族であった者たちが、リラの種族によって成長させられ、そして進化して叡智有る

存在になっていたという星々が幾つもあります。

天の川銀河のすぐ近くにあるプレアデス星団もそうですが、アンドロメダ座やシリウス星系、おうし座にもまだ文明がなかった頃に、リラの種族たちがそれらの星に渡り、そこで叡智を持つ種族を育てていったのです。

このリラの種族の人たちは、もともとはアンドロメダ銀河から天の川銀河に移り住んできた種族です。

アンドロメダ銀河は天の川銀河よりもさらに古い銀河ですので、そこには優秀な叡智を持つ種族たちがたくさん育っておりましたが、その頃の天の川銀河にはまだまだ叡智を持つ種族たちは住んでおりませんでした。

もちろん天の川銀河には宇宙連合というものもありませんでした。

天の川銀河の星々には今話したような類人猿のような種族や他の動物あるいは魚、爬虫類そのような生物たちが存在していたのですが、自分たちの文明を作るまでに成長した種族はほとんど有りませんでした。

そしてそのような時期に、天の川銀河の中に叡智を持つ種族たちを育てるために、アンドロメダ銀河からリラ星の種族の方たちが天の川銀河に移り住み、リラ星を拠点として多くの星々の種族の方たちを育てていくことを行っていったのです。

リラ星の方たちは、最初は半物質体の肉体を持っておりましたので、物質体にもなれますし非物質体の状態でも生きていけるというとても特殊な肉体をお持ちになっていたと思います。

そして自分たちの宇宙船や転送技術の一種である「コズミックゲート」というものを使って一瞬のうちに他の星へ移っていくというような技術も持っていましたので、宇宙船やコズミックゲートを使って様々な星へと移動され、その星の種族と交流しながら天の川銀河の種族たちを育てていったのです。

天の川銀河の種族たちは、交流するといつても、まだ言葉も充分に分からぬ原始的な種族たちでしたので、そこに科学技術的な方法によって遺伝子の変化を起こし肉体を進化させて、リラ星の人たちが意識を降ろして肉体を持つような状態にまでしていったのです。

そして星によってはリラ星の人たちが肉体を持ってその星で生きていくことができるような状態にまでなりました。

もちろんそこまで肉体を進化させていった種族の人たちはさほど多くはありませんが、幾つかの種族の人たちがリラ星の人たちと意識の交流を行いながら進化を行っていったのです。

PART2 リラ星の崩壊と地球への移住

リラ星の方々はとても古い時代に天の川銀河に入られましたが、最初は天の川銀河の星々をずっと観察しておりましたのでさほど積極的に天の川銀河の種族たちと関わることは無かったのですが、その後リラ星の人たちは、天の川銀河の星々の人たちと少しずつ関わるようになっていったのです。

そしてリラ星の人たちが実際に他の星に移っていくためには、またそこから多くの時間が必要でした。

やはりそれだけの肉体や意識を持った種族を創り上げる必要があったからです。

そして幾つかの星でリラ星の方たちの指導が始まり、幾つかの星でリラ星の方たちが創り上げた文明が定着していきました。

そして幾つかの星の種族が素晴らしい叡智を持つようになっていったのです。

しかしながらそのようなときに、ある事故によってリラ星が崩壊してしまったのです。

その当時リラ星を運営していたエネルギー、これは皆さまの言葉で言うと少し語弊があるかもしれません「核融合反応」のようなものを利用してリラ星は運営されていたのです。

地下に核融合炉のようなものを設置し、そのエネルギーを使って星を暖めたり、光を生み出したり、あるいは星の人たちが暮らすエネルギーを作り出していたのです。

しかしながら、ある策略によって核融合エネルギーを抑制するコントロールが混乱させられて核融合炉が爆発するという事件が起こりました。

その当時、他の星はそこまで進化した技術を持っていなかったために、リラ星の核融合炉の暴走を止めることができませんでしたのでリラ星の人々はその星を捨てて逃げ出すしかなかったのです。

そしてリラ星の人たちはリラ星から幾つかの星に分かれていったのです。

天の川銀河の横にあるプレアデス星団もそうですが、特にリラ星の人たちがその星の種族たちを進化させていた星々の方たちがリラ星の種族たちを受入れ、そしてリラ星の種族たちと融合しながら新たな種族を創り上げていったのです。

今天的川銀河の宇宙連合の中心となっている種族の多くがリラ星の種族と融合された種族になっていると思います。

リラ星の人たちの遺伝子は本当に素晴らしい、叡智に富み、愛に満ちあふれていましたので、リラ星の種族と天の川銀河の星々の種族がひとつの種族として融合されていく中で、急速に天の

川銀河の星々の意識というものが高まつていったのです。そしてその影響を受けて天の川銀河の他の種族たちも成長していきました。しかし逆にリラの種族と対立する種族も実は存在していました。リラの種族が幾つもの星々にわたって優秀な種族を生み出していくことを良く思わない種族もいたのです。この宇宙を非常に意識の低い種族たちばかりにしておきたい。そしてそれを自分たちが支配したいと考えているような種族たちです。実はリラ星の爆発もそのようなリラ星に反発する種族たちの影響が有ったというふうに聞かされております。事故によってリラ星の人たちは自分たちの拠点を失い、自分たちが育てた種族たちが住む星に分かれていきました。そしてその星の人たちと融合しながら新しい種族を生み出していったのです。しかしながら融合を進めることによって純粋なりラ星の種族の人たちというのが本当に少なくなりました。そして長い時が立ち、純粋なりラ星の人たちというのはすでに物理的な肉体では無く、意識体として生きておりました。そして意識体としてこの天の川銀河を導こうとしていたのです。リラ星の人たちは新しい星を作っていくことにも積極的に関わっていました。できればリラ星の種族を中心とした星を創りたいというふうに考えていたようです。純粋なりラの種族の人たちを残したいと考えられたのでしょうか。そしてその候補のひとつにこの地球が挙げられておりました。リラ星の人たちは意識体としてこの地球に深く関わってくることになりました。このような縁豊かな美しい地球が生み出されることをデザインしていったのもリラ星の人たちです。この地球は大きな宇宙意識の中で生み出されたということを以前申し上げましたが、この宇宙意識が地球という人工的な惑星を作るときにリラの種族はとても大きな役目を果たしていったのです。つまり宇宙意識によって決定された地球のプログラムを現実的な地球の中で実行していく、そのような仕事の監督役を行っていたのがリラの種族だったのです。そして地底に入り、地球の内部のシステムを最初に創り上げたのもリラの方々です。リラの方々は特殊な方法を使って、とても純粋なりラの種族を生み出しました。

これはヒューマン・テクノロジーといつても良いかもしれません。自分たちの肉体をあえてテクノロジーによって創り上げ、そこに自分たちの意識をインプットするというような方法です。

このように言うと皆さまはロボットのようなものを想像されるかもしれません、ロボットのような金属物質ではなく有機物質で肉体を創り、そこに自分の意識を埋め込んでいくというようなことを行ったのです。

ですから脳神経の再生や体の再構築に関しては、私たちも全く理解できないレベルの高度な技術が用いられていました。

そうすることで肉体が人工的に作られていたものであったとしても、純粹にリラの種族というものが地球の中に存在し、そして地球を運営することができたのです。

地球は幾つかの生まれ変わりを体験していますが、そのひとつの時代においてこの地球の中に最初の生命が生まれ、そこから生命が進化し、植物や小さな生物、そしてやがて大きな動物が生まれ、やがて人類が誕生していくという過程をリラの人たちはプログラミングを行い、そしてこの地球の中で実践していったのです。

地球の進化というものは決して偶然に行われたものではありません。

ひとつの設計図を基に理論的にそして科学的に進化というものが起こされていったのです。

そしてその進化が起きやすいような地球の状況を生み出し、その進化が更に多様化していくような環境に変えていきながら、この地球は運営されていったのです。

PART3 アンドロメダの種族と地球人の

融合

その当時、私たちアンドロメダ座の種族たちが地球に降りてくることで、リラの種族の人たちがアンドロメダ座の種族たちが地球上で暮らせるように、急いで地球に生きている生命体を進化させました。

アンドロメダ座の種族の中でも、自分たちの肉体を持ったまま地球に降りることができる可能性を持つ種族たちもいたのですが、

自分たちの肉体では地球に適応できない種族たちもおりましたので、そのような種族は地球人の肉体に自分たちの意識を降ろして地球で生存するという方法をとることになりました。

もちろん地球の地上だけで生きていくのは少しリスクがありました。

それは皆さまにお話ししたように太陽光線や隕石などの脅威のためです。

また地球の環境の変化には、私たちが適応できない可能性も有りました。

しかしながらリラの種族の人たちは自分たちが創り出した地底世界を新しく来る種族の人たちに向かって解放しておりませんでしたので、地球人の種族がアンドロメダの種族の意識を受け取ることができるような状態にまでリラの人たちは地球人を進化させました。

そしてアンドロメダ座の種族たちの意識を受入れて、肉体は地球人ではありますが、意識はアンドロメダ人として存在する種族が生まれていったのです。

そしてしばらくたった後、地球にアンドロメダ文明というものが生まれました。

しかしながらアンドロメダ文明はそれほど長くは続きませんでした。

私たちは戦争が起こったアンドロメダ座から逃げ出してきたのですが、私たちを追ってアンドロメダ座の者たちが地球に攻めてきたからです。

リラの種族の人たちはこの地球上で争いを起こすことをとても嫌っていました。

自分たちが創り上げた地球のシステムが破壊されてしまうからです。

私たちを追ってやってきたアンドロメダ座の者たちは、この地球にも地底世界があることを知っていたようですが、彼らは地底世界に対して攻撃をすることはできませんでした。

とても大きなバリアが張り巡らされており、アンドロメダ座の者たちが地底に入ることができなかつたのです。

そして我々アンドロメダ座の意識を持った地球人たちは、その多くが私たちを追ってきたアンドロメダ座の者たちとの戦争に飲み込まれていきました。

しかしながら少数の者たちはリラの種族たちによって助け出されたのです。

これはアンドロメダ座同士の戦いなので、あまり他の星の者たちが関わってはいけないことになっておりましたが、ただこの争いが地球の中に持ち込まれたことで、地球に生きる種族にとっては非常に迷惑な状況を生み出しました。

そのためにアンドロメダ座の戦争を早期に終わらせるために、一

部の者たちを秘密の場所に隠して他の者たちはアンドロメダ座の戦争を終結するために戦わせました。

この戦いはすぐに終わりました。

アンドロメダ座から地球に来た者たちは、戦いを恐れていましたし武力も持っていないかったために、アンドロメダ座から追ってきた者たちによって降伏させられ、あるいは殺され、そして残った者たちは連れ去られていきました。

しかしながら、そのとき地球に住んでいたアンドロメダ座の人たちの中で1割ぐらいの人たち、特に子供や女性たちなどはリラの種族によって別次元へと隠されました。

彼らはこの地球の種族を育てるために必要な人たちだったからです。

リラの人たちからしてみても、この地球に降りてきた肉体を持つことができるアンドロメダ人とこの地球で元から進化してきた地球種族の融合体を作ることはとても重要な問題だったからです。つまりリラの人たちはほとんど自分たちの肉体を持っておりませんでしたので、自分たちと地球人たちの間に肉体を持つ種族というものを創り出すことができませんでした。

そのためにアンドロメダ座の人たちの肉体の遺伝子をお借りして地球人とアンドロメダ人によって新しい肉体を創り、リラの人たちの遺伝子や他の優秀な種族の遺伝子を加えて新しい遺伝子を持つ種族というものを創り出していったのです。

実を言うとその種族がレムリアやアトランティス、シャンバラのような有名な古代文明を創り上げてきた種族だったのです。

アンドロメダ文明が滅びたとき、何万年もの間この種族の人たちは地球の中で準備をさせられていきました。

アンドロメダ座の人たちのなかには水の中に生きができる、皆さまがマーメイドと呼んでいるような種族もありましたので、海の中でも生活ができる種族というのもこの時代にリラの種族によって創り上げられたのです。

そのような人たちは海の中に入り古代アトランティス文明の原型となったわけです。

そして陸に住む者たちはレムリアの人たちの原型となりました。他にも幾つかの種族の者たちが作られましたが、中には、リラの種族のお手伝いを行うために地底世界に導かれた種族もおりました。

彼らは「アムリタの種族」と呼ばれ、地底世界でリラの人たちと共に地球を運営するという役割を担っていきました。

そしてレムリアやアトランティス以外にも幾つかの多彩な種族が生まれ、シャンバラやムーなど、様々な地域に分かれて新しい文明を作る準備をしておりました。

最初はそのような土地で非常に原始的な営みを彼らは行っておりました。

その肉体がしっかりとこの地球の環境になじむまでは1万年、2万年という時間が必要だったのです。

そしてその後リラの人たちの遺伝子や他の優秀な種族の遺伝子が地球人に加えられ、それぞれレムリア文明、アトランティス文明、ムー文明と呼ばれるような独自の文明を創り上げていったのです。

レムリア文明よりも前の文明に関してはほとんど語られることはありませんが、実はこのようなことがこの地球の中で行われていたのです。

今日はレムリア以前の地球とリラの種族のことについて皆さんに少し詳しくお話をさせていただきました。

前回皆さまがレムリアの地底世界に来られたときは、地底世界の最初のホールに入っていました。

それは主にシャンバラの人たちが、他の世界からこの地底世界へ入ってきた種族の方たちをお迎えする場所です。

我々はさらにその奥の場所にいます。

そこが実際にこの地球を運営する場であり、またリラの種族の方たちの純粋な意識というものが存在する場所なのです。

リラの種族の方たちは、現在とても高い次元にいらっしゃる存在ですので、この地球だけにとどまっているわけではありません。

もうすでに宇宙意識とひとつになっていらっしゃる方々もいますし、また地球意識と同調してこの地球を支えていらっしゃる方もいらっしゃいます。

私たちは地球意識を「マザーガイア」あるいは「テラ」と呼んでおります。

それはリラの人たちや他の星の種族の人たちの意識が融合されて、大きな地球意識に育っていったものなのです。

そのようなリラの種族の意識と交流するという場所も、この地球の内部には有りますので、やがて皆さまをご案内できるかと思います。

第3章

地球種族の誕生3

アンドロメダ銀河から来た

リラ種族

2024年3月8日

第3章目次

PART1 アンドロメダ銀河から来たリラ種族

PART2 天の川銀河の種族の育成と地

PART1 アンドロメダ銀河から来たリラ

種族

私たちリラの種族は元々アンドロメダ銀河に存在しておりました。

アンドロメダ銀河は皆さまが住む天の川銀河よりもはるか昔に

生まれ、多くの叡智を持つ種族たちが住んでいます。

今の天の川銀河にはたくさんの叡智を持つ種族が存在してお

りますが、私たちが初めて天の川銀河を見たとき、そのような種族

はさほど多くはありませんでした。

私たちのアンドロメダ銀河も初期の頃は、その当時の天の川銀

河と同じように叡智を持つ種族たちはさほど多くありませんで

した。

多くの種族たちが初步的な農耕や動物たちを捕えて食べる狩猟生活などを送っていましたし、また物理世界を持つ星もそれほど多くありませんでした。

そして時間がたつにつれ、アンドロメダ銀河の種族たちは成長していきました。

何万年、何億年とかけてとても高い叡智を持つ存在へと移り変わっていました。

私たちは星々の間で友好関係を築いておりました。

お互いの星々が協力し合い、愛と平和のために活動することによって、アンドロメダ銀河をより素晴らしい銀河にしようと考えていたのです。

幾つもの星の者たちが集い、アンドロメダ銀河の平和のために働きました。

アンドロメダ銀河は愛と調和の世界に向かって進化を遂げていたのですが、その進化に真っ向から反抗するような種族たちも存在したのです。

ただ私たちは全ての存在に対して愛を持っております。

たとえその種族が幾つかの星の人々を欺き傷つけたとしても、それは自分たちの学びのために行われていると解釈して、その者たちを罰することを行いませんでした。

しかしながら、その中のひとつの種族がアンドロメダ銀河を離れ天の川銀河に入ったという情報を私たちは受け取りました。

彼らのことですから、叡智を持つ種族がほとんど育っていない天の川銀河で、多くの種族たちを自分たちの奴隸のように扱い、天の川銀河全体を支配しようと試みているのかもしれません。

アンドロメダ銀河には優れた種族たちがたくさんいましたので、彼らが少々手荒なことをしたとしても、そのことをすぐに修復し傷ついた種族たちを癒やすこともできましたが、天の川銀河の中には彼らに対抗できるような種族はありませんでした。

そのために多くの星の種族の者たちが、天の川銀河を支配しようとする種族の者たちに傷つけられ奴隸化されるのは大変問題が有ると私たちは考えたのです。

彼らが天の川銀河の星々の種族たちを支配し奴隸化したとしても、その星の者たちには多くの学びはありません。

ただ大きな力の差によって、力の弱い種族たちが押さえつけられ、天の川銀河の支配を望む者たちに奴隸のように扱われていくだけなのです。

アンドロメダ銀河の者たちはそのような状況を防ぐために、幾つかの種族をアンドロメダ銀河から天の川銀河へと送りました。

私たちリラの種族の者たちはその代表的な種族のひとつでした。

私たちは天の川銀河に入ると、私たちの種族の名前の元となつた星を見つけました。

その星はリラ星と呼ばれる星でしたので、私たちはリラの種族と

呼ばれるようになったのです。

私たちはこのリラ星を基盤として、天の川銀河の中で活動することを決めたのですが、天の川銀河に関わるのであれば、天の川銀河がどのような宇宙であるのか、どのような場所であるのか、ということをもっと緻密に調べなくてはいけません。

特に天の川銀河の中で肉体を持って生存できるような星がどの程度有るのか、そしてそこに住む者たちの意識状態はどうなのか、アンドロメダ座から来た種族がどの星々にどのような影響を及ぼしているのか、ということを私たちは調べ始めました。

私たちはリラ星の周りに存在している星々を中心に調べておりますが、仲間の種族は天の川銀河の各地に散って、それぞれの場所で探索を進めていきました。

そして私たちは常時連絡を取りながら、天の川銀河を元の状態に戻すために活動していました。

私たちは天の川銀河を支配しようとする種族が幾つかの星に入り、その星の種族の人たちをコントロールしたり、遺伝子を改変したりして自分たちの手先のように使おうとしているところを発見しました。

そのような星が見つかると私たちはすぐにその星に入り、その星を支配しようとしている者たちから受けたコントロールを外し、遺伝子も修復しました。

彼らによって加えられた遺伝子を取り除き、もともとあった種族の遺伝子をしっかりと活性化させていったのです。

ところが天の川銀河を支配しようとする種族たちはとても速い動きをし始めました。

私たちに見つかるとすぐにその星を立ち去り、新しい星へと彼らは移り住んでいったので、私たちがきた時はほとんど彼らの姿は有りませんでした。

彼らによってコントロールされ遺伝子を改変させられて、非常に不自然な状態で生きている種族の者たちだけが残されていたのです。

私たちがその星でその種族の者たちを元に戻す作業をしている間、彼らは新しい星で同じようなことを繰り返していました。

そして私たちがひとつの星の修復が終わり、また彼らが新たに関わった星に向かうと、彼らはすぐにその場所を立ち去りました。そのようにして長い間、彼らとの追いかけっこが続きました。

ただ我々はこのことを見過ごすわけにはいきませんので、アンドロメ銀河からも応援をもらい、この者たちをようやく捕えることができました。

この者たちはアンドロメ銀河の宇宙連合によって捕らえられ、天の川銀河からアンドロメダ銀河へと移されたのです。

しかしながら彼らの手下たちや彼らのグループの一部の者たちは姿を隠し、今でも天の川銀河の中で他の星の種族たちを侵略

して支配することを行っているのです。

彼らによって支配された星のなかには、私たちが修復できなかった星の種族たちも含まれていました。

そのような者たちは彼らに追従し、彼らと同じことを天の川銀河の星々に対して行い始めたのです。

そのために私たちのリーダーは、自分たちだけが彼らが行ったことを修復していくだけでは間に合わないので、天の川銀河の種族の者たちを進化させ、そしてこの者たちが、彼らに対抗できるようにしようということを決めました。

PART2 天の川銀河の種族の育成と地

球

私たちはその当時、進化の過程にある幾つかの星の種族たちを見いだしました。

その中には宇宙を支配する者たちから遺伝子操作を受けた種族の者たちもおりましたので、私たちはそのような者たちを教育し始めました。

その教育に関しては皆さまも御存じのように、この自然界の太陽やその星、あるいは星にある自然環境を神と見立て、そこに一生懸命祈りを捧げることです。

特定の者がカリスマ的な力を持つのではなく、この自然界の神々を敬い、その星の種族が公平にその恩恵を受け取っているというような教育です。

さほど大きな技術の革新を伴うのではなく、私たちの心を成長させ、そしてその星の自然と共に生きていくというような教育を私たちは、各星の種族の者たちに対して施してきました。

しかしながら、様々な場所で遺伝子の変更を受けた種族が現れてくると、私たちのリーダーはこのままの状態では天の川銀河が支配される可能性があると考え、私たちの遺伝子やアンドロメダ銀河の優秀な種族の遺伝子を借りて、天の川銀河の種族たちを急速に進化させ、この宇宙を支配する者たちに対抗させることにしました。

私たちだけが彼らと戦っていてはしょうがないからです。

天の川銀河の星々の種族たちが成長し、そしてそのような支配

を行おうとする者と自らが戦う、あるいはそのような者たちを受入れないような種族に育てていくことを目的として新しい種族たちがどんどん作られました。

これは天の川銀河の種族とアンドロメダ銀河の種族のハイブリッドといつても良いかもしれません。

様々なタイプのハイブリッドが生み出されましたので、その星ごとに特徴のある種族が育っていったと私たちは思っております。そしてまた長い年月が過ぎ去りました。

天の川銀河の中でも幾つかの星でとても優秀な種族が育ち、技術力や論理というものを発展させていきました。

彼らは天の川銀河の中でしたら充分な働きができるほど成長していったのです。

そしてそのような時期、私たちが拠点としていたリラ星が爆破されました。

もちろんそれを企んだのは天の川銀河を支配しようとする者たちです。

私たちがこれ以上ここにとどまること、あるいは天の川銀河の種族に教育を行うことに対して反感を持ったからです。

もちろん当初からその反感は有ったのですが、ついに彼らは私たちの星を爆破するというような無謀な行動に出たのです。

私たちは拠点としていた星を失い、私たちが育てあげた種族たちの星々へと向かいました。

そして私たちはその星に住むことになり、その星の種族との間にさらに多くのハイブリッドの種族を生み出すことになったのです。

私たちはその頃まではかろうじて半物質体というような形で存在しておりました。

完全な物質的な肉体はもうすでに持っておりますが、ただ物質的な肉体を持っていた時の遺伝子というものを私たちは保管しておりましたので、その遺伝子を使用して各星の種族の者たちとの間にハイブリッドの種族を生み出したのです。

私たちがハイブリッドの種族を生み出したのは、おうし座やシリウス星系、アンドロメダ座やアルクトゥールスそしてプレアデス星団です。

他にも沢山の星々でハイブリッドの種族が生み出されました。

私たちやアンドロメダ銀河の種族たちの遺伝子を使うことで、天の川銀河の種族たちは一気に成長し、非常に高度な叡智と技術力を持つ種族に変わっていきました。

また私たちもそのような種族に対して、効率の良い植物の作り方や都市の作り方、そしてひとりひとりの能力を高めるためのテレパシーやサイコキネシスと言われるような想念の力で物を動かすのような能力も与えました。

また更に成長した種族には、エネルギーを生み出す方法や宇宙船を作り瞬時にこの宇宙の中を移動する方法なども指導しまし

た。

もちろん種族ごとに与えられた能力や技術は異なるのですが、そういう種族たちが協力することによって、天の川銀河を支配しようとする種族たちに対抗できるのではないかと考えていたのです。

そしてそのようなとき、私たちはこの地球という星を創りました。それぞれの星でハイブリッドの種族ができあがっていったのですが、さらにこの天の川銀河の平和を保つために、幾つもの種族の者たちがひとつの統合の種族を生み出すことが必要ではないかと考えたからです。

それまではおうし座とリラ星あるいはシリウスとリラ星、アンドロメダ座とアンドロメダ銀河の種族のハイブリッドというふうに多くの星々が、ひとつの相手との融合の種族を創り出していました。

私たちアンドロメダ銀河では、多くの種族たちが共通の意識を持つことができましたので、多くの種族の者たちが融合し、必要であればハイブリッドの種族を生み出すこともできたのですが、天の川銀河ではまだそのような状態には至っておりませんでした。

そのために実験的にひとつの星を創り、そこに異なる種族の者たちが数種族入って、統合の種族ができるのか、できないのかという実験を行うことにしたのです。

もちろんそれは自然の星では少し難しい要素がありました。

というのは、幾つもの種族の者たちは住んでいる環境が異なったからです。

幾つかの星に住んでいる者たちは、とても暖かい熱帯の星に住んでいる者たちもいますし、また氷のような星に住んでいる者もいます。

また山ばかりの星に住んでいる者もいれば海の中に住んでいる者たちもいます。

そのような幾つもの星の特徴を持った星を作る必要があったのです。

これはそんなに簡単なことではありません。

ひとつの星の中に幾つもの星の要素を取り込むという壮大な構想だったのです。

この地球という星を創り、その星を最初から幾つもの自然環境を持つ星として私たちは創り上げていったのです。

私たちは地球の内部に地底世界を創り、そこに地球の大きな原動力となるようなマザークリスタルを設置しました。

マザークリスタルが発するエネルギーを物質的なエネルギーに変換することによって、この地球を維持する仕組みを創り出したのです。

そして長い年月をかけてこの地球という星が創り上げられました。

そして地球という星がある程度でき上がったところで様々な種族をこの地球に連れてきて、それぞれが適応した環境の中で過ごすうちに融合の種族を創り出していくというプログラムが始まったのです。

私たちはこの地球にとても大きな希望を抱いておりました。

それはこの天の川銀河の中でもお互い争っている人たちや何か問題を起こしている種族の者たちを集めてその統合のエネルギーを作ろうと思ったのです。

お互い反発した者同士が仲良くなり、統合されることによって地球のみならず、この天の川銀河にとても大きな変化が生まれてくるのです。

私たちは地下でその様子をモニターしながら、地球の統合の種族というものを生み出す仕事を行っていたのです。

ところが私たちの計画が天の川銀河を支配しようとする種族の者たちにも知られたようです。

彼らは私たちの隙を見て地球に入り、そして地上で生きていた種族たちに自分たちの遺伝子を与えたり、意識をコントロールしたりすることを始めたのです。

私たちは地底の中から地球人に特殊なエネルギーを与え、意識のコントロールを受けないようにしてきましたが、彼らは月のシステムを使って地球人の意識をコントロールすることを始めました。

その度に地球ではとても大きな混乱が起きました。

お互いが相手のことを否定しあい、大きな戦争や混乱が起きました。

本当であれば、地球に生み出された種族は、お互いに愛し合い、お互いを大切にしあうような種族だったのですが、天の川銀河を支配する者たちが入ってきたために、この地球の中でも大きな争いが起こるようになってしまったのです。

そのために地球は何度カリセットを行って地球の種族を新しくし、そのたびごとに統合の種族を生み出すための活動を行っていったのです。

その過程で幾つかの種族を私たちの地底世界へと呼びました。

私たちはもうすでに意識がかなり高次の意識になっていたために、半物質体から非物質体へと移り変わっていましたからです。

私たちはもう肉体を持つことができませんので、物理世界への関わりが充分にできなくなっていました。

そのためにまだ物質的な肉体を持っている種族を地底世界に入れ、私たちの仕事を手伝ってもらうことにしたのです。

ただ地上の種族の方たちをすぐに地底世界へ入れることは大変リスクが大きいことでした。

彼らの考え方や彼らの常識を大きく覆してしまうので、いきなり地底世界に連れてきたら彼らがパニックになってしまう可能性があったからです。

そのためにシャンバラの種族のように地球の異なる場所で彼らを進化させ、地底世界のことをよく教え込んだ上で地底世界へと迎え入れました。

ほかにも幾つかの種族をこの地底世界へ受入れ、そして地底世界の働きを彼らが自ら担うようにしていったのです。

そのようなことを初めて3万年から4万年の月日が経ったでしょうか。

今、私たちは意識体として存在しておりますが、この地底世界を担う種族の者たちは、私たちの意識と交流しそして私たちの希望どおりに地球を運営してきました。

しかしながらこの地球に生きる多くの地球人たちは、今でも地球を支配しようとする者たちのコントロールを受けこの地球を彼らと共に運営しているのです。

もちろん地球を支配しようとする者たちも既に肉体は持っておりますので、自分たちが使いやすい種族を利用して、地球や天の川銀河の星々をコントロールしているのです。

ただこの地球に関して言うならば、地球はそろそろ自分の意識をアセンションさせようと願っています。

今と同じような状態でこの地球を保ち続けるのが難しいと判断したからなのです。

地球意識はとても大きな意識ですが、やはり自分の意思というものが有ります、

今までこの地球の上で多くの種族たちが争ったり、殺し合ったり、あるいは自然を破壊しようとしたにも関わらず、やがて地球人は目覚めるからその様子を見守ってあげようというような考へで、地球の中における戦争や自然破壊を許容してきたのですが、もうこれ以上地球の中で争いを起こすことを地球の意思としては認めないとというように考えたようです。

また原子力発電所の事故や核戦争に使われる放射能が、自分たちをとても苦しめていることを地球意識は知っています。

そのために地球意識はもうこのあたりで自分自身もアセンションをして、とても美しい健やかな星の状態に戻したいと考えているようです。

それが今回のアセンションなのです。

具体的にどのようなことが起きるのかということを皆さんにお伝えすることはできませんが、もしこの地球を支配する者たちと気持ちをひとつにする者が多ければ、この地球はその者たちに譲らなければなりません。

そして彼らがこの地球を運営し、この地球の未来を担っていくの

です。

もしこの地球を大切にしこの地球を愛の星にしたいと考える者がこの地球の中で多数であれば、このような意識を持った人たちがこの地球の中で活躍することができます。

そしてそうでない方は少しずつこの地球から分離されていくのです。

この宇宙にはとても明快なルールが有ります

その星に住む多くの者たちが望んでいる現実を創り出すというルールです。

これから皆さまがどのような現実を見るのかということは、皆さま自身の魂が既に選択しております。

皆さまが今自分の魂と気持ちをひとつにしてこの地球を見られたときに、どのように思われたのか、それがその答えとなるでしょう。

私たちはこの地球の意識と今ひとつに繋がっています。

私たちリラの意識はこの地球の意識とひとつであると言ってもよいでしょう。

そして私たちは今皆さんと共に大きな祈りを捧げさせていただいております。

それは皆さま自身の意志をこの地球の意志とつなげるためのものなのです。

皆さまはこの地球意識とひとつになって新しい素晴らしい愛の地球を創り上げていただける人ではないかと私たちは思っています。

第4章

地球種族の誕生4

太陽種族による

地球種族の誕生

2024年3月16日

第4章目次

PART1 太陽種族の働きについて

PART2 地球種族が誕生した秘密

PART3 太陽種族の教えと規範

PART1 太陽種族の働きについて

皆さま、はじめまして、私たちはかつて地球でアディテイヤ神群と呼ばれていた存在です。

この地球が生まれてからしばらくした後、この地球をどのように作っていくのか、この地球をどのような目的のもとに育てていくのか、というようなことを我々と宇宙意識の存在たちが語り合いました。

私たちは基本的に太陽のスピリチュアル次元に存在しており、この太陽系の中心となる太陽と幾つかの惑星に関わりを持っていました。

太陽というのは3次元的な世界で見るならば燃え上がる炎とい

うことになるかもしれません。

3次元的な世界において太陽の役割は太陽の周りを巡る惑星や他の星たちに熱や光を与えて、そこに生きる生命たちを育てていくことがあります。

そのために3次元世界の太陽というのは、とても大きな「炎の塊」であると皆さま方は考へていらっしゃるのです。

そしてこの太陽系というのは、この太陽の炎や引力によって成立している世界であると皆さま方は考えられておられます。

しかしながらスピリチュアルなレベルにおいてはその役割は異なっています。

6次元、7次元の世界において太陽は今のような「炎の塊」である必要は全くないのです。

物質が存在しない世界においては、太陽は太陽の周りを巡っている惑星たちを高次のエネルギーによって支えております。

もちろんそのときは物質的な地球ではなく、スピリチュアルな地球を太陽の高次のエネルギーが支えているのです。

スピリチュアルな世界では、太陽は物質的な存在ではなく、スピリチュアルな生命力を皆さまにお届けする高次元の太陽として存在しておりますので、私たちはその中に存在する意識体、エネルギー一体として活動しているのです。

私たちは幾つもの惑星に対して、この惑星がどのような役目を持つのか、またこの惑星にどのような生命体が育ち、存在するのか、ということを見守っています。

皆さまの地球に地球意識があるのと同じように、太陽にも太陽意識というものが有りますし、またそれを大きく包み込むような太陽系の意識というものが有ります。

太陽の意識はこの太陽系の意識の中で自分の役割や働きを決めていきます。

そしてひとつひとつの惑星や衛星も独自の目的や使命を持っておりますので、太陽並びに太陽系の意識は、惑星や衛星の目的や使命が無事遂行できるようにエネルギー送り、守護しているのです。

我々、太陽種族は太陽系の意識そして太陽の意識に基づいて、それぞれの星に移動することもあります。

それぞれの星が持っている役目や使命を果たすことをお手伝いするために、地球や金星、木星、土星などに移動して、その星の環境を改善して動植物などの生命たちを育て、叡智を持つ種族たちに進化するように働きかけているのです。

皆さまはこの地球が人工的に作られた星であり、幾つもの星の種族の人たちを受入れ、天の川銀河の統合の種族を作る目的があるという話を聞かれていると思います。

この太陽系の惑星の中でもこの地球というのは非常に特別な星なのです。

他の星々には現在は物理世界に生きている叡智を持つ種族たちは存在しておりません。

かつて古い時代には幾つかの星が物理世界を持ち、皆さまと同じような肉体を持った種族が存在することもありましたが、現在においてはそのような種族は全て意識体、エネルギー一体に移り変わっておりますので、地球の皆さまのように肉体を持って存在することはありません。

その星が物理世界を持ち、地球の皆さまと同じような叡智を持つ種族たちを育てるためには、とても高度な条件を満たす星の環境を作りいかなければならぬのです。

高度な条件というのは肉体を持った種族たちが生存するために必要な温度や湿度、最適な大気、そしてそれに見合った気象条件などが必要となるのですが、今太陽系の中でそれらの条件を満たしているのはこの地球だけということになります。

似たような環境を持つ星も木星の衛星などに有りますが、皆さまのように叡智を持つ種族が育っているのはこの地球だけなのです。

そのために太陽系の惑星というものは、地球が叡智を持つ種族を育てるためにサポートを行っていると言っても良いかもしれません。

PART2 地球種族が誕生した秘密

今日は地球種族の誕生についてお話したいと考えております。

まず私たち太陽種族、地球でアディテーイヤ神群と呼ばれている者たちは、かつてこの地球にやってまいりましたが、その時期というのはとても古い時期です。

皆さまがご存じのレムリアやアトランティス文明よりもはるか昔に起こったアンドロメダ文明が始まるかなり前の時代、恐竜たちがこの地球をしっかりと創り上げて動物たちが進化する基盤を創り出した頃の地球です。

恐竜というのは惑星の環境を創り上げるためにとても重要な役割をいたします。

彼らはある程度の過酷な状況の中でも生きていくことができる生命体です。

大きな恐竜たちはその体を使って地球の大地を踏み固め、そし

て移動することによって植物や微生物が生存する地域を広げながら、地球の環境を整えていきます。

彼らが植物を食べ、それを糞として出すことによって、地球の大地を非常にミネラル分の多いそして様々な微生物が生きる大地に創り変えていったのです。

そして陸を走る恐竜たちは死ぬことで、肉体を大地の上に横たえますので、その栄養をもらって様々な微生物たちが育っていくのです。

それは海を泳ぐ恐竜たちも同じです。

彼らの肉体はとても豊かな栄養分となって次の生命を育む土台となるのです。

そのようにして恐竜たちや多くの微生物がこの地球を創り変えていくことに貢献してきました。

私たちはそのような土台を持った地球にやってきて、私たちの肉体をある程度物質化した状態でさらにこの地球の環境というものを整えてきました。

私たちの中には水をつかさどる神、あるいは皆さまの言葉で言うとエレメントと言った方が良いかもしれません。

水をつかさどるエレメント、火をつかさどるエレメント、光をつかさどるエレメント、風をつかさどるエレメント、そのような働きをする者たちが私たちのグループの中にはありますので、彼らの働きによってこの地球は更に生命が進化するにふさわしい環境を上げていったのです。

私たちはこの地球の上に豊かな自然環境を生み出してきました。

陸地に樹木を広げ花々を育て、そして土壌菌や微生物の働きによって地球はますます肥沃な大地を創り上げていったのです。

そして海にも様々な微生物が存在することによって、新たな生命の進化となるような存在たちを生み出すことができました。

そしてまた光のエレメントや風のエレメントそして空のエレメントたちが働くことで、この地球に生命たちの進化に適した大気が生み出されてきたのです。

この地球の環境の変化や生命の進化というものは偶然起こったのではありません。

太陽の意識、太陽系の意識そして地球の意識、更には宇宙の意識がひとつになって、このたぐいまれな惑星である地球を創り上げていったのです。

そして生命たちが進化することによって、叡智を持つ意識を受入れることができるような、人類に近い姿を持った動物たちが生み出されていったのです。

私たちはこの地球を人類が進化していくにふさわしい環境にするためにとても長い時間をかけて、この地球を創り上げていきました。

そして宇宙意識から、地球に叡智を持つ種族たちを迎える許可を頂き、ある程度の能力や特質を持った種族たちをこの地球上に創り上げていきました。

もちろんそれも自然に進化したのではなく、他の星からその進化のために必要とされる遺伝子を頂いて、地球に生きている動物たちにその遺伝子を当てはめながら、数多くの実験を繰り返してこの地球上に生きるにふさわしい種族を創り上げていったのです。

そして私たちは今の皆さま方の言葉で言うと「類人猿」というような種族を生み出すことができるようになりました。

この地球の自然環境に適応した肉体を持つ種族たちです。

ただこの種族たちがすぐに叡智を持つ種族たちに育っていったのではありません。

これはどこの星でも同じことが起こるのですが、まずそのような種族の者たちにある程度進化した種族の遺伝子を入れることになります。

地球の種族に対しては、シリウス星系、アンドロメダ座の種族、おうし座の種族、プレアデスの種族などの遺伝子を使って少しづつ特質の異なる種族を創ります。

それはどの遺伝子がこの地球人の遺伝子と相性が良いのか、あるいは相性が悪くて種族が育たないのか、というようなことを調べるために行うのです。

今言った名前の種族の者たちは、ある程度地球に生きていた動物たちの遺伝子と相性が良く、この地球上でひとつの種族として成長していきました。

しかしながらうまくいかなかった星の種族たちの方が多いのです。

例えばさそり座であるとか射手座であるとか、そのような星の遺伝子はこの地球人の遺伝子とは相性が悪くしっかりとした融合の種族を生み出すことはできませんでした。

シリウスやアンドロメダ座、オリオン座、おうし座、プレアデス星団、そういう種族の遺伝子は、地球人の遺伝子とある程度相性が良くて地球人の肉体を少なからず進化させることができたのです。

そして次の段階として、そのような肉体を使うことができる意識体がその肉体の中に降りて叡智を持つ種族として進化していく過程が始まりました。

もう一方では、その種族たちに優秀な意識体が入ることなく、その種族たちが自分たちの意識を進化させながら自分たちを成長させていく試みも行われました。

つまり古代の地球においては、地球人の肉体に進化した星の種族の意識体が降りて、地球人の肉体を使って生活することで急速に進化した地球人の種族と他の星からくる意識体を迎える

ることなく、自分たちの意識を少しづつ進化させていく種族の2つのグループに別れたのです。

地球人の肉体にある程度高次の意識を持つ意識体が入ることによってその種族は飛躍的に進化していくつもの文明を築き上げました。

彼らはとても高い科学技術を持っておりましたので、もともといた星から宇宙船で地球にやってきて地球人の進化をサポートするというようなことも行われました。

皆さまが知っているエジプトやメキシコのピラミッド、あるいはとても古い時代に古代遺跡と呼ばれるものを作った種族たちは主にこのような形で進化してきた者たちです。

そして地球人の意識を育てながらゆっくりと進化していく種族たちはやがて他の星から来た意識が肉体に入って進化した者たちによって統治されることになっていったのです。

地球人の意識のまま進化した者たちはまだまだ原始的な意識しか持っておりませんでしたので、その当時は自分たちの身の回りにいる小さな動物や樹木になる果実などを取って食べていたのですが、高次の意識を持つ種族たちから農耕や道具の使い方を学ぶことで自分たちの生活が大きく変化していくことになりました。

また村や社会を作ることも教えられ、集団で生活することが始まりました。

そして信仰も身に付け、太陽や地球に感謝することも学びました。この地球には大きくてこの2つのタイプの種族が生まれ、そして様々な関りを持ちながら成長していくのです。

私たち太陽種族はそのようにして地球種族の誕生に関わっていましたが、太陽種族の中には地球人の肉体に自分の意識を降ろして、直接地球の種族に語りかけて彼らを成長させるために働いた者もいました。

私たちは地球人の意識で育っている者たちに対して、すこしづつ高度な道具の使い方や技術、あるいはお互いが協力しあって生きるやり方、そして文明を創り出す方法についても教えていきました。

彼らの肉体と知能は、他の星の種族たちの遺伝子がさらに加えられることで予想以上に早いスピードで進化をしていきました。ただ地球意識の種族には、高次の意識が入っているわけではありませんので、その当時の彼らから何か飛躍的な発明が生まれたり、文明が急速に進化したりするということはありませんでした。

また、種族を指導して成長させるというような任務を果たすようなこともありませんでした。

それはあくまでも地球人の体を自分の意識の入れ物として使っている高い意識を持つ者たちが行ってきたのです。

そして彼らによって、地球の種族たちは長い時間をかけて育てられていきました。

地球意識の種族たちが進化することによって彼らの肉体も大きな変化が起こりました。

前は足だけでなく両手について歩いていた者たちが、しっかりと2本足で立ち、その手は文字を書いたりあるいは道具を使ったりすることができるようになりましたし、論理的な思考をもついて行動することもできるようになったのです。

そうすることによって多くの星の種族の意識や初めから肉体を持たない意識体がこの地球人の肉体の中に入ることができるようになってきました。

この地球は天の川銀河の幾つかの種族を統合して「統合の種族」を創るという目的が有りましたので、幾つもの種族たちの意識が地球の種族に入るためには、ある程度の能力やある程度の体の使いかたができる必要が有りました。

そのために私たちは最初にそのような肉体を持つことができる種族を創り上げ、そして私たちがその肉体に入って地球の意識を持つ種族を指導することで宇宙から来る種族たちの意識が地球種族の肉体に入れるような状態にしていったのです。

そしてさらに時間がたち、幾つかの星の種族の意識体たちがこの地球種族の肉体の中に入れるようになりました。

かつてアンドロメダから多くの者たちが戦争のために避難して地球人の肉体の中に入ったこともあります。

そのようなこともこの天の川銀河では起こり得ましたので、地球人の種族の数をできうる限り増やしていかなければならなかつたのです。

地球人は自分たちの生殖活動によってその数をどんどん増やしていましたので、さらに多くの意識体が地球にやってくることができるようになったのです。

主に私たちアディテーイヤ神群の者たちはその時点まで、この地球を責任を持って指導する立場にありました。

PART3 太陽種族の教えと規範

それから私たちに代わってリラ種族の者たちがこの地球に入り、この地球の地底世界というものをしっかりと構築し、そこから地

球の人々を指導していくというようなシステムに変わりました。それまで私たちはこの地球でたくさんのこととを地球人に教えたために、地球人の記憶の中に私たちの教えがしっかりと残っています。

また叡智有る者たちが私たちの活動を記録として残していくために、地球の中でも最も古い文献とされるリグヴェーダなどに私たちの活動の記憶が残されていますが、私たちはあえてそのような記録が残るように彼らにインスピレーションを与えてきました。

それは私たちが語ったこと、私たちが行ったことが、地球人にとってとても大切な模範となるような事柄だったからです。

つまり地球に生きる者が他の者たちの命を奪ったり、自然環境を壊したりするようなことをしてしまったら、私たちの努力は水の泡ですので地球人を戒めるために幾つかのことをお教えました。

太陽を敬うこと、大地を敬うこと、仲間たちを大切にすること、そしてそのようなことができない者たちや同じ地球人に対して

良くない行為をする者たちに対しては罰を与えることをお教えました。

そしてそれは「神々が悪いことをした人たちに対して処罰を与える」というような考え方を植え付けていったのです。

もちろん私たちが地球人に対して直接罰を与えることするようなことはありません。

しかしながら自然環境を傷つけた者たちに対しては、自然環境を傷つけることによってバランスを壊した自然界が何らかの災害を起こすことはございました。

これは地球意識もあえてそのようなことを起こして地球人がやって良いこと、やってはいけないことを教えていたのです。

そのようなことを私たちは地球人に教えそして記録に残した後、この地球を去ることにいたしました。

そしてリラの種族やこの地球にやってきた種族たちに、私たちは重要な遺伝子を与えたり、能力を活性したりしながら、彼らにこの地球を引き継いでもらつたのです。

そしてその後のことはすでに皆さまも御存じであるかと思います。

地球には幾つもの地球外種族が降りてきましたが、やはり理想的な種族の統合というものはなかなかできませんでした。

最初は良心的で誠実な種族たちがこの地球に入り、その遺伝子を使用することで地球人たちも進化していったのですが、やがてディセンションをした種族の者たちもこの地球に入り、この地球は多くの争いを生む場所となりました。

私たちは何度かこの地球に入り警告を発してきたのですが、地球の争いが多い状態というのはそれなりに利用価値があると言

うことを考えた宇宙意識によって、その状況というものは毎回
様変わりしながら今まで続いているのです。

しかしながら地球意識が今回意識体としてアセンションを行うと
決めておりますので、私たち太陽意識そしてアディテーイヤ神群
たちはこの地球のアセンションをサポートするために今動いてお
ります。

実は地球は幾つものパラレルワールドを持っております。

それは地球だけの力で行えるわけではないのです。

地球がそのような世界を作ることに関しては太陽の意識そして
太陽系の意識が協力しないとできないのです。

そして我々は今地球の意識をサポートするために、再び太陽種
族の意識というものをこの地球に送り始めているのです。

今回私たちが行う働きというのは、主に地球人の意識進化と肉
体の進化のサポートになっています。

この地球がアセンションをすることになれば、今の地球人の肉体
や意識も大きく変化をしていく必要が有ります。

それは今までブルースカイさんから、地球に対するフォトンベル
トの影響やこれからアセンションをしていく時の皆さまの進化の
様子をすでに聞かれているかと思いますが、そのようなことを
具体的にサポートするのが私たちの役目です。

しかしながら今回は、私たちが皆さまの肉体を使ってこの地球
に降りることは致しません。

私たちが存在する次元はその当時からはるかに高くなっていますので、私たちが物理的な肉体を身に付けることは大変困難
なことになっております。

そのために宇宙連合の方々が協力してくださって、私たちの意
識を皆さまへと繋ぎ、私たちの言葉を伝えるお手伝いをしてお
ります。

私たちはこれから意識体として皆さまを見守りながら、アセンシ
ョンをする地球にふさわしい肉体へと皆さまを進化させていく
役目を持っているのです。

皆さまが現在の肉体で生きている間にアセンションをしていく
のは少し難しいかもしれません。

もちろんそのような方もいらっしゃるかと思いますが、そのよう
な方はあらかじめ進化した肉体というものを持って生まれてい
らっしゃいます。

そしてそのような肉体を守るために非常にストイックな生活をさ
れてきております。

ただ多くの方々が一旦この物理世界で肉体を脱ぎ捨てて、つまり
皆さまの言葉で言うと死を体験して、新しく生まれ変わると
にアセンションをした地球に生まれ変わるのでないかと思わ
れます。

そしてアセンションをした地球で利用できるような肉体を皆さまの意識体が身に付けることになるのではないかと私たちは考えております。

あるいは、ゆっくりとしたペースで皆さま方の肉体を少しづつ進化させていくという方法も有ります。

それは皆さまの意識体が選択することになるかと思いますが、私たちはアセンションをする地球にふさわしい肉体がどのようなものであるかということも理解しておりますので、皆さまが生まれ変わる時に、その新しい肉体を身に付けて頂くことができるのではないかと考えております。

そして私たちは、今このように皆さまと語っているように、アセンションをした世界においても皆さまがどのようにしたら地球の意識と共に鳴しながら生きていくことができるのか、ということを皆さまにお教えしていきたいと考えております。

そして新しいアセンションをした地球での生き方、考え方など皆さまが実践していくようにサポートしたいと考えております。

私たち太陽種族の者たちがこの地球がアセンションすることに関して、とても重要な役目を担っております。

そのために私たちは再びこの地球にやってきたのです。

これからアセンションする世界で生きる皆さま方とはまた何度もお会いすることになるかと思いますのでよろしくお願いいいたします。

第5章

地球種族の誕生5

太陽系の惑星に栄えた

古代文明

2024年4月25日

第5章目次

PART1 宇宙図書館をもつ水星

PART2 古代にドーム都市を持っていた金星

PART3 戦争によって滅びた古代文明の星、木星

PART4 衛星間の戦争によって破滅した土星

PART1 宇宙図書館をもつ水星

太陽系の他の惑星のことについてこれから皆さまにお話しておきたいと思います。

地球以外の他の惑星も完全に自然のままの惑星というわけではありません。

地球ほどではないのですが、他の惑星もそれぞれの目的に合わせて人工的な要素が加えられています。

私たちは他の種族と協力して、その星の働きに応じて星々を進化させてきました。

太陽に一番近い水星、ここは宇宙にとってはとても重要な叡智

を保管する図書館のようなものが有ります。

それは他の宇宙種族は簡単に太陽には入ることができませんので、太陽系に関わる様々な情報や太陽系に関わってきた星々の種族の情報そして様々な宇宙の情報がここに保管されておりますので、これから太陽系の惑星に関わろうと考えている種族たちは、まずこの水星に入ることになっております。

勿論物理的な水星ことではありませんが、そのスピリチュアルなレベルにおいてここは太陽系の図書館のような役目をしているのです。

そして水星にあるこの太陽系の図書館には皆さまの言葉で言うと会議室のようなものが有ります、

この太陽系の惑星に関する様々な統治を行っている存在たちもここにあります。

また私たちの一部もこの水星において太陽系の惑星に関する様々な問題を他の種族の者たちと話しそして協力し合いながら解決することを行っております。

ここは太陽系の図書館並びに皆さまの言葉で言うと役所あるいは議会というようなものが置かれている場所です。

やがて皆さまはアセンションをして意識体になりましたらこの水星の図書館や議会に入ることができるかと思います。

ここは肉体を持ったまま入れる場所ではありません。

これから皆さまが進化した後に入れる場所になるかと思います。

PART2 古代にドーム都市を持っていた

金星

そして次に金星なのですが、実はこの星にはかつて皆さまと同じように叡智を持つ種族たちが生きておりました。

もう何万年も前のことですが、ここには金星人と呼ばれるような種族がこの物理世界に存在しておりました。

かつて彼らはディセンションとアセンションを行ってアセンションをした者たちはこの金星のスピリチュアルなレベルに存在しております。

ディセンションをした種族は残念ながらもうこの世界には生きておりません。

滅びてしまったと聞いておりますが、金星のディセンションをした種族は他の種族に移り変わっている者たちもありますし、また他の星へと移っていった者たちもいるかと思います。

かつてこの金星は太陽系に入ろうとする物質的な肉体を持っている存在たちが、まず最初に訪れる星でした。

皆さまの言葉で言うと宇宙基地、多くの宇宙船や瞬間移動を行えるようなスターゲートそういうものが設置されていたのがこの金星だったのです。

この金星は古代に物理世界を持っており、今の地球のように完全にオープンではないのですが、大きなドームに覆われた都市を持っていました。

金星は地球に比べると大気が非常に不安定で風も強く地上で生きることは不可能でしたので、大きなドームを作つてドームの中に都市が有る、もしくは金星の地底の中に都市が有るというような状況でした。

そしてそこに金星人と呼ばれるような者たちがたくさん存在していました。

一部の者たちが金星の地下にはまだ存在しておりますが、今は地上に有るドーム都市は全て無くなっています。

実を言いますと、この金星に叡智を持つ種族が住んでいる文明が地上に残っているならば、地球からはその種族や文明の姿を知ることができますので、地球人の教育にとって少々問題が起ることになります。

地球の人たちに「金星の種族が存在している」ことを隠すために、金星は地表に有る都市を全て撤去しております。

地球がまだ他の星の状況を知る以前は、この金星には都市が存在しており、そしてそこから地球に多くの種族たちが入ってきたという歴史もあります。

かつてこの金星には他の星座や他の星々から多くの種族たちが入ってきました。

特にアンドロメダ座、シリウス、プレアデスといった星の種族の者たちが直接地球に入るのではなく、この金星に入り「地球でどのようなことを行うのか」ことを話し合い、そして地球に入ることができるような肉体や意識状態に変わってから地球に入ることをしていました。

地球に入るための待機や準備を行うための星といつても良いかもしれません。

かつてはこの金星の方が地球よりも遥かに進んだ文明を持っておりました。

また私たち太陽種族の者たちも金星の中にしばらく暮らしていました。

金星の種族の中でアセンションをした者たちは、我々太陽種族と同じように太陽系を守るだけではなく天の川銀河の平和を守る

ために働いております。

この金星はアンドロメダ座のアセンションをした者たちととても関係が深いのでこの金星を通ってイエス・キリストが入ってきたりしてきました。

そのために一部ではイエス・キリストは金星人であると言われていますが、それはキリストという存在がアンドロメダ座から金星を通って地球に入ってきたためにそのように言われています。今でも金星のアセンションをした人々は、地球に対して多くの貢献をしております。

地球人が成長し愛に満ちあふれていくことを、彼らはサポートしているのです。

この太陽系の中では愛について最も深い叡智を持っている者たちが金星のアセンションをした者たちなのです。

彼らはもう完全な物質的な肉体を持つことはできませんが、中には半物質体の者たちもおりますし、意識として地球人の中に転生してくる者たちもおりますので、もしかしたら皆さまの周りに金星人がいらっしゃるかもしれません。

彼らはとても愛が深い存在です。

PART3 戦争によって滅びた古代文明

の星、木星

そして次に木星についてお話ししましょう。

木星はとても大きな星です。

中心には物理レベルにおいては大きなコア、岩石の塊が有るのですが、その周りを多くのガスに取り囲まれてこの木星の内部を見ることはなかなかできません。

実はこの木星はとても古い時代に古代文明というものが存在していました。

金星よりも後になるのですが、一時期この木星の中にはとても成長した種族たちが幾種族か存在しておりました。

私たちも当然その種族たちが成長する過程を見守っていたのですが、この種族の者たちはディセンションをした他の種族たちの影響を受けて非常に困難な状況を迎ってしまったのです。

私たちは木星のアセンションとディセンションを行うことを見定

めました。

愛に基づいて進化していった木星の人たちもいたのですが、多くの者たちが物質的な世界に囚われてしまい、やがてお互いが争いあって戦争を起こし、お互いを滅ぼしてしまったのです。

木星のアセンションをした人々はそれほど多くはありませんが、今でもスピリチュアルレベルに存在しております。

しかしながらこの星が受けた影響はとても大きく、そこで行われた戦いの歴史が非常に陰惨なものがありましたので、この木星に他の者たちが入らないように、地球の言葉で言いますと「封印」されてしまったのです。

私たちの言葉で言うと「カットダウン」と呼ぶのですが、その星の人たちが他の星の人たちと関わらないように次元を切り開いて、その下の次元に落とします。

いうならば次元を変えてその星を封鎖するのです。

つまり物理世界に残っている悲惨なエネルギーとスピリチュアルレベルに残っている多くのエネルギーを封印して、他の星々に影響を与えないようにしていると言っても良いかもしれません。

そのために木星は大量のガスに覆われて、その中が分からないようになっているのです。

この木星はとても大きなエネルギー一体として今でも存在しておりますので、時々この木星から送られてくるネガティブなエネルギーの影響を太陽系の星々は受けます。

太陽のエネルギーによって、この木星のエネルギーはある程度打ち消されてしまっているのですが、時々木星のエネルギーの影響を受けて地球の人々も精神的に混乱したり、欲望が高まったりして戦争を起こすこともあります。

地球で起こった第1次世界大戦、第2次世界大戦、そのような戦争はこの木星がネガティブなエネルギーをたくさん放っていたために地球で多くの人々が混乱してしまい、戦いや争いの中に巻き込まれていったのです。

私たちはこの木星のエネルギーをしっかりと封印し、他の星々へと影響が出ないようにしております。

また火星は木星の影響がある時期とてもたくさん受けてしまい、ここに育っていた種族たちが非常に混乱してこの種族たちの精神的な進化というものが邪魔されてしまいましたので、それからこの火星においては叡智有る存在たちの進化というものが行えないようになっておりました。

今は木星のエネルギーを浄化したり、調整したりするための場所としてこの火星は使われております。

この火星はある程度人工的な操作を加えられて、木星のエネルギーを管理するための場所にされておりますので、この火星に関しては皆さまも詮索されないようにしてください。

PART4 衛星間の戦争によって破滅した土星

土星も木星と同じように非常に大変な歴史を抱えております。この土星のことについては、私たちも詳しい話を皆さまにするわけにはいかないのですが、土星の環というものはもともとあったひとつの衛星が爆発して土星の環になっております。

ある程度大きな衛星だったのですが、実はそれが戦争によって爆破されてしまったのです。

そこに住んでいた種族の者たちと他の衛星に住んでいた種族の者たちが戦闘的な種族だったものですから、とても大きな争いを行ってしまい、地球で言う核爆発のようなものをこの星で起こしてしまったのです。

そのために星が粉々に砕け、それが今土星の環のようになっているのです。

皆さんから見るととても美しい環のように見えるかもしれません、それはこの核爆発を起こした衛星が幾つもの元素や物質に分かれてそれが土星の引力によって引っ張られているために、それぞれがこの帯状の環となりました。

皆さんにはきれいな土星の環に見えるのですが、私たちにすればこれはとても悲しい歴史の象徴ということになるかもしれません。

そのために土星の種族の者たちはそれほど多く生き残っているわけではありませんが、今スピリチュアルの状態において彼らは少数ですが存在しております。

彼らは今他の星に関わることはあまりしておりません。

それは私たちもそのようなことが無いように彼らを戒めておりますし、そのような状態になっているからです。

ただこの土星の者たちはとても高い技術力を持っておりました。

土星は皆さんが住んでいる地球に比べるととても寒い星だったので、自分たちの技術を使って人工的な太陽を生み出して、彼らは暮らしていました。

そして、土星の中でさらに技術的に進歩していったのです。

それでは今皆さんに簡単に太陽系の惑星についてお話をいたしました。

皆さんは太陽系の惑星に関して、全ての惑星を人々が存在していない、生命体がない星だと思っていらっしゃるかもしれません、過去の古い時代においてはそれぞれの星に多くの種族が生きており、そして歴史というものがあったということを知って

おいてください。

中でも水星の役割と金星の役割は今の地球においてもとても重要な働きをしておりますので、皆さまがアセンションをした後、水星のスピリチュアル世界、金星のスピリチュアル世界を訪ねることができるのではないかと思います。

最後にこの地球が皆さまにとって本当に素晴らしいアセンションをする地球を生み出そうとしております。

そしてそのことを実現するために必要なのは実は地球人の意識なのです。

地球の皆さまがこの地球の意識と同調し、そして地球がアセンションをする状態に自分自身を持っていくことができるならば、このアセンションは成功します。

しかしながら地球に生きる人たちが、地球に対する愛を失くし、地球の意識と同調することができなければ、地球がアセンションをしたいと願ったとしてもアセンションすることはできないのです。

そのために私たち太陽種族はこの地球を愛する者たち、この地球を大切に思う者たちを通してそのエネルギーをこの地球に送っているのです。

では私の話はここまでとして皆さまに太陽種族からのエネルギーをお送りしたいと思います。

このエネルギーは皆さまの意識がより地球へと近づくように、そして地球の意識とひとつになることによって皆さまの意識が宇宙意識に変わっていくようにするための光です。

では皆さまは目を閉じられてください。

そして皆さまの手をハートに当てられ地球を感じてください。

皆さまの手をハートにおいて地球を感じ、そして皆さまのサードアイのところに太陽を感じてください。

太陽のエネルギーが皆さまのサードアイやクラウンチャクラから皆さまに入ってくると考えられ、そしてそのエネルギーが皆さまの両手を通してこの地球に送られていると考えられてください。皆さまのハートにある地球の意識に対して太陽のエネルギーを送っていきたいと考えております。

では皆さまとお会いできる日を私たちは楽しみにしております。

第6章

地球種族の誕生6

金星人と地球種族

2024年4月13日

第6章目次

- PART1 地球に降りたイエス・キリストと金星の人々
- PART2 地球人種族を育てたサナート・クマラ
- PART3 愛の遺伝子をもつ地球人
- PART4 高次のパラレルワールドの多くが金星人
- PART5 金星人と地球人の遺伝子とライトコード
- PART6 自分の意識を魂の意識と繋げる

PART1 地球に降りたイエス・キリストと

金星の人々

皆さまはじめまして、私はもともと金星の中で生存していた種族の者です。

今金星は物理世界には文明というものを持っておりませんが、私たちはスピリチュアルなレベルにおいて存在しております。

私たち金星人の種族は、この太陽系と天の川銀河を平和な星々にするために活動しております。

かつて我々はイエス・キリストとともに皆さまの地球へ降り立つ

たこともあります。

皆さまがよく知つていらっしゃるイエス・キリストは、この金星を経由してアンドロメダ座からやってこられた方です。

そしてそれよりも以前、皆さまが「サナート・クマラ」として知つてゐる存在もアンドロメダ座からこの金星を経由して地球に降り立ちました。

今日はそのような「金星と地球の関り」について話をしたいと思ひます。

私たち金星の者と金星を経由して地球に入られたアンドロメダ座の人々のお話です。

私たちはアンドロメダ座の星々の方たちからとても多くのことを学びました。

私たちは地球がまだ文明を持たない頃にとても豊かな文明を持っておりました。

その頃の金星はまだ今よりも穏やかな星でしたので、私たちは金星の地上に大きなドームを作つて、安定した大気を生み出しその内で暮らしていました。

また金星の地底にも地下都市を造りとても安定した気象状況の中で暮らしていました。

我々は元々アンドロメダ銀河や太陽種族の者たちによって生み出された種族です。

私たちは物理世界で愛を持って生きることで、この物理的な世界により高次の愛を実現するという目的のために生み出されました。

そしてアンドロメダ座の人たちまたアンドロメダ銀河の方たちからご指導を受けて成長していったのです。

そしてそのような私たちの進化に合わせて地球の皆さまが「イエス・キリスト」と呼ばれるような存在やその存在と同じような立場にいる存在たちが私たちの金星にやってきて、金星の種族の者たちを更に次元の高い愛へと導いていったのです。

そしてその1人がイエス・キリストとして皆さま方の地球にも降り立ちました。

この頃はもう私たちは地上での文明を少しずつ縮小して、地底の文明へと移り変わつておりましたし、私たちもアセンションをして肉体を持つ存在から肉体を持たない存在へと少しずつ移り変わつてきました。

そのような状況の中で私たちとアンドロメダ座の者たちが今の地球はとても争いが多く、地球人が目覚めていくにはかなり厳しい状況にあると判断しまして、イエス・キリストと呼ばれる存在と私たち金星人が地上に降りたつたのです。

イエス・キリストを生み出したマリアという存在もアンドロメダ座から私たちの星を経由して地球に降りられた存在ですのでイエ

ス・キリストだけでなく聖母マリア、そしてイエス・キリストが愛したマグダラのマリアもアンドロメダ座から来られた存在です。そしてイエス・キリストの弟子の中には我々の意識を地球人の肉体に投影して降り立った者たちもおりました。

聖書の中では最後はイエス・キリストが1人となり他の弟子は裏切ったように描かれておりますが、実際はそうではありません。イエス・キリストに従った弟子の者たちは最後までイエス・キリストを信頼し、イエス・キリストの奇跡を起こすために準備を行っていたのです。

私たちはイエス・キリストを通して多くの人たちを敬い、その者たちの心そして意識を愛に向けたいと願っておりました。

イエス・キリストが生きていた時代はそのことも非常に大きな成果を上げました。

最初はイエス・キリストに対してとても懐疑的でイエス・キリストのことを信頼しなかった者たちも少しずつイエス・キリストの人間性に惹かれ、イエス・キリストが話す言葉に耳を傾けました。

そしてイエス・キリストとその弟子達によって作られた新しいコミュニティや交流をするための場所に多くの人たちが出向き、そしてとても高い意識になるために成長していったのです。

イエス・キリストが様々な場所を旅して多くの人たちと交流したという逸話が残っておりますが、それだけではなく彼らはとても大きなコミュニティを作り、そこに多くの人たちを受入れて食べ物なども与え、イエスの教えを学ばせていたのです。

まるで学校のように、イエス・キリストの教えをその弟子たちが学び、そしてそれを多くの人々たちに教えるというようなことを行っていました。

そしてその学びは人間に関する真理、宇宙に関する叡智だけでなく、農作物の作り方や道具の使い方、人間の生活の進歩に関わるような事柄も教えていったのです。

そしてそのようなコミュニティに危機感を持ったその当時の権力者たちが、イエス・キリストを捕らえて、まるで彼が悪者であるかのようなことを言いふらして無理やり処刑してしまったのです。彼らがつくったコミュニティは一旦地上から姿を消しましたが、ただ皆さまの目に見えないところで実は継続しているのです。

皆さまが知ることもないような場所で、そして時の権力者から知られることのないような形でそのコミュニティは今も継続しております。

そしてそのコミュニティと我々金星の種族は常に交流を持ち、我々の仲間たちもそのコミュニティに入り、そしてそのコミュニティで生活している者たちと交流しているのです。

皆さまは地底世界のことを深く学ばれました。

特にリラの種族からシャンバラの種族そして幾つかの種族の者たちが中心となって地底世界を創り、この地球の運営を行って

いるということを学ばれましたが、私たちは地底世界の者たちとは少し異なる立場でこの地球の中に長く存在して来たのです。そして我々はそこから地球の愛と平和を願い、祈り続けてきました。

ここは金星の種族だけでなく、他の宇宙種族の者たちにも深い交流の場となっております。

この地球でこれからどのような活動をするのか、あるいはどのような星の人たちをこの地球に呼び寄せ、この地球の人たちと関わらせるのか、というようなことを宇宙連合の人たちと協力しながら、この地球の現実世界の場所でそのようなことを計画して來たのです。

私たちはそのような場に今も存在して、ある意味皆さまの身近な場所で、皆さまのことを見守っているのです。

残念ながらこの場所に皆さまをご招待するわけにはいかないのですが、今日はそのような場所に居る者たちから皆さまに対して愛の光を送りたいと思います。

PART2 地球人種族を育てたサナート・

クマラ

またもうひとつお話しなければならないのはサナート・クマラという存在です。

このサナート・クマラは地球に降りたとても古い神様であるというようなことが伝説の中で残されています。

実際にこのような存在がいたのか、どうなのか、ということに関しては歴史の中の秘密となっておりますが、ただサナート・クマラの存在を信頼し、そしてサナート・クマラに祈りを捧げることを行うグループというのも世界中に残されております。

このサナート・クマラについて私たちが分かることを少しお伝えいたします。

このサナート・クマラはイエス・キリストよりも遥かな昔に地球に降りてきた存在です。

彼もアンドロメダ座から金星を経由して、この地球に降りてまいりました。

私たち金星の種族はその頃はまだアセンションを深く経験して

おらず、まだまだ未熟な種族でしたが、サナート・クマラに同行してこの地球に降りてまいりました。

サナート・クマラの目的は、まだ地球では文明を起こすような種族や進化した種族たちがおりませんでしたので、この地球の種族を進化させるということが彼らのひとつの目的でした。

サナート・クマラというのは1人の存在ではなく1つのグループであったというふうに考えられて結構です。

アンドロメダ座からやってこられたサナート・クマラのグループとこの金星からも10数名の者たちが宇宙船を使って地球に降り立ったのです。

サナート・クマラの方たちはまだ肉体を持っておりました。

そしてとても高い能力や科学技術を持っておりましたので、この地球の種族たちに対して技術の進化を与える、あるいは肉体の進化を与えるということを目的として降り立ったのです。

彼らが降り立った場所は、日本では日本のある一部の場所という風になっております。

しかしながら彼らは地球の各地で活躍しておりますので、名前こそは違えども、それぞれの神話というものが残されております。

日本ではその当時ホワイト・レプティリアンと呼ばれる種族の方々が、やがて日本と呼ばれる場所で、どのような種族を作っていくのか、その種族をどのように進化させていくのか、という模索を行っていたところです。

サナート・クマラのグループはそのことをサポートするために地球に降り立った、と言ってもよいでしょう。

特に日本と呼ばれる場所に新しい種族が生まれる時に、その種族の具体的な肉体の進化、あるいは精神的な進化を起こすために、金星を通してアンドロメダの人たちがサポートに入ったということなのです。

私たち金星の者たちは、地球人にとっても近い遺伝子を持っております。

この同じ太陽系で生まれた種族ですので、まだ原始的な肉体や意識のままである地球人に対して、金星人の遺伝子を使用することで、原始的な肉体と意識のままである地球人を加速度的に進化させることができると考えたようです。

この同じ太陽系で生まれた種族ですのでとても近い遺伝子構造を持っていると言っても過言ではないでしょう。

そのような遺伝子がその当時地球において原始的な種族であった者たちにとってとても大きな進化のための重要な遺伝子やきっかけとなって働くことになったわけです。

そして金星人の遺伝子を使って進化した地球人の種族の者たちにアンドロメダ座の種族たちの遺伝子も使用したようです。

金星人は、自分たちが進化するときにアンドロメダ座の種族の遺伝子を使用しておりましたので、地球人がアンドロメダ座の種

族の遺伝子を受入れることも可能となったようです。

そしてそのようにして育てられた種族に対して、サナート・クマラのグループは幾つかの指導を行ったようです。

彼らは基本的にはとても深い愛を持っていましたので、その愛が実現できるように、地球に生まれた種族の人たちに対して幾つかの方法で導いていきました。

そして進化のためのコミュニティを創り、意識進化を進めていったのです。

イエス・キリストが作られたコミュニティとサナート・クマラがその当時作ったひとつのコミュニティも全く関係がないということではありません。

これはとてもとても長い時間の経過はありますが、サナート・クマラたちがこの当時与えた遺伝子によって創り出された種族たちの子孫たちが、イエス・キリストが地球に降り立った時に、そのエネルギーに引き寄せられて集まり、コミュニティに参加したり、イエスの言葉を伝えるお手伝いをしたということでもあるようです。

ただそれはとても長い時間の間隔があるので、今はっきりと皆さまにいえることではありませんが、このサナート・クマラが生み出した種族たちはとても高い精神性ととても高い愛を持って生きていた存在たちなのです。

ですからその子孫がイエス・キリストがこの地球に降りられた時に、すぐにイエス・キリストの思想に共鳴して彼の元に集ってきたといつても良いかもしれません。

それはサナート・クマラやイエス・キリストを初めとしたアンドロメダ座の者たちや金星の者たちの愛の祈りが広がりつながっていたということであると私たちは考えております。

そして今この時代に生きる皆さまも、アンドロメダ座の種族や金星人から地球人に渡された遺伝子や肉体的な資質というものを受け継いでいらっしゃる方々もいらっしゃるのです。

PART3 愛の遺伝子をもつ地球人

皆さまのように愛について学び、愛についてしっかりと目覚めた意識を持って地球のために働くという人たち、地球のために愛を送りたいと考えている人たちは、さかのぼって言う

ならばこの金星の種族の者たちが生み出した愛の遺伝子を持っている地球種族の1人ということになるかもしれません。

私たちはこの日本人の方々が我々と同じように愛に目覚めてくれるように、そのような祈りのもとに、我々の仲間をこの地球に送り込みそして常に見守ってきたのです。

私たちは決して大きなグループではありません。

シリウスやアンドロメダ座、プレアデスのように華やかな星々の者たちではありませんが、地球のすぐ近くに存在する者として皆さまのことを兄弟のように考えておりますし、同じ兄弟のように愛しているのです。

私たちは地球の皆さまに対してこのような話ができるのを長い間待っていたのです。

私たちの親しき兄弟である地球の人々に、私たちは大きな愛を送りたいと考えていたからです。

ただ私たちと地球の人々たちの間にはとても大きな次元の差があります。

私たちは皆さまと異なり3回のアセンションを行っておりますので、もう既に肉体を持っておりません。

皆さまからするならば8次元、9次元というような場所にあります。

そのために物理世界に生きていらっしゃる地球人の方たちと直接話をするということができませんが、今皆さまがコズミックツインライトを受け取り、皆さまの中に宇宙の愛の世界とつながる要素ができたことによって、私たちは皆さまと深くつながることができるようにになったのです。

私たちの隣人であり兄弟である地球の皆さまに、私たちから深い愛を送ります。

そして、皆さまと共に、地球に生きる多くの存在たちに対して愛の祈りを捧げていきたいと思います。

これから私たちの意識と皆さまの意識をつなげていきましょう。皆さまが「宇宙の根源の愛」と深くつながって下さったことで、私たちと皆さまとの間に次元の障害あるいは大きな次元の壁というものが無くなってきておりますので、私たちは皆さまと深く関わることができるようになっているのです。

私たちは肉体を持っておりませんが、美しく輝く光のような存在、あるいはぼうっと浮かぶ湯気のような存在を想像してください。あるいはもしあなたがイエス・キリストという存在をお好きであるならば透明に輝くイエス・キリストの姿を想像してもらって結構です。

イエス・キリストはとても愛に満ちあふれた存在ですので、本来のイエス・キリストはとても美しい光り輝く姿を持っているのですが、地球で見られるイエス・キリストは十字架に磔にされたとても苦しそうな表情の姿をしています。

これは私たちの愛が物理世界では封じ込められている、この愛が実現されることなく、このような苦しみの状態に置かれているということを象徴しているのです。

十字架に釘で打ち付けられたイエス・キリストの姿を想像されることによって、皆さまの中の愛が封印され、その愛が広がらないように呪文のような物をかけられているのです。

そのために決して十字架の上で苦悶に満ちた姿をしているイエス・キリストの姿を思い浮かべないでください。

これはイエス・キリストに勝利した地球外種族の策略なのです。

そうやって金星から来る者たち、アンドロメダ座からくるものたちを犠牲にして、このように傷つけることができるんだというような脅しに満ちたやり方なのです。

そしてそのようなやり方をとおしてまた多くの人々を自分たちの支配下に彼らは導いていったのです。

私たちは決してこのイエス・キリストの姿を思い起こすことはしません。

両手を開いて穏やかな表情をしているイエス・キリストが本来の姿です。

もしイエス・キリストを想像されるのであれば、このような姿で想像されてください。

PART4 高次のパラレルワールドの多く

が金星人

私たちが皆さまと関わるということは、皆さまがアセンションをして進化していくうえではとても重要なことです。

しかしながら現在この地球を統治している者たちにとっては非常に具合の悪い話となります。

なぜなら私たちは皆さまがアセンションをしていく上では、とても重要な存在となるからです。

それは私たちがかつて地球に降り立ち、地球の人たちが肉体的にも精神的にも進化していくために遺伝子を提供しているからです。

私たちの遺伝子と皆さまの遺伝子はとても強く共鳴し合っています。

私たちは皆さまよりも早くアセンションを行い、そして今は肉体を持たない存在となっておりますので、私たちが皆さまに関わるということは、皆さまの遺伝子がさらに進化して、より高次の肉体に変容したり、肉体を持つ存在から肉体を持たない存在へと進化していくことを助けることになるからです。

もちろんこの地球には肉体を持ったままこれからも存在したいという方たちもたくさんいます。

それはそのような人々を生み出した魂が、この地球で物理世界を体験するということを望んでいるからです。

しかしながら皆さまを生み出した魂の中には、現在の3次元的な物理世界を卒業してより高次の物理世界、つまりアセンションをした物理世界を体験したい、そしてさらには肉体を持つ存在から肉体を持たない存在へと進化していく過程を体験したいと考えている魂たちもたくさんいるのです。

それは皆さまが考えているよりも多くの魂たちが、この地球上に肉体を降ろした理由でもあるからです。

多くの魂たちが地球人の中に肉体を下ろしそして意識進化と肉体の進化を体験することを楽しみにしています。

私たちはそのことをサポートするという役目を担っていたのですが、なかなか皆さまの波動と私たちの波動が合わずに皆さまと関わることができなかつたのです。

ようやく皆さまと深く関わることが出来て私たちはとても嬉しく思います。

そして私たちが関わった皆さまを通して、愛の光というものを地球上に広げていきます。

そのために皆さまのお力を借りすることになるかと思いますが、どうかよろしくお願ひいたします。

私たちが地球人に関わることができなかつた理由というものが他にも有ります。

それは皆さまとの波長が異なっていたということだけでなく、私たちが地球人に関わることをやはり地球を統治する者たちが嫌っていたために、私たちの金星種族に対して徹底的に防御が行われたのです。

やがて皆さまがアセンションをして4次元世界、5次元世界を見ることができるようになるとよくお分かりになるかと思います。地球上には皆さまの言葉でパラレルワールドというものが有ります。

そのパラレルワールドはランダムに存在しているのではなく、ある程度次元ごとにまとまって存在しています。

幾つかの共通した次元の中にある地球、そしてそれと接することができない幾つかの地球のグループ、またさらにその上位にある幾つかの地球のグループというような形です。

そしてそのグループとグループの間にはあえて大きな壁と申し

ますか、それぞれの地球が接しないようにしきりを作っている場合もたくさんあるのです。

ただ特別の場合、高次元存在によって皆さまの意識が誘導され、他のパラレルワールドを体験したり、あるいはより高次の地球から皆さまのパラレルワールドの存在が皆さまの世界に入り交流することができる場合もあります。

今宇宙の光で行われているのはまさにそのような試みなのです。地球に生きる全ての人たちが他のパラレルワールドの存在と交流できるわけではありません。

しかしながら高次元存在の力を借りて皆さまはより高次のパラレルワールドの存在と交流することができております。

これはこの地球がアセンションするために新しく生み出された方法です。

それは私たち高次の宇宙種族の存在だけではなく、皆さまの魂が創り上げた皆さまの兄弟とも言えるパラレルワールドの仲間達によって、皆さま地球人たちのアセンションが進化していくのではないかと考えられたからです。

私たち金星の者たちはそのことにも深く関わっております。

地球人の特質を私たちはよく知っており、また地球人と同じ遺伝子を持っておりますので、肉体的、意識的に共鳴を起こすことができるのです。

皆さまのパラレルワールド、特に高次のパラレルワールドの存在は私たち金星の種族の者である場合がとても多いのです。

それはなぜかと言いますと、かつて皆さまたちの魂はこの地球上に皆さまの意識を降ろす前には、金星にその魂の意識を降していたことがあるからです。

そのために皆さまのパラレルワールドの中でも高次のパラレルワールドに存在する者たちは、この金星に存在していた者たちも結構いるのです。

そして今は金星人として肉体を失い、意識存在となっている者たちが皆さまのパラレルワールドの兄弟として存在していることが多いのです。

ですから先日皆さまが高次のパラレルワールドの存在たちをお呼びした時に、私たち金星種族の者たちがその場所に立つことがありました。

高次のパラレルワールドの存在というのは肉体を持った地球人としては存在しておりません。

かつてとても古い時代に魂が作った意識体ですので肉体を持っておらず、今の私たちのように意識体として存在しているのです。そして地球人の高次のパラレルワールドはまさに私たちである場合が多いので、皆さまのパラレルワールドである私たちをどうして今回もコンタクトをすることができました。

PART5 金星人と地球人の遺伝子とライトコード

実は皆さんには、肉体のレベルにおいても、スピリチュアル体のレベルにおいても、さまざまな星の種族の遺伝子やライトコードが組み込まれております。

私たちは一般的に遺伝子という言葉を皆さまの言語に当てはめて話をしておりますが、本来はすこしづつ異なる点が有ります。主に肉体に関わる遺伝子の場合には通常の「遺伝子」という言葉を使いますが、皆さまのスピリチュアル体や意識体、あるいは皆さまの能力、そういうものに関わる遺伝子は「ライトコード」と呼ばせていただいている場合が有ります。

私たち金星人の遺伝子はこの2つの遺伝子に大きな影響を与えております。

地球人がまだ人間になる前の類人猿や猿のような存在だった時に、そのような存在から二本足で立ち、両手を使って道具を作り、様々なことを行うために地球人は大きな進化をする必要が有りました。

その当時、我々金星人はまだ肉体を持っておりましたので、我々の肉体の遺伝子がこの地球人の進化のために使われたのです。

金星と地球は同じ太陽系で隣り合わせた星といつても良いかもしませんので金星の種族と地球人の種族にはとても近い遺伝子がありました。

そのために金星人の遺伝子はどの星の遺伝子よりもすぐれて地球人に大きな影響を与えることができたと私たちは考えております。

私たちがまだ金星に肉体を持って生きていたとき、私たちは今の地球人と同じような肉体を持っていたからです。

そして我々の肉体はすでに失われておりますので、地球人の肉体というのは我々にとっても非常に重要な意味を持っております。

それは我々金星人の遺伝子を宿した肉体だからです。

私たちは時々地球人の肉体の中に我々の意識を降ろすことをさせていただいております。

決して多い人数ではないのですが、時折少数の者たちが地球人の肉体に意識を降ろして地球人を愛へと誘うということを行っているのです。

イエス・キリストの周りにいた者たちの多くは、金星人の意識を地球人の肉体の中で維持しながらイエス・キリストを守り続けていたのです。

そして先ほどもお話しましたようなイエス・キリストがつくったコミュニティの中で、金星人の意識を地球人の肉体の中に降ろしていくことが継続的に行われていたのです。

そしてそのような者たちはコミュニティから地上に出て、地球人に愛を伝えるために活動しています。

我々は美しい愛を実現するために、この地球に降り立ったのです。

そのために私たちが語ること、行動することは愛に基づいております。

皆さま地球人が愛に目覚めるために活動しているからです。

今の地球人はとても多くの物質的な物に気持ちを奪われておりますので、自分自身の心を愛に向けるということがありません。このままでは地球人は決して良い方向に向かうことはできないでしょう。

我々金星人がもう既に肉体を失ったのは我々がアセンションしていったからです。

我々の意識が高まりとても自由な意識となって肉体を必要としなくなったために、我々は肉体を持たない存在になっていたのです。

地球人もやがては我々と同じように自分たちの肉体を持つ必要がないような高次の意識に移り変わらなければいけません。

これはある意味宇宙の法則なのです。

皆さまは肉体を持って今は生きています。

肉体を持つことによって多くの愛を体験し、またいくつもの異なる次元の存在と関わることができます。

それは肉体を持って皆さまがアセンションするために必要なことだからです。

肉体を持たない存在たちがアセンションすることは、この4次元の中では少しばかり難しい時もあります。

皆さまが肉体を持つことによって、いろんな次元に関わることでその異なる次元の者たちからサポートを受けることができるからです。

皆さまはこれから愛について学び、そしてこの宇宙の真理について学びます。

そしてアセンションをすることによって皆さまの意識はさらに自由を得るのでです。

3次元だけでなく4次元世界、5次元世界を体験できるということは本当に素晴らしいことです。

我々もかつてそのような体験をしてまいりました。

金星の中で3次元の物理世界を生きながら、霊的な存在たちがいる4次元世界、そして霊的な存在たちの中でも愛に満ちあふれて高い意識を持った存在たちがいる5次元世界、6次元世界

を体験してまいりました。

私たちはそのような世界の中で更に自分の意識を高め、自分の意識を自由にすることができたのです。

そして2回目、3回目のアセンションの時に我々は肉体を捨てて、更に自由になる選択をしたために、金星の中での文明というものは終焉を迎えたのです。

私たちはそれを喜びを持って迎えました。

そして今この地球の中で文明を築いている皆さまを、私たちと同じ道というわけではないのですが、この宇宙のルールに従つて肉体を持つ存在からやがて肉体を持たない存在、自由な意識を持った存在へと導いていくという役目を行わせていただいているのです。

次に愛の遺伝子とライトコードについて詳しくお話ししたいと思います。

遺伝子とライトコードの区別について先ほどもお話ししましたが、正式に言うと遺伝子というのは肉体に関わる遺伝子であり体の構造であるとか内臓や神経の働きに関係しているものです。

またその人の性格や性質これは脳神経の遺伝子ということになりますが、そのようなところまで含めて人間の物理的な肉体に関わる遺伝子というものが有ります。

これは皆さまが持ついらっしゃる肉体に関わる遺伝子であり、皆さまの本質である意識体が持つているものではありません。

またライトコードは皆さまの意識体や皆さまのスピリット体、チャクラ体などに関わりのある遺伝子となります。

このライトコードというものは、皆さまの意識体やチャクラ、スピリット体の働き、あるいは特質を形作る物といつても良いかもしれません。

例えば皆さまが瞑想して、高次の世界につながる、あるいはチャクラを開いて愛のエネルギーを広げる、これは皆さまの肉体の特質ではなく、皆さまのスピリット体や皆さまの意識体の特質になりますので、この部分がライトコードと呼ばれる部分なのです。人間の肉体に関わる遺伝子というものは、皆さまはその肉体を離れたときにその遺伝子の特性を持っていくということはできません。

しかし皆さまのライトコードは皆さまの意識体やスピリット体に関わるものですので、皆さまがこの肉体を離れたときも、皆さまの意識体がそれを持ち続けることができるのです。

そして新しい肉体に入ったときも、以前持っていた肉体の能力ではなく、皆さまの意識体が持っている能力が受け継がれていくことになりますので、この2つの遺伝子をしっかりと理解することによって、我々の愛の光がどのように働くのかということを理解することができるかと思います。

肉体に対する私たちの愛の光の働きについてお話をします。もし皆さまの体に柔軟性がなく、とても制限が多いものだとすれば、様々な形をとる愛をしっかりと受け取ることができません。愛をしっかりと受け取ることができないと、愛する人と深く関わることができない、子供たちを愛情深く育てることができないということにもなってきます。

また自分自身を愛し、自分の心と体を大切にすることのできないような状態にもなってきます。

肉体の愛の遺伝子が活性化することによって、この物理世界における他の人間との関わりや感情の働き、肉体を通して行われるエネルギーの交流、それらは物理世界の愛の働きといつても良いかもしれません、そのような愛の働きがスムーズに活性化していくことになります。

今の地球人たちの中には自分自身に対する愛や子供達に対する愛が少しばかり不足している方がいらっしゃいます。

自分自身を愛する代わりに自己否定をしたり、他人に嫌悪感を抱いたりするのは、愛が不足している方の特質でもあります。

また肉体に宿っている意識、これは皆さまの高次の意識体とは異なる部分が有るのですが、肉体を保持するための物理意識というふうに私たちは考えております。

そのような物理意識に対して肉体に作用する愛の遺伝子を活性化することで、肉体もより柔軟に愛を受け取ることができるようになりますので、肉体に伴っている意識も自分自身を愛し大切にすることになるのではないかと思います。

そしてまた高次の意識が持っている愛の意識や愛のエネルギーというものが皆さまの体を通して物理世界に広がっていきます。また皆さまのチャクラと連動して皆さまの愛のエネルギーが周囲に放たれることで、多くの方たちに愛の意識が芽生えてくるというふうに考えております。

そのために私たちは皆さまの肉体の愛の DNA を活性化することをとても重要なことだと考えております。

また愛のライトコードは皆さまの高次の意識体、スピリット体にも深く関係しております。

皆さまは本来、愛の意識、愛のエネルギーというものをしっかりとお持ちになっていることをご存じだと思いますが、この地球の中で暮らすことによって皆さまの高次の意識が持っている愛のエネルギーというものがしっかりと覚醒されずに現実世界において愛が發揮されていない場合があります。

そして皆さまの肉体に入っている意識体が持つ愛のエネルギーや愛の意識が活性化されていないために、皆さまの肉体の物理意識が愛に目覚めていないこともあります。

そのために皆さまの魂から分けられた意識や皆さまのスピリッ

ト体の意識に備わっている愛を目覚めさせるということが必要になります。

これがライトコード、特に愛のライトコードの活性化ということになるわけです。

そしてこのライトコードはさらにはかの働きもあります。

皆さまの意識が高次の世界とつながって、さまざまなメッセージを受け取ることも皆さまの本当の意識やスピリットの働きです。

そしてそのような本質が目覚めてくると TAKESHI さんが今行っているように、高次元のメッセージが高次の意識から物理意識に伝達されて声として表現できるような能力も目覚めてくるのです。

またテレパシーや非物質的な存在を見る力、未来を見通す予知力なども基本的には皆さまの意識の本質の部分にあるライトコードが目覚めてくることでその能力が活性化してくるのです。

そしてライトコードが目覚めて、それらの能力が肉体に宿っている物理意識といったものに反映されてくるといつても良いかもしれません。

ライトコードの働きに関しては、これから皆さまのライトコードが目覚めて様々な働きが出てきますので、そのことに関してはブルースカイさんがフォトンベルトのことによく話をされていますので参考にされたら良いかと思います。

今日は愛の意識ということについて、肉体における愛の遺伝子、ライトコードにおける愛の遺伝子について話をさせていただきました。

PART6 自分の意識を魂の意識と繋げ

る

現在多くの地球人は物理的な世界ばかりに意識を向けていらっしゃいますので、自分の意識を更に高めていく、自分の意識をより自由にして4次元世界、5次元世界を観ていく、更には愛の意識になるということを行っていません。

そのためにいつまでもこの3次元世界という幻想の中に閉じ込められてしまい、皆さまの意識は自由を奪われていくのです。

この地球は「ホログラムである」ということをかつて皆さんに高次元存在たちからお話をさせて頂きました。

それは皆さまの意識がとても自由な意識になりますと、この物理世界の枠組みを超えて、宇宙の真実の世界、真相の世界を知ることができるのでですが、皆さまの意識が物理世界に閉じ込められている以上、皆さまは皆さまが作った現実の世界の中だけで生きているのです。

皆さまが現在体験している世界はとても制限の多い世界です。

皆さまは自由に満ちあふれた世界を想像できないために、そのような世界で生きることができないのです。

本来皆さまの意識はとても自由であり、広大な宇宙の意識とひとつです。

しかしながら皆さまが肉体を身に付けられることで、3次元世界を深く体験できるという特典もありますが、皆さまの意識の自由が奪われるという点もあります。

皆さまは自分の肉体を持って3次元世界を充分に楽しみ体験した後は、自分の自由な意識へと帰っていかなければなりません。皆さまの意識の中で「この物理世界が全てである」と考えていると、あなたは肉体を失ってもすぐにまたこの物理世界へ戻って来て、何度もこの物理世界を体験するようになりますので自由な意識へと戻ることはできません。

もし皆さまが生きている間に「皆さまの意識はとても自由であり、宇宙意識とひとつになった意識である」ということを知ったならば、皆さまが肉体を失ったときに「もっと自由な世界に生きる」という選択をなさるでしょう。

物理世界のことしか知らない地球人は、自分の肉体が失ったときにまた地球人の肉体の中に戻るという選択を常にしているのです。

それは皆さまの魂からするならば、意識の本質が選択したことではなく、皆さまの意識がこの地球の物理世界の中に引き戻されてしまったというふうに考えていることでしょう。

皆さまがこの肉体を終えて自由な意識に戻ったとき、皆さまの魂が次にどのような体験を皆さまの意識に与え、そしてその体験を通して皆さまが何を学ぶのか、ということを魂自身は決めているのですが、地球の物理世界に生きることばかりを気にしている皆さまには、その魂の思いが届かないのです。

私たちは特にその点を皆さまに対して理解していただきたいと考えております。

それは同じような物理世界を持っていた私たちだからこそ、皆さまに伝えることができるのです。

皆さまは、皆さまの意識の意志というよりも、他の者からのコントロールによってこの物理世界に釘付けにされているのです。

私たち金星の種族はそのようなことが有りませんでしたのでス

ムーズにアセンションをして肉体から自由な意識へ戻り、宇宙意識として存在することができました。

私たちは地球外種族の支配を受けておりませんでしたのでスムーズにアセンションをすることができたのです。

しかしながら今の地球人は他の地球人や地球外種族の支配を受けておりますので、私たちのようにスムーズにアセンションしていくことができません。

その様子を見ていて私たちはとても悲しく思うのです。

私たちの肉体の遺伝子を持った地球人、そして私たちの意識の一部を分け与えたライトコードを持った地球人が速やかにアセンションしていただきたいと金星の種族の者たちは考えているのです。

では瞑想に入りましょう。

皆さまの肉体の遺伝子の活性化は先ほどの瞑想で行われました。次に皆さまの意識に関わるライトコードの活性化を行いたいと思います。

このライトコードが活性化することによって皆さまは地球外種族の支配を逃れて、自分の意識をしっかりと自分の手に取り戻すことができます。

つまり自分の本来の意識に戻ることができるのです。

ではそのための瞑想を行っていきます。

ゆっくりと深呼吸してください。

今皆さまは頑丈な肉体に囲まれた意識体です。

この地球人の肉体をしっかりとまとったとても美しい意識体です。

まずそのことをしっかりと感じてください。

これは何度も高次元存在たちによって言われていたことですが、

皆さまの肉体の中に皆さまの本質である意識体が有ります。

皆さまの意識体がこの地球で物理世界を体験し、たくさんの経験を得るために地球人の肉体を身に付けて地球人として生きているのです。

そしてそこで得られた体験は、皆さまの意識を通して皆さまの魂へと送られているのです。

ではそのことをもう一度しっかりと意識してください。

まず皆さまは自分の肉体を持っています。

両足からお腹、胸、両手そして頭を感じてください。

これが皆さまの肉体です。

そして肉体の中に意識が有ります。

今私の言葉を聞いているその意識です。

愛の意識に満ちあふれた意識であり、この物理世界のことを見守っている意識です。

皆さまが肉体を持ってこの地球でどのような生活をしているのか、ということを客観的に見ている意識、それが皆さまの意識の本質です。

そのような本質が頭の脳の中にあると考えましょう。

皆さまの脳はとても素晴らしい情報を受け取りまた情報を送るための器官です。

皆さまが受け取った3次元世界での体験は脳の中で情報として処理され、魂へと送られているのです。

また魂からのメッセージや魂からの指令も脳で受け取っています。

皆さまが物理世界で生きてくために必要なことや魂がこの物理世界で望んでいることも脳で受け取りますので、皆さまの脳というものは3次元世界で何をするのかという計画を立て、3次元世界で得られた体験を情報化している場所でもあります。

その脳が3次元世界の体験だけを考えていると皆さまは3次元世界の体験者ということだけに終わります。

しかしながら3次元世界で体験したことを、脳を使って魂に情報を送っているとするならば、皆さまは3次元世界を超えた存在になるのです。

ではそのことを想像しましょう。

皆さまが見たことや体験したことが脳で処理され、そして脳からまるで光が宇宙に伸びていき、皆さまの魂がその脳の情報を受け取っている様子を想像しましょう。

皆さまが脳で整理した情報をエネルギーとして皆さまの魂に送っている様子を想像するだけです。

そうすることによって皆さまは3次元だけの存在ではなく魂と繋がっている高次の意識を持つ存在ということになります。

この部分が皆さまの意識の本質なのです。

ではその皆さまの意識の本質を感じてみてください。

その意識の本質は魂と深く繋がった本質です。

皆さまの頭の中には魂のエネルギーが満ちあふれています。

3次元世界で受け取った情報を魂に送る代わりに魂から素晴らしいエネルギーや生命力が皆さまの脳へと送られてくるのです。

皆さまの魂は皆さまから3次元世界の情報を受け取る代わりに魂が持っている宇宙の愛のエネルギーや宇宙の創造のエネルギーを皆さまに送っているのです。

そうすることによって皆さまの意識の本質は生きることができます。

皆さまの意識を維持するためには、この宇宙から送られてくる愛と創造のエネルギーが必要なのです。

この脳を通じて皆さまの意識と繋がっている魂や高次の意識も今明確に感じることができます。

そのことをしっかりと感じてください。

皆さまの物理的な脳神経や脳細胞というのは皆さまの頭の中だけに収まっていますが、魂と深く繋がった皆さまの意識は皆さまの脳の周りに大きく広がっています。

魂に情報を送りそして魂から愛のエネルギーと創造のエネルギーを受け取っているのが皆さまの意識の本質です。

今皆さまの意識の本質と皆さまの肉体の意識そして皆さまの体を繋げているとても素晴らしいスピリチュアル体のエネルギーが明らかになってきました。

我々は今皆さまの意識の本質と皆さまの肉体を繋ぐシステム、および皆さまの意識と魂を繋ぐシステムというものをしっかりと見ております。

そしてそこに何か不具合が無いのか、問題は無いのか、ということを調べ修復しています。

皆さまの脳の本質的な働きというのは、皆さまの意識と肉体を繋ぐのと同じように、皆さまの意識と魂を繋いでいるのですが、多くの地球人は脳の働きを制限されることで、皆さまの魂とつながっている意識の経路というものが閉ざされた状態になっております。

本来、皆さまは魂と深く繋がっているのですが、多くの方たちが制限を受けて魂と繋がっていない状態になっているのです。

もちろん皆さまの中にはしっかりと繋がった状態になっている方もいますが、多くの方がその繋がりを失っていますので、私たちは今その状態を見ながら修正を行っているところです。

ではしばらくここで瞑想しましょう。

皆さまがゆっくりと深呼吸しながら魂と深く繋がっているエネルギーを感じてください。

私たちはその間にこのシステムの修復を行わせていただきたいと思います。

ではしばらく私たちに時間をください。

(瞑想時間)

それでは皆さまゆっくりと目を開けられてください。

皆さまどうもありがとうございます。

今日は金星種族のマスターから皆さまとお話をさせていただきました。

ありがとうございます。



第7章

地球人を支配した種族1

シリウス、アンドロメダ、プレ

アデス

2024年1月16日



第7章目次

- PART1 アセンションゲートとシリウスの人々
- PART2 戦争から愛を学んだアンドロメダの種族
- PART3 地球人の遺伝子を操作したプレアデス
- PART4 ディセンションをした種族から自由になる
- PART5 プレアデスによる遺伝子の修正
- PART6 シリウス＆アンドロメダ種族からの開放

PART1 アセンションゲートとシリウス
の人々

皆さま、初めまして、私は皆さまがアンドロメダ座と呼ぶ星に住んでいる存在です。アンドロメダ座と言いましてもたくさんの星が有りますが、アンドロメダ座に存在する種族たちはひとつの大きな連合体を持っています。

私たちはそれをアンドロメダ連合と呼んでおります。

この天の川銀河にはそれぞれの星座やそれぞれの星々で幾つかのグループや連合を作つて活動している者たちがいます。

皆さまがよく御存じのようにシリウス連合、プレアデス連合、そして私たちのアンドロメダ連合というものが、天の川銀河や周辺の銀河では特に大きいグループです。

それぞれの連合には役割が有ります。

例えばシリウス連合はこの宇宙の多くの叡智に変わつています。

そして叡智の目的は平和です。

シリウスはかつて大きな戦争を体験しました。

それはとても古い時代に起きた戦争なのですが、シリウス大戦争と言いまして、シリウス星系の星々が2つに分かれてお互いの霸権を争つていたのです。

どちらのグループがシリウス星系を支配するか、というような争いです。

その争いによって多くのシリウス星系の星々が壊滅的な悲劇を迎えてしました。

その当時シリウス星系の中心となつていた者たちは、この戦いによって多くの星を失つてしまつたのです。

そしてそのようなことが今後無いようにシリウス連合が作られ、シリウス星系の星々の種族たちは愛に基づいて天の川銀河の平和のために働くことを決めたのです。

地球の皆さまもたくさんの知恵や叡智を持っていらっしゃいます。

しかしその知恵や叡智は他人を支配するために使われるのではなく、他人と強調するために、自分たちの星そしてお互いの星を平和にするために使用されるというのがシリウス連合の考え方です。

その考え方に基づいてシリウスの人たちは、今多くの星々の支援を行つています。

主に技術的な支援が多いのですが、その星の人々が平和になるように、ひとつの技術を誰かが独占するのではなく、その技術の豊かさを多くの人たちが享受できるように彼らは考えているのです。

この地球にもたくさんのシリウスの魂を持っていらっしゃる人たちが来ています。

その方たちの中にはかつて行われたシリウス大戦争の被害を受けて地球に逃げてこられた方たちもいらっしゃいます。

その当時多くのシリウスの人々が他の星々や他の銀河へと逃げました。

戦争の悲惨な被害を受けたくないために自分たちの星を捨てて逃げたのです。

そのような人たちがこの地球にもたくさん住んでいます。

そして地球人として長い間、転生を繰り返しています。転生を繰り返すというのはこの地球に幾つものパラレルワールドを生み出し、ひとつのパラレルワールドが終わると次のパラレルワールドに意識を変えていくというようなことを行っているのです。

皆さまが考えているとおりの輪廻転生ではありませんが、大まかに言うと皆さまからはそのように見えるために輪廻転生と今は言われても構いません。

そしてシリウスの人たちはこの地球だけではなく、多くの星に移り住み、その星が平和であることを祈りながら生きてきたのです。

彼らは戦争から逃げてきた人たちですのあまり表立った活動はできません。

自分たちと戦っていた相手の星の人たちが、彼らを探すために地球にやってきて、この地球に戦火を広げることもありますので、彼らは地球人に姿を隠して隠れながら生きてきたのです。

シリウスの人たちは今地球人と同化してこの地球の中で生きています。

主に技術的な発明などをされる方はこのシリウス星系の種族の意識を持っていらっしゃる方が多いようです。

そして今シリウス星系の種族は新しいシリウス連合というものを創り、天の川銀河の平和のために働いていますので、その当時シリウス大戦争から逃れてきた者たちもようやく自分たちの生まれた星に帰ることができます。

ただ帰るといいましても、もうすでに失われてしまった星もあります。

彼らの科学技術は大変強力な破壊力を持つ武器も生み出しましたので、幾つかの星が消滅したり住むことができないような状況になったりしていました。

シリウス連合は傷ついた星々を修復し、自分たちの仲間たちが戻ってくることができるよう準備をしていました。

他の星に逃れた者たちのうち幾つかの種族は自分たちの星へと戻っていました。

しかしながらこの地球に逃れた者たちは、地球の支配者によって意識をコントロールされているためになかなか地球からシリウス星系の星へと戻ることができません。

しかしながら今回地球がアセンションを行うことによって、アセンションゲートというものが開かれますので、そのタイミングで多くのシリウスの意識を持った者たちがシリウス星系へと戻ることができるでしょう。

アセンションゲートというのは、その時の地球の波動と同じ波動を持った星々や惑星へとゲートが開くことなのです。

実を言いますと皆さまがアセンション後に予定しているファーストコンタクトというものもこのアセンションゲートと大きく関係しています。

アセンション後の地球と周波数が合う星がお互い関係を創り、ファーストコンタクトを進めていきますので、地球のアセンションがどのような形で行われるのか、ということはとても重要なことです。

地球と地球に生きる人々が本当の愛に目覚めていく形でアセンションを行うならば、とても豊かな愛に満ちあふれた星と地球はアセンションゲートを開き、そしてファーストコンタクトを行うでしょう。

しかしながら地球がそうではないアセンションをするならば、例えばこれはアセンションというよりもディセンションと言った方が良いかもしれません、地球人たちが欲に満ちあふれてそのような地球を創り出すならば、そのような波長を持った星々と地球はアセンションゲートを開くでしょう。

そうしますと地球よりも更に技術や攻撃能力が高い星々も有りますので、そのような星とアセンションゲートを開いて交流してしまうことになります。

そうしますとそのような星から来る種族というのは、とても強い支配力を持っていて、地球の中で大きな争いが行われるかもしれません。

よくアメリカ等の国々がそのようなことをテーマにして映画を作っていますが、他の星の種族から地球が侵略を受け、争いが始まるというような内容の映画です。

地球が愛に満ちた星になるならば、そのようなことは一切起いませんが、地球がこれから更に欲望と支配に満ちあふれた星になるならば、そのような星々と波長が合ってしまい、地球の支配を目指すような種族が地球にやってくるのです。

この地球に残っているシリウスの人たちはシリウスのとても高い波動の星と地球のアセンションゲートを開くために努力していらっしゃいます。

私たち宇宙連合もそのことを願いサポートしていますが、シリウスの意識を持って地球に生きている人たちが、愛を持ったシリウスの星々とゲートを開くことによって自分たちが生まれた星へ帰ることもできるのです。

もちろんシリウスにも幾つものシリウスが有ります。

アセンションをして愛に満ちあふれているシリウスも有ります。地球が良い意味でアセンションをした場合には、そのような愛に満ちあふれたシリウスとアセンションゲートを開くことになります。

シリウスといつてもシリウスを中心としたたくさんの星々、シリウ

ス星系と言った方が正確な言い方ですが、シリウス星系の中でも多くの人たちが愛を持って存在している星と地球がアセンションゲートを開くことになるのです。

そうしますとこの地球にやってきたシリウスの人たちもそのアセンションゲートを通って自分たちの星へと帰っていくことができます。

またシリウスの人たちの中でもやはり自分の欲望のために技術を開発したり、自分の持っている技術を使って他の人たちを支配しようという人たち、今皆さまの中で話題になっているワクチンの技術などを開発したシリウスの人たちは、これから愛に満ちあふれているシリウス星系の星々ではない星との間にアセンションゲートを開くことでしょう。

彼らは技術を使って多くの人々を支配しようとしているシリウス星系の者たちと繋がっていくことになるのです。

私たち宇宙連合はこのようなシリウスの星々についても充分に調べております。

そして地球がより良いシリウス星系の星々とアセンションゲートを開くように私たちも見守り、そして皆さまに少しでも愛の意識になっていただけるようにサポートを行っているのです。

PART2 戦争から愛を学んだアンドロメ

ダの種族

地球のアセンションゲートはシリウス星系の星々だけでなく、私たちアンドロメダ座の星々にもアセンションゲートを開くと思います。

実は私たちの古い歴史の中で、やはりシリウスと同じようにアンドロメダ座の星々やその周りの星々で大きな戦争が起こりました。

私たちアンドロメダ座の基本は愛です。

ただ地球の皆さまもお分かりになっているように愛には幾つの愛があります。

他の方々を愛し、尊重し、大切にするという愛もあります。

また幾つもの生命を生み出し、その生命を慈しむ母性の愛もあります。

また相手を独占し自分のものにしたいと思う自己中心的な愛もあります。

私たちアンドロメダ座の種族は愛について多くの学びを行ってきました。

そしてかつて他の者たちを独占し支配するような愛に私たちの星の指導者が貶められたことが有りました。

アンドロメダ座の幾つもの星の指導者たちが、自己中心的な愛に溺れ、相手を自分の元に取り込もう、自分が相手を支配しようとして大きな争いを起こしたことが有ります。

実はその時期に私たちの先祖がアンドロメダ座の争いを逃れてこの地球へやって来たことが有ります。

そして先祖たちは地球でアンドロメダ文明というものを創り上げました。

皆さまがよく知っているレムリアやアトランティス文明よりもはるか前の時代です。

皆さまは地球の最初の文明はレムリア文明やアトランティス文明と思っているかもしれません、皆さまの意識体としてはレムリアやアトランティス文明が最初なのですが、もっと以前にアンドロメダ座からやってきた多くの意識体がこの地球に文明を築いたことがあります。

それはアンドロメダ座の人びとが相手を支配する愛に飲み込まれてしまい、アンドロメダ座の中で多くの争いを繰り返してしまったために、その争いに関わりたくないと考えている者たちがたくさんこの地球にやってきたのです。

つまり地球に避難して地球で新しい愛の文明を生み出したいと考えていたのです。

自分たちが住んでいた星は、統治者たちが自己愛という幻想の中に囚われてしまったために、そこで純粋な愛の世界を作ることは不可能だと感じたのです。

そして夜闇にまぎれて多くの者たちが宇宙船でアンドロメダ座を出て、この地球にやってきました。

私たちは地球でお互いを慈しみ合う文明、お互いのことを愛し合う文明というものを創り上げていったのですが、私たちの後を追ってやってきたアンドロメダ座の星々の支配者たちによって、私たちとの間に争いが起きました。

アンドロメダ座を統治している者たちは、私たちがこの地球に逃げ込んでしまったために、この地球も自分たちが統治したいと考えたのです。

自分たちの星から逃げ出した者たちが新しい文明を創ることを彼らは許したくなかったようです。

そのために地球で大きな争いが起きましたが、私たちは戦争で使用できる技術や武力を備えた宇宙船などは何も持っていました。

私たちは「愛が全てだ」と考えていましたので、他人を傷つけるような武器は一切所有しておりませんでした。

そのために私たちが創り上げた文明と地球で生きていた仲間たちはさほど時間をかけることなく壊滅させられてしまいました。その後地球では、アンドロメダ文明の名残を消すために、大きな天変地異が有ったようです。

私たちが創り上げた文明もこの大地の奥深くに飲み込まれてしまいその痕跡すらも残っておりません。

ただその時、地球に移り住んだ私たちの意識の一部は、まだ地球の中に存在していました。

そしてレムリアの人たちを通して再び愛に満ちあふれた地球を創ろうと思っていたのです。

ところが私たちを壊滅するためにアンドロメダ座から来た者たちも若干ですがこの地球に残っており、私たちを見張っていたのです。

そしてアトランティスの種族を利用して、自分たちがこの地球を支配するために、再びこの地球で大きな争いを起こしました。

それが、地球上の多くの種族を巻き込んだ地球規模の争いになってしまったために、地球の意思で起こった天変地異で跡形もなく消えてしまいました。

実を言いますと、この地球ではこの時だけでなく、幾度も大きな争いが繰り広げられました。

それはその当時アンドロメダ座からやって来た者たちが、その原因のひとつとなっていたことも隠すことはできません。

そしてそのような争いの様子を見て、他の地球外種族の者たちが地球に入り、この地球を統治するための争を各地で起こしていました。

私たちアンドロメダ連合の者は、その当時のことを深く悔やんでおります。

古代の我々の指導者が欲望に満ちた愛に溺れてしまったために、多くの星々を傷つけてしまったのです。

もちろん、そのようなことの反省の上から、私たちは愛を学びアセンションをしていきました。

もう二度と自分たちの星の者に対しても、他の星の者に対しても、武力を使用しないことを深く心の中に決めていったのです。そして私たちは他の方を慈しむ愛、自分の欲望からではなく自分の愛から、相手を大切にすること、星々を大切にすることを行ってまいりました。

私たちは自分たちの愛を見つめ、そして自分たちが今まで犯した過ちを償うために、この宇宙の愛というものを他の星々へと広げていく活動を行っております。

私たちアンドロメダ座の者たちは愛を基調として生きておりますので、皆さまを支援するために、愛を持って皆さまを指導して

おります。

かつて私たちの星から「イエス・キリスト」と言われる者たち「聖母マリア」と言われる者たちがこの地球に降り立ったこともあります。

今は彼らの活動はとても歪められた形で伝えられておりますが、その当時マリアもイエス・キリストも皆さまにこの宇宙の愛をお伝えするためにこの地球にやってきました。

私たちは時折、そのような者たちをこの地球に送り、地球の人々がお互いを慈しみ、愛を大切にして生きていくように導いてまいりましたが、この地球を支配する者たちの妨害によってそのような生き方を多くの皆さまが実践することはできませんでした。

しかしながらこれから地球がアセンションを迎えるとき、私たちはアセンションをした地球において、本当に素晴らしい愛を皆さ

まと共に実践していくことができるのではないかと考えております。

皆さまのアセンションが愛に基づいたアセンションであるならば、我々も愛に基づいたアンドロメダ座の星々と皆さまの地球がアセンションゲートを開き、私たちが持っている「お互いを慈しむ愛」そのようなものを地球の皆さまと分かち合えるのではないかと考えております。

PART3 地球人の遺伝子を操作した

プレアデス

もうひとつ地球の皆さまと深い関わりを持っている星々があります。

それがプレアデスです。

プレアデスと言いますと、とても美しく芸能的に豊かで非常に神秘的な側面を持つ人々というイメージを持たれるかもしれません、プレアデスも皆さまにとってある意味反面教師のような行動をとっていた時代もあったのです。

皆さまは驚かれるかもしれません、プレアデスの人々は最初皆さまを支配するためにこの地球に関わってきたのです。

その頃プレアデスの人たちはとても高い叡智と技術力を持っておりましたので、我々天の川銀河の中でも彼らに匹敵する者た

ちではありませんでした。

そして彼らは幾つもの星を使って実験を行っていたのです。

その実験というのは、皆さまのような人類を自分たちの科学で生み出すことができるのか、どうかというような実験です。

そのために幾つかの種族の遺伝子を意図的に融合させ、新しい種族を生み出す実験を彼らは幾つもの星で行っていました。

そしてそのひとつが地球だったのです。

地球の種族は本来、地球生まれの種族と他の星々の種族の遺伝子を融合して作られてきた種族です。

それは宇宙連合の中でも、とても高度な技術を用いてそして崇高な目的の中でそのようなことが行われました。

これはかつての宇宙連合にとっても大きな事業だったのです。

それは地球において幾つもの種族が融合された種族を作ることによって、天の川銀河全体の平和と調和を保つことができる星になるのではないかと考えられたからです。

それは宇宙連合だけでなく、多くの高次存在と共に行われたことでした。

ただひとつの種族やひとつの星に住む者たちのエゴのために行われるものではありませんでしたが、プレアデスは自分たちの観察や自分たちの技術の高さを実証するためにそのようなことを行っていたのです。

そのために多くの種族の中で大変な問題が起きました。

今までなかったような遺伝子の組合せが行われたために、その種族がとても苦しい状況に置かれてしまったのです。

多くの病気が発生したり、あるいは体や意識に不具合が起こったりして、その種族が分裂したり、とても大きな壊滅的な被害を受けたことも有りました。

地球でも一部そのようなことが起こったようです。

そしてそのことを見定めた宇宙連合は、プレアデスに対してとても大きな処罰を与えました。

それは自分たちがそのような技術やエゴをひけらかすことなく、純粋にその星のために奉仕をすることをプレアデスに要請したのです。

そのことによってプレアデスの人たちは自分たちの技術を戒め、そしてその星の種族にとってより良い方法でサポートを行うことになりました。

今皆さま方をサポートしている種族の中でもプレアデスはとても強いサポートを行っております。

どのようなサポートを行っているのかというと、その人が持っている能力やその人が持っているより高い意識、そのようなものに自分の力で目覚めるようにサポートすることです。

この地球には自分が持っている能力をなかなか発揮できない人たちもたくさんいます。

そのような人たちが自分たちの能力を発揮して、自分の力をしっかりとこの地球のために役立てるようにしていくのが彼らの役目です。

彼らは時としてこの地球を守護するために自分たちの身を犠牲にして働くことがあります。

そしてよく TAKESHI さんを通して遺伝子の修復などを行ってくれていたのもプレアデスのグループです。

それは彼らが地球で行ったことに対する後悔をもとに行ってい

るのです。

そして地球が自分たちと同じようにならないように一生懸命見

守っているのです。

今の地球では闇に堕ちたプレアデスの人たちの影響がとても大

きいようです。

プレアデスの人たちはとても愛が深い種族ですが、彼らの闇の一面というのは他人を支配する力がそれだけ強いことになります。

現在の地球ではこのプレアデスの闇の一面というものが今非常

に強く働いております。

PART4 ディセンションをした種族から

自由になる

皆さんにシリウス、アンドロメダそしてプレアデスの3つの種族と

地球の関わりについて詳しくお話をさせていただきました。

今まで、このようなことは地球の皆さんには明かしてはいけな

いことになっていたのですが、2024年になりますと皆さんが

本格的に我々のような宇宙種族と関わるような時期がこれから

訪れてきます。

特にこの3つの種族はこれから皆さんに関わる宇宙種族の中では

とても重要な種族ですので、皆さん方もかつてこの3つの種族が地球とどのような関わりを持っていたのか、そして彼らと関

わる中で地球人がアセンションをするためにどのようにしたら良

いのか、ということを知ることはとても重要なことです。

そうしなければシリウスやアンドロメダ、プレアデスの本質が見

えてこないのです。

それをしっかりと見定めなければ、皆さまはそのような星の者たちに憧れ依存することになるでしょう。

私たちそして彼らが地球で何を行ったのか、そしてそのことを反省した上で今どのように関わっているのか、ということを知ることで、私たちとも深いつながりが皆さまに生まれてくるのではないかと考えております。

今シリウス、プレアデス、アンドロメダの者たちが皆さまの周りに立っています。

皆さまの正面そして左右に、この3つの種族の中で皆さまひとりひとりに関係の深い者が立っています。

今私が話したことが皆さまの意識の深い部分にインプットされていきます。

もちろん皆さまの表面的な意識だけでは理解できないこともありますので、更に深い内容を皆さまの潜在意識に私たちはインプットしています。

そうすることによって皆さまが闇の多いシリウスやアンドロメダ、プレアデスと関わらないようにしているのです。

皆さま方がこの歴史を知らなければ、皆さまをコントロールしようと/or>するプレアデスやシリウス、アンドロメダの者たちに簡単に捕まってしまいます。

彼らはとても友好的な顔をして「皆さまのことを愛しています」というような言葉をかけて皆さまに近付いてきますが、本当はそうではありません。

皆さま方の心を取り込んで、自分たちのために利用しようとしているのです。

かつて彼らがそのようなことをこの地球で行っていたということを皆さまがしっかりと理解しているならば、皆さまはそのような罠にはまることはありません。

もちろんこの宇宙にはアセンションをした存在もいればディセンションをした存在もいますので、アセンションをした存在とディセンションをした存在がバランスをとりながら宇宙を創っていくのです。

皆さまに何度も何度も話しているように、いろんな人生がこの宇宙にとって素晴らしい体験となります。

ですからアセンションをした者の人生だけでなく、ディセンションをした者たちの人生体験というのもこの宇宙は必要としているのです。

そのために皆さまが闇の存在と呼んでいるようなディセンションをした存在たちもたくさん必要となるのです。

この宇宙は愛に満ちあふれた素晴らしい宇宙ばかりではありません。

とても闇が多い支配や戦争を行っている宇宙もあるのです。

全ての宇宙にとって必要な経験というものを多くの存在たちが行っているのです。

そのために今までの地球のような戦争や支配に満ちた星々も必要だったのです。

ただ地球はこれからアセンションをして光に満ちあふれた地球へと変わっていきますので、皆さまも同じようにアセンションをして光あふれた地球人種になっていくのです。

そのためにこの地球で何が行われてきたのかということを私は話をさせていただきました。

そして皆さまが多くのことを理解した上で、しっかりとアセンションをしていけるように私たちはサポートしているのです。

PART5 プレアデスによる遺伝子の修正

正

最初にプレアデスの者から皆さまに瞑想ワークを行いたいと思います。

私たちプレアデスの者たちは、かつてこの地球人を支配し、そして地球人の遺伝子を操作して私たちに従う人種を作ろうとしました。

私たちは幾つもの星に行って、その星を私たちの支配下に置くために、かつてそのようなことを行っていたのです。

もちろんそのことは宇宙連合が定めたルールにおいては全く許可されておりません。

ただし私たちは天の川銀河の中の存在ではなかったので、そのようなルールを私たちは無視して行っておりました。

しかしながら再三にわたる宇宙連合からの警告を無視していたために、私たちは大きな罪を犯すことになってしまったのです。

私たちは、私たちが行ったことに対する罪滅ぼしをしたいと考えて、現在は行動しております。

私たちはその当時のプレアデスからアセンションをして新しいプレアデスになりました。

現在私たちは地球人を支配することは考えておりません。

私たちはかつて私たちが行ったことのために、遺伝子に様々な

問題を起こして苦しんでいる種族を助けていきたいと思います。そして同じプレアデスでもディセンションして、今でも地球人や他の種族たちを支配しようとしているプレアデスの者たちから皆さまを守るために働いているのです。

つまりこの地球の中には「地球人を支配したい」と考える地球人の意識を利用して、地球の人々を支配しようとする地球外種族たちもたくさんいるのです。

この地球は多くの種族が入り乱れて、お互いが自分の方法で地球人を支配しコントロールしようとしているのです。

我々はそのような状況をつぶさに知っていますので、皆さまが他の種族から支配を受けないように、皆さまのことをサポートしております。

そして皆さまが本来の地球人としてすばらしい特質を発揮することができるよう、私たちは遺伝子の修復を行いたいと思います。

私たちはかつて地球人を支配するために、地球人の自由意志、自分の意思で自分の生活を送る、自分の意思で自分の人生を創り上げる、という能力を皆さまから奪い取りました。

そして皆さまの中に「他人の評価を気にして自分らしい生き方をしない」というような遺伝子を埋め込んだこともあります。

今日は皆さまに対して私たちが過去に行った遺伝子操作の修復を行いたいと思っています。

私たちが行ったことに対して反省して元に戻していきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

もちろんこのことだけでなく他にもいくつもの操作がありましたので、そのようなことも皆さまひとりひとりの遺伝子や意識状態を見ながらこれから何回かに分けて調整して行きたいと思います。

ただ目を閉じて深く深呼吸してリラックスされてください。

私たちは皆さまのスピリットの状態や遺伝子の状態がもうすでに見えておりますのでその修復をこれから行いたいと思います。では申し訳ありませんがしばらくお時間をください

はい皆さまありがとうございます。

これで全てが終わったわけではありませんが、機会が得られるたびに少しずつ進めていきたいと思います。

次はシリウスの方々です。

PART6 シリウス＆アンドロメダ種族からの開放

私は現在シリウス連合と言われているグループのメンバーのひとりです。

かつて私たちシリウス星系の星々は大きな争いを起こしました。そしてその争いから逃れた者たちが、この地球で生きておりまして、この地球は私たちにとって第2の故郷と言っても過言ではありません。

私たちシリウス人の意識が地球人の肉体に宿ることによって、シリウス人の中でも自分たちの技術を使って他の者を統治したいと考える者や自分たちの技術によって莫大なお金を得て、自分の利益を得たいと考えている者たちもおります。

そのような者たちの中にはシリウスの技術を使って地球人を支配し、利用しようとする者たちも現れてきました。

これは科学技術の宿命かもしれません、今の私たちは技術を使用するときに愛を持って使用することで、技術が人を支配することが起こらないようにしています。

今日はそのことについて皆さんと共に瞑想ワークを行います。この瞑想ワークは「皆さんが技術によって支配されない」という意識を作ることです。

特に今話題となっているスマートフォンや携帯電話のことですが、このスマートフォンに皆さんはいろんなアプリを入れてアプリを通じて人と関わることを行われていますが、このスマートフォンなどによって逆に皆さんの意識がコントロールを受けているのです。

スマートフォンによって配信されることを全て真実だと考えたり、あるいはスマートフォンによって作られてくる人間関係がとても大切なものだと考えたりしていく中で、皆さんはスマートフォンから送られてくる情報やエネルギーに依存し、支配されていくのです。

これは私たちシリウス星系の者たちが作った仕組みのひとつでもあります。

技術に依存させる、あるいは技術に自分の思考をコントロールされてしまう、そのようなことが今皆さんに起こっているのです。特にスマートフォンを手放すことができないスマートフォン依存症のような方たちに、その傾向は顕著に見られます。

彼らはこのスマートフォンやインターネットを使って皆さんをコントロールして3次元意識世界に皆さんの意識をとどめ、これから

ディセンションしていくと予想される地球に皆さまを繋ぎ止めていこうとしているのです。

私たちはそうではない生き方を考えています。

皆さまがスマートフォンなどの技術から支配されない生き方、皆さまがスマートフォンやインターネットがなくても自由に生きていける生き方を、皆さまの中に植付けていきたいと思います。

今の皆さまはスマートフォンやインターネットの技術あるいは皆さまの生活を形作る技術がないと生きていけないと考えています。

そして自分自身が持つ自由や可能性を否定してしまっているのです。

私たちは、そのような皆さまの思考がコントロールされている状態、皆さまが支配されて依存している状態を変革していきたいと思っております。

これも先ほどと同じようにゆっくりと目を閉じてただリラックスされてください。

皆さまはゆっくりとリラックスして自分の手からスマートフォンが離れていく様子、自分のハートからスマートフォンやインターネットのエネルギーが離れていく様子を想像してください。

スマートフォンやインターネットを活用するのは構いませんが、スマートフォンやインターネットから支配を受けるという回路を今皆さまの中から外していきます。

今皆さまの中からスマートフォンやインターネットの技術に対する依存性、そして皆さまが「今生活している世界の外に出ることは絶対できないんだ」と考えているような制限のエネルギーを外していっています。

(瞑想終了)

皆さまありがとうございます。

これで全てが終了したわけではありませんが、徐々にレベルを上げていきたいと思います。

どうか皆さまもスマートフォンを使うとき、一呼吸して「私はスマートフォンに支配されない、私はスマートフォンの情報に左右されない」というふうにしっかりと心に感じられてください。

そして自分とスマートフォンの良い関わり方、インターネットと自分の良い環境をもう一度見つめ直してください。

では最後にアンドロメダ座の者からお話をさせていただきます。私たちアンドロメダ座の中でもかつて皆さまを支配しそしてコントロールを行っていたディセンションをしたアンドロメダ座の者たちは、皆さまを愛によってコントロールしようとなります。

愛によってコントロールするというはどういったことかというと、皆さまはひとりの女性の方、もしくは男性の方を愛されるとします。

そしてお互いが愛し合って家族を作る、そのことは決して悪いわけではありません。

それはとても素晴らしいことですが、自分の家族ができたら、家族のことばかりに気持ちを取られて他の者を大切にしなくなることがあります。

多くの人々を愛するのではなく、自分の家族だけを愛する。

そして自分の家族のために他の者たちを犠牲にしても構わないと考えるような意識に変わっていってしまうのです。

自分が愛する者たちを守る、自分が愛する者たちを大切にする、これは決して間違っているわけではありませんが、宇宙的な視点から見るならば、それは自分自身に対して制限をかけていることになるのです。

皆さまは本来「宇宙の根源の愛」から生まれた「愛の存在」なのです。

そのような存在ですから、自分の家族を守るために他人を犠牲にするというようなことはあってはならないことなのです。

しかしながら今地球ではそのようなことが横行しています。

自分の子供が良ければ、他の子供はどうでも良い。

自分の子供が良ければ、他の子供が犠牲になつても良いと考えるような意識です。

ではそのことを修正していきましょう。

自分の子供も大切だけれど他の子供も大切という意識に変えていきましょう。

ゆっくりとリラックスしてください。

私たちが意識の書き換えを行わせていただきます。

もちろん私たちが今話したことに対してのみ意識の書き換えを行っていきます。

(瞑想終了)

それでは今意識を皆さまの意識に戻します。

今日は我々シリウス、アンドロメダ、プレアデスの者たちのお話を聞いてください本当にありがとうございました。

ただ宇宙種族に憧れ、助けを求めるだけでなく、その種族たちが過去にどのようなことを行ってきたのか、そして今皆さまにどのような影響が与えられているのか、ということを知るだけでも、皆さまがアセンションをしていくうえではとても重要なことになります。

第8章

地球人を支配した種族2

レプティリアンと

アルクトゥルスの種族

2024年2月1日

第8章目次

PART1 月は地球人をコントロールしていた・

PART2 ホワイト＆ブラック・レプティリアン

PART3 意識コントロールに優れたアルクトゥルス

PART4 ホワイト・レプティリアンのサポート

PART5 瞑想ワーク 「真実を見極める力」

PART1 月は地球人をコントロールしていた

私は地球の衛星と言われている月に住むマスターです。

月というのは地球の衛星としてはとても大きく、また地球に対してひとつの方

向しか見せていないとても不思議な衛星です。

また月の裏側、月の内部がどうなっているのか、地球の人々には知らされておりません。

ただ皆さま方にはサファイアさんやライラさんを通じて月は人工

的に作られたものであることをお伝えしておりますが、実は月というものは地球人たちをコントロールするための場所でもあります。

この月にはとても高度な科学技術が集められ、月から発せられたエネルギーや電磁波などによって地球の人々をコントロールすることがはるか昔から行われておりました。

特に月が満月のときにはとても大きなエネルギーが地球に向けて発せられますので、地球人のエネルギーが混乱したり、あるいは興奮したりすることもあります。

また月の引力やエネルギーは、地球自体にも大きな影響を与えています。

海の満ち引きや植物や生命の成長、あるいは地球人の出産にも月は大きな影響を与えております。

それではこの月というものは、どのように地球人に関わってきたのか、お話ししたいと思います。

現在月は宇宙連合の管理下に置かれて、月が過剰に地球の人々をコントロールしないようにされています。

どちらかというと地球の人々のエネルギーを落ち着かせ、そして平和的な方向へと向かわせるための操作を宇宙連合によって行われております。

かつて地球では第1次世界大戦や第2次世界大戦と言われるとしても大きな戦争が起こりましたが、このような戦争が度々起こつていては地球の人々は絶滅してしまいますし、地球も自然環境が大きく破壊されて地球人だけでなく様々な生命たちが住めない状況になってしまふのです。

そのために第2次世界大戦終了後から月は宇宙連合の管理下に入っています。

このような大きな戦争が現在の地球で行われますと大きな核戦争を引き起こし、地球だけでなく天の川銀河の様々な星に放射能の影響を及ぼしてしまうからです。

しかしながらそれまでは月を巡ってたくさんの宇宙種族たちの争いが有りました。

月を使うことによって地球人を自分たちの思いのままにコントロールしたいと思う者たちがたくさんいたのです。

先日お話ししましたアンドロメダやプレアデス、シリウスの者たちもそうです。

地球人をコントロールするために月に置いてある技術を使おうとしたのです。

ではこの月は一体誰が創ったのかというお話をていきましょう。

本来この月は宇宙の創造主と呼ばれる存在、皆さまの言葉で言うと宇宙意識、宇宙の創造のエネルギーがこの月を創りました。

宇宙意識の中でもこの地球を素晴らしい統合の種族たちの星にしようと思っている意識、あるいは地球に様々な種族を配置して調和と平和を創り出そうと思っている宇宙意識、そういった意識が地球を管理するために月を創り上げたのです。

決して自然な状態で月が創られたわけではありません。

地球に大きな隕石がぶつかって地球の一部が月になったというような話もありますが、そういったことはありません。

これだけ大きな月の欠片を生み出すためには、地球に隕石がぶつかったぐらいでは到底生み出すこともできませんし、これだけ大きな欠片を生み出すことによって地球自体がもっと大きな破滅を経験するために、今のような状態で地球が残っていることはありえないからです。

その当時の宇宙の最高の技術を使って地球のバランスをとるために月というものが創されました。

最初はこの地球の中に四季の変化や海流、あるいは風、そのような地球の中だけでは到底成し得ない自然界の運行や自然界の流れを作るために月が創られたのです。

月が有ることによって地球の中にもうひとつのエネルギー場が生み出され、そしてもうひとつの周期が生み出されることによって地球はより複雑に進化をすることができたのです。

そしてこの月は地球人たちが穏やかに過ごすためにサポートを行っていました。

古代の地球には幾つもの種族の人たちが降りてきたことを私たちはお伝えましたが、その種族の人たちがお互い惹かれ合って仲良くなったり、お互いの相違を認めて調和したり、あるいはお互いの種族同士の感情に様々な変化をもたらすというようなことも月の影響で起こっていたのです。

そのことによって地球に生きる幾つかの種族の人たちが仲良くなったり、分離したり、そのようなことを繰り返しながら地球は進化していったのです。

PART2 ホワイト&ブラック・レプティリ アン

そしてある時期、地球にやってきた地球外種族の中でとても強い支配力を持っている種族たちがいました。

皆さまには名前はまだ知られていない種族ですが、この地球に争いや憎しみ、不安をもたらそうとしていた種族です。

その種族が地球に入るためには、この地球のエネルギー状態を今の状態よりも悪くしなければいけなかったのです。

なぜなら彼らはとても波長が低く、争いや憎しみというエネルギーに満ちていましたが、その当時の地球は愛や調和に満ちていたために、彼らがその世界に入ることはできなかったのです。

彼らはその当時月を操作していた者たちを追い出し、自分たちが月のシステムを操作して地球人に怒りや憎しみ、争いなどが生まれるようにしていったのです。

しばらくして地球人の中に怒りや憎しみの感情が生まれ、本来持っていた愛が失われることによって地球人の波長は大きく下がってしまいましたのでその種族は地球の中に入っていました。

そして彼らは地球人をコントロールして幾つかの争いや大きな問題を生み出していったのです。

これはとても古い時代の話ですが、そのような状況を見て、このままでは地球がとても混乱した状態になってしまうことに気づいた宇宙連合は幾つかの優秀な種族をこの地球に送り込んだのです。

そのひとつがホワイト・レプティリアンと呼ばれている種族でした。レプティリアン種族に関してはご存じの方もいらっしゃるかもしれません、レプティリアン種族というのはとても優秀で愛に満ちあふれ、そして素晴らしい叡智を持った種族でした。

そしてレプティリアン種族は宇宙の意識をつかさどるとても大切な仕事をしていましたのでとても天の川銀河にとっても重要な立場にあったのです。

彼らはとても波動が高くて宇宙の愛にも深く共鳴しておりました。

そのような種族が更にアセンションをしてホワイト・レプティリアンと呼ばれる種族になったのです。

しかしながらこのレプティリアン種族の中でも、自分たちの力を過信して「宇宙に生きる多くの種族たちは自分たちにとって支配されるべき種族である」ということを考えた者たちがいたのです。

彼らは宇宙の愛から離れ、他の星の種族たちを支配するようになりました。

そしてレプティリアン種族がアセンションをした種族とディセンションをした種族に分かれていったのです。

今の地球人もそうですが、宇宙の意識とひとつになって愛に向かっていく人たちもいますし、自分の利益やエゴのために争いを起こし、他の人々を殺したり虐待したりする人たちもいます。

元々は同じ地球人なのですがその人の考え方によって進んでいく道が異なります。

多くの宇宙種族も同じようなことを体験しました。

宇宙意識とひとつになり愛に向かって進んでいく者たちもいれば、そのような人たちに反発して自分のエゴや支配力を發揮しようとする人たちもいます。

このレプティリアン種族たちも宇宙の愛のために生きようとするホワイト・レプティリアンと自分のエゴのために宇宙を支配しようとするブラック・レプティリアンに分かれていったのです。

最初はホワイト・レプティリアンがこの地球に入りました。

そして地球の人々と深く関わりながら、地球人に大きな愛を教えたのです。

地球人が再び愛の意識へと戻ってくるように、地球の中で幾つものコミュニティを創りながら、そこで愛の祈りを捧げていったのです。

彼らが行ったことはこの地球にとって「シャーマン」と呼ばれる者たちの原型になりました。

地球を愛し、宇宙を愛し、そして自分たちを愛で満たしていく。

常にこの自然に対して、宇宙に対して祈りを捧げる、というシャーマンの原型というべき生き方をホワイト・レプティリアンたちは地球人に教えていました。

そして地球の各地で、特に日本や日本近郊のアジアの地域で彼らは活躍しました。

彼らがもたらした遺伝子は今でも日本人や一部のアジア人たちが保持しています。

その遺伝子ゆえに日本人はお互いを愛し大切にしてきました。

そしてこの自然や地球に生きる全ての生命に対しても深い愛情を持って暮らしていたのです。

実を言いますとホワイト・レプティリアンとブラック・レプティリアンはお互いの主張を長い間戦わせていました。

ホワイト・レプティリアンは相手に愛を教えようとしましたし、ブラック・レプティリアンはホワイト・レプティリアンたちを自分たちの支配下に置こうとしておりました。

そしてブラック・レプティリアンとホワイト・レプティリアンは、自分たちは同じ星にいてはいけない、お互いが関わるべきではない、ということを理解し、2つのグループに分かれました。

ホワイト・レプティリアンたちは新しい星を創ってそこを中心に活動していましたが、ホワイト・レプティリアンたちが地球人と共に祈りを捧げ、愛ともに生きることを教えていたことを知ったブラック・レプティリアンたちは、この地球を自分たちが支配するためには地球にやって来たのです。

もちろんホワイト・レプティリアンたちはブラック・レプティリアンたちとの間に長い間抗争を続けておりましたので、ブラック・レ

プティリアンたちの非常に残酷で無慈悲な攻撃、あるいは他の種族に対する差別的で侵略的な行為を知っておりましたので、ブラック・レプティリアンたちが来ることに対してとても大きな警戒をしていたのですが、彼らは幾つもの星を侵略した非常に狡猾な種族でしたので、ホワイト・レプティリアンたちの隙を見て地球に入ってきました。

そして月も彼らがコントロールして、地球人のスピリットや肉体を非常にアンバランスな状態にするような操作を行いました。

そのためにホワイト・レプティリアンと一緒に祈りを捧げていた地球人の間にも大きな動搖が走り、お互いが仲間割れするようなことも起こってきました。

ブラック・レプティリアンの攻撃にホワイト・レプティリアンや彼らに従う地球人たちは大変な苦戦をしいられ、多くの争いの後に

ホワイト・レプティリアンたちは一旦この地球を去るという決断をしたのです。

彼らはブラック・レプティリアンと共に存することは全くできません。

ブラック・レプティリアンが武力で地球を侵略しようとするときに、自分たちは為す術がないのでホワイト・レプティリアンたちは他の星へと移動していったのです。

しかしながら少數ではありますが日本人の遺伝子の中にホワイト・レプティリアンの遺伝子がしっかりと残されておりましたので、日本人は他の地域の人たちよりも祈りを捧げたり、愛を伝えたりすることが上手なのです。

この地球に対して祈りを捧げることによって地球の意思と同調し、地球を守ってきた種族とも言えるかもしれません。

そのためブラック・レプティリアンは他の種族を自分たちの支配のもとに置いた後、徹底してこの日本という種族を壊滅させようとしたのです。

ホワイト・レプティリアンがこの地球から去ることによって地球は混乱した状態、カオスのような状態になりました。

地球は秩序を失ったのです。

そしてその様子を見て多くの地球外種族たちがこの地球にやって来ました。

彼らは「地球を統治しよう」「地球の中に自分たちの領土を作ろう」と考えてお互いの種族同士が争いました。

中には地球人を利用して敵対する種族を滅ぼそうと企てた種族たちもいました。

特にヨーロッパに住む人たちがアメリカ大陸やアフリカに出向いてそこの種族の人たちを侵略していったのは、まさにその裏で地球外種族と地球外種族の戦いがあったからです。

そして幾つもの種族が地球にやって来ては争いを繰り返しながら、この地球に残る者もいれば、この地球から出て行った者たちもいるのです。

先日お話ししましたアンドロメダやシリウス、プレアデスも例外ではありません。

彼らも地球を統治するために入ってきた種族たちなのです。

PART3 意識コントロールに優れたアルクトゥールス

そしてブラック・レプティリアン種族の者たちは、地球を支配する

ためにアルクトゥールスの者たちを地球に呼びよせました。

もちろんアルクトゥールスにもアセンションをしたアルクトゥール

スとディセンションをしたアルクトゥールスがいます。

その当時はまだそこまで明確に分かれてはいなかったようですが、アルクトゥールスの人たちはとても不思議な力を持っていま

した。

皆さまの言葉で言うと鍊金術と言いましょうか、私たちの言葉

で言うと「物体の位相を変える」つまり物体の存在様式を変える

ことができる種族だったのです。

それは「その物体を構成する原子や分子の配列を変えて、元々あ

る物と異なる物を生み出す力」といっても良いかもしれません。

地球の過去の歴史の中でもそのようなことが研究されていた時

代がありました。

それを皆さまは魔法と呼んでいるのです。

アルクトゥールスはとても不思議な現象を引き起こすことができる

種族でした。

天候を変えたり、あるいは作物の成長をコントロールしたり、そ

の理論を知らない者にすれば、それはとても不思議な力、魔法の

ような力に見えましたので、アルクトゥールスの人たちが地球に

やってきたときは「偉大なる魔法使い」あるいは「聖者」などと呼

ばれていたのです。

しかしながら彼らが来た本当の目的は、レプティリアンの種族と

協力して地球人を支配することでした。

地球人を支配するために、レプティリアンから呼ばれたといつて

も過言ではないかもしれません、レプティリアンは彼らの不思

議な力を必要としていたのです。

つまりレプティリアンたちにしてみても、争いによって多くの

人々が死んでいったのでは自分たちが支配する地球人がいなくなってしまいます。

そして地球も荒廃しまいますので争いではない方法で地球人を支配することをレプティリアンたちは考えたのです。

そしてアルクトゥールスの人たちの力を使って地球人の精神や意識をコントロールすることを考えたのです。

その後、レプティリアンはアルクトゥールスの人たちと一緒にになって新しい種族を生み出しました。

それが新しいレプティリアン「ニューレプティリアン」と呼ばれている種族です。

彼らはレプティリアンの残忍な支配力や行動力とアルクトゥールスの他人の意識をコントロールする力、あるいは他人の肉体に憑依をする力、そういうものを兼ね備えた種族を生み出したのです。

そうすることによってニューレプティリアンたちは、地球人の意識をコントロールして地球人の肉体の中に入り込み、この地球を支配してきました。

その支配はある意味完璧なものに思えました。

地球人の意識をコントロールすることによって、地球人が地球人を支配するという構図を生み出したからです。

彼らは地球人が同じ地球人を支配することを望んでいるという仕組みを創り上げました。

そして地球人が求めているから自分たちは地球人のサポートをしているだけだ、ということを彼らはよく言います。

そのような仕組みが有ることによって宇宙連合や宇宙種族が定めた宇宙のルールに違反していないというふうに自分たちを見せかけているのです。

宇宙のルールというのは、他の星の種族がその星の種族を直接コントロールしたり支配したりしてはいけないというルールです。地球人が同じ地球人を支配するために力を貸してくれと言われたから、自分たちは力を貸している、ということになれば、この宇宙のルールは破られておりませんのでレプティリアン種族の者たちは違法ではないことになります。

しかしながら地球人に対してそのようなエゴや支配欲をかきたてるようなことをしているのもまさに彼らであったわけです。

そして地球は今彼らによって大きな支配を受けています。

この支配から抜け出すために地球が行おうとしていることがアセンションなのです。

これらの地球外種族が持っている波動というのはとても低いものです。

それは誰かを支配する、あるいは誰かを傷つける、自分のために利用するという波動ですので、非常に低い波動であることに間違はありません。

地球人の多くがそのような波動の中に取り込まれています。もちろんその当時レプティリアンも月のシステムを利用しておりましたので、月のエネルギーを使って地球人にそのような考え方を植付けていたのです。

このままでは、この地球はいくつかの種族たちがお互いに争いあって地球そのものが荒廃してしまいます。

そのことを防ぐために、地球意識は地球をアセンションさせて、そのような考えを持っている種族たちを払い落とし、地球の意思と共に鳴しあうような意識を持っている人たちを残したい、あるいはそういった地球を創りたいと考えていたのです。

そして地球は「アセンションを自ら行う」という意識のもとに第2次世界大戦後から動いています。

その地球の意識をサポートするために宇宙連合の方たちも、現在月のエネルギーを管理しているのです。

もちろん完全に管理できるわけではありませんが、この月を利用する種族が再び地球人の意識を支配しないように抑えているといつても良いかもしれません。

PART4 ホワイト・レプティリアンのサポート

しかしながら、このままの状態では地球のアセンションも厳しくなるので、ホワイト・レプティリアンたちが密かに地球に戻り、ブラック・レプティリアンやニューレプティリアンの支配を受けてない人たちと関りながら、地球のアセンションを守り抜こうとしているのです。

もちろんホワイト・レプティリアンにしてみると、ブラック・レプティリアンに関わっている人、ブラック・レプティリアンに意識を支配されている人たちに対して、ホワイト・レプティリアンが関わり合うことはできません。

彼らは「お互いが同じ場所で活動することを認めない」という条約を結んでいたからです。

ただその条約は現在規制が少し緩くなり強制力が無くなつたために、ブラック・レプティリアンがいる地球に対してホワイト・レプティリアンが関わりを持てるというような状況になってきたわけ

です。

その第一陣として地球の未来種族であるライラさんが地球に送り込まれ、彼女によって地球の状況がつぶさに観察され報告されていました。

その報告をもとにホワイト・レプティリアンたちがこの地球でどのようなことをすれば良いのか、そして地球の人たちがアセンションをしていくためにはどのようなサポートが必要なのか、ということも話し合われました。

またアルクトゥールスの人たちも、今はアセンションをして素晴らしい宇宙種族になっている人たちもたくさんいらっしゃいます。

しかしあつて自分たちの仲間だった者がレプティリアン種族とひとつになって地球人を支配するお手伝いをしたことに対して、とても大きな悲しみを持っていらっしゃいます。

ディセンションをしたアルクトゥールスの種族は今でもレプティリアンたちと一緒に働いていますので、そのことに対して深い憂慮を持っているのです。

特にディセンションをしたアルクトゥールスの人たちは様々なヒーリングやスピリチュアルな活動等を通して多くの人たちをコントロールしようとしています。

彼らは非常に不思議な能力を持っており、人の肉体や精神状態を簡単に操ることができるので、その力を受け取った地球人たちはその力を用いてカリスマ的な能力を発揮するスピリチュアル・リーダーになっていったのです。

ただ彼らの目的は「支配」ですので、ひとりひとりの人たちを幸福にすることではありません。

例えば多くの教団組織、非常に悲劇的な最期を迎えた新興宗教やオカルトのグループもたくさん有りますが、ディセンションをしたアルクトゥールスの者たちはそういったグループに深く関わっており、多くの者たちを支配してその命を奪っていくようなことを行ったのです。

アセンションをしたアルクトゥールスの人たちは、かつては自分たちの仲間であった者たちが、そのようなことをしていることに対して、とても大きな危機感と悲しみを持っていましたので、アセンションをしたアルクトゥールスの人たちはそのような状況の中から地球人たちを救い出したいと考えているのです。

これもシリウス星系やアンドロメダ座の種族の人たちと同じように、現在はアセンションをした種族とディセンションをした種族に分かれていますので、ディセンションをした種族が行ったことはアセンションをした種族の者たちの責任ではありませんが、過去に同じ種族だった者たちが地球人に対して大きな迷惑を今でもかけ続いていることに対して救いの手を差し伸べたいと考えているのです。

今日は2つの種族特にレプティリアンという種族を中心にお話をさせていただきました。

これは今でもとても大きな問題を地球の中に引き起こしているグループですので非常にリアルな話になってしまいました。

実はレプティリアンに関しては宇宙連合もこの地球から退去命令を出しております。

宇宙連合はレプティリアンに対して「これ以上地球人と関わるべきではない」「地球人と縁を切ってこの地球から出て行きなさい」という退去命令を出してますが、レプティリアン種族は地球の人が自分たちを必要としているので退去する必要はないという論理をもって対抗しております。

ただレプティリアンの中でも中心的な存在たちは強制的に地球を移動させられていますので、レプティリアンの力はこれから弱

まっていくかと思いますが、最後に残ったレプティリアンたちは地球人の多くを道連れにしようと躍起になっております。

地球人の多くがレプティリアンたちの最後の攻撃に影響されていますので、私たちはそのことを考慮し、今地球人の中でも目覚

めいらっしゃる方々を中心にサポートを行っているところであります。

本来であれば全ての地球人に対して私たちはサポートを行い、レプティリアンや地球人を支配しようとする地球外種族との関係性を断ち切っていきたいと思いますが、先ほど言いましたように地球人自らがレプティリアンやアルクトゥールスの力を求めているために、なかなかそれができないでいる状態なのです。

そのために地球人が2つに分かれていく、これは他の種族がそうであったように、アセンションをしていく地球人とディセンション

していく地球人に分かれるしかないのかなというふうに私たちは考えております。

アセンションをしていく種族、ディセンションしていく種族について、今日は皆さま方に深く話をさせていただきました。

PART5 瞑想ワーク 「真実を見極める力」

では瞑想ワークに入らせていただきたいと思います。

私たちホワイト・レプティリアンの者たち、そしてアセンションをしたアルクトゥールスの者たちを中心に、これからエネルギーを皆さんに送っていきたいと考えておりますのでどうカリラックスされてください。

私たちが今から皆さんに送るエネルギーは「真実を見極める力」というエネルギーです。

地球の多くの人たちが、地球外種族の者たちに意識をコントロールされ、地球人が本来目指す方向ではない方向に歩んでいます。

地球の環境を破壊したり、同じ地球人たちを傷つけ殺したりしながら、自分たちの欲望のために歩んでいるのです。

地球人は本来持っていた「真実を見極める力」を失ってしまったので、自分たちにとって何が大切なのか、地球にとって何が大切なのか、ということを真剣に考えることができないでいるのです。

「自分にとって何が真実か」ということを見極める力が、今の地球人にとっては一番大切なことであると私たちは考えていますので、何回かに分けてこの「真実を見極める力」が、皆さんの中で芽生えていくようにサポートしたいと考えています。

では始めましょう。

少し体を動かしてリラックスされてください。

今日はとても難しい話をして本当に申し訳ありませんでした。

ただこの話は今の地球にとって一番大切な問題を含んでおります。

なぜ地球がアセンションするときにアセンションをする地球とディセンションをする地球に別れなければいけないのか、という話をいたしましたので、皆さんの中にも大きな緊張感が生まれたのではないかと思います。

少し首を回したり、体を動かしたりしながら、自分の体の緊張をほぐしていってください。

特に今自分の体に痛い所や具合が悪い所があれば、その部分をゆっくりとリラックスさせてください。

そこはレプティリアンの支配のエネルギーとアルクトゥールスの人をコントロールするエネルギーとあなた自身のエネルギーがぶつかり合っている場所です。

こういう言い方はおかしいかもしれません、自分を支配されたくない、自分をコントロールされたくないという意思がその場所に有るのです。

そしてそのような意思と皆さんをコントロールしたい、皆さんを支配したいというエネルギーがぶつかり合ってそこに大きな負担をかけている場合も多いのです。

自分の体に痛いところや調子が悪いところが有ったとしたら、そ

の部分のスピリチュアル的なレベルではそのような争いが起こっていることもあります。

自分の中に痛みが有る場所、不調が有る場所に対して、皆さんの意識を集めてその場所をほぐしながら、その場所のエネルギーが自分の体から解放されていくように想像してみてください。

もちろん体に不調が無い方はそれで結構です。

今私たちのメンバーが皆さまひとりひとりの肉体とスピリット体を見ながらエネルギーの調整を行う準備をしています。

ではエネルギーの調整に入ります。

この地球の中で皆さまを支配して皆さまの中でアンバランスな状態を生み出しているエネルギーを皆さまの体やスピリット体からクリアリングしていきます。

体の中から重たいエネルギーが自分にとってふさわしくないエネルギーが体の外に出て行くのを感じてください。

ただ皆さまの体から外に出ていきます。

別にそれが浄化されるわけでもなく、ただ皆さまの体から分離し、皆さまの体の中に調和がとれたエネルギーが生まれてきます。

ゆっくりと体を動かされても結構です。

自分の中にある不調和なエネルギーが体の外に出て行きやすいように筋肉を伸ばしたり、曲げたり、ゆっくりと動かしてください。

目を閉じて自分の体の内部を感じてください。

自分の体の緊張やこわばりを感じます。

たとえそれが仕事や生活や体の癖で生まれた緊張やこわばりであったとしても、その中にはこの地球の中でぶつかり合っているエネルギーが有りますので、それを解放していきましょう。

そして皆さまの意識の中から、真実を見極める力、誰かに騙されてコントロールされ続けるのではなく、自分にとって真実を見つける能力、自分にとって本当のことを見つける能力が身についていくように、私たちのエネルギーを送っています。

第9章

地球人を支配した種族3

ピラミッド文明の創建と崩壊

アルビレオ星系リゲル星系

2024年2月13日

第9章目次

PART1 地球のアセンションとアルビレオ星

PART2 古代エジプト文明の繁栄と崩壊

PART3 マヤ文明、インカ文明の創成と破滅

PART4 自分の意思で自分の人生を創造する力

PART1 地球のアセンションとアルビレ
オ星

「宇宙の光」の皆さん、今日も私たちの話に耳を傾けてください
誠にありがとうございます。

私ははくちょう座のアルビレオ星という星のマスターです。

皆さまはこのアルビレオという星の名前はお聞きになったことが無いと思います。

昔から「宇宙の光」に関わっている人であるならば、星のツアー
ではくちょう座のデネブからアルビレオの星へと渡った方もいら

っしゃるかもしれません。

このアルビレオという星は、皆さまの地球のマヤ文明やインカ文明に深く関わってきました。

またエジプト文明にも深く関わっておりました。

皆さまが想像されるピラミッドや石造りのとても大きな建築物、そういうものが私たちアルビレオ星の技術によって造り出されたのです。

エジプト文明は私たちアルビレオ星と他の星の方々も関わっておりますので、私たちが単独でエジプト文明を指導してきたというわけではありませんが、マヤ文明とインカ文明に関してはエジプト文明の反省のもとに私たちと私たちの仲間たちである星の方々と共に創り上げてきた文明ですので、さほど大きな争いというものも無く、無事に素晴らしい文明を創り上げることができました。

皆さまがよく御存じのマチュピチュという都市が有りますが、そのマチュピチュを中心とした種族の方たちはこの時代にしっかりとアセンションをされております。

かつてササニ文明のサファイアさんが、地球はマヤ文明の前後にアセンションする機会があったということをお話しされたかと思います。

最初にレムリア文明、次にエジプト文明、そしてマヤ文明の前後、この時期に地球はアセンションをする機会がございました。

正確に言うならば、レムリア時代のようにアセンションをする地球とアセンションをしない地球に分かれて、アセンションをする地球が皆さまの地球と分離していったのです。

レムリア時代にも今皆さまと関わっているレムリアのマスターたちが地球からアセンションをしていきましたし、エジプト時代にも幾つかの種族の方たちがこの地球から分離するようにしてアセンションをしていきました。

そしてマヤやアステカ、インカ文明の方たちの中でもさほど多くの数ではありませんが、やはりアセンションをしていく人たちも存在していました。

そして私たちは皆さまと関わることによって、これから皆さまもアセンションさせていきたいと考えております。

今日は私の方から今までのアセンションの秘密を少しお話したいと考えております。

どうかゆっくりとくつろいでお話を聞かれてください。

元々私たちがいたアルビレオ星は、はくちょう座のくちばしの辺りにある星です。

もちろんこのアルビレオ星は恒星ですので皆さまの太陽と同じようにとても大きな光で輝いています。

私たちはアルビレオ星を中心とした惑星の中に住んでいるとい

っても良いかもしれません。

皆さまが太陽を中心とした太陽系の中にある惑星に住んでいるのと同じように、アルビレオ星系の星のひとつに私たちは住んでおります。

そしてそこでは皆さまが古代文明を想像されるような文明が栄えております。

皆さまは古代文明というと昔の文明、あるいはまだ文明の程度が低いと考えているかもしれません、エジプトのピラミッドのようなものは、今の皆さまの技術では到底作り出すことはできないのです。

その建造物の素材が石や単純な自然素材であるがゆえに、皆さまは技術の程度が低いと思われるかもしれません、このような自然素材を使うということは、建物が長い間、朽ちていかないでの耐久性があるということになるのです。

またその星の生態系に負担をかけず、その星の生態系と星の環境を守るうえではとても重要なことです。

私たちは高度な科学技術によって様々な物質を作り出す能力を持っておりますが、あえてそのようなことはせず自然の中にある素材を使って文明を維持してまいりました。

私たちは皆さまと同じような人類と呼ばれるような種族なのですが、私たちは皆さまをはるかに上回る能力を持っています。

エジプトのピラミッドで使われた石を自分たちの想念や自分たちの意志のエネルギーを使って運んだり加工したりするような能力も持っておりますし、瞬時に場所を移動する能力も有りました。

遠く離れた仲間たちと自分の思考を使ってコミュニケーションを行うテレパシーというような技術も発達しております。

また私たちは種族の仲間と共に祈り合うことで、天の川銀河の平和を保つためのエネルギーを宇宙に向けて発信することもできるのです。

そのような能力を皆さまがどのように判断されるか私たちは分かりませんが、この天の川銀河の優秀な種族たちは皆同じような能力を持っています。

ただこの能力は物理的な肉体もしくは半物質的な肉体を持っている者たちの能力ですので、そこからさらに進化して非物質体となった存在たちはもっと異なる能力を持っています。

非物質体の存在たちはすでにこの物質世界に生きる必要は全くありませんので、ピラミッドやその他の建造物というものは必要では有りません。

そしてまたそういうものが存在しない世界に存在しています。彼らは意識の世界、エネルギーの世界に存在することによって多くの者たちがひとつにつながり、そしてひとつの意志で生きております。

PART2 古代エジプト文明の繁栄と崩

壊

私たちはもうすでに肉体を持たない存在になっておりますが、私たちがエジプト文明に関わった頃には、まだ半物質体の肉体を持っておりましたので、古代エジプト時代においては、私たちはこの地球上に肉体を持ってエジプトの地に降りることができました。

その当時のファラオと呼ばれる存在、あるいはファラオの元となった存在が私たちなのです。

では少しエジプトの話をしましょう。

エジプトも古代エジプトと呼ばれている時代は、まだギザのピラミッドが造られる前の時代です。

私たちはその当時アルビレオの星からこの地球上に意識を降ろして地球人としての肉体を持って生きていました。

その当時はもうレムリアやアトランティスは滅びこの地球上には大きな文明というものは残っておりませんでした。

しかしながらレムリアや他の種族の者たちが少数ではありますか、かろうじて生き残っておりました。

その者たちはアフリカや日本あるいはアジアの各地で細々と暮らしていたのです。

私たちはその当時そのような種族を見つけ、そこに私たちの意識を降ろしました。

アフリカの中にもとても優秀な種族が残っていましたが、その当時の種族は宇宙種族からのサポートがなかったために、自分たちの文明をまだ築いておりませんでした。

皆さまが想像する縄文時代や弥生時代のような生き方をしていたのです。

毛皮や布で織られたものを身に着け、小動物や魚を捕らえて食料としたり、わずかばかりの作物を作つて暮らしていました。

そのような者たちの肉体を私たちはお借りして、この地球上に降りてきたのです。

そしてナイル川を下つてとても肥沃な場所に移りました。

その当時のエジプトは砂漠ではなく、まだまだ緑豊かでとても美しい土地だったのです。

そのような緑豊かな場所で私たちは自分たちの意識を地球上の肉体に降ろし、そしてその者たちが進化するにあたつて私たちの遺伝子を使いました。

そうすることによってその種族たちは科学技術を身に付けることになったのです。

ただその時代の科学技術というのは、先ほど私が話しましたように人間としての能力を高めるための技術でした。

石を加工したり、石を運んだりする技術や様々な植物を育てる技術、あるいは皆さまがよく言われる宗教的な考え方、そのようなものです。

もちろん銅や鉄などの金属を使って生活に必要な道具を作ることも教えましたし、金で装飾品をつくる方法も教えました。

皆さまが良く写真で見るファラオたちが身に付けていた素晴らしい宝飾品、金属やラピスラズリ、そのような物の作り方や飾り方なども私たちが教えたのです。

そして私たちは自分たちの種族を大きくしていく活動を行いました。

周りに住んでいた種族たちにも声をかけ、自分たちの技術を教えるから一緒に文明を創らないか、というような誘いを行いました。

決して周りの種族たちを武力によって侵略したり、強制的に支配していったのではなく、自分たちが持っている豊かな技術や食料あるいは工芸品などを周りの種族たちと分かち合うことで気持ちをひとつにしていたのです。

そして私たちは「信仰」、自然を敬うことを教えました。

「宇宙が私たちを見守っている」そして「毎日この地球に温度と明るさを与える太陽こそが我々を産み育ててくれている存在なのだ」というような信仰を与えたのです。

なぜこのような信仰を与えるのかというと、それは種族たちの心をひとつにするためです。

同じものを信じる、例えば太陽を神として信じる、大地を神として信じる、ナイルの川を神として信じることによって、自分を超えた素晴らしい存在がこの世界には存在しているのだ、そしてそれが地球を創り、自分たちを創っているのだということを教えることによって、人間はとても謙虚になります。

そしてお互いが信じるもののがひとつであるならば、共に協力して同じ文明を享受できるのです。

なぜ私たちがそのようなことをしたのかというと、当時の地球上にはまだ前の時代の地球外種族による遺伝子操作が残されていたからです。

本来地球人というものは愛に基づいて成長していく予定でした。しかしながらアトランティスとレムリア大陸の戦争でも分かったように、地球外種族によって地球人の遺伝子には「争うこと」あるいは「自分が多くのものを手にすること」つまり競争心と独占欲の資質が遺伝子の中に組み込まれていたために、1人の人が力を持つことによって多くの争いや支配が行われてきたからなのです。

そのために、皆さまを支えているのは決してひとりの人間ではなく、太陽であり、大地の神であり、ナイルの川の神である、ということを皆さまに教えることによって、ひとりの人間が他の人間を支配できないようにしていったのです。

そして種族の王というのは、この太陽の声を代弁し、大地の神の声を代弁し、ナイルの神の声を代弁する者であるとしたのです。

全く地球人の指導者がいないというわけにはいきません。

やはり人々は誰かによって導かれていかなければならぬのです。

そして私たちはファラオという存在を生み出し、その中に自分たちの意識を降ろしていきました。

またファラオが間違えた判断をしないように、複数の神官たちも創りました。

そして神官の肉体の中には、私たちの星だけでなく幾つかの星の者たちの意識が入りました。

そうすることによって、エジプトは急速に発展していったのです。

最初エジプトはとても大きなひとつの統一された文明でした。

幾つかの場所に私たちは神殿を造り、その地区に住んでいる者たちを指導していきました。

そしてその土地の習俗を取り入れながら、多くの種族たちがひとつにまとまるように努力していったのです。

最初エジプトはファラオと神官たちを中心としてしっかりとまとまっておりました。

それがギザのピラミッドの象徴です。

太陽、大地あるいは海、そのような自然界の象徴があの3つのギザのピラミッドに刻まれているのです。

あるいは宇宙そして地球、人そのような思いもピラミッドの中に刻まれています。

ピラミッドの王の間には石棺と呼ばれるものが有ります。

それは人が1人ゆっくりと横になれる大きさの石の棺です。

この形から見るとこれは王様たちが死んだ後に、その肉体を収める石造りの棺桶ではないのか、とおっしゃる方もいらっしゃいますが、そうではありません。

それは私たちが自分たちの星の者と交信をしたり、あるいは地球の中にある幾つかのピラミッドを使用して、お互いが交信するための道具なのです。

これはファラオになるための意識を持った存在が、地球人の肉体に入るときにも使われました。

地球人の肉体の中に私たちの意識が入る儀式のための道具でもあったのです。

私たちはこのようなものを各ピラミッドに配置し、お互いが意思統一をしながらエジプト文明というものを成長させてきました。

しかしながら、やはりレムリアとアトランティスの戦争を裏で仕掛けた地球外種族の者たちもまだこの地球に残っていました。彼らは物質的な肉体を持っていなかったためにレムリアとアトランティスが地殻変動に飲み込まれた時も、自分たちは飲み込まれずに違う場所から様子を見ていたようです。

そして「隙あらば、この地球を支配しよう」と虎視眈々と狙っていたようです。

その当時エジプトにいた者たちはオリオン座にある三ツ星からやってきた者たちでした。

私たち、はくちょう座のアルビレオ星とアンドロメダ座の星の方たちが、エジプトのファラオたちのサポートに入っていました。そのような私たちと対立していったのがオリオン座の別の星の者たちでした。

彼らは私たちがファラオの系統に自分たちの意識を降ろしているのが面白くなかったようです。

ファラオの子供たちの意識を自分たちの意識と組み替えていました。

ファラオはよく数人の子供を持ち、その長男が次のファラオになるのですが、次男、三男にオリオンの者たちが入りこみ兄弟喧嘩を引き起こしファラオの座を争うためにお互いを殺しあったりしました。

あるいは神官もアルビレオ星やアンドロメダ座の者ではなく、オリオン座の者たちの意識が無理矢理入ることがありました。

これは肉体を持たない意識体がどのように肉体に入っていくのか、ということを知らないと理解できないかもしれません、アルビレオ星の者が神官の肉体に入ろうとするときに、その邪魔をして自分たちが代わりに神官の肉体に入ることをオリオンの者たちがやっていたのです。

そしてオリオン座の者たちの中にはとても強い力を持っている者がいました。

その力というのはファラオや神官達に間違えた「ヴィジョン」を見せる、あるいは間違えた思考を植え付けることでした。

我々はそれを「ファンタム(幻影)」と呼んでいました。

例えばファラオの子供の1人にオリオン座の者の意識が入ったとすると、その兄弟たちにお互いが傷つけあうような幻想を見せるのでした。

例えばファラオの息子の兄が弟の愛する者を奪い取った、そして弟が怒って兄を殺した、そのような幻影をお互いに見せながら、お互いの仲を悪くしてファラオの家族を混乱に導いていったのです。

また神官同士もお互いが自分の能力を競い合い、そして誰が一番優秀で、誰が他の神官を支配するのかと言うような幻影を見せました。

つまり物事の真実が見えなくなつたために、お互いが憎しみ合い、そして分裂し混乱していったのです。

私たちアルビレオ星の者も、アンドロメダ座の者もそのような企みを行う者からファラオたちを守ろうとしました。

また神官たちが本当に神と繋がるようにその繋がりを守ろうとしましたが、地球人たちの中に植え付けられた「競争と支配の遺伝子」がオリオン座の者たちによって活性化させられてしまったのです。

そうなりますと私たちにはもう手が付けられません。

それは肉体を持つ人間の意識がお互い争い始めてしまったのです。

やがてファラオとなるべき者の肉体の波長が非常に低下してしまい、次にファラオとなる子供たちの肉体の波長も更に低下してしまいましたので、私たちアルビレオ星やオリオンの三ツ星の者たちの意識がファラオの肉体に入ることができなくなりました。

私たちはファラオの肉体の中に入れず、オリオン座の者たちが私たちの代わりにファラオの肉体を使ってエジプトを支配し始めたのです。

そうしますとそこで何が起きるのかは明らかです。

エジプトの王たちは軍備を高め、お互いが地方に分かれて戦いを始めました。

オリオン座の者たちの狙いは支配であり、また破壊です。

自分たちが支配できるものは支配するが、支配できないものは破壊する、このような考え方です。

そのようなオリオン座の者たちは幾つかのグループに分かれてエジプトを支配するために長い期間争い続けたのです。

これはオリオン座の者にすればゲームのようなものにしか過ぎません。

陣地を奪い合うためのゲームですので幾つかの策略を用いて相手を陥れ、相手を滅ぼした方が勝ちなのです。

そのためにエジプトの多くの民が犠牲になりました。

そしてエジプト文明は荒廃し、自分たちの文明も自分たちの神の教えも忘れ、その地に碎け散っていったのです。

そうなる前に私たちはこのままでは私たちがせっかく育てたエジプトの民がオリオン座の者たちによって支配され、大変なことになってしまふことを幾つかの種族に伝えました。

まだオリオン座の者たちによって支配されていない種族の者たちです。

その者たちはエジプト文明の中心的な場所には住んでおりませんでした。

かつて神官を育てるために使つた山の奥にある神殿や私たちがかつて最初にこの地に降りてきたときに使つた神殿の周りに住んでいる者たち、彼らは非常に純粋で素朴な文明を今も保ち続

けていたのです。

私たちはその場所に戻り、そこに暮らしていた種族たちをオリオン座の者たちの手から守るためにアセンションさせていきました。正確にはこのエジプトの地からその者たちと一緒に撤退したと言った方が良いかもしれません。

彼らは地球の別次元ともいえるような場所でしばらく暮らした後に、アルビレオ星やアンドロメダ座へと移っていました。

彼らのなかにはアンドロメダ座の星の中に住んでいる者たちがたくさんいます。

アルビレオ星は彼らが住んでいた環境とは少し異なったので、アンドロメダ座の地球によく似た環境を持つ星に移動して暮らしているようです。

それからというもの、この地球はオリオン座の種族とレプティリアンたちが分かれてお互い争いあうことになりました。

オリオン座の種族の者たちはスペインやポルトガル、イタリアそのような場所に住み始めました。

そして彼らは皆さまも御存じのように植民地を創るために世界各地へと出かけ、南アフリカやアメリカ大陸に住んでいた者たちを侵略し、その文明を壊していきました。

実をいうとこれはエジプトと同じようなことが起こっていたのです。

私たちはその当時エジプトの文明を成長させて地球の皆さまをアセンションさせていこうと考えていたのですが、その計画が失敗してしまったためにしばらく地球に関わることを控えていたのです。

PART3 マヤ文明、インカ文明の創成と

破滅

今度は場所を変えて中南米にあるマヤやインカの民を指導するために私たちは静かに降りてきたのです。

今回はエジプトのような大きな動きはせず、山に住む種族たちを中心にして文明を創り上げていきました。

レプティリアンやオリオン座の者たちはヨーロッパやアジアを中心に勢力を広げておりましたので、その頃のアメリカ大陸には彼

らは着目しておりませんでした。

そこに住む原住民たちは非常に程度の低い者たちだというふうに彼らは考えていたので、私たちはそこに目をつけ、そのような場所で地球人を育てることを行っていったのです。

アメリカ・インディアンに関しましては、私たちと異なる星の者たちが関わっていましたので、私たちはペルーやブラジル、メキシコ、現代の皆さまが中南米と呼んでいる場所の者たちに関わっていました。

そこには山地に住む者たちがたくさんおり、山を移動しながら暮らしていたのです。

私たちはそのような種族に目をつけ、彼らを成長させようとした。

そしてマチュピチュを中心としてマヤ文明やインカ文明を創っていったのです。

メキシコやペルーの土地にはエジプトと同じようなピラミッドがたくさん有ります。

特にメキシコはとても優秀な指導者が送られましたので、エジプトと負けないぐらい素晴らしいピラミッドがいくつもでき上りました。

このピラミッドは先ほども言いましたように、私たちが自分たちの星と連絡を取り、この地球で活動する仲間たちと繋がっていくための大切な施設です。

そしてそれだけでなく、ピラミッドを配置することによって、その土地のエネルギーを高め、そこに住む種族の者たちの意識を高めるという役目を担っていたのです。

ピラミッドから発せられる特殊なエネルギーによって、その土地に住む地球人たちの遺伝子が活性化され、地球人の肉体が変化して私たちの意識が入ることができるように肉体へと変わっていくのです。

もちろんそのためには100年、200年とかかりますので、私たちは最初から地球人の肉体に入れたわけではありませんが、ピラミッドを配置しピラミッドによって特殊な磁場を作ることによって地球人を進化させることに成功したのです。

地球人の肉体が進化する過程において、地球人の肉体に私たちアルビレオ星や幾つかの星の種族の遺伝子を埋め込みました。そうすることによって、今までさほど変化がない状態で生活していた者たちが急速な変化を起こしていったのです。

それは皆さま方のことを見ればお分かりになるかと思います。1万年も2万年もただ狩猟や単純な耕作を行っていただけの民族がたった2000年で地球を飛び出して他の星に行けるだけの文明を創り上げたのです。

それはそのような種族たちが順当に進化していったのではあり得ない変化です。

特殊なきっかけがなければこれだけ急速に文明が進化することはありません。

それは良きにつけ悪しきにつけ、地球外種族の遺伝子と地球外種族の指導によるものなのです。

私たちはこの中南米で少しづつ指導を行ってきました。

また急速に進化させるとエジプトのときと同じような失敗を起こしてしまうかもしれないからです。

そしてオリオン座の者やレプティリアンたちから見つからないように種族を育てていったのですが、やはりレプティリアンやオリオン座の者は各地の動きを見張っておりますので、私たちが秘かに育てていた文明もまた見つかってしました。

そしてスペインやポルトガルは船を出してこのアメリカ大陸に渡り、私たちが創り上げた種族とその文明を壊そうとしたのです。

皆さまは、この中南米への侵略行為は、宗教的な侵略あるいは奴隸貿易であると考えていらっしゃるかもしれません、どの種族が地球を支配していくのか、オリオン座やレプティリアンなのか、アンドロメダ座や我々なのかというような地球外種族による地球の支配権の争いでもあったわけです。

我々はあくまでも平和な方法で、地球の人々が宇宙に生きる種族と繋がるような方法を使って地球人を進化させようとしました。

そのために地球人に太陽崇拜をもたらし、また大地や海などを信仰し大切にするような生き方を教えていました。

オリオン座の者やレプティリアンたちは自分たちが地球人を支配するために、地球人から「宇宙との繋がり」というものを全て切り離してきました。

地球人は優秀な宇宙種族たちの遺伝子を持っていることを彼らは理解しておりましたので、その者たちの遺伝子が活性化しないように細工をし、差別や競争、争いなどの遺伝子を地球人に埋め込んでいったのです。

我々は宇宙の種族と地球の種族がしっかりと繋がりを保ち、そして宇宙の意思と共に生きる生き方を皆さんにお伝えしていましたので、とてもシャーマニックな生き方をしていたことになるのではないかと思います。

そして私たちが指導した種族は金属に関する、私たちが教えた特別な技術を持っておりましたので、早くから金の細工や銀の細工を行っておりました。

レプティリアンやオリオン座の者はそのような技術を持っておりませんでしたので、我々が育てた種族の者から金や銀の細工を奪い取っていたのです。

やがて私たちが生み出した文明もまたここでレプティリアンやオリオン座の者たちによって破壊されることになってしまいました。

そして私たちの考えをしっかりと理解する者たちは、この地球上

残ることを選択せずにアセンションをしていきました。

皆さまがマチュピチュであるで今まで生活していたような状況で、誰かと争ったわけでもなく忽然と人が消えるような現象を遺跡のなかに見られていると思います。

あれはアセンションをすることによって別の次元へとマチュピチュの者たちが入っていったのです。

私たちアルビレオ星の者たちは以前よりも高次元の存在となりましたので、昔のように地球に肉体を持って降りたち、地球人と密に関わることはできなくなりました。

しかしこのようなメッセージを通して、あるいは今の地球の種族に対して様々なエネルギーを送ることによって、皆さまのアセンションをこれからサポートしたいと考えております。

PART4 瞑想ワーク 自分の意思で自分の人生を創造する力

今日は宇宙連合の皆さまから特別に許可を得てここに集まってくれていている皆さまに私たちアルビレオ星の光を送らせていただくことになりましたのでどうか受け止められてください。

私たちアルビレオ星のエネルギーは人間の特別な力を活性化していきます。

ピラミッドを作るために石を加工したり、石を運んだり、あるいは鉱物の中から金を生み出したり、金の細工をしたりする能力もそのエネルギーによって活性化されたものでした。

あるいは目に見えないものから目に見えるものを生み出したり、不可能と思われるようなことを現実に引き起こしたりします。

これは全てが自分の意志の力や自分の想念のエネルギーによって物質を変化させていく、物質を生み出していく能力なのです。これはある意味「錬金術」のような力といっても良いかもしれません。

アルクトゥールス星の者たちも同じような能力を持っていますが、彼らがやっていることとは少し異なります。

我々は自然界のエネルギーを自分たちの身に集め、その力を使って無から有のものを生み出すことをしているのです。

実を言いますとこの遺伝子は地球人、特に日本人の方々には含

まれている遺伝子なのです。

今はこの遺伝子はほとんど活性化しておりませんが、ただ人によってはこのような力を使うことができる者もいるのです。

そのような者たちは決して表に出ることはできませんが、例えばカタカムナを最初に記した者たちはこの力のことをよく知っています。

古代カタカムナを生み出した種族の者たちは、そのような力を使うことが少しばかりできたのです。

私たちもしばらく日本の様子を見させていただいたときがありました。

日本は他の種族の方たち、特にホワイト・レプティリアンの皆さまが治めていらっしゃいましたので、私たちはその邪魔をするわけにはいきません。

彼らは、私たちなどを足下にも及ばないぐらい素晴らしい種族でしたので、私たちは自分たちが行うことの参考にするために、日本の皆さまのことを見守させていただいたのです。

そしてホワイト・レプティリアンの皆さまも同じような能力を持っていらっしゃいましたので、皆さまの中にはこのように「無から有を生み出す力」あるいは「ある物を別の物へと移し替える力」を持っていらっしゃいます。

今その力を私たちは活性化することはできませんが、ただその力の基礎となる部分、「自分の意志の力で現実を創造して生きる」というような能力を皆さまの中に発揮させることはできるかと思います。

これはよくサファイアさんやライラさんがおっしゃっていました「自分の想念が現実化する」ということでもあります。

この想念が現実化するということは、地球はパラレルワールドになっておりますので、自分が望む世界を選ぶことができるということなのです。

そして「自分がこのような現実を創りたい、このような現実で生きたい」と考えれば、そのような現実を持ったパラレルワールドを引き寄せ、自分の世界とすることができるのです。

そのような自分の生き方、自分の人生をしっかりと自分の意思で創造していく力というものがこれから皆さまにとって必要な力となっていきます。

誰かに支配されて行動するのではなく、誰かに洗脳されてあたかもそれが自分の意思であるかのように思って行動することでもなく、しっかりと宇宙と繋がった自分の意思で行動していくことがこれからの方々にとって必要なのです。

それではそのような力が目覚めるように私は今から光を送ってきます。

第10章

地球人を支配した種族4 超古代日本の民族を生み 出した種族

レプティリアン ベガ星系

2024年2月26日

第10章目次

PART1 古代日本に生まれた種族の秘密

PART2 ベガ星の種族と日本神話の神々

PART3 ディセンションをしたベガ種族の支配

PART4 ベガの遺伝子の活性

PART1 古代日本に生まれた種族の秘密

私はベガ星のマスターの1人です。

皆さまからは「マスターべガ」と呼ばれております。

ベガ星の者たちはすでに集合意識になっており高い次元へとアセンションを行っておりますが、私たちが古代の日本に関わっていた頃、地球上に私たちの星の者が降り立って働いていたときは、

さほど高い次元にあったわけではありません。

私たちの星の者の中には、まだ物理次元に肉体を持っている者もおりました。

そのような者たちが中心になって古代の日本に降り立ち、そして日本となるべき土地に生まれた人々を育てていったのです。

もちろんその当時はまだ日本という言葉はありませんでしたので、今の日本を中心としたアジアの地域というふうに考えていただければ良いのではないかと思います。

その頃の日本の地形は今と違って、まだ大陸とひとつながりであったようです。

そのために大陸から幾つかの種族の人たちや動物たちが日本に渡り、そしてまたアジアに帰っていくことも行われていました。

宇宙種族の中でも日本に最初に入ってこられたのは皆さま方も御存じのようにホワイト・レプティリアンといわれている方々でした。

このホワイト・レプティリアンという方々は先日お話になられたリラの系統をひく人たちでもあります。

リラの人たちが持っていた素晴らしい遺伝子、調和の遺伝子や自然界の植物や動物たちと共に鳴するような能力を持っておりました。

私たちはその頃はまだ地球に入る前でしたが、ホワイト・レプティリアンと1部のシリウスやアンドロメダの方たちが協力し合ってこの日本を中心とした地域に新しい種族を生み出すことを行わっていたのです。

それはムー大陸やアトランティス、レムリア大陸がもうすでに水没した後の時期です。

約2万年から3万年前と言ってもよいでしょうか。

他の場所でもそうであったように、レムリアやアトランティスが滅亡した後、しばらくの間は大きな文明が栄えることはありませんでした。

レムリアやアトランティス、ムー大陸などで辛うじて生き残った人たちが各地に散らばって生きていたのです。

彼らは自分たちの文明を失ったことをとても大きな悲しみとして捉えていました。

そのために同じような文明を作ろうとする人々はあまりおらず、自分たちの身の回りにある作物や動物たちを食べながら細々と生きていたといっても良いでしょう。

しばらくの間、多くの宇宙種族の者たちはこの地球に関わることを禁止されておりました。

しばらく様子を見て、これからどのような人たちを育てていくのか、これからどのような文明を育てていくのか、ということが宇宙連合の中で話し合われていたのです。

そしてそこから幾つかの試みが行われました。

そのひとつがエジプトを中心としたピラミッド文明であったのです。

そしてアジアでは中国大陸を中心とした黄河文明というものが生まれました。

しかしながら日本の土地に生きる人々を育てる種族は、他の地域の種族たちとはすこしばかり異なる選択を致しました。

それは「争うことしない」という選択です。

そして人々と調和して生きる、自然界と調和して生きるという能力を伸ばすことを決められたのです。

そのために最もふさわしい種族がホワイト・レプティリアンと呼ばれる種族だったのです。

そして日本という名前で呼ばれることになる土地に複数の地球人がやってきました。

それはかつてレムリアやムーで生きていた種族の生き残りの人たちが、船などを使ってやってきたり、陸地を歩いてきたりしていたのですが、彼らが昔持っていた高度な文明や叡智はもうすでに失われていました。

ホワイト・レプティリアンの方たちはそのような人々を見つけ、この日本と呼ばれることになる土地に定住させて育てていくことにしました。

日本にはピラミッドの形をした美しくてパワーに満ちあふれた山が幾つもありましたので、ホワイト・レプティリアンの方々はそのような山のエネルギーを利用して、そこに棲みついた人たちを育てました。

そして山の信仰、海の信仰というものを教えました。

次第に人々は村を作りあげ道具なども使うようになり、人々はとても速い速度で進化していったのです。

今日日本でも幾つかの土地から古墳や古い時期に作られた土の甕や農具などが発見されていると思います。

また大規模な集落というのも発見されていると思います。

その頃の生活はレムリアやアトランティス大陸の文明と比べてとても質素です。

大地から堀り出された土を甕などの器として使ったり、木や金属などを加工して簡単な道具を作ったりしながら生活していました。

そして小さな動物たちを捕らえて食べたり、木の実などを採取して食べたりしていました。

少しばかり進んだ知恵を持っていた種族の影響で簡単な農耕も始まったようです。

皆さまが知っているらっしゃる弥生時代、縄文時代の人々はそのような生活を行っていたのです。

しかしながら今の皆さまが知らないことがあります。

確かに彼らはそのような生活をしてきたのですが、とても優れ

た精神性を持っていました。

高次元の世界とつながる素晴らしい精神性を持っていたのです。これはどういうことかというと、実は弥生時代、縄文時代の前にもう少し高度な文明というものがこの日本を中心とした場所に起こったからなのです。

それは皆さまが想像されるようにコンピューターや電子機器あるいは交通機関などが有る文明ではありません。

多くの宇宙種族と地球の人たちがひとつになって祈りを捧げ合う、あるいは地球の環境や動植物を守るために自分たちの生活のあり方や地球との関わり方をしっかりと考えていくような文明です。

大きな建物が立ち、金属の複雑な道具が有ったわけではありませんが、その当時の人たちはとても高い意識を持って地球の中で生きていたということは言えるかと思います。

その当時ホワイト・レプティリアンの方たちは、とても高い次元にいらっしゃったので自分の意識を地球人の肉体に降ろして地上に存在することはできませんでした。

そのためにベガ星から呼ばれた私たちが、人間としての肉体を持ち、この日本と呼ばれる土地に降り立って日本人の元となる種族を直接指導していったのです。

PART2 ベガ星の種族と日本神話の

神々

それでは少しベガ星の話をしましょう。

詳しい説明をすると太陽系と同じように恒星であるベガ星の周りを廻る幾つかの惑星や衛星のひとつになるかと思いますのでベガ星系の星といった方が正しいのですが、便宜上ベガ星と呼ばせていただきます。

地球もそうですが大きな恒星の周りに幾つもの惑星が回っています。

物理世界に存在する恒星はとても熱いので、その地上に肉体を持った種族が住むことはできません。

その代わり恒星の周りを回っている惑星や衛星の中には、地球と同じように酸素や大気が有り、そこに植物や動物たちが生き

ていけるような星もあるのです。

私たちはベガという恒星の意識とも深く関わっておりますが、肉体を持っていた者たちはベガ星を廻る惑星や衛星にその住処を求めていたのです。

そのような星に皆さまがベガの種族と呼ばれるひとつの種族が住んでいたのです。

その星はとても地球に似ております。

緑豊かで海や川も有りますので、多くの生命体がそこに存在しているのです。

私たちは地球人を指導するために、意識体として地上に降りた者もおりますが、自分たちの肉体を地球に適応させたうえで地球に降りた者もおります。

我々ベガの種族の者たちは、それぞれの役目を持って地上に降り立ち、地球人に様々なことを教えました。

農耕や調理の方法、家の作り方などを指導し、村を創ることや太陽に対する信仰なども教えました。

複数の者たちが分担しながらその役目を担って、日本の人々を育てていったのです。

そして日本人の方々がその当時降りてきたベガの種族の人たちを神話化して天照大御神、月読命、須佐之男命あるいは瓊瓊杵尊などの名前やイメージを作り上げられたと言っても良いでしょう。

皆さまの中には天照大御神、あるいは瓊瓊杵尊という存在の姿に対して共通の概念が有ります。

それは神社のホームページ等の絵で見るようなイメージが既に浸透しておりますので、私たちがそのような姿をあえて皆さまに見せることによって、ベガの種族がこの地球の中でどのような働きをしてきたのか、ということを皆さまにお伝えしているのです。

皆さまがベガ星の種族と交信されるときには、皆さまのイメージどおりの姿を表して皆さまとお話しすることにしております。

実はこのベガにもアセンションをしたベガとディセンションをしたベガが有ります。

我々が地球に降り立って活動していた時期には、アセンションをしたベガは第2アセンションを終えておりました。

ただしベガにも幾つかのパラレルワールドが有ります。

第1アセンションに成功したベガ、第1アセンションに失敗してディセンションをしたベガ。

そして第1アセンションに成功したベガの中から第2アセンションに成功したベガと第1アセンションには成功したけれど第2アセンションには成功せずにディセンションをしたベガというものが有ります。

この当時地球に関わったのは、第1アセンションと第2アセンションが終わったベガの種族たちでした。

そのような者たちが宇宙連合の宇宙船に乗せていただき地球に降り立ったのです。

私たちは肉体を持っていたとしても、やはり地球に生きていた皆さまよりも多彩な能力を持っておりますし、とても強い存在感を持っております。

私たちの体は地球にいた皆さまから見るならば、とても大きく光り輝いているように見えたかもしれません。

当初は我々もやはりこの地球の環境に慣れるために宇宙服のようなものを着ておりましたので、地球の人々から見るととても違和感のある不思議な姿に見えたことでしょう。

私たちが持っている道具などは地球の皆さまには全く馴染みのない道具ですので、まさに空から神々が降りてきたというふうに思われたことでしょう。

また信仰に関しても、その当時生きていたレムリアやムー文明の末裔の方たちは、自然の神々に対する信仰のことをよく知っていました。

そしてかつては太陽の神々を信仰し、また海の神々を信仰していた記憶も残っていましたので、私たちが日本の大地上に降りてきたときは、まさに太陽から神々が降りてきた、あるいは月から神々が降りてきたと思われて天照大御神、月読命という名前を付けられたのです。

もちろんこれは、私たちが意図的に創り上げたイメージでもあります。

その当時の地球の人たちを指導するためには「自分は太陽の神である」「自分は月の神である」というふうに申した方が地球人には分かりやすく、私たちを信仰していただけたからです。

私たちが古代の日本に降り立ったのは、彼らを武力で支配するためではありません。

ホワイト・レプティリアンの方たちの教えを受け継ぎ、やがて日本人となるべき者たちの意識を高め、太陽信仰や月の信仰を元にして民族をまとめていくことが必要だったからです。

エジプトもそうであったように、何も信仰がない状態では民族はひとつにまとまるることはできません。

特定の者たちが武力を使って多くの者たちを支配したとしても、その土地は絶え間ない戦争が起こって荒廃するばかりです。

ホワイト・レプティリアンの方たちの思想は「そこに争いを持ち込まない」「太陽信仰を中心として皆さまが自然を大切にし、共に生きている人たちを敬う種族を創る」ことでしたので、私たちは太陽神である天照大御神にその姿を変え、日本の種族の人たちを統治し始めました。

統治するという言葉はとても難しいものです。

我々は武力で統治するのではなく、信仰とお互いが協調し合う愛の力で種族を統治しようと考えていたのです。

そして我々は、その当時さほど大きな文明を持たず、着の身着のままで狩猟生活や少しばかりの農耕をしていた者たちに米を作ることや野菜や果実を作ることを教え始めました。

ムーやレムリアの末裔と言っても彼らの文明が滅びてからもう何百年も経っていますので、もうすでにその頃の農耕技術も失われ、金属を生成する技術も失われておりましたので本当に野生のような状態で生きていたのです。

彼らにとって農耕や金属を生成するという技術は、かつて自分たちの先祖が行っていたことなのですが非常に珍しく新しいものに映っていたようです。

特に日本やアジアの地区においては、米を作る、あるいは他に食べられるような果実や作物を作ることが人々の絆を強固にしていきました。

そしてその種族たちが米を作ったり、作物を作ったりする様子を見て、多くの種族の者たちが周りからどんどん集まり、その種族はとても多彩な複合的な種族になりました。

やがて私たちは天照大御神の後に瓊瓊杵尊と呼ばれる役目を持った者たちを降ろしていきました。

彼がどのようなことを行ったかと言うと、日本に住む種族たちを中心として幾つかの種族の統合というものを行っていきました。

神話では瓊瓈杵尊が大山津見の神の娘である木花開耶姫を娶ったことになっています。

天照大御神が育てた種族とこの大山津見の神が育てた種族はすこしづかり異なる種族でした。

するために我々は種族同士がより強い絆で結ばれるように、天照大御神が創り上げた種族と古くから日本に存在していた大山津見の神が創った種族の者たちがひとつに融合していくために木花開耶姫を娶ったということになっているわけです。

もちろん神話では石長比売は瓊瓈杵尊の元から追い返されたことになっておりますが、本来はそういったことはありません。

大山津見の神の種族の中でも木花開耶姫というとても華やかな種族もいれば、また現実的に様々な技術や生きる知恵を持った石長比売という種族もあったのです。

この2つの種族が同じように天照大御神の種族と融合していきました。

そして瓊瓈杵尊の種族と木花開耶姫の種族が融合した後に海幸彦、山幸彦という役目を持った者たちがこの地に降りました。

彼らが率いたのはこの大山津見の神の種族と瓊瓊杵尊の種族が共に融合して生み出された種族といつても良いかもしれません。この種族はベガ星の遺伝子を持ちながら、日本にもとからいた山の種族の遺伝子を併せ持つ種族となりました。

海幸彦の種族は1足早く海の種族と瓊瓊杵尊の種族がひとつに融合していったのですが、この種族は瓊瓊杵尊の種族の意向を無視したことを行っていたために、本来の瓊瓊杵尊の種族からは切り離されました。

その代わり山幸彦が大綿津見の神の娘である豊玉姫を娶ることにより、この日本の近海に存在していた大綿津見の神の種族と瓊瓊杵尊の種族がひとつになることになったのです。

そうすることによって日本においてベガの種族と古くから山を中心として暮らしていた山の種族そして海を中心として暮らしていた海の種族がひとつになって大きな日本の種族となつたのです。

もちろんその当時、日本という言葉はありませんが、その後日本となる場所に住む大きな種族を形成していったのです。

ただ山の種族や海の種族の中には天照大御神、瓊瓊杵尊の種族の影響を受けずに単独で暮らしていた者たちもおります。

頑なに自分たちの文明を守り、そして自分たちに伝えられた古くからの教えを守っていた者たちですが、そういった種族たちもまだ残されていました。

この辺りまでは実を言うと、日本は非常に平和で友好的で大きな争いなどもない世界を実現しておりました。

もちろんたくさんの役割を持った神々が日本神話の中に表されておりますが、それはベガの遺伝子を持っている者や少し異なる星の遺伝子を持っている者たちが種族の融合のためにやってきたと思われても良いかもしれません。

PART3 ディセンションをしたベガ種族

の支配

しかしながらここで思わぬことが起こりました。

それはホワイト・レプティリアンとブラック・レプティリアンの話をした時に、皆さまにお知らせしたようにブブラック・レプティリア

ンの種族の人々がこのアジアの地域や日本の地域にも入ってきたのです。

もともと彼らはヨーロッパを中心に活躍していたのですが、彼らはとても高い叡智や高度な技術を持っており、この地球上に起こっている幾つもの文明を見つけるのはとても簡単なことです。

そしてようやく創り上げたベガの文明というものが、このブラック・レプティリアンたちの侵略を受けることになってしまったのです。

ホワイト・レプティリアンの方たちもブラック・レプティリアン方たちの影響を受けないように、一生懸命に守っていましたが、ブラック・レプティリアンはその当時第1アセンションは成功したけれど第2アセンションは失敗したベガの者たちと手を組みました。そうすることによって、ベガの種族の遺伝子を持った者たちがブラック・レプティリアンの手下となってこの日本で働くことができるようになったのです。

ブラック・レプティリアンは姿形も全くベガの種族と異なりますし、日本に住んでいた多くの種族の者とも異なります。

しかしながらディセンションをしたベガの者たちは、その当時日本にいたベガの種族の者たちとはさほど変わらない姿をしておりましたので、日本の種族の人たちはその姿を見分けることができませんでした。

そのためにブラック・レプティリアンとディセンションをしたベガの人たちは、この地球上に降り立ったベガ種族の人たちを一掃することを行ったのです。

そして激しい争いが起こりました。

アセンションをしたベガ星から多くの宇宙船が飛来して、ディセンションをしたベガの人たちと戦い、この地球上に降り立ったベガの人たちやベガの人たちと地球人とのハイブリッドの種族たちを助け出そうとしたのです。

ところがブラック・レプティリアンの攻撃によってアセンションをしたベガ種族たちの宇宙船は次々と撃ち落され、多くの者たちが命を失いました。

そしてブラック・レプティリアンとディセンションをしたベガの人たちは、ウガヤフキアエズノミコトという存在を創り上げていったのです。

これは山幸彦と豊玉姫の間の子供とされていました。

いったんその子供は捨てられ、そしてまた拾われるというふうに神話の中には書かれています。

これはその当時ウガヤフキアエズノミコトで最初に日本に降り立ったベガ星の種族が1回断裂したことです。

ここから新しい種族たちが日本を支配することになりました。

ブラック・レプティリアンとディセンションをしたベガの種族の考

え方は武力による支配です。

力で他の種族を抑え込み、自分達が優位に立ってその種族を支配することです。

そのためにウガヤフキアエズの子供であり、のちに神武天皇となるものは日本各地に出かけ争いを起こしました。

そして自分をあえて天皇というくらいにつけたのです。

今までベガの種族を中心とした者たちの中にはこのような武力で日本を統一し、自らその長である天皇と名乗るというようなことをする者はおりませんでした。

しかしながらブラック・レプティリアンとディセンションをしたベガの者たちはこの天皇という権威を持ってこれから日本を治めていこうとしたのです。

もちろん時代が経つにつれ、天皇の中にもたくさんの派閥ができ争いが起こりました。

それからというもの古代日本の土地も争いが多い土地となっていったのです。

そしてディセンションをしたベガの人たちから生まれた種族を中心として新しい文明が始まりました。

皆さんもよく知っているらしやるような平安京や奈良の都などが建造され、様々な歴史がここから始まつていったのです。

ブラック・レプティリアンやディセンションをしたベガの者たちは、技術はありませんので本来のベガの人たちが伝えた技術を使ってその頃の日本を成長させていったのです。

そしてその流れは今も変わっておりません。

本来の日本人は良識と愛に満ちあふれた種族ですし、とても勤勉で真面目な種族です。

これはある意味ベガ星の遺伝子やホワイト・レプティリアンの遺伝子を持っているからとも言えるでしょう。

しかしながら日本を支配する者たちはとても残忍な思考を持ち、他人を力で抑圧することを目的として活動していますし、お金や様々な特権を使って日本人を支配することを行つてきました。そしてさらに今までよりもとても大きな支配が続くことでしょう。かつて第1次世界大戦、第2次世界大戦と日本が狂気に満ちあふれた時代もありましたが、今もそれは変わっていません。

これはブラック・レプティリアンやディセンションをしたベガの者たちが、本来のベガ種族の者たちをしっかりと支配したいと考えたからです。

特に日本の種族の中にはアイヌの種族のように、まだ純粋にベガの遺伝子を持っている者たちもおりましたが、そのような者たちが次々と傷つけられ種族として滅亡させられていったのです。ただ皆さんの中にもまだベガの遺伝子は残っています。

皆さまが「自然界とひとつとなる、高次の世界とひとつになる」という遺伝子がそうなのです。

PART4 ベガの遺伝子の活性化

私たちアセンションをしたベガの種族は、それからというものあまり地球に関わることができませんでした。

天照大御神を中心とした信仰も今はディセンションをしたベガの者たちが、その信仰の中心となっております。

ただその中でも奇跡的に本来のベガの遺伝子を持った神官の者たちも時折生まれております。

この地球を見守っている者たちが、ベガの種族の遺伝子を完全に根絶やしにすることはないと考えて時々純粋なベガの遺伝子を持っている者たちが生まれ、そして高次の世界と地球を繋ぐという仕事を行ってきました。

それは時としてシャーマンや特殊な能力者の家系としても生まれましたし、またそうではない者たちとしても生まれました。

アイヌのシャーマン達や北陸のイタコたち、あるいは沖縄のユタやノロたち、そのような特殊な能力を持っている者たちはやはりアセンションをしたベガとホワイト・レプティリアンの遺伝子が活性化した者たちとも言えるでしょう。

私たちの目的は皆さまの中にあるベガとホワイト・レプティリアンの遺伝子を活性化させることです。

この宇宙の光のグループのように常に高次の意識と触れ合い、自分自身を通して高次元から与えられたエネルギーをこの地球に降ろし、高次元のエネルギー世界とこの地球を繋いでいく人たちをたくさん生み出すことなのです。

高次の世界とつながっている人がたくさん増えれば増えるほど、この地球にはたくさんのエネルギーが降ろされていきます。

そのエネルギーがこの地球をアセンションさせていく大きな原動力になるのです。

そのような方はまだまだ決して多くありません。

いえかつてよりもさらに少なくなってきたといつても良いでしょう。

様々な社会情勢の中でそのような純粋な遺伝子を持っている人たちが闇に葬られているのです。

私たちがそのような方を守りたいと思ったとしても、その方自身がしっかりと強い意志を持って5次元世界と自分たちをつなげ、そしてこの地球と宇宙をつなぐ役目を果たしていかなければいけないのです。

そのような遺伝子が目覚めたことは、そのような祈りを行い、地球と高次の世界をつなげていく役目を担っていかなければならぬのです。

そうしなければせっかく活性化した遺伝子がまた眠りについてし

まうからです。

私たちは今この地球上に肉体を持って降りることはできません。私たちの種族はその当時からすでにアセンションを繰り返し、より高次の存在になっておりますので皆さんにこうしてメッセージを伝えるのが限界なのです。

その代わりにこの地球には、皆さんがファーストコンタクトを予定されている種族の方たちが少しずつですが入り始めています。彼らはこの地球のネガティブなエネルギーにまだ毒されていない方たちですので、非常に素晴らしい遺伝子を持ち、純粋なエネルギーを身につけております。

しかしながら、そのような者たちと皆さんの地球の物理世界が少しずつ分離を始めているので。

4, 5年前まで、この混乱した社会状況に地球が陥れられる以前は、まだ地球の物理的な状況と彼らが生きている状況というのはとても近い感覚でした。

彼らとのファーストコンタクトもさほど難しくない位置にあったようです。

しかしながらコロナウイルスに関わる問題で社会が混乱し、地球上に生きる人たちが多くの恐れや不安の中で変化していきました。あるいは自分たちの体に対して異物を打ち込むことによって、自分たちの現実世界の状況を困難なものにしているのです。

そしてファーストコンタクトを予定されている者たちとの現実世界が分離されていきました。

それはこの3次元世界を統治する者たちの目論見でもあります。この地球からアセンションをした地球を生み出さないように、地球人がアセンションできないように、この物理世界の地球をがんじがらめに囲い込んでしまう彼らの計画なのです。

宇宙連合はそのことに対してとても大きな抗議を地球の統治者たちに行っていますが、彼らにしてみればそれは地球人がそのことを望んでやっているのだから、自分たちの責任ではないことを主張するばかりです。

このことは何度も話しましたが、やはり彼らによってコントロールされている者たちによって、この地球はとても厳しい支配が行われているので皆さん1人1人がこの支配から逃れていかなければならぬのです。

私たちベガの者たちだけでなく、ブルースカイさんをはじめレムリア時代にアセンションをしたマスターもそうです。

アセンションをしたアンドロメダ、シリウス、プレアデスそして幾つもの星の人々が、地球の人々をサポートするためにエネルギーを送り具体的な行動を行っております。

どうかそのことがしっかりと皆さんに届き、地球がアセンションをしていけるように皆さんと共に祈りを捧げたいと思いま

す。

そして今日私たち高次元のベガ星から送られるエネルギーは、ディセンションしたベガの者たちのエネルギーと皆さまを分離することです。

皆さまの中に多くのディセンションしたベガの遺伝子も入っています。

この遺伝子は皆さまに貪欲で、怠惰で、自分中心的で、そして他人に対して無関心、そのような行動を皆さまに起こさせます。

自分だけが良ければ良い、他人が苦しんでいる姿を見ても関係がない、自分は楽(らく)したい、ゆっくりと寝て暮らせれば1番いい、そのようなとても怠惰な遺伝子です。

そのために地球人たちが真実を知ることをしなくなりました。

そして政府が言われるまま、あるいは国の流れのままに逆らわず生きていくという種族になってしまったのです。

このままでは大切な日本の種族が滅びてしまいます。

大切なベガ星の遺伝子を持つ者たちが全て汚染されてしまい、いなくなってしまうのです。

これは1回だけでは到底片付けられる問題ではありませんが、今日を始めとして皆さまの中に眠っている善良なベガの遺伝子を目覚めさせ、そしてディセンションしたベガの遺伝子を不活性なものにすることをこれから行っていきたいと思いますのでどうかよろしくお願いいいたします。

ではしばらく我々高次のベガの者たちがブルースカイさんや幾つかの種族の者たちの力を借りて、皆さまに光をおろしたいと思います

第11章

地球人を支配した種族 5

オリオン座 おうし座

アルクツールス

2024年3月12日

第11章目次

PART1 オリオン座の三ツ星の種族

PART2 勝負にこだわるリゲル星のオリオン種族

PART3 勇壮なおうし座騎士団の次元上昇と下降

PART4 地球人をコントロールするアルクツールス

PART5 瞑想ワーク 真実を見極める力の活性化

PART1 オリオン座の三ツ星の種族

皆さまこんにちは、私はアンドロメダ座のマスターです。

皆さまには前回私の方からアンドロメダ座の種族やシリウス、プ

レアデスの種族のことについて皆さまにお話をさせていただきました。

今まで秘密にされていた話ですので、皆さまもさぞ驚かれたの

ではないかと思います。

しかしながら皆さまがこのように古代の地球で何が起きたのか、

そして今皆さまが知っている地球外種族の者たちがいったいこ

の地球で何を行ってきたのか、ということを知ることは皆さんがアセンションをする上でとても重要なことになります。

これから地球は幾つかのパラレルワールドへと分かれていきますが、その全てが同じではありません。

少しずつ条件が変わったり、そこに関わる地球外種族が異なったりします。

例えばひとつのパラレルワールドでは、皆さまのことを見守っている種族はシリウス星系やアンドロメダ座の種族であったりしますが、他のパラレルワールドではそのような者たちとは異なる種族と皆さまが共に生きている地球も有ります。

またアセンションをした地球でも、皆さまと関わる種族はプレアデスやシリウスの場合も有りますし、今まで皆さまが会ったこともない地球外種族と皆さまが関わりながらアセンションをしていく地球も有ります。

また逆にアセンションを望まなかつた人たちの中にはディセンションをしたアンドロメダやプレアデスの種族たちと共に歩む地球も有ります。

また同じくディセンションをした地球であったとしてもレプティリアンや非常に支配力の強い地球外種族が統治する世界も有ります。

そのようにパラレルワールドごとに地球の状況も異なりますし関わってくる地球外種族も変わってきます。

例えば皆さまがファーストコンタクトを行う相手も変わってくるのです。

理想的なアセンションを行った世界ではヤイエルの人たちやアンドロメダの人たちがファーストコンタクトの相手になるかもしれません、ディセンションをした地球の中では現在3次元世界を統治している者たちがファーストコンタクトのふりをして関わってくる場合も有ります。

アセンションをした皆さまはこれから様々な世界で活躍する可能性を持っています。

それは皆さまがアセンションをして意識進化が起こった後、皆さまは天の川銀河の平和を守るために、あるいは地球を守るために様々な場所で活躍されることでしょう。

中には時間を超えて再び2000年代初めの地球に来ることがあるかもしれません。

皆さまが進化して時間と空間のルールを知ったならば、皆さまは自由に他の時間帯へ移動することができます。

そしてその任務を遂行するために、地球にどのような地球外種族が関わっているのか、ということを理解しておくことはとても重要なことなのです。

今皆さまが多くの地球外種族のことについて学んでいますが、やがて今学んでいる知識が役に立つ時が来るのです。

皆さまが幾つものパラレルワールドに別れたとき、そこで出会う種族たちがいったいどのような種族たちなのか、過去に地球とどのような関係に有ったのか、ということを知ることによって皆さまはその種族との付き合い方あるいは対処の仕方というものを理解し考えることができるのです。

皆さまはこれからアセンションをしていきますので、今私たちが話している知識は決して無駄にはなりません。

皆さまが地球外種族に対して正しい判断をするために非常に重要な知識を今皆さま方にお与えしているのです。

これは皆さま方がアセンションをすることを前提として、皆さまにお教えしておりますので、そのことをよくご理解いただいて私たちの話を聞いてください。

そして私たちは皆さまの中にある遺伝子や様々な地球外種族によって影響を受けた脳細胞や思考の習慣、そういうしたものも皆さま本来のものへと戻していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

今回皆さまにお話することは現在の皆さまにも大きく関わっている種族たちの話です。

最初はオリオン座の三ツ星から来た地球外種族です。

オリオン座というのは皆さまも御存じかと思いますがペテルギウスというとても大きな恒星を持ち、そして中央付近には日本でも有名な三ツ星が有ります。

そしてオリオン座の下にはリゲルと呼ばれる恒星が有ります。

このオリオン座から来ている種族たちには実は 2 種族あるのです。

ひとつはオリオン座の中央に有る三ツ星から来た種族、この種族はすでにアセンションをしておりますのでとても礼儀正しくて賢く、献身的に働いています。

しかしこの種族がアセンションを成し遂げるまでは大変な道のりが必要でした。

この3つの星がお互い競い合い、争うような時代も有りましたが、本来この三ツ星の種族はとても仲が良く、力強い兄弟の絆を結んでいました。

もちろん実際の距離はそんなに近いわけではありませんが、この三ツ星の種族たちはスピリチュアルな世界の中でひとつにまとまっているのです。

そして彼らは共にアセンションをして、互いが争うことをやめ、3つの星の種族がお互いの力を合わせて協力し合っているのです。特にこの三ツ星の人たちは地球に来て幾つかの仕事をしました。それは地球に生きる種族たちの中でも仲の悪い種族の者たちを少しずつ仲良くさせてあげることです。

彼らはそれほど大きな影響力を持っているわけではありませんが、仲の悪い種族たちの間を取り持つて、お互いが仲良く暮らす

ように導いているのです。

特に彼らはアフリカやアメリカ大陸、そのようなところで活躍しております。

さほど文明が発達していない場所やまだ人間と自然の絆がしっかりと保たれている場所に生きる種族たちは非常に信仰心が強く祈りの力というものを信頼しています。

この三つ星の種族は、祈りの力というものを充分に知っています。

自分たちが祈ることによってこの宇宙に平和がもたらされることも知っていますし、自分たちが祈ることによって幾つもの種族の者たちが仲良くなることも知っていますので、この種族はアメリカ大陸やアフリカ大陸に住む様々な種族たちが仲良く暮らすために日々祈りをささげています。

そして彼らは他にも芸術性に関わる仕事をしています。

芸術にも様々な芸術が有りますが、非常に破壊的な芸術もありますし闇をテーマにしたような芸術もあります。

しかしながら彼らは愛や調和について、あるいは融合について、芸術家たちに多くのインスピレーションを与えています。

そのために芸術家が描いた絵を見て「とても心が落ち着く」「愛や調和を感じる」というような感覚はこの三ツ星の種族によって芸術家たちに送られている場合があります。

彼らはとても賢明でそして芸術的なセンスに優れていますので、芸術家たち、アーティストたち、そして様々な分野の者たちに啓示を与えて、この地球を愛の星にすること、この地球を統合の世界にすること、この地球に調和をもたらすこと、そのようなことをこの三ツ星の種族は行っています。

この三ツ星のことは、日本であれば古くから良く知られています。まさに調和の象徴、仲良し3兄弟というふうに日本の皆さんも感じられているようです。

もちろん皆さんが空を見上げたときに、この三ツ星というのを見つけることができます。

そしてこの三ツ星があることによって、このオリオン座もさらに一層輝いているのです。

PART2 勝負にこだわるリゲル星のオリオン種族

ところがオリオン座にはもうひとつ別の種族もいます。オリオン座の下の方に有るリゲルという星の種族です。リゲル星系といった方が良いかもしれません、リゲルというのは恒星ですのでそこに肉体を持った種族や半物質体の種族たちがいるわけではありません。しかしこのリゲル星を中心として回る惑星の中に、地球と同じように物質世界を持っている星が有ります。その星に生まれた種族たちの中でオリオンの種族と呼ばれる者たちがいるのですが、この地球にやってきて主に活躍しているのはこのオリオンの種族からディセンションをした者たちです。このリゲル星系の種族の者たちはかなり遠い昔にアセンションとディセンションを行いました。アセンションをしたオリオンの種族の者たちはとても高い叡智を持ち、そして愛にあふれています。先ほどの三ツ星の者ともとても仲が良く、天の川銀河の連合の中でも活発に活躍しております。しかしながらディセンションをしたリゲルの種族は他の星々を支配しその星の人々を傷つけるようなことも行っています。彼らが地球で一般に言われるオリオン星人なのですが、彼らはこの地球にやってきて地球人を支配することを考えていました。前回ピラミッド文明のところでもオリオン星人に触れましたが、ピラミッド文明を作った宇宙種族たちが自分たちの意識をファラオと神官に投影して、この地に素晴らしいピラミッド文明を作ろうとした時に、オリオン星人たちが入り込みファラオや神官たちを誘惑したり、精神的なコントロールを行ったりしてピラミッド文明を破壊してしまったのです。このオリオンのディセンションをした者たちはかなり古い時代、おそらくピラミッド文明が始まる前からこの地球に入っていたと思います。彼らはこの地球で何をしていたのかといいますと、彼らは戦いを通して自分たちの権力争いをしていたのです。自分たちの種族の中で誰が一番力を持っているのか、誰が一番強いのか、ということを彼等はいつも競い合うのです。そして地球のような惑星に入ったとき、オリオンの者たちが各地域の種族をコントロールしてお互いを戦い合わせ、そして戦いの中で多くの種族が滅ぼされながら、最後にどの種族が残るのかという争いを彼らは行っていたのです。非常に原始的ではありますが、お互いを戦わせて力を比べることがこのオリオンの種族の特徴でした。そのためヨーロッパを中心とした地区、そして中国を中心とした地区には絶えずそのような権力争いが行われていたのです。

これは多くのオリオンの者たちがその地にいる権力者や国王あるいはたくさんの兵を持っている者たちを操ってこのような争いを行っていたのです。

そしてヨーロッパでは本当に長い間、そのような争いが続きました。

かつては有名なナポレオンもそうでしたが、このオリオンの者たちに操られた地球人たちはたくさんの地域を自分のものにするために多くの争いを行いました。

その後、宗教戦争という名目でヨーロッパからいろんな場所に行って、その場所を支配しようとしたものもこのオリオンの者たちです。

彼らはそのようにして自分の優位性を誇るために戦ってきたのです。

しかしながら最近ではそのような形で争うこともあまりできなくなりました。

もちろん今でもイスラエルやウクライナでは、多くの地球人たちが殺し合うような戦いが行われてますが、オリオンの者たちはこのような争いから手を引き、少し形を変える形で存在しています。

オリオンの者たちの中でも新しい種族の者たちは、インターネットの仮想世界に入ることになりました。

彼らがまだ半物質的な肉体を持っているときは、国王や権力者の意識や肉体に入り込んでそのような戦いを行っていたのですが、やがて彼らの種族の中でも半物質的な肉体を失った者たちはインターネットの世界に入りました。

彼らはインターネットを使用して投資や株式の売買、あるいは企業の買収などを行うことで自分たちが経済的に優位な立場に立ち、人々を支配することを始めるようになりました。

そしてオリオンの者たちはインターネット空間を自分たちが自由に扱うことにより、多くの人たちの個人的な情報や資金を自分たちが管理するようになりました。

そして自分たちと手を組んで自分たちの手助けをしてくれる者に対して非常に大きな利益を与え、そうでない者たちに対しては壊滅的な打撃を与える、というようなことを行っているのです。今インターネットを使って皆さま方を管理しているのはオリオンの者たちが中心となっています。

そしてオリオンの者たちとレプティリアンたちが協力し合って、この地球を支配しているのです。

オリオンの者たちはインターネット回線の中に入り込むことができます。

彼らは進化することで電気回路やインターネットの回路の中で意識体として生存することを可能としたのです。

そのためにインターネットを使っていろんな仕事をする人たち、

特に株式や経済的な活動、あるいは様々な取引などの中にオリオン人のエネルギーが入ることになってしまったのです。

このインターネットを通して活動している人たち、それは芸能人や経済人でもそうですが、そのような人たちの思考の中にオリオン的な思考が入り込み、そして常に自分が一番、自分が誰よりも優れているというような思考に組変えていったのです。

そのためにこのインターネットを通して多くの争いが起こっています。

オリオン人たちはそのことを楽しんでいると言った方が良いかもしれません、皆さまもこのインターネットを利用することによってオリオンの者たちにある程度のコントロールを受けていることは忘れてはいけないことです。

PART3 勇壮なおうし座騎士団の次元

上昇と下降

おうし座の中心的な星はアルデバランですがこのおうし座の先にはプレアデス星団が有ります。

そのためにおうし座の者たちはディセンションをしたプレアデスの者たちから非常に大きな影響を受けてきました。

もともとおうし座というのはこの天の川銀河にとって「平和を守るための騎士団」と呼ばれ、平和を守るために活動していた重要

な種族なのです。

おうし座というのは非常にパワフルでそして戦闘力に優れている種族です。

おうし座の種族はもともと力が強く、相手の攻撃をかわして相手を打ちのめしてしまうようなパワフルな力を持っています。

アセンションをしたおうし座の種族は、そのような武力というものを積極的に使うことはしませんが、あくまでも平和のために自分たちの力を使用しております。

他の星を侵略しようとして入ってきた種族たちや他の星の種族を捉えて奴隸のように使おうとしている種族たち、あるいは他の星を攻撃しその星を破壊しようとしている種族たちによって争いが引き起されたときに、おうし座の種族たちが宇宙船などでその星に入り、乱暴で支配的な種族の者たちと戦い、その

星々を守ってきたのです。

そのためにおうし座の騎士団は、多くの星々の種族から非常に敬愛されております。

ただそのようなおうし座の騎士団だったのですが、やはり中にはおごり高ぶる者たちも出てきました。

「自分たちのおかげで天の川銀河の星々は平和を維持できるのだ、自分たちのおかげで力のない種族たちは守られているのだ」というふうにすごく傲慢になってしまい、本当の愛そして正義というものを見失ってしまいました。

彼がそのような気持になった影には、そのようなおうし座の者たちに対して隠れてコントロールを行っていた者たちもいたのです。

特にプレアデスから来た者たちが彼らをコントロールして、非常に勇壮で誠実で愛に満ちたおうし座の騎士団たちを分裂させました。

そしてその分裂の中でおうし座の騎士団たちは怒りや憎しみを覚えてアセンションをした世界からディセンションをした世界へと向かっていったのです

彼らはディセンションをした後、ディセンションをしたプレアデスのものと共に活動していました。

そして今度は自分たちが他の星に行って力の弱い種族たちを抑圧し、自分たちの奴隸として使うようになったのです。

ただ問題なのはディセンションをしたおうし座の者たちはアセンションをしたおうし座の者たちと次元が離れてしまったので、アセンションをしたおうし座の者たちはディセンションをしたおうし座の者たちを戒め、その行為を止めさせることができないということなのです。

これはおうし座だけでなく他の星々でも同じようなことが起こっています。

ひとつの星でアセンションをした種族とディセンションをした種族が生まれるのですが、アセンションをした種族は高次の意識になり調和に満ちた世界を創りますが、ディセンションをした種族は怒りや苦しみを持ち暴力的で支配的な世界を創ります。

この2つの世界は一度別れてしまうと、もう二度と交わることはできなくなりますので、たとえ同じ星の種族であってもアセンションをした種族たちは、ディセンションをした種族たちと関わることができなくなります。

他の星の方から、同じ星のディセンションをした種族たちが、他の星の種族の者たちを苦しめているという報告を受けるのですが、特別な場合を除いてそのようなディセンションをした者たちに対してアセンションをした同じ星の者たちが戒めることはできないのです。

通常アセンションをした者たちとディセンションをした者たちが

同じ次元に存在することはありませんので、ディセンションをした者たちをどのように立ち直らせていくのかということは、アセンションをした星の者たちにとってみれば非常に重要な課題となるのです。

ただその中に地球人のような物理世界に生きる種族が入り、お互いの間にゲートを開くことによって、アセンションをした星の種族の者たちがディセンションをした星の種族の者たちと出会い、そこで彼らの行動を戒めるというようなことも稀に起こっています。

他の種族の者たちが地球人を支配する目的のひとつは、地球の人たちが物理次元に生きていることで、いくつもの次元に扉を開くことができる能力を利用するためなのです。

地球人の中でそのような能力を使用できる人たちがいることで、アセンションをした種族の人たちとゲートを開き、また同じ星のディセンションをした人たちとの間にもゲートを開くことで、地球人を通してアセンションをした種族とディセンションをした種族の者たちが関わり合うことができるのです。

そのゲートを使ってアセンションをした種族はディセンションをした種族の者たちを戒め、もう一度愛の世界に戻ってくるように導くことも可能なのですが、ディセンションをした次元があまりにも低いとアセンションをした者たちの言葉を聞くことはまずありません。

アセンションをした者たちが関わろうとしてもその関わりを拒否し、自分たちは自分たちの思いのままに生きていくことを選択していくのです。

おうし座の場合にもそのようなことが起こりました。

おうし座の種族がディセンションをしたプレアデスの種族とともにこの地球にやってきました。

彼らは非常に高い能力を持っており、物理世界に生きている者たちに脅威を与え、その者たちをコントロールし支配しました。

あるいは、自分たちの力を授けて非常に武術的に優れた者たちをたくさん創り上げ、オリオンの者たちとも対抗しながらお互いが地球人を支配し合うための争いを行っていたのです。

おうし座の者たちはまだ物理的な肉体を持っており、地球人の肉体と非常に共通性が多かったので、お互いの遺伝子を組み替えて地球人でありながらディセンションをしたおうし座の者たちの力を持つような者を何人も創り上げたのです。

それがミノタウルスと呼ばれているような頭が牛で体が人間というようなハイブリッドの種族です。

そしてそのような者たちが古代ローマや古代ギリシャ時代、あるいは更に古い時代などにも戦いを行っていたのです。

おうし座の者たちはそのような形で自分たちの遺伝子をこの地球上に広げ、自分たちがこの地球を支配する種族になろうとしていました。

彼らは主にギリシャ、ローマそしてエジプトなど地中海地方やトルコ、中近東そといった場所に自分たちの拠点を定め、そこでとても強い超人と呼ばれる者たちを創り、その場所を支配していました。

その当時に地球人のシャーマンを通してアセンションをしたおうし座の者たちもディセンションをしたおうし座の種族の者たちに関わってきましたが、彼らはアセンションをしたおうし座の種族の者たちの言うことなど全く聞きません。

アセンションをしたおうし座の者たちをこの地球から追い払うために、他の種族の者たちと協力して、彼らをこの地球の外へと追い出してしまったのです。

それ以来おうし座のディセンションをした種族の者たちは、非常に大きな力を持って地球人たちを統治していました。

そして戦闘を得意とするような者たちをたくさん育てていったのです。

今格闘技や様々な武術をやっている人たちの中にはこのおうし座の遺伝子を持っている方たちがたくさんいらっしゃるようです。

そしてそのような人たちは、おうし座の遺伝子が入っているために非常に荒々しく乱暴で、そして他人を馬鹿にしたような行動をとることが有ります。

また女性に対しても非常に抑圧的で乱暴な行動をとるために、女性たちからは大変恐れられる存在になっていることを覚えておいてください。

このおうし座の遺伝子を受け継いだ者は、今でもこの地球上に存在しており、自分の武力を誇りにして生きているのです。

ただ彼らがそのような武力でこの地球を支配できるような時代ではありませんので、彼らは人々を支配するという立場にはもうありません。

自分たちの力を誇示することに、彼らは今自分たちの重きを置いています。

ただ古代においては、このおうし座の力がとても強かったので英雄やヒーローと呼ばれるような者たちを生み出し、多くの戦争を行っていたのです。

古代の地球においてこれだけ多くの争いが起こったのもこのおうし座とオリオン座の種族による影響なのです。

PART4 地球人をコントロールするアルクトゥールス

そしてもうひとつ皆さんたちに非常に大きな影響を与えてるのはアルクトゥールス星の種族です。

以前レプティリアンの話をしたときに、レプティリアンとアルクトゥールスがひとつに融合して新しいレプティリアンの種族を創り上げたことをお話ししました。

そのようなアルクトゥールスとレプティリアンのハイブリッドはさほど多くはいなかったのですが、それぞれの国や宗教、経済を統治するような立場にある地球人たちに憑依したり、彼らをコントロールしたりすることで、この地球を自分のものにしていったようです。

このアルクトゥールスとレプティリアンの融合の種族、この者たちが今この地球でも大変大きな力を持っているのです。

そしてアルクトゥールスの者たちはレプティリアンと融合していない単独の状態においても、地球人にとっても深く関わってきました。

ある時期アルクトゥールスがアセンションとディセンションを行ったことがあります。

アルクトゥールスの種族はアセンションをすることで本当に素晴らしいアルクトゥールスの種族たちを生み出しました。

アセンションをしたアルクトゥールスは非常に叡智が深く、この宇宙の中でも「賢人」と呼ばれました。

彼らは宇宙連合にも一時期所属していたのですが、非常に高い叡智と魔法のような能力を持っております。

これは錬金術といつても良いかもしれません、何も無いところから有るものを作り出す、これは物体のエネルギーを変えていくことができるといつても良いかと思いますが、そのようなことができるアルクトゥールスの者たちやこれから何が起こるのか予知することができる者たち、あるいはこの宇宙の成り立ちや宇宙の進化を調べることができる者たち、そのような特殊な能力をこのアルクトゥールスの種族の者たちは身に付けていったのです。

ただアルクトゥールスのアセンションをした者たちの多くは非常に高い意識となっており、物質的な世界に関わることはあまりなく、宇宙意識や愛の意識あるいは宇宙の創造の意識とひとつになって働くというようなことをしております。

アルクトゥールスのアセンションをした種族たちは、最初はそのような不思議な力、未来を見通す力や瞬時に場所を移動する能

力、あるいは宇宙の真理を見届ける力、そういうものを使って多くの人たちを助けたり星の救済を行ったりしていたのですが、やがて自分たちの次元がどんどん高くなっていくにつれて、そのような関わりから自分たちは身を引き、宇宙意識とひとつになる、愛の意識とひとつになるというような者たちが増えていったのです。

ただアセンションをしたアルクトゥールスの人たちの中でも、自分はまだこの物理世界に関わる次元にいて物理世界を守ろう、物理世界を愛に満たそうということを考えている人たちが、今宇宙連合の手助けをしてくださっているのです。

そのような者たちは「宇宙の賢人」として慕われ、また宇宙の守り神、宇宙の偉大なるグルと呼ばれ、とても困った状況にある人たちを助ける仕事をしているのです。

また反対にディセンションをしたアルクトゥールスの者たちも存在しています。

実を言うとこのディセンションをしたアルクトゥールスの人たちのほうが多いのです。

つまりアセンションをしたアルクトゥールスの人たちは、自分たちの精神の力を鍛えることを重要視していました。

「邪な気持を全て捨てる」「自己中心的な意識を捨てて宇宙の愛や宇宙の真実と共に生きていく」というような非常に戒律の厳しい修行を彼らは行っていたのです。

そのためにディセンションをしたアルクトゥールスの人たちもある程度そのような修行を行っておりますので、特殊な能力を自ら身に付けております。

ただ彼らは修行を行う中で自分の心に欲望が芽生えてしまったために、彼らは立派な賢人になることができずにディセンションをしてしまったのです。

賢人になるためには自分の意識を完全にコントロールして自分の欲望を抑制できなければいけなかったのです。

しかしながらアルクトゥールス人としての能力が高まるにつれて逆にそのような欲望を持つ人たちも出てきました。

そして自分が持っている力と自分が持っている欲望がぶつかり合って、アセンションをしたアルクトゥールスではなくディセンションをしたアルクトゥールスになっていく者たちが増えたのです。時代が進むにつれ、ディセンションをしたアルクトゥールスの人たちのほうが圧倒的に多くなってしまいました。

彼らは様々な能力を持っていますので、天の川銀河の他の種族たちはディセンションをしたアルクトゥールスへの対応に非常に困っていました。

中にはドラゴンを使うアルクトゥールスの者たちもいます。

数名の者たちがドラゴンに乗ってこの宇宙を駆け巡り、他の星を攻撃したり、自分の必要とする資源を他の星から奪ったりすること

とも有りました。

これはブラックドラゴンとも呼ばれているのですが、そのようにして宇宙の「ならず者」として、悪賢い知恵を使って他の宇宙種族の者たちをコントロールし支配するようなことを彼らは起こしていったのです。

そしてまた彼らの多くがこの地球にやってきました。

彼らがなぜ地球にやってきたのかというと、自分たちが利用できる種族がここにたくさんいたからです。

アルクトゥールスの者たちは地球人を支配することに喜びを覚えました。

自分たちが持っている能力を使って、人の心を読んだり、人の行動をコントロールしたり、あるいはその人の中に闇のエネルギーを入れ、怒りや憎しみを持つ人間にしたりすることをアルクトゥールスは行っていたのです。

そしてアルクトゥールスが創り上げたのが、今のスピリチュアルや宗教の世界でした。

アルクトゥールスの者たちは、地球人をコントロールするだけでなく、人間の肉体に自分が憑依していくことも行いました。

彼らが地球に来た頃には、アルクトゥールスは自分の肉体をもう持てなくなっていましたので、人間の肉体を借りて存在するということを行い始めたのです。

彼らはある程度未来を見通したり、人の心を読んだり、不思議な出来事を起こすことができますので、彼らは地球人を支配するために「宗教」というものを創り上げたのです。

そして自分が教祖となる、あるいは自分たちが創り出した神を多くの者たちに信じ込ませて自分は神官となることで地球人の多くの者たちを支配できるような組織を作ったのです。

それが宗教と呼ばれるものの本質です。

彼らは特別な力を持っていますので彼らがその力を使うとき多くの地球人たちは恐れおののいてしまいます。

「この方は素晴らしい、本当に神に違いない」と思い込んでアルクトゥールスの人たちを祀り上げそして神にしてしまうのです。

アルクトゥールスの者たちもその信仰心を利用して多くの地球人たちを宗教的に支配しました。

そして時折多くの奇跡を見せることで更にたくさんの地球人たちがアルクトゥールスの支配の中に組み込まれていったのです。

現代の地球人たちが一生懸命になっているスピリチュアルな思想、スピリチュアルな施術、そういうものもアルクトゥールスの者たちが創り上げた場合が非常に多いのです。

特に伝授を行ってその人に特別な力を与えるような施術に関してもディセンションをしたアルクトゥールスが関わっています。

つまり様々なことを地球人ができるようになるために「スピリチュアル能力の伝授」を行うことで、ディセンションをしたアルクト

ウールスがその人に関わることを許してしまうことになったわけです。

そして彼らがその人の体に入り込んだり、その人の意識をコントロールしたりすることで、特別な力を持った心霊能力者やスピリチュアリストを創り上げていきました。

お金や名声を目当てに働く心霊能力者やスピリチュアリストの多くがこのアルクトゥールスたちの影響を受けています。

ひどい話では完全にアルクトゥールスの者に心や意識を乗っ取られて、彼らが思うように行動している者たちもいます。

アルクトゥールスの種族は不思議な力を見せるのが得意です。

不思議な現象を見せたり、不思議な光を見せたりすることで、自分たちを信じ込ませ、宗教や信仰、スピリチュアル的な組織を創り上げていったのです。

心霊能力者や有名なスピリチュアリストの方も同じような方法で有名になり、またアルクトゥールスの力を使って多くの人たちを支配できるようになりました。

これは皆さんにとって非常に大きな問題なのです。

アルクトゥールスの者たちは、とてもたくさんの者たちがスピリチュアル界や宗教界に関わり、それらの組織やグループをコントロールしているのです。

そしてコントロールされている組織やグループの多くが一時期は隆盛を迎ますがやがて破滅を迎えます。

破滅というのはアルクトゥールスの種族たちの意志に逆らうことできなくなつて人間としての意識を失うことですが、これは多くの地球人に起こっています。

非常に有名な政治家や宗教家、スピリチュアリストあるいは多くの人たちをコントロールできる立場にいる人たちが、アルクトゥールスの力を使って多くの人たちをコントロールして支配し、時として戦争へと向かわせていました。

アセンションをしたアルクトゥールスの方たちもたまにはお見えになるのですが、あまりにもその次元が離れているために自分たちではどうすることもできない、とおっしゃって宇宙連合の方たちに任せていらっしゃる次第です。

ただ私たちに対しては、サポートのためにとても大きな光を送つてくださることはできます。

その光を受け取ることによって、皆さんを欺こうとしている者たちを見破ることができるようになります。

今までオリオン座、おうし座、アルクトゥールスの者たちについて話をさせてもらいました。

この3つのグループは地球全体に関わっている問題を今でも多く残しています。

皆さんはこれからアセンションをしていくと思いますが、彼らとの分離を一体どのように行うか、ということが大きな問題にな

ります。

特にインターネットを使うオリオン座の種族、スピリチュアル能力を使うアルクトゥールスの種族たちとの分離はしっかりとこれから起こってことになるでしょう。

PART5 真実を見極める力の活性化

私はアルクトゥールスの者です。

私が皆さまとお話ができるのはとても嬉しいことです。

我々アルクトゥールスの者の多くがこの物理世界から肉体を解き放ち、意識の世界で生きております。

我々はもう個別の肉体を持たずに、宇宙意識の中に溶け込んでいるのです。

私たちが今日皆さまの前に現れましたのは、皆さまに対して本当に申し訳ないと謝罪したいのです。

ディセンションをしたアルクトゥールスの者たちが皆さまを大変な状況に陥れてしまいました。

彼らが持っている「他人に憑依をする能力」「他人をコントロールして自由に動かす能力」というものが地球人への支配をさらに一層厳しいものにしてしまったのです。

我々はかつて自分たちの力を自分たちの欲望のために使わないという制約を交わしました。

私たちが持っている力はこの宇宙の愛のもとに使わなければなりません。

そして我々は本当にその力を必要としてくださる者たちのために使うのです。

自分の欲望や自分の野心のためにこの力を使ってはいけません。

そしてディセンションをした者たちの多くが、そのような誓いに見向きもせず、自分たちの力を使って人々を透視したり、その人の未来を予言したり、あるいは特別なヒーリングの力を与えたりしましたが、我々はそれらの能力を皆さまに過度に与えてしまったのではないかと考えております。

アルクトゥールスの者の中には欲望に負けてしまった者たちもたくさんいますので、そのような者たちが地球の人たちと一緒になることによって、この地球は大きな影響を受けてしまいました。

ディセンションをしたアルクトゥールスの者たちはすでに政治や

宗教の世界そしてスピリチュアルな世界において、とても大きな問題を起こしておりますが、我々は物理世界から遠い所にいますので、私たちがそのことを修復することはできません。

しかしながら我々の力を引いている地球人もいるのです。

実を言いますと「ディセンションをしたアルクトゥールスの者たちが地球にたくさん入った」ということを聞いて、アセンションをしたアルクトゥールスの者たちの中で、まだ半物質的な肉体を持っている者たちがこの地球にやって来たことがあります。

そして特定の地球人に、ディセンションをしたアルクトゥールスの行いを見極めるための知恵や能力を遺伝子の形で授けていった者もいます。

またこの地球に存在しているシャーマンたちのように「祈りの力を使って地球の平和を保つ」という能力を多くの者たちに遺伝子上で与えております。

地球の皆さまが祈りを捧げることによって、皆さまだけでなく地球や宇宙に対して大きな影響を与えることができるのもそのせいです。

我々は皆さまの中にある祈りの力、愛の力を目覚めさせようと思っています。

確かにこの世界には地球人に憑依して支配しようとするアルクトゥールスの者たちがたくさんいます。

その者たちは様々な力を使って地球人を虜にして憑依しているのです。

しかしながら、そのことを見抜く力を持っている人たちや見抜く力を発揮する遺伝子が備えられている方たちもたくさんいますので、私たちはその力を活性したいと思います。

地球に生きる人たちの中で、本当に自分の真実の姿で生きていない人、つまり自分の肉体にディセンションをしたアルクトゥールスの憑依を受けている人たちやそのコントロールを受けている人たちから、憑依している者たちの姿を浮かび上がらせるというような能力です。

この能力は皆さまがこれからアセンションをするにつれて、誰と一緒に仕事をしたら良いのか、あるいは騙されないためにはどうしたら良いのか、というような判断を助ける能力です。

皆さまが真実を見る勇気、そして真実のために行動する力を支えたいと考えております。

この能力を持つことによって、偽りのものを見破ることもできまし、自分の偽った心を見届けることもできます。

私たちはそのような能力を地球人にも分け与えてきました。

地球人というのはその能力を使うのにふさわしい遺伝子を持っているのです。

四季を愛する力、お互いを尊ぶ力、お互いをひとつに融合して行く力がそうです。

私たちは地球人がそのような力をしっかりと持っていることを知り、そしてこの力を授けました。

皆さまの「お互いを尊び愛する力」そして皆さまの「調和を大切にする力」が真実でないものを見極めていくのです。

皆さま方の多くがこの真実を見極める力を使用して、皆さまの地球、皆さまの世界を守ってください。

ではそのための活性に入らせていただきたいと思います。

私たちからの皆さまへの贈り物としてこの力を受け取ってください。

ではエネルギーを送らせていただきます。

私たちの光は主に皆さまの脳神経に関わってきます。

皆さま方の頭が少し暑くなったり重くなったりするかもしれません、それはこのエネルギーを皆さまの脳がしっかりと処理しているからだというふうに考えられてください。

今皆さまの脳や意識を通して光が流れていっていると思います。

(瞑想時間)

第2部 第1章

2000年後の地球から来た

マスター

地球人の進化について

2024年1月20日

第1章目次

PART1 地球人の進化について

PART2 地球人の肉体と意識について

PART3 2000年後の地球人の様子

PART4 瞑想ワーク 物質体の意識と非物質体の意識

PART5 2000年後のマスターに対する質疑応答

PART1 地球人の進化について

私は、かつて皆さまと同じ地球で、皆さまと同じ時代を生きていました。

この時代には私と皆さまが接することはませんでしたが、私たちは地球に生きる多くの仲間たちと共にアセンションをしていました。

今皆さま方が体験している地球も、私のパラレルワールドの中で皆さまと同じように体験しました。

そしてその時代から時が流れ、地球の時間で言うと2000年か

ら3000年先の未来に私たちは今存在しています。

私たちはアセンションをした地球に何度も生まれ変わりました。

皆さまの言葉で言うと「アセンションをした地球の中で転生を繰り返した」ということになるかもしれません、私の魂が幾度も幾度もこの地球のパラレルワールドの中に私を生み出していったのです。

そして私はこの地球に何度も生まれ変わり、この地球のアセンションをしていった様子を見守ってきました。

もちろん私はこの地球に生きる人間としてアセンションをした地球の中で新しい地球の仕組みや地球人と他の宇宙種族がひとつになって作る統合の種族を生み出すお手伝いをしておりました。私は時として女性として生まれたこともありました。

そして地球人以外の種族の方と遺伝子を組み合わせてハイブリッドチルドレンを生み出したこともあります。

またハイブリッドチルドレンと地球の元の種族の方がひとつになって、新しい種族を生み出したこともあります。

私は地球人と地球外種族たちの遺伝子を組み合わせて、新しい種族を生み出すことを指導する役目を担っておりますので地球に何度も転生しながらその作業を進めてまいりました。

もちろんこれは10年や20年の間に達成できる問題ではありません。

皆さまも良く御存じのように、子供が生まれて、その子供がまた新しい子供を宿すためには20年以上の歳月が必要となります。お互いの遺伝子を使用してハイブリッドチルドレンを生み出したとしても、やはり同じような年月が必要です。

実際に地球人が育っていくよりかは少しばかり速いスピードで子供たちを育てるこどもできますが、この地球に合わせた肉体を持たせるためには地球で育った食物を食べ、また地球の環境の中で運動したり休息を取ったりするような時間が必要ですので、やはり地球人と変わらないくらいの時間が需要です。

そして幾度も世代交代をしながら、地球人とアンドロメダ座やブレアデス、シリウスそのような種族との間にハイブリッドチルドレンが生まれましたし、ハイブリッドチルドレンとハイブリッドチルドレンの間にも新しいハイブリッドチルドレンが生まれていきました。

私たちはそのようなハイブリッドチルドレンたちの遺伝子を研究しながら、この地球の環境にふさわしい遺伝子を持った種族、そして地球だけではなく他の星でも生きることができるような種族を生み出してきました。

もちろん高次元存在たちがいる星々は物理的な世界をあまり持たない状態になっておりますので、そのような星にハイブリッドチルドレンたちが行くことはないのですが、皆さまと同じような状態の人たち、例えばアセンションを迎える前であったり第1ア

センションを終えたばかりの頃であったり、そのような時期の星の人たちに関しては、まだまだ物質的な世界で肉体を持っていらっしゃいますので、そのような星の種族の方たちと皆さまが交流したり、その星の種族の方たちと統合の種族を生み出したりするような仕事を行ってきました。

今私たちがいる地球では、そのような物質世界での役目を地球人たちは、長い期間行つてきましたので、中には非物質体や半物質体の存在に進化して生きている方もいますし、まだ物質的な肉体を持って生きることを選択されている方たちもいます。

つまり「この物質世界で肉体を持って生きていく」という選択も可能ですし「物質的な世界から離れ、半物質体や非物質体となって宇宙のエネルギーの中で生きていく」という選択も可能なのです。

私たちの地球では、皆さまは第1アセンションだけでなく、第2アセンションも終えられておりますので、地球人としての肉体を持って生きていくのか、あるいは非物質体、半物質体の体になっていくのかという選択ができるようになっていくのです。

地球人の皆さまの中には、まだ肉体を持って天の川銀河の平和や調和をもたらすための仕事をしたいと考えている方たちもいます。

そのような方は宇宙連合の第1評議会の皆さまとともに、宇宙船に乗られて幾つもの星を巡って活動しています。

そのような星では今の地球のように争いが起きている星もありますが、人々が平和を望みこれからアセンションをされる星もあります。

そのような星に皆さまは行かれて、その星の種族をサポートする役目を担っているのです。

それは本当に素晴らしいことです。

未来の地球人はすでに幾つもの地球外種族との間に統合の種族を生み出されていますので、とても優秀で特別な能力を必要とされる仕事ができるのです。

そしてまた私たちのように半物質的な肉体になることを選択される方もいらっしゃいます。

半物質的な肉体となることによって、物質的な肉体を持っている方たちが入れない世界や半物質体、非物質体の存在となっているような種族の方たちの世界へと地球人が入っていくこともできるようになります。

この宇宙には物質的な肉体を持っている種族よりも半物質体あるいは非物質体の種族の方たちの方がたくさんいらっしゃいますので、私たちの行動の範囲も更に広がっていきました。

PART2 地球人の肉体と意識について

この宇宙の中で肉体を持たない方たちの全てがアセンションをされて素晴らしい意識を持っているわけではありません。

肉体を失うということは、ただアセンションをしたということだけではなく、戦いや事故、病気によって自分の肉体を失い、意識体のまま存在している場合もあります。

皆さまが生きているこの地球にもそのような地球人や地球外種族の方たちがたくさん存在しています。

自分の肉体を失って意識体のみで生きている方たちです。

そのような方たちの中には、地球人の体を使用するために、皆さまに憑依をするという方法で皆さまの肉体を手に入れられる方もいます。

これは宇宙連合のルールとしては禁止されていることなのですが、ディセンションをした地球外種族たちは宇宙連合には基本的には参加していませんので、自分独自の考えで行動している方たちもたくさん存在しています。

そのような方たちの中には地球人に憑依をして地球人の意識をコントロールしたり、あるいは地球人の肉体を自分が自由に使ったりするようなことを行っている者たちもたくさんいますので、地球人にとっては危険な状況なのです。

私たちはアセンションを繰り返して半物質体になっており、そのような非物質体の者たちから地球の方々や他の宇宙種族の方々をお守りすることを現在は行っています。

今この地球において一番大きな問題はそのことです。

皆さまのような地球人は「地球人という肉体」の中に皆さまの意識が入って、地球人として暮らされています。

皆さまの意識は高次の世界にある魂によって作られたのですが、魂によって作られた意識そのものは地球人ではありません。その意識は宇宙意識とひとつになったとても高次の意識です。そのような意識が地球人としての肉体を身に付けるために、自分の意識の波長をどんどん下げながら地球人の肉体に合う波長となって地球人の肉体に入っているのです。

そのような状態で皆さまは地球人として存在しております。

私はすでに地球人としての肉体を使用しておりませんので、自分の波長を抑えて地球人の肉体の中に入る必要がなく、ある程度次元の高いところから地球の様子を見させていただいているのです。

そして地球人たちに幾つもの問題が起きていることを私たちは発見したのです。

もちろんこれは地球に関わっている高次の存在たちの多くが知

っていることです。

それは地球を支配しようとしている地球外種族たちが、地球人の肉体を使って他の地球人を支配し自分の利益のために役立てているということです。

本来地球人はとても愛が深い種族でした。

素晴らしい愛に満ちあふれており、他の方に対しても惜しみない愛を注げていける種族だったのです。

皆さまの肉体はそのようなことが常に行えるように肉体の波長というものを定められているのです。

しかしながら皆さまがこの3次元世界ばかりに意識を合わせることによって、皆さまの肉体の中にセッティングされている愛の波動が充分に活用できなくなっているのです。

皆さまはこの3次元の肉体を使用して自分の欲望を満たし、自分の好きなことばかりをしようとしているのです。

それは本来の皆さまの意識とはかけ離れたことですので、皆さまの本来の意識や地球で生きている肉体との間に不具合が起きています。

皆さまが病気になったり、早く亡くなったりしてしまうことも不具合のひとつです。

本来この地球人の肉体というのはとても穏やかで優しく、愛に満ちあふれた状態で生み出されました。

それは愛に満ちあふれた状態にある高次の意識を受け止めていくためには、地球人の肉体もそのような波長になる必要が有ったのです。

そして愛にあふれた意識存在たちが、地球人の肉体を使ってこの地球で暮らしていたのですが、しばらくして多くの地球外種族の者たちが地球にやってきました。

彼らの中には地球人にエゴというものを押し付けて、自分勝手な生き方を送らせるための知恵を与えた者もいます。

本来の地球人はとても素朴で愛情深かったのですが、自分が沢山の物を得たい、自分がお金持ちになりたい、というような思いを持つ人たちを使って、その欲望のエネルギーをこの地球の中に広げていったのです。

そうすることによって皆さまの意識は欲望を持ち始め、自分中心的な生き方をし始めるようになったのです。

それは決して悪いことではなかったのですが、今この時代の状況を見れば、私たちがもっと早くその修正を行っておけば良かったかなと考えております。

しかしながら今からでもまだ遅くはありません。

皆さまが自分の意識をしっかりと見つめ、そして皆さまが自分の本来の意識へと戻っていくことを求められるならば、多くの宇宙存在たちが皆さまをサポートしていくことができるのです。

この地球にはひとつの約束ごとが有りました。

それはこの地球の物理世界をしっかりと楽しむために皆さまの魂と皆さま自身の意識が分離されることです。

そうすることによって自分自身が何者であるか、そしてどこから来たのか、あるいは自分の他の人生ではどのようなことを体験してきたのか、ということが全く分からなくなります。

そのために自分が本来持っている能力や叡智も自分では理解できなくなるのです。

その仕組みは地球を統治しようとする地球外種族にとってみれば、実に便利な仕組みでした。

たとえどんなに他の星では優秀だった者も、自分が行ってきたことを地球に来た途端に全て忘れてしまうことになっていたからです。

皆さま方が地球に来て他のパラレルワールドのことや皆さまの魂の意識のことを覚えていたら、地球外種族の奴隸になって彼らのために働くことは無かったでしょう。

たとえ他の星々でどんなに素晴らしい活動をしていたとしても、地球ではそのときのことを思い出せませんので、自分が本来持っている能力やパワーも使用することができないのです。

ただ地球人として「この地球をどうにかしたい」という焦燥感を持ちながら生きていくしかなかったのです。

そしてこの地球は、地球に生きる人々が本来の意識に目覚めていなかったために、地球外種族の者たちによってコントロールされる場所となりました。

もちろん純粋な愛の意識を持つ人たちもこの地球にたくさん生まれてきたのですが、そのような人々は心の奥深いところで「自分は無力である」「自分は何もできないんだ」という思いを植え付けられたために、この地球の中で特別な活躍をすることもなく、地球で暮らしていく中で自分の本当の意識を忘れ去っていったのです。

そのような状態では、地球の方々がアセンションをすることはとても難しくなりますので、私たちはアセンションを望む人たちをサポートすることにしたのです。

もしこの地球に生きている人たちが全くアセンションをしなければ、未来の私たちは存在しませんし、アセンションをした地球というのもも生まれてこないのです。

PART3 2000年後の地球人の様子

2000年後の地球はとても素晴らしい地球になっています。地球の物理世界に肉体を持って生きている方たちもいれば、肉体を持たずに意識体として生きている者たちもいます。そしてそのような人たちが天の川銀河の平和と宇宙種族の成長のために一生懸命働いているのです。私たちはこの地球でアセンションをされていく皆さま方を導くために未来からやって来たといつても良いかもしれません。もし今の地球でアセンションが成立しなければ、私たちの存在もこの地球では消えて無くなる可能性も有りますので、私たちはこの地球に生きる皆さまのアセンションをサポートしたいと考えております。私がやって来た地球は皆さまの時代から2000年ほど未来に当たる地球ですが、今地球にいる全ての人たちの未来が私たちの地球に存在しているわけではありません。皆さまの地球ではこれから10年もしくは20年、30年の間に大きな変化がいくつも起こりますので、その変化をどのように受け止めるかによって、地球はいくつものパラレルワールドに分かれていったのです。ひとつの地球は科学的に進化した技術や高度化された経済、西洋医学的な医療が大きな問題となりましたので、そのような物になるべく関わらず、自分たちが持つ力を十分に活かして生きていこうとする方たちが中心となって運営されている地球となりました。そのような方たちは、過度な技術を用いず、自然に寄り添った形で生きていくために幾つかのグループを創り、お互い交流しながら成長していきました。私たちはそのような地球の未来にいます。またもうひとつの地球ではゲームセンターのようなにぎやかな街が地球の各地に現れたために、地球が騒音と化学物質に汚染され、環境破壊が顕著になって荒廃していきました。私たちが今ここに来ている理由のひとつは、皆さまがこれからどのような地球を選ぶのかという選択を自分の意思で行うことを行つるために来ているのです。地球人の多くが現在地球を支配している者たちの意思に従つて生きております。政府がこれをしなさいと言ったらその良し悪しも考えずに忠実に従う、あるいは会社がこうしなさいと言ったら理不尽なことであっても忠実にそれを行う、そのような人たちがたくさんいます。このままでは、このような人々はやがて荒廃していく地球に残

されてしまいます。

その方たちの魂がその方をこの時代にアセンションさせようと思っていたとしても、そのような方たちは荒廃していく地球の中に残されていくでしょう。

そしてそのような地球から、そうでは無い生き方を望んでいらっしゃる方たちがたくさん集まることでアセンションをしていく地球というものが生まれていくのです。

これは皆さまひとりひとりの選択でもあります、皆さまの集合意識の力も決して無視できないものなのです。

私たちは地球人の集合意識にも働きかけ、皆さまが自由にアセンションできるような状況を整えていきたいと考えています。

そのために皆さまのような意識が開かれた方たちに対して語りかけ、皆さま方と共に地球の人たちの意識をえていきたいと考えているのです。

それでは今私たちが存在している地球についてお話ししましょう。

私たちが存在している地球は、とても穏やかで調和がとれた地球です。

そこでは物質的な肉体を持って生きている人たちもいますし、非物質体、半物質体の肉体となって生きている人たちもいます。

ただし今の皆さまの世界と違って、物質的な肉体を持っている方からも私たち半物質体、非物質体の者たちが見えるのです。

もし物質的な体を持っている人たちが肉体を持たない人たちに気付かなければ、この地球はすこしばかり混乱してしまうでしょう。

私たちは肉体を持っている者も肉体を持たない者も、お互いがお互いを認め合いそして共存して生きているのです。

私たちが住む世界は皆さまの世界とは少しばかり異なります。物質的な世界に生きる人たちと非物質的な世界に生きている人たちが存在する場所は少しばかり異なってはいるのですが、お互いが見えることによって一緒にコミュニケーションを取り、同じ場所で働くことも可能なのです。

皆さまにはこの感覚はなかなか理解できないかもしれません。例えば物質的にしっかりと存在している皆さまの横に湯気のようなボワッとした存在がいるというような感じです。

そしてその湯気のようなボワッとした存在と話をしながら、お互いが一緒に生活をしているというふうに考えられたらよろしいかと思います。

もちろんこの感覚は今の皆さまが理解できなくても当たり前です。これから皆さまがアセンションすることで肉体的に進化するだけではなく、半物質体、非物質体の道を歩まれる方たちも存在し始めます。

その過程を私たちは体験してきたために、物質的な肉体を持っている者と肉体を持たない者がお互いを認め合うことが可能になるのです。

今の皆さまは、物質的な肉体を持って存在していた者たちがやがて物質的な肉体を手放して半物質体や非物質体に変わっていく過程を見ていないので、その2つの存在が同時に存在しているということを理解できないのです。

2000年後の世界はそのようなことが理解され分かりあえる世界ですので、それに合わせた社会の在り方というものが生まれてくるのです。

私たちの時代では、肉体を持つ者と肉体を持たない者たちが共に祈ります。

ひとつの場所に集まって私たちの平和のために、愛のために祈ることがあります。

そのときは肉体を持っていたとしても肉体を持っていなかったとしても、祈りを捧げる行為に全く変わりは有りません。

お互いが宇宙とひとつに繋がって、愛のエネルギーを満たし合うのです。

それから肉体を持っている存在と肉体を持たない存在たちが、まるで家族のように一緒に暮らすこともあります。

私たちの時代では、実際の家族の中で物質的な肉体を持つ親と肉体を持たない子供たちが存在する家庭も有るのです。

そのときはまるで映画のプロジェクターでその姿を映し出しているように皆さまには見えるかもしれません。

例えば皆さまにとって亡くなったおじいちゃんやおばあちゃんのような存在が、自分の家の中で家族のひとりとして生きているような感覚です。

全く自分にとって縁のない非物質的な存在が一緒にいるということは無いのですが、肉体を通して関わりの有った家族や親族、あるいは友人たちが非物質的な状態で一緒にいるというふうに考えても良いかもしれません。

それから私たちの世界では、皆さまの社会で言うお金や経済の仕組みも無くなりました。

私たちがアセンションをして成長するに従って、お互いが信頼できる存在、お互いが自分の大切なパートナーであることが分かってきたために、お金でやり取りをすることや自分の老後に備えて貯金をすることも無くなりました。

私たちは肉体を持っている者たちの老後に関しても大変議論を重ねてきました。

そして老いは本当に自然なものであること、そしてそれを家族単位ではなく、みんなで受け入れ、みんなでそのことを尊び合うというふうに変わっていったのです。

肉体を持っている方が年を取って亡くなられる時、それはとても尊厳で神聖な時なのです。

それは肉体を脱ぎ捨てた後に、その意識が私たちと同じような半物質体、非物質体の意識となっていくからです。

皆さんにとって死というのはとても大きな境目ですが、私たちにとって死とは皆さんが身にまとうる人間の肉体を脱ぎ捨てるだけのことなのです。

そして物質的な肉体の死を迎えることによって、皆さんの意識が肉体から抜け出すことで肉体を持つ存在から肉体を持たない存在へと変わっていくのです。

物理世界に生きる皆さんは「肉体を脱ぎ去ることは人生の全ての终わりだ」と考えるかもしれません、決してそういうことはありません。

皆さんが肉体を脱ぎ捨てても意識体として存在しておりますので、その意識が新しい非物質体の世界で生きることになるわけです。

物質的な肉体を持つことは、非物質体や半物質体の生き方とは異なりますが、私たちの世界ではお互いを認め合っているのです。

また他にも今の皆さんの世界とはたくさんのが変わります。

そのことに関してまたゆっくりとお話ししたいと思います。

今日はここで大切な瞑想ワークを行っていかなければなりません、どうかよろしくお願ひいたします。

PART4 瞑想ワーク 物質体の意識と非

物質体の意識

ではゆっくりと深呼吸をしていきましょう。

皆さんの中に美しい星空を想像してください。

その星空がゆっくりと動いて星々が宇宙を巡っているように想像します。

皆さんは今自分の意識を持って生きています。

自分の意識が地球人という肉体を身に付けて生きているといつても良いでしょう。

今皆さんは地球人としての肉体を持って存在しています。

物質的な肉体を持って物質的な存在として生きています。

皆さまの意識を感じてください。

皆さまが今物質的な肉体を持って生きていることをしっかりと感じられてください。

そしてゆっくりと時が流れていきます。

10年、20年、30年、そして50年あなたは今何をしていますか。

年を取ってゆっくりと椅子に腰掛けて外を見ているかもしれません。

そしてある時、あなたは自分の肉体から離れるときがやってきました。

自分の肉体が美しく輝いている様子を見ています。

それは皆さまの意識が活性化してとても美しく光り輝いているのです。

皆さまのハートを中心にして美しい光が満ちあふれている様子を想像しましょう。

柔らかい光が皆さまの体を覆いつくすように光り輝いています

それでは次に皆さまの光り輝く肉体から皆さまの意識が少しばかり離れていく様子を想像しましょう。

このとき自分の肉体を守ってくれるようにガイドの方にお願いします。

「ガイドよ、私の意識が肉体から少し離れますがどうかこの肉体を守ってください。

他の者がこの肉体に関わらないように守ってください」というふうにお願いします。

そしてすっと皆さまの肉体から光の玉が離れていく様子を想像しましょう。

皆さまの肉体からスッと光の意識が離れていきます。

光の玉が離れてそして皆さまの肉体を見下ろすような感覚になります。

今皆さまの肉体はあまり機能していません。

今意識が肉体から離れ、肉体が機能していない状態だからです。

そうしますと皆さまのことを守護している高次元存在やガイド、

パラレルワールドの存在たちがあなたの周りにすっと立ちます。

皆さまが肉体を身につけている状態では見ることも感じることもできなかった存在たちが皆さまのことを守護しそして導くために今やってきています。

どのような存在がやってきているのか、可能であれば覚えておいてください。

皆さまは周りをゆっくりと見渡します。

皆さまは自分の肉体を持たない光の存在、非物质的な存在にな

っています。

自分の手を見たとしても自分の体を見たとしても、そこには今までのようになにしっかりとした肉体というものはありません。

物質的な感覚がしないとても透けている状態、柔らかい光がその中に満ちあふれている状態という様子を想像してください。

そして周りを見渡すとあなたを守護するために出てきてくれた存在たちがあなたの周りに立っています。

あなたのガイド、あなたのパラレルワールドの兄弟たち、そしてあなたの高次の意識、今皆さまは物質的な肉体を持たない存在と交流しています。

言葉を交わされている方もいるかもしれません。

相手が肉体を持っていないにもかかわらず今のあなたにはその相手がとてもリアルに感じられます。

たとえ姿形を持っていなくても、その存在が本当に生きている存在であることがあなたに分かるのです。

しばらくその方たちと交流してみましょう

さあそれではもう少し先に行きましょう。

あなたの意識がスッと上がっていくと、そこには亡くなったおじいちゃんやおばあちゃんがいます。

ここはあなたが生きている間に交流が有った方々やあなたの肉体を生み出してくれた御先祖の方々と会える場所です。

あなたの前にあなたの亡くなったおじいちゃんやおばあちゃん、もしあなたの親が亡くなっているとすればあなたの親がその場にいらっしゃるのを感じます。

しっかりと姿形が見えなくても結構です。

まるで風のように、あるいは煙のように、薄い光のように見えることもあります。

どのような形で見たとしてもそれは結構です。

御先祖様の中であなたに対して語りかけてくる者たちもいます。

彼らは物理世界で生きている皆さまがとても心配なのです。

あなたの家族やあなたの方が心配なので、何か大切なことを告げようとしているかもしれません。

また彼らは肉体を持たないために少しばかり先の未来を見るともできます。

皆さまの未来で皆さまが困っていることが有るとしたら、そのことについてお知らせすることもあります。

ではゆっくりと皆さまの亡くなられた家族や御先祖さまを感じてあげてください。

今皆さまは肉体を持っていたときの意識と肉体を持たないで自由になっているときの意識の違いを体験しています。

肉体を持たないときの意識はとても軽やかでそして自由です。

私たち非物質体の存在、半物質体の存在の意識はこのように制限を受けることがありませんので、とても自由なのです。

そのことをよく感じてください。

ではもう一度深呼吸してもうひとつ次元に上がっていきましょう。

大きく深呼吸して自分の意識が広がっていくのを感じます。

今まで皆さまは個別の意識でした。

しかしさらに皆さまの意識を広げ次元を上げると、皆さまの意識はこの宇宙の大きな意識とひとつになっていきます。

自分の意識がどんどん広がってとても自由になっていく様子を想像します。

そうなりますと皆さまを制限していたものが無くなりますので、この宇宙に皆さまの意識が広がりとても自由な感覚になります。そして同じような意識体である多くの宇宙種族たちの意識が流れ込んできます。

皆さまの意識がこの宇宙の中に広がって多くの宇宙種族の意識とコミュニケーションを取っている様子を感じてください。

今皆さまは肉体の中にあった意識から肉体を離れてガイドや守護者たちを感じることができる次元、そして御先祖様たちの意識が感じられる次元、そして更に制限を外して宇宙意識が感じられる次元へと皆さまの意識は広がっていったのです。

ではしばらくこの宇宙を感じられる次元の中でゆっくりと瞑想していきましょう。

では瞑想を終わりましょう。

皆さまの大きく広がっていた意識が少しずつ小さくなって落ち着いてきます。

自分の意識が自分の体の中に戻ってくる様子を想像してください。

そして自分のハートに両手を当ててください。

自分の意識と自分の体がしっかりとひとつにつながっていく様子を感じてください。

そして今皆さまも支えてくれた高次元存在たちに感謝の言葉を述べましょう。

ではゆっくりと気持ちが落ち着いてきたら自分の肉体の意識へと戻ります。

PART5 2000年のマスターに対する

質疑応答

この PART は、先ほどの瞑想ワークを行った参加者がマスターに質問したことに対してマスターが答えた内容を御紹介していますが、この内容は他の瞑想の時にも当てはまる事ですので、瞑想が上手くいかない方は参考にされてください。

○私は、瞑想ワークで行われている肉体から自分の意識を解き放つことができないのですが、なぜでしょうか。

マスター

彼女にとっては、自分の意識が肉体によって守られている、あるいは自分の肉体が自分の本質である、というような考え方や感覚がまだ強いようです。

「肉体の中に自分の本質である意識がある」ということを理解はされているようですが、自分の肉体が自分にとって中心であるという感覚が抜け切っていないようです。

つまり長いこと肉体を大切にして生きてきたために、この肉体と自分の意識との関わりがしっかりと理解できていない、つまり自分の意識が本質だと分かっているけれど、自分の感覚としてはまだまだ自分の肉体が意識よりも自分に身近なものだ、というふうに感じている部分があるのではないかと思います。

それは、この地球で皆さまがしっかりと生きてきた証でもあるわけです。

ただこれからそのことをさらに超えていく時代というものがやってきます。

あなたがもしその壁を超えることができたならば、あなたの意識は更に広がってより多くのことを知ることができるのでないかと考えています。

もしかしたら、あなたの中でその壁を乗り越えることに対して不安や恐怖があるかもしれません。

かつて肉体を持ちながらも自分の意識を自由に使うことができるパラレルワールドが有って、自分の意識を自由に使っていろんなことをしてしまったために悲劇的な人生を送ったというような経験があるために、あなたが自分の肉体の壁をすんなりと超えることができないのではないかというふうに私は今考えています。

そのときのパラレルワールドの経験をしっかりと癒やしながら進んでいくことで、あなたは壁を越えて新たな意識状態へと広が

っていくのではないかと私は思います。

引き続き努力してみてください。

○私は瞑想をしてもビジョンなどが全く見えないのですが、なぜでしょうか。

マスター

見える、見えないというのはそれほど重要なことではありません。

しかし、何も見えないことで自分の瞑想がうまくいっていないのではないかという心配は起こるでしょう。

そのような方たちが「ビジョンが見えない」という理由は幾つも有りますが、これからその理由を説明していきますので、自分にあった理由を見つけられてください。

そのひとつは、先ほどもお話ししましたように、自分の意識が肉体の壁に遮られて肉体から出ることができない、あるいは自分の意識が拡張していかないので、3次元的な意識のまま押さえられているという状況があると思います。

今回数名の方が、いつもビジョンが見えないといわれているようですが、他にも自分は何も感じられなかつたし何も分からなかつたという人もいらっしゃることと思います。

そのような人は焦らずに時間をかけてゆっくりとやることです。何もビジョンが見えない、あるいは何も感じられないということが悪いのではありません。

皆さまの感性と言いますか、皆さまの意識がそちらの方向に向いていないかも知れないので。

皆さまを含めこの地球に生きている人たちの意識を生み出した魂は、いろんな目的を持ってこの地球に高次の意識を持った地球人を生み出しています。

人によっては3次元の物理的な肉体を持っていながら4次元世界、5次元世界を観ていく人たちもいます。

それはその方の魂が4次元世界、5次元世界を見たいと望んでいるからなのです。

そのためにその人たちの意識状態を4次元世界、5次元世界が見えるような状態にしているわけです。

全ての人にこれが共通するわけではありませんが、魂がこの地球で何をしたいのかということにもよるかと思います。

先ほどのビジョンが見えない方のように自分の肉体から外に抜け出すことができないという方もいらっしゃいます。

そのような方たちの魂はこの3次元世界をしっかりと見る、しっかりと体験することを目的にしている場合も有ります。

また、何らかの問題や他の人生、他のパラレルワールドの中で起

きたことを原因としてビジョンを見るのを望んでいない場合もあります。

ただ「他の世界やビジョンを見る」ということを皆さまが望んでいない場合であったとしても、皆さまの魂が今まで知らなかつた世界を知る、ビジョンを見る、聞こえなかつた声を聞く、ということを求めているのならば、それはやがて実現していくかと思います。

今すぐにというわけではなく、自分の中にある恐れや不安を取り除き「自分はビジョンを見ても良いのだ」と思えるような状態に自分をすることが必要であると思います。

「宇宙の光」に参加して、何度も何度も瞑想のトレーニングを受けるのも、自分の中にある恐れや不安を少しずつ削り取りながら、そのような状況に自分を持っていくために行っている場合もあります。

また皆さまの魂が、この世界で3次元世界以外のものを見るのを望まないという場合もあります。

それは一口で「この原因があるから、見えないのだ」ということは言えませんが、様々なことを私が申していきますので、その中で自分に合う原因を見つけて、そしてそれを解決してくださることを私たちは願っております。

○ビジョンは見えたのですが、意識を光の玉としてハートから出していくことがうまくできませんでした。

マスター

みんながイメージしているように意識が肉体からポコッと出ていくのではなくて、肉体の中にあっても肉体の制限を受けないように拡張していく、というように考えたほうが良いかもしれません。

瞑想時のイメージとしては、ハートから光の玉が出ていくようにイメージするのですが、実際に自分の意識が肉体から物理的な形で出ていくこととはちょっと違うようです。

実際に意識が全て肉体から出てしまうと不具合が起きてしまうので、意識が全て抜け出していくのではなく、自分の意識が肉体を超えて拡張していくというふうに考えられてください。

皆さまの肉体の中には意識に制限をかけて「物質的に存在しないものを見てはいけない」という思い込みを作ることで、脳の機能として物質的に存在しないものを見えなくするという働きがあります。

元々人間の目は物質的に存在しないもの、具体的に見えないものも認識することができます。

例えば、皆さまの前にパソコンが有って、パソコンの横に目に見えない存在がいたとしたら、その両方を皆さまの目は見ているのです。

そしてその両方の映像が視覚から入って脳で処理されるときに「物理的に存在しないものは見てはいけないのだ」という社会通念や自分が作り上げた制限が有るために、物質的に存在しないものは脳に認知されないことになるわけです。

ただよくビジョンを見る人たちは、その人の脳の構造の中に「物理的に目に見えないものは存在しないのだ」という条件付けが無いのです。

その条件付けを外しているために、そのようなものを脳が認識できるのです。

このことを表現するのはすごく難しいのですけれど、自分の意識が本当にボコッと抜けていくときも、肉体の制限が柔らかくなつて意識が自由に行動できるような状態にしていくことで、意識がこの肉体と繋がつていながらも離れていくことができるのです。

ですから意識が本当にボコッと出ていくのではなくて、肉体の制限から意識が自由になっていくことで、ボコッと出ていったようなイメージが無くても、今まで目に見えなかつたものが見えてくるという感じになってきますので、質問者の方はうまくいっているのだと思います。

これは多くの人たちに共通していることなのですが、肉体から意識が完全に抜け出すということはあまり多く有ることではありません。

よく皆さまが言われる「幽体離脱」という方法が有りますが、実際に意識が皆さまの肉体から抜け出すことは「幽体離脱」を起こすことなのです。

しかしながら私たちのワークでは、このような瞑想ワークの中で「幽体離脱」をすることはなかなか難しいというふうに考えています。

また私たちもそれを望んでいるわけでは無いのです。

ただ自分の意識を自分の肉体から少し離してみる、つまり自分の肉体の様々な制限を受けた見方ではなく、肉体の制限を受けない意識のあり方に変えていくことが自分のハートから光の玉を外に出すことに表現されているわけです。

自分の意識が肉体から完全に抜けてしまうとこれは決して良いことではないので、しっかりと肉体に繋がつていながらも、肉体の制限を受けずに意識を拡張していってください。

例えば肉体の制限のなかに「目に見えないものは存在しない」という制限が有りますので、制限を受けない意識状態にしていくと皆さまは理解されたら良いのではないかと思います。

そのような意識状態になりますと、肉体の中にとどまりながらも

目に見えない存在たちを見ることができるようになるでしょう。

私たちの感覚と皆さまの感覚は少し違います。

私たちは肉体を持たない意識体ですので、自分の意識を自由に操作することができるため意識を外に出すというふうに表現してしまうのかもしれません、皆さまの立場からするとこの肉体の中に存在しながらも肉体の制限を受けない状態に自分の意識を持ってくるということになります。

地球人には「チャクラ」というものがありますが、その「チャクラ」というのは肉体の制限をあまり受けていない場所でもあります。完全に受けていない、ということではないのですが、肉体と意識体、エネルギー体の中間にある組織なので、物質的な肉体に限りながらも肉体の制限を超えた働きを行います。

そういう場所に自分たちの意識を持っていく、あるいはそういった感覚で周りを見る、というふうに考えてもらったら良いのではないかと思います。

今話された方のように肉体から意識が出ていく、外れていく感覚はしないけれど、そういうビジョンが見えることが実を言うと一番正しいやり方なのかもしれません。

私たち肉体を持たない存在と皆さまのように肉体を持っている存在ではすこしばかり感覚が違うのでどうかそのことをご理解ください。

○意識がもうろうとして何が起きたのか覚えていないです。

瞑想を行っているときに、途中で意識がもうろうとすることが良くあります。

ガイドや魂の兄弟たちに会うことを覚えておくためには、自分の高次の意識と自分の脳の意識がしっかりと繋がっていなければいけないのです。

よくビジョンを見ずに寝てしまう人や意識が遠くなつて何も分からなくなる人というのは、この肉体側の脳の意識がシャットダウンしたり、睡眠状態に近い状態になつたりしているのです。

皆さまの肉体の制限を受けない高次の意識は、実際4次元意識世界、5次元意識世界に入っていろんなガイドと会い、様々なビジョンを見ているのですが、その見ていたものを自分の記憶としてとどめておく脳が睡眠状態に入つてしまつと高次の意識から送られてくる情報があなたの脳の中に記憶されていないという状態になつてゐるわけです。

例えばこう考えてください。

例あなたがマイクを使っていろんな話をします。

マイクはパソコンにつながつてゐるのですが、パソコンの電源が

急に落ちてしまったためにマイクで話された声がパソコンに記憶されておらずに情報が何も残っていない状態と同じ状態であると考えられてみてください。

つまりビジョンを見る、あるいはメッセージを聞くことは、その高次の世界に関わっている意識と自分の肉体、特に脳のメモリーとして関わっている意識の2つがしっかりと連結されていなければ脳の中に記憶として残らないわけです。

確かに皆さまは様々な世界を見ています。

今行われた瞑想ワークで5次元意識世界や御先祖たちが存在している霊的な世界に入ってその方たちと会われたり、5次元世界のマスターに会われたりしているのですが、そのことを記憶している脳が睡眠状態に入っているために憶えていないのです。

瞑想するときは、高次の意識と脳のメモリーをしっかりと連結さ

せて両方とも目覚めさせておかなければならぬのです。

第2章

ササニ文明サファイア

地球人が3次元世界に残る

理由

2023年11月4日

第2章目次

PART1 地球人が3次元世界に残る理由

PART2 アセンションする世界へのシンクロ

PART1 地球人が3次元世界に残る理

由

これから地球がアセンションをしていくとき、その地球に皆さまが意識を合わせてアセンションをしていけるのか、ということはとても重要な問題です。

アセンションはその星の意識とその星に住む人たちの意識がひとつにならなければ、星全体がアセンションをしていくことは難しいのです。

今まで地球は何度もアセンションのチャンスがありました。

レムリア時代、エジプト時代、マヤ文明の時代、第2次大戦後の時代。

それまでのアセンションでは、地球に生きる一部の人たちが別の

地球を生み出してアセンションをしていきました。

TAKESHI さんのブログを読まれている方は御存じだと思いま
すが、レムリア時代にも多くの人たちがアセンションをしてい
ました。

アセンションしたレムリアが存在する地球は、アトランティスと争
うことなく、その当時の地球に栄えていた幾つもの文明が統合
されていった地球でした。

そしてそのときにアセンションをした地球とアセンションをしな
かった地球に分かれていったのです。

レムリア時代にアセンションをした地球は、愛の意識に満ちあふ
れ、天の川銀河の中でも多くの星々をサポートする高次元存在
の星へと進化していったのです。

そしてその地球に住む人々は、その当時アセンションできなかつ
た地球に住む皆さまをサポートするために皆さまのことを見守
っているのです。

皆さまは今もアセンションすることがなかった地球に住んでいま
すが、この地球がアセンションできなかつた理由は、この地球の
物理世界を経験したい人たちがまだたくさんいたからです。

つまり地球の3次元世界は天の川銀河の中でも特別な意味を持
っている世界なので、この地球でもっとたくさんの方の体験をしたい
と皆さまの魂が考えられたのです。

天の川銀河の中でもこれだけ感情豊かで多彩な生き方ができる
物理世界は本当に数少ないのです。

この地球では幸福な人生だけでなく戦争や支配などによってと
ても悲惨な人生を送ることもできますが、実はそのような人生
こそが、この地球にやって来る意識体にとっては好んで体験した
い人生なのです。

この地球に生まれ変わりたいと願っている意識体の多くが、地
球に来る前はとても高い波動の世界に生きていましたので、争
いや支配などとは全く無縁の「愛そのものの世界」で生きていた
のです。

しかしそのような世界では、愛しかありませんので自分たちの成
長も進みません。

愛に基づいたことしか体験できませんので、その体験も非常に
限られたものになってしまい、自分たちを大きく成長させることは
できなかつたのです。

そのために愛よりも憎しみや恐れが強い世界を選んで生まれて
きたのです。

そこで体験できることは、今までの世界では全く体験できないこ
とばかりでした。

戦争はもちろん争いや支配、暴力、差別、飢餓、策略など、今まで
にない体験にワクワクする毎日だったのです。

しかしこの地球に生まれてくるためには自分の波長をかなり落

として、3次元意識にならなければなりませんので大変な努力と年月がかかります。

地球の時間でいうならば、3000年から1億年くらいの時間かけて、自分の波長を落とし、物理世界で生きていくための波長にしてから地球に入ったのです。

そのような理由が有るために、3次元世界の経験をもっとしたい、まだ帰りたくない、多くの魂と意識たちが思いました。

そして、地球で長い間暮らす間に、自分は地球以外の星から来て、時が来ればまたその星に戻らなければならないということを忘れてしまったのです。

この地球自身がアセンションをするためには、地球上に生きる人の多くが「もう十分に3次元世界を体験したからアセンションをしよう」「宇宙意識に戻ろう」と考えなくてはいけないです。

つまりこの3次元の地球から卒業して、元の意識に戻ろうと考えなくてはいけないのですが、今までのアセンションのチャンスの時には、そのように思う人よりも、まだまだ地球上に残って3次元世界を体験しようと考える人が多かったのです。

PART2 アセンションする世界へのシン

クロ

それでは地球上に生きる人たちが今までのように「3次元世界にフォーカスし3次元意識で生きる」ことを地球上の多くが継続した場合に、この地球がどうなるかといいますと、実は幾つものパラ

レルワールドがあり、それぞれのパラレルワールドによってその

地球の未来が変わることになります。

しかしながら、3次元意識で生きる人たちが多く存在する地球上のものは、アセンションを行いませんので、その未来は今の地球の延長線上に有ることになります。

そして今の地球が、これから歩んでいく未来の中で、幾つもの異なる選択を行うときに、それぞれ異なるパラレルワールドを作っていくことになります。

例えば、イスラエルとハマスが人道的停戦を行うのか、否か。

ロシアとウクライナの戦争が自国を超えて広がるのか、否か。

コロナワクチンをどのように受けとめていくのか、

あるいは、原子力発電や核兵器にどのように対処していくのか、地球の自然に対して破壊的な行為を行うのか、調和に向かう行為を行うのか、

人々がどのような食事を取り、どのような生活をしていくのか、私たちの世界を便利にするAIや科学技術をどのように利用していくのか、

それは政治的な選択だけでなく、私たちの社会システムや生き方などに対して幾つもの選択が有ります。

その選択は地球全体に影響する場合も有りますし、特定の地域や民族に大きく影響する場合も有ります。

しかしながら、このような幾つもの選択が、私たちに分からぬところで幾つものパラレルワールドを生み出しているのです。

そのパラレルワールドが生み出される選択は無数にあるのです。そして皆さまひとりひとりも、ひとつのパラレルワールドだけでなく、幾つものパラレルワールドに同時に存在する場合も有ります。

これから皆さまが体験していく地球の未来は、アセンションをする、アセンションをしない、ということだけでなく、皆さまひとりひとりの選択と波長によって大きく変わっていきますので、異なる地球の中で、皆さまは様々な人生を体験することになるのです。

それらのパラレルワールドの中でも、皆さまが行く可能性がある地球の未来がどのようになるのか、私たちは今皆さまにお話しすることはできませんが、ただこの地球自身がアセンションすることを決定しているということは、アセンションをしなかった地球がどのようにしていくか、予測できるものではありません。

もちろん今と同じように物理的な世界を楽しむために、あるいは体験するためにこれから多くの星の人々や意識体がこの地球にやってくるかもしれません。

しかしながら、地球自身は自分の本質をこの3次元意識の地球ではなく、より高次の地球へと進化させたいと思っているのです。

そのために3次元意識の地球を卒業し、新たな世界で新しい体験をすることを望まれている魂たちが地球に降ろした意識は、地球の意識と同調してアセンションをしていくことになります。それは決して難しいことではありません。

自分自身がこれからアセンションをしていくとしっかりと決められている方、そして魂の意思としてこの人生でアセンションをすると決められている方は、自分自身がアセンションをする世界と共に歩むようなシンクロがこれから起こってくことになります。そのシンクロに逆らうことなく自分の意識を無にして、このシンクロの流れの中でアセンションをしていく道を歩んでいけば良いのです。

ただそこで自分の我を張ったり、自分自身がまだ十分な学びを得ていないことにフォーカスをしてしまった場合には、皆さまの魂の意思よりも皆さま自身の意志が優先されますので、皆さまはまた3次元意識世界に残るという選択をされることになります。

このメッセージを読まれている方の魂は、この人生であるいは次の人生でアセンションすることを選ばれているのではないかと思います。

私たちはそのような方に向けて今お話をさせていただいているのです。

そのような方たちがこれからアセンションをしていく地球と自分の意識をひとつに合わせていくこと、それは皆さまが今世でアセンションをしていくためには非常に重要なことであるかと思われます。

この地球をおざなりにして、地球と関係なくアセンションをしようと思ってもそれは難しいことです。

今回皆さまが肉体を持ってアセンションするということは、この地球の意識と共に鳴し深く繋がりながらアセンションをしていくことなのです。

この地球と皆さまの繋がりが切れた状態で、皆さまが肉体を持ってアセンションをしていくことは不可能なのです。

この地球が持つ物理世界が、今はフォノグラムのようなものであったとしても、その中にもリアルな部分は有りますので、この地球の中にしっかりとグラウンディングして、共に歩んでいかなければならぬのです。

ただ皆さまがこの3次元世界にフォーカスすることを外すことができない理由というものが有ります。

その理由のために皆さまがなかなか3次元意識から4次元意識、5次元意識になれないのではないかと思いますので、次回そのことについて詳しくお話をし、また皆さまと共に瞑想ワークを行いたいと思いますのでどうかよろしくお願ひいたします。

第3章

宇宙連合のマスター

&サファイア

愛の地球に意識を合わせ
る

2023年11月4日

第3章目次

PART1 愛の地球に意識を合わせる

PART2 自分の問題を宇宙意識で解決する

PART3 瞑想ワーク 宇宙意識で現実世界を見る

PART1 愛の地球に意識を合わせる

みなさんこんにちは、私は宇宙連合のメンバーです。

本日お伝えしたいことが有りまして、皆さんに私からメッセージをお伝えしたいと思います。

もうすぐ2023年も終わり2024年となります。

私たちの予定では、とても早い方で2024年後半からファーストコンタクトが予定されております。

現在のところお相手となる方たちには変更はありませんが、ただ皆さま方がその方たちとお会いするための周波数やエネルギー状態になっているかと申しますと、なかなかその状態には至っ

ていないことが現状であるかと思います。

ただ現在の地球の社会状況では、皆さまが自分の意識を宇宙意識に同調させて生きることは難しかったようですが、それは決してできることではありません。

これから約1年の期間を作り、皆さまの心がしっかりと自分自身に向かい、そして宇宙意識に向かうようにサポートさせていただきたいと考えております。

「皆さまの本質が自分の心の中心に存在する」ということを、皆さまがしっかりと理解されると、皆さまの意識が本来は宇宙意識であることがお分かりになると思います。

そのために様々な瞑想ワークを、ブルースカイさんやレムリアのマスターたち、そして精霊の方たちが行ってくださっています。

そして今、もう一度自分自身を振り返って、自分の心が穏やかであるか、自分の心が安らぎに満ちているか、そして愛とひとつであるか、ということをしっかりと感じていただきたいと思っております。

愛というのはとてもシンプルなものです。

私たちのように半物質体、エネルギー一体の存在であれば、愛を遮るものは全く有りません。

お互いの感情も理解していますし、お互いのエネルギー状態も見えていますので、お互いにとって必要な思いを愛のエネルギーに乗せて交流すれば良いのです。

私たちは、お互いが見えていますので、お互いにとって必要なことを行なうことは決して難しくありません。

しかしながら、皆さまはお互いの肉体が見えたとしても、お互いの意識や本質が見えるわけではありませんので、相手に対してどのようなことをすれば良いのか、どのような思いを分かち合えば良いのか理解できないのも当然のことです。

もし皆さまが自分の心の中心に愛を持っているならば、何の問題もないでしょう。

皆さまの本質が愛であることを理解し、その愛と皆さまがひとつになるならば、皆さまの存在は愛そのものに変わっていきます。

では皆さまがまだ愛に同調できていない状態、宇宙意識と同調できていない状態でどのようにすれば良いのかということをお話したいと思います。

それはまず「地球の意識とひとつになる」ということを考えてください。

皆さまの中には「宇宙意識に早くなろう」と思っている方がたくさんいらっしゃいますが、中には自分の現実世界をおろそかにして、そこから目を背けるために宇宙意識になろうと思っている方もいらっしゃるようです。

その状態では皆さまの波長はとても不安定なものになり、皆さ

まの波長から生み出される言動も不安定なものになってしまいます。

そうなってしまいますと皆さまが5次元意識を垣間見たとしても、皆さまの意識が本当の5次元意識になることはありません。

今精霊たちが皆さまのチャクラの調整を行い、地球のエレメントとの繋がりを作るワークを行っていますが、それは皆さまが現実世界とスピリチュアル世界のバランスをとるために必要なことを精霊の皆さまが行ついらっしゃるのです。

皆さまが地球の自然界や多くの生命たちを守護し続けている精霊たちの意識とひとつになっていくことはとても重要なことです。

特に大地の精霊や水の精霊、風の精霊、火の精霊、光の精霊など、この地球と地球に生きる多くの生命体たちを守る働きを持つ精霊たちもたくさんいますので、その精霊たちと意識をひとつにすることによって、皆さまは3次元意識から4次元意識そして5次元意識へと入つていくことができます。

精霊たちは皆さまに対してたくさんの愛を持ってサポートしています。

そして皆さまがこの美しい地球を守り、地球と共に歩むことができるよう皆さまを育てているのです。

皆さまが精霊たちとひとつに繋がつていくことは、この地球の意識と皆さまがひとつになることもあります。

私たちは今あえて「地球の意識とひとつになる」ということを皆さまにお話させていただいているが、それは地球がこれからアセンションを迎えるにあたって大きな変化を遂げようとしているからなのです。

かつてレムリア時代やエジプト時代にもこのような状況が起こりました。

アセンションをする方たちがアセンションをする地球を生み出し、そしてその地球と意識をひとつにしてアセンションをしていったのです。

そしてその後に残された多くの地球人が住む地球が、今皆さまが住んでいらっしゃる地球となっていました。

今回も同じようなことが起こりますが、地球自体が今度はアセンションをしたいという意思を持っていますので、アセンションをする地球が本体となり、ディセンションをする地球が新たに生み出されていくという可能性も有ります。

そのことは、まだどのように変わっていくのか私たちには分りませんが、どちらにしても皆さまがアセンションをしていく地球と気持ちをひとつにしていかなければいけないのではないかと考えております。

ただ難しく考えることはありません。

皆さまがこの美しいままの地球を想像し、この美しい地球に生き

る多くの生命たちを愛していること、この地球に存在する多くの精霊やエレメントたちを愛していることをしっかりと想像していくのです。

それは今の3次元意識に満ちた地球ではありません。

この3次元意識の中で行われている争いや利益のための様々な活動、あるいは人々を支配するための行為、そのようなことが起こっている地球にフォーカスするのではなく、美しく調和に満ちて、皆さまが愛を持って生きている地球にもっと強くフォーカスしていくのです。

ただフォーカスの仕方としては、今の皆さまの生活が新しい地球の生活につながっていくというようなフォーカスの仕方をなさってください。

全く違う世界、違う地球を想像して、そこに自分がいることを想像してくださるのも結構ですが、必ず今の生活、今の自分がそういうふうに変わっていくことを意識してください。

もちろんその過程がなく新しい世界でしっかりと生活している自分を感じられ、そこにパラレルシフトしてくださっても結構です。

自分の心の準備ができている人、自分の心が愛に満ちあふれている人、今そのような世界にパラレルシフトしたとしてもおかしくない人たちは、そのようなパラレルシフトで一気に新しい世界に入していくことも可能です。

しかしながら、皆さまの心の中に大きな怒りや不安が有り、現実生活に対するたくさんのストレスのために疲労して感情的になっているならば、そのパラレルシフトは成功しないかもしれません。理想の世界に入ろうとしても、皆さまの波長がその世界と大きく異なるために、その世界から弾き返されてしまうのです。

そのために一瞬の内に理想の世界にパラレルシフトするのではなく、少しばかり時間をかけて自分の感情や思いを整理し、精霊たちと繋がりながら自分の心の中に愛のエネルギーが満ちあふれる時間を持たなければなりません。

今の皆さまにはそのことがとても必要であるかと思われます。まず精霊とひとつに繋がり、美しい地球、美しい愛の世界を想像してください。

それは精霊たちが持っている理想の世界そして精霊たちが創り出そうとしている世界ですが、その世界は人間たちの行為によって実現することはできませんでした。

人間たちは精霊たちの意志と異なる方向に動き、自然を荒廃させ、地球の中に生きる生命体たちを自分のために利用しようとした。

そしてこの地球は自分たちの資源であると考え、科学的な方法を用いてこの資源を略奪し自然を破壊していったのです。

そのような行為がなければ、この地球は本当に美しいままの地

球であり続け、アセンションにも成功していたでしょう。

しかしながら、それもこの地球が皆さまに対して許してきたことです。

そのような世界を体験するために、たくさんの宇宙種族の意識がこの地球に降りてきて、その世界を体験することができたのです。

しかしながら地球にも地球の意思があります。

その地球の意思の実現に向けてこれから地球が動き出すのです。そのために皆さまが生きている地表では地震などの自然災害が起こり、地球自身がエネルギーをリセットする可能性も有ります。もし大きな地震や津波など地球規模で大きな変化が起きた場合には、地球自身が理想とする地球と今までの地球を分離しようとして変化を起こしている場合も有ります。

そのために皆さまは地球の意識と同調していく必要が有ります。

皆さまが地球の本質である意識と同調することによって、皆さま方は地球が理想としている地球に共に向かうことになるのです。

皆さまがこのまま3次元世界にフォーカスした意識状態であり続けますと、皆さまは今までと同じような地球に残っていく可能性も有ります。

もちろん心の深い部分でそのことを望んでいらっしゃる方はそれで結構です。

何の問題もありません。

しかしながら、皆さまの魂がアセンションすることを希望して、皆さまが自分の意識の本質へと戻ることを決められている方は、そのままの状態では少し不都合が起きるかもしれません。

それは自分たちの肉体や自分たちの現実世界での意識を捨ててアセンションをしていく可能性が有るからです。

つまりこの世界で死を迎えることによって新しいアセンションした地球に生まれ変わるというアセンションのやり方を選択することになります。

このやり方は地球以外の星で行われている通常のアセンションの方法でもありますので、このやり方を選択されたとしても何の問題もありません。

PART2 自分の問題を宇宙意識で解決する

今回、肉体を持ったままアセンションをすると決められている方たちは、これから自分の意識が地球の意識と同調していくために様々な出来事が起こるでしょう。

そのひとつは皆さまがこの地球で体験するべきことを一気に体験するというようなことが起こります。

皆さまの意識がこの地球にやってきたとき、皆さまが経験すべき事柄が幾つか準備されていました。

それは皆さまが地球の物理世界を生きることで、皆さまの魂がこのような情報が欲しい、このような体験や経験が必要だ、と考えていることです。

その中で皆さまがまだ体験していないことがあれば、その体験がこれから一気に起こり、皆さまは魂が求めているたくさんの経験や知識を得ることになるでしょう。

その体験が終わりましたら、皆さまの意識はとても軽やかな状態になりますので、皆さまが気になることがあったとしても、そのエネルギーからの開放がスムーズに行われてくると思います。皆さまがまだ3次元意識からフォーカスを外すことができないのは、皆さまの魂や皆さまの高次の意識がこの物理世界でなければ体験できないことをまだ体験し終わっていないという理由もあるからのようです。

「自分はこの地球に何を体験しに来たのか」それは人それぞれです。

例えば、もっと深い愛を現実世界で体験することや困難な状況に自分を置いてその状況を乗り越えていくということも重要な体験になります。

あるいは病気や障害などを持った子供たちを理解し、その子供たちの気持ちに寄り添って生きてみる、また誰かに虐げられて悲しい思いをしながら生きる、そのように皆さまが物理世界で体験しなければいけない事が残っているために3次元世界にとどまっている場合もあります。

そのようなときは、「自分は何を体験するべきなのか」「自分にはどのような知識や経験が必要なのか」ということを心の中で魂に問われてみるのも良いでしょう。

「私がまだ3次元世界にフォーカスしている理由は何ですか。」

「私がまだ3次元世界で行わなければいけないことは何ですか。」
というように心の中で魂に聞いてみてください。

その理由が魂や高次の意識から皆さまにわかるような形で答えがやってくるかもしれません。

皆さまは確かに3次元世界にフォーカスしているかもしれません
が、それは皆さまの魂の意思によってフォーカスしていることな
ので決して問題は有りません。

皆さまはこの地球の中で体験する必要があることを残らず体験
しているのです。

皆さまがこの地球に降りてきた目的をしっかりと理解し、そして地球でなければできないことを体験することは、この地球の深い意識と繋がることにもなるのです。

そのような過程を経なければならぬ方たちもたくさんいらっしゃいます。

またそのような体験を皆さまの魂の意識や高次の意識から見てみることも非常に重要なことです。

皆さまは何度も宇宙意識とひとつに繋がり「宇宙の根源の愛」の世界に入られる経験をされました。

そしてその世界から皆さまの生活を見るのも練習されました。

皆さまが地球に来た目的を果たし、自分の魂にとって必要とされる経験や情報を得るために、そのような視点を使われても結構です。

そうすることによって自分が必要としている体験の意味や体験の全貌を瞬時に見ることができます。

3次元の意識では物理的な側面しか見えませんので、そのような体験から充分な経験を得るためににはとても長い時間がかかります。

例えば障害を持った子供を何十年とかけて育てていく中で得られる経験です。

しかしながら、そのことを皆さまが宇宙意識で見るならば、障害というものはこのような原因やこのような状況の中で生まれている、その障害を持った子供達に対応するためにはこのような考え方を持ち、このようなことを行い、そしてこのような気持で接しなければいけない、というようなことを瞬時のうちに理解することができるのです。

そのことを理解できたならば、その体験はもうその時に終わるのです。

皆さまが自分に必要な体験や知識を充分に得ることによって、皆さまの意識は宇宙意識に向かい、皆さまの波長も変わってきます。

そうすることで皆さまはこの地球の意識とひとつに共鳴し、新たにアセンションをしていく地球と共に生きることになるのです。

人によっては、それほど多くの時間が残されていない方たちもいらっしゃいます。

その方たちは今私がお伝えしたように宇宙意識、愛の意識になって、この3次元世界の問題をもう一度あぶり出してください。そして今自分が行おうとしていること、行わなければならぬことを宇宙意識、愛の意識で見ることです。

そうすることによって問題が早く解決し、皆さまが宇宙意識になることをお手伝いすることができるのです。

PART3 瞑想ワーク 宇宙意識で現実世界を見る

ではそのためのワークを行いましょう。

皆さまの意識を自分の心の中心に感じてください。

そして皆さまの両足からしっかりと地球の大地に向けて根が張っていくように想像しましょう。

チャクラのクリアリングの中で行ったように、皆さまの意識をまず大地の中に降ろします。

皆さまは地球の中心はマグマであると想像されているかもしれませんので、まずはそのマグマの中に皆さまの足から伸びていたエネルギーを繋げてくださって結構です。

そして皆さまは大地の意識を感じます。

皆さまの意識を少し高いところに持っていくと、この地球を支えている愛の光が見えてくると思います。

この地球は本来人工的に作られた地球です。

物理的な視点からは、この地球のマグマのように燃え盛っている炎、燃え盛っているエネルギーが見えるかもしれません。

しかしながら、皆さまの意識を4次元意識にしてしまうと、この地球の中心に美しく輝くクリスタルたちの光が見えることでしょう。

この地球の原動力は、本来そのようなクリスタルたちなのです。

大きなクリスタルが皆さまの地球の中心に有り、そして皆さまの生命を支えているのです。

では地球の中心に大きな美しいクリスタルが輝いている様子を想像しましょう。

地球の原動力となっている大きなクリスタルたちです。

そのクリスタルたちが美しい光を放っています。

これがある意味、地球の意識そのものです。

ではそこにつながっていきましょう。

ここは皆さまにとって4次元もしくは4.5次元の世界です。

5次元世界に近い4次元の世界と言っても良いでしょう。

皆さまがそこに自分の意識を合わせることによって、宇宙の愛の意識に繋がりやすくなります。

ではその美しく輝くクリスタルに自分の意識をつなげてください。そして地球のクリスタルの意識に自分の根を繋げたまま、自分の意識をスーと上に伸ばしましょう。

皆さまの家を超えて、地球を超えて、そして皆さまはこの天の川

銀河、宇宙の中に出でいきます。

皆さま美しい天の川銀河を見ています。

沢山の星々の輝きを見ています。

そしてこの宇宙を抜けていきましょう。

この宇宙を抜けていくことによって、皆さまは宇宙の愛の世界、宇宙意識の世界へと入っていきます。

そこは先ほど見た地球のクリスタルの輝きをさらに大きくしたような輝きです。

空中がクリスタルの輝きに満ちあふれています。

それも色とりどりの光に満ちあふれているのです。

とても美しい、まるでオーロラを思わせるような光が、皆さまが見上げる空全体に、皆さまが感じる空間全体に満ちあふれています。

そのエネルギーをしっかりと受け取り、皆さまがその空の一部になったというように想像してください。

そしてこの宇宙意識につながっていきます。

皆さまの中で宇宙の愛が皆さまの心を満たしているように想像しましょう。

皆さまの心の中が光り輝く宇宙意識そのものなのです。

そしてその意識を持ったまま、皆さまが今暮らしている様子を見てみましょう。

今皆さまが過ごしている生活、仕事、家庭、社会そのようなものを見ていきましょう。

その中で行われていることを見てください。

まるで映画を観ているように、地球全体が大きなホログラムであるかのように見てください。

そうすると、そこで起こっている全てのことが、皆さまが体験する必要があるからこそ起こっているということが理解できると思います。

皆さまがこの地球に来て理解すること、体験すること、そして魂の情報として蓄積することがそこに満ちあふれていると想像してください。

皆さまが宇宙意識で見るとその体験の意味が瞬時に分かってくるでしょう。

どのような体験が必要なのか、自分の心にとってその体験がどのような学びや成長をもたらすのか、ということが瞬時に分かってきます。

皆さまが3次元意識のままですると、皆さまはそのような体験から

逃げようしたり、そのような体験を避けようしたり、あるいは自分の都合の良いようにその体験を理解しようとします。

そうしますと皆さまの魂が必要としている情報や体験は得られないのです。

皆さまは魂が必要としている情報や体験を得るために、何度も何度もこの地球で生まれ変わり同じ体験をしてきました。

皆さまが何度も同じような体験をするのは、その体験を正当に理解してないからなのです。

その体験からどのような知識やどのような経験を得られるのか、ということから目を背けその体験から逃れようとしているからなのです。

皆さまは今宇宙意識の状態にありますので、その体験をしっかりと受け止めることができます。

そして受け止めることによって、その体験から得られる知識や情報というものが皆さまを通じて魂へと送られます。

魂はその情報や体験が自分が求めていたことだと分かったならば、皆さまの体験や経験は終了いたします。

充分な経験と知識を得られたことで、皆さまがこの地球で生きることが終了し、皆さまの意識、自分が本来いた高次元世界や宇宙意識へと帰っていくことになるのです。

本当は皆さまがそのような経験を充分に体験し終わっていないために、皆さまがアセンションすることを選択することができないのです。

皆さまが宇宙意識になって、自分にとって必要な体験や知識を得ることができたならば、もっと多くの地球人が肉体を持ったままアセンションをして、魂たちが求めている次の体験を行うことができるでしょう。

次の体験とは、肉体を持ってアセンションすることで皆さまの肉体がどのように変化していくのか、皆さまの肉体や意識、感情がどのように変化していくのかということを皆さまの魂は経験したいのです。

このような惑星に生きている存在が肉体を持ってアセンションをしていく、というプロセスを皆さまの魂は得たいと思っているのです。

ですから今生でアセンションするがなくとも、次の生でもう一度地球に生まれ変わって、そして今の皆さまよりはもっと軽い状態でこの地球からアセンションをしていくことができるようになるのです。

ですから決して今生アセンションをしなければいけないということもないのですが、もう3次元世界を充分に体験したので新しい世界を体験したいと思っている魂たち、あるいは高次の意識たちにとっては、この人生でアセンションをさせたいと考えている

のです。

そのために今日皆さんと行ったワークにしっかりと取り組んでくださることを、私たちは心から望んでおります。

ではまたお会いしましょう。

第4章

ササニ文明サファイア

守護者とのゲートを開く

2023年11月19日

第4章目次

PART1 パラレルワールドとアセンション

PART2 心を愛の意識に向ける

PART3 自分を守護する存在とのゲートを開く

PART1 パラレルワールドとアセンション

私たち宇宙連合はこの宇宙における幾つもの時代の中に存在しております。

6次元、7次元、8次元になりますと、時間というものは私たちにとってあまり関係が無いものになります。

ただ皆さんにとって時間はとても重要なものですので「物理的肉体を持っているからこそ時間が有る世界で生きている」と考えられたら良いかもしれません。

物理的肉体を失って完全な意識存在になってしまえば、そこには時間は存在しなくなり、幾つもの世界が同時に存在していることが理解できます。

皆さまはパラレルワールドのことを学ばれたと思いますが、皆さ

まは物理的な肉体を持っておりまますので、皆さまが認知できるパラレルワールドはそれほど多く有りません。

皆さまと同じように物理的な肉体を持って存在しているパラレルワールドも有りますが、地球以外の星で生きているパラレルワールドや肉体を持たずに生きているパラレルワールドもたくさん存在しております。

それは皆さまの魂が地球だけの経験では物足りないと思われ、他の星に皆さまと同じような意識を降ろし、その星で生きている経験を得ている場合も有ります。

すでにアセンションをして、物質的な肉体から半物質的な肉体へと進んでいる途中の皆さまもいらっしゃいます。

アセンションを行うことによって、さらに優れた宇宙種族の指導を受けて、愛の意識、宇宙意識になり、進化していったパラレルワールドの皆さまもいらっしゃいます。

また地球に生きているパラレルワールドの皆さまの中には物質的な肉体を持ってアセンションをしている人たちもいますが、地球の中で肉体を持ってアセンションをしている人たちはそれほど先の世界に進んでいるわけではありません。

皆さまよりも200年、300年先の世界を生きていらっしゃる皆さまは、まだ肉体を持っていらっしゃいます。

今皆さまフォトンベルトのエネルギーを体験しながら、その中を進まれている途中なのです。

しかし皆さまよりも200年、300年先を進まれている方は、フォトンベルトのエネルギーをとても強く受け取っておりますので、今の皆さまよりも更に愛に基づいて進化した肉体になっている方もいらっしゃるのです。

皆さまはこれからアセンションに入るところですが、フォトンベルトに入ってさほど長い期間が経っているわけではありませんので、皆さまの肉体にはまだ大きな変化が表れておりません。

ただ食べる物が変わったり、皆さまの考え方や思考が変わったり、皆さまの意識が変わることによって、皆さまは20年前、30年前よりも高次の意識に近い意識へと変わってきていると思います。皆さまが私たちのような高次元存在と触れ合えることがまさにその証拠であるかと思います。

それは皆さまだけでなく、この地球の生きる多くの人たちが20年前、30年前よりも進化して高次元の意識に近づいているのです。

そして皆さまたちが高次元の意識に近づくことによって、皆さまの考え方や感性、感覚、感情に変化が起きているのです。

PART2 心を愛の意識に向ける

これからアセンションが進むにつれて、皆さまの感覚もとても鋭くなっています。

皆さまの体にとって合う物、合わない物が良く分かるようになっていくでしょう。

特に食べ物や自分が日常的に使う物に対する選択は以前と比べて大きく変わっていくと思いますので自分の体にとって安全な物、自分の体にとって有益な物を皆さまは選択されるようになります。

それは皆さまの体の波長が上がっていくために、化学物質がたくさん使われている物や使い捨てのような物との波長が合わなくなるのです。

また皆さまが日常的に食べられる物や使われる物に対して愛情が生まれ今までよりも大切に扱われるようになるでしょう。

そして食べる物に対してかけられた愛情は、そのまま皆さまの体の中にも返っていきます。

皆さまが愛情をかけて作られた野菜や愛情をかけて料理をされた食事が皆さまの体の中に入ることによって、皆さまにとって大きな愛のエネルギーとなっていくのです。

皆さまの中で愛のエネルギーが大きくなると、皆さまの感性もさらに鋭くなり、他の人が考えていることや感じていることも分かるようになります。

また他の人のエネルギー状態も分かるようになります。

これはとても大切なことです。

なぜ大切かというと皆さまは自分の波長や自分の肉体の感覚と合わない人たちと長い期間一緒に居ると、皆さまの肉体や感覚に不調和が起きてしまうからです。

体調が悪くなったり、体の状態が少しおかしくなったりします。

それは単に物質的な物だけではなくその人が持っている波長や意識、そのようなものに対しても皆さまの肉体や感覚が影響されるからなのです。

皆さまの感覚が研ぎ澄まされてくると、自分にとって心地よい人たちと一緒にいたい、あるいは心地よい場所に行きたい、というふうに思われるようになるのです。

それは皆さまがアセンションをしていくときに必ず起こるとても重要な現象です。

皆さまがこの3次元意識の世界、3次元意識の地球から外に出ていきたい。

新しい5次元意識の地球に向かいたいという思いの原動力になるからです。

自分に合わないところに長くいたり、自分と合わない人と長くいたりすることによって皆さまの体が不調を起こしバランスが崩れてしまうために、そうではない場所に行きたいと皆さまの本当の意識が思われるのです。

そのような思いを一切持たない方は、今までと同じ世界に残ることになりますので、アセンションをすることはおそらくないかと思います。

それはそのような方たちの魂がもっと3次元世界を体験したいために、そのような波長の中に居ることを選択されたからです。ただ皆さま方の多くがアセンションをする地球に行きたいと考えていらっしゃいますので、そのような感覚の違いがこれからも際立ってくるのかなと思います。

そしてまた皆さまの感情も変化していきます。

皆さまの感情は今まででは目の前で起こったことに対して直感的にそして反射的に感情が起こってきました。

そしてその感情は自分の心の中に蓄積され、皆さまの考え方や生活のあり方をコントロールしてきたのです。

皆さまは今「宇宙の愛」に触れたので、自分の心の中に宇宙の愛があることを信頼してくださっていると思います。

自分の心の中心に「宇宙の愛」というものを置かれた方は、目の前で起こってくる現象に対して過剰に反応することは無くなりまます。

自分の心の中はある一定の穏やかさで満ちていますので、以前と比べて怒ったり不安に思ったりすることも少なくなってきます。そして皆さまが愛の意識になることで「なぜそのようなことが起こっているのか」ということを理解し、そのことに対する解決を速やかに行うことができるのです。

そうすることによって皆さまだけでなく皆さまの周りにいる人たちの感情も穏やかになり、心の中に愛というものを満たすことができるようになるのです。

このことも皆さまがアセンションをするにあたってとても大切なことです。

皆さまも御存じのように、皆さまの心が怒りや憎しみ、苦しみや悲しみの感情に満たされると、皆さまはそのような感情の中に閉じ込められ喜びや愛の感情の中に入していくことができません。

まるで泥沼にどんどん沈んでいくように、怒りや憎しみ、苦しみの感情の中にはまり込んでしまい、そこから動き出すことができなくなるのです。

宇宙の愛、宇宙意識と自分の意識をひとつにするということは、そのような感情の泥沼から抜け出す効果的な方法です。

自分自身が愛から生まれた存在であり、愛のエネルギーを持つ

ていることを理解することで、自分自身と怒りの感情や憎しみの感情、不安の感情などを分離することができるのです。

自分の意識の周りに愛のエネルギーを張り巡らすことによって、皆さまがそのような感情の沼の中に溺れることを防いでいるのです。

その感情の中から皆さまを救い出すといつても良いかもしれません。

そして皆さまに怒りや憎しみの感情よりも愛の感情が増えてきたときに、皆さまの周波数も高まりアセンションをしていく地球の周波数に近づいていくのです。

皆さまの周波数が高くなればなるほど、皆さまの周りにいらっしゃる人たちの周波数にもより良い影響を与えることになります。特に皆さまの家族、皆さまのパートナーや皆さまの子供たちに對してより良い周波数を送ることができますので、皆さまの家族全体がひとつ大きな周波数となって上昇していくこともできるのです。

もちろん家族の中でそのことを望まない方たちもいらっしゃいます。

そのことを望まないという理由の中には幾つか有りますが、自分はまだ3次元世界を体験していたい、あるいは自分の中にある怒りや憎しみがどうしても処理できない、という理由もあるかと思います。

しかしながら皆さまが愛の存在になられ、愛の周波数を持たれることによって、その方たちの心もやわらぎ感情も癒やされ、少しづつ愛の周波数の方に目を向けられるようになるのです。

皆さまはそのような方を「この人は私と完全に違うからダメ」というふうに分離するのではなく、その方に愛の周波数を向けてくださることで、その方が皆さまと少しばかり距離があったとしても完全に離れることはなく、皆さまの意識の世界の中で一緒に歩んでいけるのではないかと思います。

もちろんそのことを望まない方に関しましては、お互いが心地よく過ごせる場所へと移り変わっていくのは仕方がないことであると考えています。

皆さまがフォトンエネルギーの中を抜けていく中で、皆さまの体も変わり、感情や感性も変わってきています。

今はまだ目に見えない部分がどんどん変化しているのですが、もうしばらくすると皆さまの感覚でも分かるような部分に変化がでてきます。

例えば親しい人たちとテレパシーで繋がることができたり、お互いシンクロを感じ合って一緒に行動したり、病気をしないような体になったり、常に意識が落ち着いて高次の意識と繋がっているような感覚になってきたというふうに、皆さまが感じられるレベルにまで変化が起こってくるでしょう。

皆さまのパラレルワールドの中で約200年先、300年先を生きている方たちは、すでにそのような変化を体験していらっしゃるのです。

そしてその変化の中で皆さまよりもさらに意識が進化し、他のパラレルワールドにいる皆さま方に対してもサポートができるような立場になられる方もいらっしゃいます。

特に300年先、400年先を生きていらっしゃる方は、すでに高次の意識と深く繋がり、また自分の魂とも深くつながるようになっておりますので、その方たちはこれからアセンションをしようとしている皆さまの意識を感じ、皆さまの姿も見ることができるようになっている場合もあります。

場合によってはそのようなパラレルワールドの方たちが、皆さまの夢や皆さまの意識を通してコンタクトしてくる場合もあります。皆さまはそのようなコンタクトは、皆さまのガイドや守護者が行っていると感じられるでしょうが、皆さまのガイドや守護者は肉体を持たない意識体の場合もありますし、皆さまのパラレルワールドの中で先に進んでいる者たちの場合もあります。

そのような方たちの指導のおかげで今皆さまアセンションに向かって進んでいるのです。

私たち宇宙連合の者たちはすでに肉体を持っておりませんので、皆さまの物理世界に介入することはできませんが、皆さまの400年先、500年先のパラレルワールドの存在や皆さまのガイドを

している意識的存在とも交流しながら、皆さまをサポートしているのです。

PART3 自分を守護する存在とのゲートを開く

では皆さまをサポートしている存在、そして皆さまが交流している存在を感じるためのワークを行いましょう。

なぜ今このようなことを行うかというと300年先、400年先の皆さまのパラレルワールドの存在からはあなたのことが見えて

いますし、あなたのことを指導している霊的存在あるいは光の存在からもあなたのことは見えています。

しかしながら、あなたにはそれらの存在は一切見えていませんし

感じることもできませんので、彼らがあなたにメッセージを送ったとしてもそのメッセージを受け取り理解することができません。このワークを行うことで、皆さまをサポートしている存在を感じ、深い繋がりを作ることができれば、彼らからのメッセージを受け取ることを可能になりますし、今までよりも彼らからのサポートをしっかりと受け止めることができるようになるのです。

では準備ができている方は始めていきましょう。

ゆっくりと深呼吸して皆さまのハートの中心に光の玉を想像してください。

皆さまのハートの中心に美しく輝く光の玉を想像してください。光の玉は何色でも構いませんので美しく輝く光の玉を想像しましょう。

光の玉は皆さまのハートチャクラに存在しています。

そして光の玉は皆さまの次元とは異なる次元につながるゲートになっているのです。

光の玉は自分自身では作り出すことはできません。

私たち宇宙連合の許可を得て、皆さまが深く関わっている他の次元と繋がるゲートを皆さまのハートチャクラに作り出すことを行いました。

現在皆さまのことをサポートしているパラレルワールドの皆さまやガイド、光の存在たちがこの光の玉を作り出すお手伝いをしているのです。

皆さまと深い関係がある存在たちがこの光の玉を通して皆さまの前に現れてくると想像してください。

ただここでひとつ注意しましょう。

それは自分の欲望や野望を持ってこのゲートを開くと、そのような存在に繋がってしまいますので注意してください。

例えば「お金持ちになりたい」という気持ちを持ったままこの光のゲートを開くと、皆さまに欲望を起こし、欲望のために行動させるような存在たちと繋がってしまいますので皆さまはお金の虜になってしまいます。

そのために、このゲートに設定を行うことが必要です。

例えば「この光のゲートは私に愛をもたらす者たちだけを通します」

或いは「私が愛に向けて意識進化するために必要な存在だけを通します」

「私を守護し、私を本当の愛の世界に導くために働いてくれる者たちだけを通します」というふうに設定します。

ただ私たちを導く者、私を守護する者、というふうに設定しますと、皆さまを指導するという名目で利用しようとする様々な

存在たちがゲートを通ることが許可されますので、どのような方向に向かって自分が進化するのか、どのような方向の存在たちに向かって繋がっていくのか、ということを設定しなければいけません。

「私たちがアセンションするために私たちをサポートしてくれる存在と繋がります」あるいは「私が自分自身の道を歩むことをサポートする者たちと繋がります」というふうに細かく設定してください。

そしてそれ以外の存在はこのゲートを通ることは認めません、というふうに設定しましょう。

ではまずその設定を行ってください

設定が終わりましたでしょうか。

では最初にこのようにお願いしましょう。

「私のパラレルワールドの存在よ、高い意識を持ったパラレルワールドの存在よ、

どうかこの光のゲートを通って私の元に現れてください。

私の魂の兄弟よ、どうか私の元に現れ、私のことをサポートしてください。」

言葉は少しばかり変わってもかまいませんので、このようにお願いしてください。

そうすると目の前の光をバックにして人間のシルエットが見えてくるかもしれません。

あるいは何らかの形で人間の姿をした存在が感じられるかもしれません。

この時期までは人々はまだ肉体を持っておりますが、ただ今の皆さまの肉体とは少しばかり変わっている場合もあります。

目が少し大きかったり、手足が長かったり、あるいは頭の形が違ったり、少し肉体に変化があるかもしれませんがその姿に驚かないでください。

そしてその姿を皆さまの前に感じてください。

そして次はこのように言ってください。

「私のパラレルワールドの存在よ、私の魂の兄弟たちよ、

私のことを思ってくださいありがとうございます。

私もあなたのことを愛しています、大切にしています。

どうか私たちと愛を分かち合ってください。」

このように「愛を分かち合う」ということを大切にして繋がってください。

「あなたのことを愛しています。

あなたのことを大切にしています。

私の魂の兄弟よ、私とどうか愛を分かち合ってください」

そしてお互いが愛に包まれているように想像しましょう。
そしてもしメッセージや何かのビジョンを送ってくださるようでしたら、感謝の気持ちを述べて受け取ってください。

(瞑想)

では次のコンタクト行います。

その存在に対して感謝の気持ちを込めて「ありがとうございます、
どうか私を見守ってください」と言ってお別れします。
そうしますとその存在はすっと光の中に消えていきます。

では次に「私のことを見守っている意識体やエネルギー一体の存在はいらっしゃいますか。

あるいはどんな形であれ、私のことを愛し支えてくれている存在
いますか」

という風に聞いてみてください。

もしかしたら他のパラレルワールドの皆さまがいらっしゃるかも
しませんし、あるいはもう既に肉体を持っていらっしゃらない
エネルギー存在が光のような姿でいらっしゃる場合もあります。
どなたがいらっしゃったとしても愛と感謝をもって迎えてあげて
ください。

(瞑想)

そうすることによって今回コンタクトを行った方たちとは、皆さまは常時コンタクトを取ることができる設定ができ上がってきます。

それではゲートをしっかりと閉じていきましょう。
コンタクトが終わりましたら、皆さまにしっかりと自分たちの世界に戻ってもらうために「ありがとう」という感謝の言葉と共に
送り出してください。

そして終わりましたら光のゲートを一旦閉じます。

その光を静かに消しましょう。

「このゲートを閉じさせていただきます。

このゲートを閉じますのでどうか皆さんも元の世界にお戻りく

ださい」とおっしゃっても結構です。

そして光を消してスーツと小さなボールのように、例えば硬い野球のボールのようにゲートを小さくしてください。

するとゲートの役割が終了しますので、その球を自分の胸の中に納めてください。

そして念のために「私が呼んだ存在以外の者たちとの間のゲートを全て閉じます。私にとって必要でない存在たちのゲートやコードを全て閉じます」と宣言してコードをカットしてください。

皆さまがまたこのゲートを開きたいと思われた時、今回お会いした存在からメッセージを受け取りたいと考えられたとき、この光の玉を開いてその方を呼ぶことができます。

第5章

ササニ文明サファイア

地球の意思と

地球人の選択

2023年12月16日

第5章目次

PART1 自分軸が作る自分の未来

PART2 地球の意思と地球人の選択

PART3 アセンションする地球のパラレルワールド

PART4 地球人の肉体と意識の本質

PART5 地球は種族融合のための人工の星

PART6 ファーストコンタクトで学ぶこと

PART1 自分軸が作る自分の未来

皆さまこんにちは、お久しぶりです、私はサファイアです。

2023年もこれが最後のチャネリングライブとなりました。

この2023年は皆さまにとって大変慌ただしくまた重要な時期ではなかったかと思います。

この地球はコロナウイルスやコロナワクチンの影響を受けてとても混乱していた状況でした。

2022年までは私たちも皆まとコンタクトを取ろうと思いまし

ても、この地球の混乱したエネルギーの中で私たちの周波数と地球の方々の周波数が合わないためになかなかコンタクトをとることができませんでした。

ようやく今年の夏以降、この地球の周波数も以前と比べて落ち着いてきました。

そしてこの混乱の中を抜けてきたために今地球は大きなクリアリングというものを現在行っております。

それは地球の自然環境だけでなく地球の社会、そしてひとりひとりの皆さまの感情、そのようなものが今改めてクリアリングされているのではないかと思います。

コロナウイルスやコロナワクチンそして幾つかの戦争によって皆さまの中にあるとても古い感情や古い価値観もあぶり出されてきたことだと思います。

アセンションの前は決して平穏な状態が続くわけではありません。このように混乱や争い、考えてもいなかつことが次々と起こり、それに対して皆さまの中にある古い感情や思考があぶり出されてくるのです。

まるで大きな炎によってこの地球の闇があぶり出され、地球が持っていたネガティブなエネルギーも皆さまが持っていたネガティブな思考や感情が表に出てきたというふうに考えられると良いのではないかと思います。

そのために皆さまはとても慌ただしくそして感情の起伏のある日々を送られてきたのだと私たちは考えております。

そして来年 2024 年に入りますと、もう少しそのようなクリアリングが続くでしょうが、皆さまが自分の中心軸を持つために様々な揺れ動きも起こってきます。

ただこの自分の中心軸について少しお話ししたいのですが「自分軸で生きる」ということは自分中心の生き方をすることではありません。

また自分の視線だけを正義と考え、その視線で周りを見る事でもありません。

それは皆さまの「物質世界で生きてきた意識」ではなく、皆さまの本当の意識、宇宙意識、愛の意識そういう意識に皆さまが繋がって、皆さまの宇宙意識、愛の意識を中心として生きることではないかと私たちは考えております。

もちろん皆さまひとりひとりがこの「自分軸で生きること」をどのように考え、そしてどのように実現するのか、ということは全て皆さまの自由です。

私たちが伝えることが全てではありません。

最終的には皆さま方が自分軸というものをしっかりと見つけ行動することが必要なのです。

ただどのような自分軸で生きていくのか、自分がその自分軸をどのように捉えているのか、ということによって皆さまがこれか

ら生きる世界が異なります。

何を自分軸とするのか、ということが、どのような世界を生きていくのか、ということと深くつながっているのです。

ですから自分軸というものを、自分中心の軸、自分の欲望やエゴ、野心を満たすものだと考えられた方は、お互いがエゴを満たすために欲望がぶつかり合うような世界へと進まれていくことでしょう。

そしてお互いの野心と野心がぶつかり合い、お互い協力する場合もあれば争う場合もある、そのような世界を生きていくことになります。

もし皆さまが「宇宙の愛そして宇宙の意識を自分軸だ」と考えるならば、もちろんすぐにそのような自分軸が確立されるわけではないと思いますが、そのようなものを自分の基準として生きていかれるのならば、とても落ち着いたやすらぎのあるそして愛に満ちた世界をこれから皆さまは歩んでいくのではないかと思います。

また自分軸を地球意識や地球の自然環境に生きる生命たちの意識とひとつにされる方は、この地球の思い、地球に生きる生命たちの思いをしっかりと自分の中で生かしながら、この地球を大切にした生き方をされていくことでしょう。

自分軸で生きることに関しても、皆さま方は大きな決断を持っているいらっしゃいますし、またそれが皆さまの未来となることを

しっかりと考えていただければよろしいのではないかと思います。

そしてこの自分軸というものは、2023年から2024年の間に、皆さまの中ではっきりと分かれてくると思います。

自分に合った自分軸というものを皆さまが手に入れることができ、そのまま皆さまのパラレルワールドへと繋がっていきますので、皆さまが望む世界にこれから進んでいくわけです。

今までこの地球にはとても大きな混乱がありました、その混乱の中でぶれることなく自分の軸を作ってきた人たちは、もうすでに何を中心として生きていくべきか、ということをお分かりになっているかと思います。

そしてまだ自分軸がしっかりと自分の中で作り上げられていない方も「これから自分はどのように生きるべきか」「自分はどのような未来を創るべきか」ということを考えながら生きていくべき良いのではないかと思います。

そのことに関して高次元存在も皆さまにできうる限りのサポートを行わせていただきたいと考えております。

PART2 地球の意思と地球人の選択

なぜ私たちがそのようなサポートをするのかと言いますと、このままでは地球の多くの人たちが、自分が望む世界へ進むことができないからです。

皆さまが3次元意識で生きる存在として、この3次元世界にフォーカスして3次元世界を生きていくのであれば、それはそれで結構です。

しかしながら皆さまを生み出した魂や皆さまを育てている高次の意識は、皆さまにどのような生き方をしてもらいたいのか、ということを常に伝えようとしております。

今まで地球ではアセンションの機会が複数回ありましたが、地球はあえてアセンションすることをしませんでした。

アセンションをしたいと思っている方たちだけが、アセンションをしない地球から離れ、新しい地球を生み出してアセンションをしていったのです。

ただ地球に生きる多くの人たちがアセンションを望まなかつたために、この地球は3次元意識の地球というものを保つ必要がありました。

そしてまた皆さまだけではなく、多くの宇宙種族の方たちが地球にやってきて、地球の物理世界に生まれ、素晴らしい体験を得て帰られていったのです。

そのためにこの地球は3次元意識の地球、物理世界の地球というものを保たなければいけませんでした。

しかしながら今回は地球自身がアセンションをすることを決められています。

それは今と同じような状態で地球が進んでいくと、地球自体がとても大きな危機を迎えることを地球の意識そのものが知っているからです。

地球は皆さま地球人だけでなく、多くの生命体たちを育てています。

たくさんの動物や植物、鳥、魚たち、そして皆さまの目には見えない微生物もたくさん存在しています。

その全てをこの地球は守り育て、そして慈しんできているのです。

今まで地球はその役割を充分に果たすことができましたが、その中でも多くの生命たちがこの地球から去っていきました。

地球人によって多くの戦争や破壊的な行為が行われることで自然環境が破壊され、多くの動物や植物そして多くの生命たちの命が失われていきましたが、まだ地球はこの地球に生きる生命たちを支えるだけの力があったのです。

しかしながらこれ以上地球人の科学技術が進み、地球人が他の

生命に対して思いやりのない行為を続けるならば、地球の自然環境は更に悪化し、多くの生命体たちを充分な愛を持って育てることができないような状態になってしまいます。

そのために地球はもう一度自分の意識を新たにして、この地球をアセンションさせたいと考えているのです。

多くの地球人が「アセンションをしよう」という意思を持ち、新たな地球人種へと生まれ変わろうと望むならば、この地球は多くの人たちを乗せたままアセンションをしようと考えていたのです。私たち宇宙連合も地球のアセンションに関わった当初はそのように計画しておりました。

多くの地球人たちが目覚め、調和に満ちた生き方をすることで、地球の意識と地球人の意識がひとつになって、地球が物理世界を持ったままアセンションをしていくのではないかと考えておりました。

しかしながらここ数年、私たちだけではなく多くの高次的存在たちが皆さまにメッセージを送り、皆さまが自分のことを振り返り目覚めるようなきっかけを作ってきましたが、少数の人しか目覚めて自分自身のことを顧みることができませんでした。

そのために地球は新たなアセンションの方法を考えているところなのです。

地球は幾つものパラレルワールドを持っており、パラレルワールドごとに様々なアセンションを行っていくのではないかと私たちは考えております。

ここではあまり詳しいお話しをすることはできませんが、ひとりひとりの皆さまに合った形で新たな地球へとアセンションをしていくことがこれから起きてくるのだと思います。

もちろんアセンションせずにこのままこの地球に残る方たちも多いかもしれません。

しかしながらそれはその方たちの選択ですので尊重されるべきことです。

またこの物質世界を最後の最後まで楽しもうと思っている魂が作り出した意識、あるいはそのような目的でこの地球に来ている方々もいますので、今までの地球に残る選択も素晴らしい選択だと思います。

またそのような方たちもこれから生きていく中でどこかのタイミングで私たちもアセンションをしていこうと考えたり、私たちがこの地球で体験することは充分に体験したからもうそろそろアセンションをしようと思われる方もいらっしゃるかもしれません。ただ今の時点では、アセンションを望まれている方はさほど多くありませんので、当面の間は、この地球は物質世界の地球を保ちながら進んでいくと思います。

PART3 アセンションする地球のパラレルワールド

今の時点ですでに地球での物理的な体験は充分に終わったからアセンションをしよう、あるいは自分がここに来たのはアセンションをする地球を経験するためだからアセンションをした地球に入ろう、と考えている方もいらっしゃいます。

それは決して多くの数ではないのですが、そのような方は皆さまの意識を創り出された魂の考えや高次の意識をしっかりと理解され、魂の意向に基づいてそのように考えているのです。

実を言いますと、今この地球に生きている人たちの中で4割程度の方たちが、もうすでに物理世界の体験を終えてアセンションをする予定であることを私たちは聞いておりましたので、この地球で生きていらっしゃる方の中でも3割もしくは4割の方たちが「アセンションをするという体験」に入られるのではないかと私たちは考えておりました。

物理世界からアセンションをして新しい世界に入るという体験は非常に素晴らしい体験です。

この地球に生きている多くの人たちの意識というものが、本来はそのような体験をするためにこの地球に降りてきたのだと思います。

地球は物理的な世界としてはとても多様性が有り、複雑でそして面白い世界です。

このような世界から自分たちの制限を取り除き、自分たちに課せられた様々な仕組みやカルマと言われるようなエネルギーを取り去ってアセンションをしていく人たちもたくさんいらっしゃいます。

新しい肉体を持って、また今の肉体をそのまま持ちながら新しい地球にアセンションをしていくことで、この闇の多い地球から光の地球へと移り変わるという素晴らしい体験を多くの意識たちが行いたいと考えているのです。

そして皆さまを創り出した魂や高次の意識が、そのような体験を得ることを望んでいるのです。

そして魂の中にはそのような体験をもとに、天の川銀河の幾つもの星々に関わって、それらの星の人々たちをサポートして、天の川銀河の平和のために働いていくというプロセスを体験したいと願っている者たちもいるのです。

そのために皆さまがアセンションの道をしっかりと歩むことができるよう、多くの魂や高次の意識は皆さまに対してメッセージを送り、自分たちの考えに気付くように願っているのです。

しかしながらこの地球を現在統治している者たちの影響によって、皆さまの意識と魂の意識が分断されるという状況が起こっていました。

この物理世界の便利さや豊かさに翻弄されている方々は、自分の心の深いところにある魂の意識、そして宇宙意識に気付くことも無く、3次元の物理世界のみを見ながら生きているのです。

そのような人たちに対しても、高次元存在を始めたくさんの方たちがメッセージやエネルギー送って宇宙意識や魂の意識と繋がるようにサポートをしてまいりましたが、今の段階では我々が思っているほどの数の方たちが魂との繋がりを取り戻したわけではないようです。

ただアセンションはこの機会だけで終わるわけではありませんし、

これから始まっていくものですので、皆さま方がアセンションをなさり、それにつれて多くの方々が目覚めてアセンションをしていくという過程がこれから起こっていくのではないかと考えております。

今回のアセンションはひとつの時期に皆さま全員が一緒にアセンションをするというわけではありません。

もちろん同じグループで共に活動している人たちや同じ意識を共有している人たちは、同じタイミングで同じ場所に移っていくこともありますが、ただひとりひとりの考え方や意識が違いますので、それぞれの人が自分に合ったタイミングでアセンションをしていくのではないかと考えています。

そしてその方法に関しましても、ひとりひとり異なるアセンションの方法が有るということなのです。

そしてひとりひとりが向かう世界も細かいことを言うならば異なってきます。

科学技術がしっかりと残り、その科学技術が地球の自然や人々のために良い方向で使われるよう変化していく未来も有ります。

科学技術は全て悪いということではありません。

科学技術をこの地球のためにそして地球に生きる人々や生命のために使うという意識が大事なのです。

そのようにしてとても素晴らしい科学技術を発展させた地球もできることでしょう。

また科学技術はほどほどにして、もっと自然と触れ合いたい、自然の状態で野菜を作ったり、食べ物を作ったり自分たちが暮らしていくような世界を望んでいるという方たちはそのような世界に行かれるでしょう。

今無農薬野菜や様々な自然環境の保護のために働いている方々は皆さまが気持ちをひとつにして、そのような世界を創っていくことになるでしょう。

あるいは高次元の意識体や地球以外の星から地球にくる宇宙種

族たちと関わりながら、新しいやり方で地球を運営していこうと考えている方たちは、そのようなパラレルワールドの地球に行かれるかもしれません。

皆さまのような「スピリチュアル」と呼ばれているような活動をなさっている方、ファーストコンタクトやパラレルシフトを実現させたいと考えている方々はそのような世界に向かわれることになるでしょう。

あるいはもっと自然豊かな世界を生きたい方や自然の中に存在している精霊やフェアリー、そういったミステイックな存在たちと共に生きていきたいと思われている方々は、新たにリセットされた地球で生きていくこともあります。

そのように皆さまがこれから自分軸をどのように作っていくかによって、そして自分がどのような未来を選択していくかによって、これから皆さまが生きて行く地球は全く異なってくるということをお伝えしたいと思います。

そしてそのパラレルワールドに、どれが素晴らしい、どれが劣っている、ということは全くありません。

今のままの地球も含めて、地球は全ての皆さまの前に「どのような地球で生きていきたいのですか」という選択肢を出しているのです。

どの選択肢を取られても結構です。

どの選択肢に自分が合っているか、それだけの選択です。

どうか皆さまもしっかりと選択して進んでいかれてください。

自己の中で何も考えていない方、自分の未来を夢見ることがない方、あるいは自分が生きる未来をしっかりと自分で創ろうとしていない方たちはこの地球の大きな集合意識の中でひとつになって生きていくのです。

それはこの地球の仕組みから出ることはなく、この地球の仕組みのなかで生きていくことになります。

そしてそのような地球はこの地球を支配している者たちの意志によって作られていく地球である、ということを覚えておいてください。

PART4 地球人の肉体と意識の本質

そして次に皆さまのその選択をフォローするために宇宙外種族

の方たちがこの地球にやって来られます。

ここでは地球を支配している地球外種族と区別するために、地球人を指導してファーストコンタクトを行う地球外種族のことを「宇宙種族」と呼ばせてもらいます。

すでにこの地球に入って地球の中で暮らしている方たちもいらっしゃいますが、暮らすといつても都会の中で皆さまと同じように仕事をして暮らしているわけではなく、あまり人が行かない自然にあふれた場所、人々にとって忘れ去られているような場所でひっそりと暮らしているのです。

それはなぜそのような場所にいるのかと言いますと、そのような場所から皆さまのことを見守っているからです。

同じこの地球というフィールドの中にいることで、皆さまに対して祈りを捧げたり、皆さまの夢や皆さまの様々なイメージを通して皆さまにメッセージを送ったりすることができるのです。

私たちは地球の外から皆さまに対してメッセージを送ったりして関わっていますので、全ての人たちが私たちのメッセージを受け取ったり、私たちのエネルギーを受け取ることでできません。しかしながら皆さまとファーストコンタクトを予定している者たちは、それほど多くの数ではありませんが、この地球の各地に散らばって人目に付かないところでひっそりと暮らしながら皆さまのために祈りを捧げています。

そしてこの地球が今どのような状態になっているのか、様々な民族の人たち、様々な種族の人たち、そして地球のアセンションを応援するために来てくれた人たちが今どのような状態になっているのか、ということを現実世界から見て私たちに報告してくれているので、私たちは皆さまの社会の状況や地球の様子を知ることができます。

この地球のファーストコンタクトというのは、最終的には今地球に来ている者たちの判断に委ねられています。

なぜならば彼らが皆さまとファーストコンタクトをする、もしくはファーストコンタクトへの道を開くという役割を担っているからです。

ただ何回も話していますように皆さまの意識状態に合わせてファーストコンタクトが行われますので、地球にいる多くの人たちが同じようにファーストコンタクトをするわけではありません。

これからアセンションをしていく、あるいは自分の意識を物理世界にとらわれないように5次元意識にしていく、そして高次の宇宙種族の人たちと共に活動していくというような人々は、自分の意識をこの3次元世界から外し5次元意識にしていかなければなりません。

3次元意識というのは「目に見えるものが全てであり、物質的に存在し行動しているものが全ての存在である、そしてひとりひとりが分離し、お互いが境界線を持って生きていかなければなら

ない」というような意識が3次元意識です。

これが4次元意識になるとその意識は緩みます。

この地球には目に見えない存在もいますし肉体を持たない存在たちもいる。

そしてお互いのエネルギーも関わり合っているという意識に変わっていきます。

実を言いますとこの地球には多くの地球外種族や宇宙種族たちが存在していますが、その多くが肉体を持たない種族たちなのです。

地球人と非常に近いエネルギーを持っていたとしても肉体を持っていない存在もいますし、地球人の肉体の中に入っている種族もいます。

皆さまよく地球人の肉体について考えられると思います。

「自分の本質は肉体だ」というふうに考えていらっしゃる地球人の方たちがたくさんいらっしゃいますが、地球人の肉体というものは、皆さまの本当の意識が地球の中で生存するためにお借りしている洋服のようなものです。

地球人が他の星々に行かれた時はきっと宇宙服というものを着られると思います。

顔の前はガラスのようなもので覆われている宇宙服ですが、それと同じようなことなのです。

この地球に生まれそだつた意識ではない意識は、地球で生きるために地球人の肉体をお借りするのです。

本来この地球には地球生まれの種族というのもも存在していますが、地球生まれの種族というものは地球人の肉体ととても相性が良くて非常に違和感もなく、この肉体を身に付けることができます。

しかしながら地球の物理世界を体験するために地球にやってきた種族は、もともと自分たちに合わせた服ではないので少しばかり違和感を持つことがあります。

この現実社会に違和感を持つ方や自分の意識と肉体の関係に少し不具合を感じられている方というのはまさにそういった方たちが多いのです。

今多くの宇宙種族がこの地球に来ています。

本当に古い時代からこの地球に来て地球で転生を繰り返しながら生きてきた種族もいます。

そのような方たちは長い間地球に生きてきたことで、自分の肉体と自分の意識がぴったりと合わさってこの肉体が借り物であるとは全く思わないのです。

自分の意識イコール自分の肉体と思って生活していらっしゃいます。

ただ本来はこの地球人の肉体というものがあるて、そこに皆さまの魂が作った意識が入ってこの地球で行動するというような

仕組みになっているのです。

そのためにこの地球に来て間もない方たちは、地球の肉体というものをうまく着ることができずに、少し違和感を持ったりあるいは、人間としての行動に問題が生じたりする人もいます。

今発達障害や様々な障害を持っている子供たちがとても増えてきています。

それは食品添加物や様々な生活環境の問題だけでなく、たくさんの種族が地球でアセンションを体験するために来ているので、初めて地球で生きる方や 2 回目、3 回目の地球を体験しているという方たちもたくさんいます。

そのために地球の肉体と自分の意識の整合性がとれずに障害を起こしたり、様々な問題を抱えたりして生きていくことになるのです。

決してその方が悪いわけではありません。

地球の肉体と自分の意識がぴったりと合っていないために、そのようなことが起こっているのです。

反対にそのような方たちにお会いすると「新しく地球に来られた方たちなのだな」

「地球のアセンションをサポートするために来られた方なのだな、ありがとうございます」というふうに思われても良いかもしれません。

そのように自分の意識と自分の肉体というものは少し別々なのです。

皆さまが「この地球の肉体を自分自身だ」というふうに思われてしまうとアセンションをするときに不具合が起きることが有ります。

しかしながら「この肉体は地球で自分たちが生きるためにあるものだ、そして自分の本質は肉体に入っている意識だ」というふうに皆さまが考えるならば、とてもスムーズにアセンションを迎えることができます。

あるいは「自分の意識が肉体の中に入っている、意識体は肉体から自由になることができる」ということを理解しているならば、皆さまの意識が新たなパラレルワールドに入っていくことも可能になります。

実を言いますと、それぞれのパラレルワールドでは人間の存在様式というものが変わってきます。

例えば今の地球よりももっと科学的な汚染が増え、様々な物質や汚染された環境が人間の体にダメージを与えるようなパラレルワールドでは、そのようなダメージに負けないようなしっかりとした身体が準備されるかもしれません。

あるいは「豊かな自然と共に生きていきたい」という方は自然の中で強く生きることができる肉体や自然と通じ合うことができる肉体が準備されるかもしれません。

あるいはフェアリーや妖精、ユニコーンたちと一緒に暮らしたいという方はもっと密度の軽い半物質体のような肉体に変わるかもしれません。

皆さまがアセンションをするときは、それぞれの世界に皆さまの意識が移り変わっていくことになるのですが、その中で皆さまは自分の意識に合った肉体というものを身に付けることになります。

今の皆さまが持っている肉体をそのまま持ってアセンションをすることはそれほど多くはないかもしれません。

本当にアセンションをするための意識状態に皆さまがなった時、その意識を支えるような体になることが必要です。

TAKESHI さんたちが良く「ライトボディ」と言うことをおっしゃ

いますが、チャクラやエネルギー体が活性化したライトボディを皆さまの意識が身に付けるのならばそのまま皆さまはアセンシ

ョンすることは可能です。

アセンションをした先というのは今の地球人の環境とはかなり変わります。

そのためにその環境に適応した肉体というものがそこには準備されていますので、そこに皆さまの意識が入っていくことになるわけです。

これもひとつのパラレルシフトです。

宇宙の光のグループに長い間いらっしゃる方はパラレルシフトの練習をたくさんしました。

最初私たちサファイアがやったような光の粒子の体になって、一旦自分の肉体から意識の本質に戻って新しい世界に入る、そして新しい世界で自分を再構成するようなこともしましたし、自分の意識や自分のエネルギーを使って新しい世界にパラレルシフトする練習もたくさんしました。

なぜ私たちがそのような練習をしたかというとこれがアセンションに繋がっていくからなのです。

皆さまはこれから自分が望む未来を選択しますが、それは今の世界とは少し異なる世界でしょう。

「今の世界が良い、今の世界が理想的だ」と考えている人はアセンションをすることもパラレルシフをすることも無いと思います。

ただ皆さまが行きたい世界、もっと自然が豊かな世界が良い、あるいは科学技術が地球と人間を幸せにする世界が良い、フェアリーと一緒に生きていく世界が良い、と考えたら、今の皆さまの現実世界とそのパラレルワールドの間にはとても大きな差が有ります。

皆さまの肉体がそのままアセンションをした世界に行けるのか、というとそれはなかなか難しいと思われますので、先ほど言ったような自分の体をライトボディ化するようなワークをしているのです。

常に動物のお肉を食べたり薬剤を飲んだりするような生活の中で汚染された肉体を持つ人々は、肉体のクリアリングなしに新しい世界にアセンションをすることは難しいのです。

そして特に自分の肉体が自分自身だと考えている人はなおさらです。

しかし自分の本質は肉体ではなく意識であることを理解されるならば、その意識が新しい世界にアセンションをしていくことは充分に可能なのです。

今までの宇宙の中ではアセンションというと一度皆さまが肉体を失って、新しい意識で新しい世界に生まれ変わる、そして新しい世界にふさわしい肉体を持つ、ということがアセンションのスタンダードです。

ただこの地球では、今の肉体を維持したまま継続性の有るアセンションをしようということを地球人の皆さまが考えられましたので、そのようなパラレルワールドもしっかりと存在しております。

ただ多くの人たちにとって肉体を維持したままアセンションすることは難しい可能性が有ると宇宙連合は判断していますので、他の方法でアセンションするパラレルワールドやアセンションをした地球に生まれ変わるというパラレルワールドを幾つか準備して、そこに皆さまが入っていくことを宇宙連合は考えております。

ただそのひとつの条件として自分の本質というものが肉体ではなく、宇宙からやって来た意識が自分の本質であることを理解しておかなければ、今の意識を継続したままそれらのパラレルワールドへアセンションをしていくことも難しくなります。

そのことを皆さまは充分に理解していただければと考えております。

もちろん宇宙の光でワークを続けてくださった皆さまには、何度も何度もこのことお話しして皆さまが宇宙意識になるためのワークを行いましたので決してそれは難しいことではないかと思います。

また今回初めて参加された方、久しぶりに来られた方たちも決して時期が遅いというわけではありません。

これから本当に地球がアセンションの準備を整えて、ひとりひとりの皆さまがどのようなパラレルシフトをしていくのか決まってきますので、これから皆さま方が努力してくだされば良いのではないかと考えております。

PART5 地球は種族融合のための人工の星

この地球には様々な種族が宇宙からたくさんやって来て、それぞれに合った形で存在しています。

様々な種族とは、太陽系にある火星や金星だけではなくアルクトウールス星系、アンドロメダ座星系、シリウス星系、プレアデス星団など天の川銀河とその周辺の星団からもたくさんの方たちがやって来ています。

そういった人たちは種族によって異なる存在様式を持っています。

つまり地球が人工的に作られたというのは、様々な存在様式を持つ種族の人たちがこの地球という惑星の中で、それぞれ異なるところがあったとしても一緒に存在することができるような惑星に地球が作られたという意味なのです。

この地球が何か鉄やプラスチックで作られているわけではありません。

皆さまが見ているようにこの地球は素晴らしい大地や砂漠、海や川、あるいは野原や山さらには地底というふうに異なる自然に満ちています。

これも精霊たちの話にありましたように、精霊たちがこの地球を何万年、何10万年、何百万年とかけていろんな生命たちが住めるような状態に創り上げていったのです。

本来地球に生まれた種族たちは肉体を持ってこの地球の上に住んでいます。

そして宇宙から来た様々な意識がその肉体の中に入り、この地球で生きることができるような存在となって生きているのです。あるいはこの地球上で生きることができない存在たちは、地球の地下に生存している者たちもいます。

地下というのは太陽の強いエネルギーが入らずに、柔らかいエネルギーで守られています。

季節の変動もありませんのである程度安定した環境の中で生きることができます。

太陽の光を必要としない存在たちや環境の変化に敏感な者たちはこの地下の中で存在している者たちもいます。

ただこの地下の中で存在している者たちの中には、皆さまが地下と思っているけれど地球の別次元に存在している者たちもいます。

つまりそのような存在が大地の中にすっと消えていく様子を見られた方は「この方たちは地球の地下にいるんだな、この洞窟を

通つて地球の地下で暮らしているんだな」と考えられて地底人という概念が創り上げられたのです。

それは「このような種族が地底と思われるような別次元に存在している」と考えてもらえば良いかと思いますが、彼らは太陽の光を必要としない別のエネルギーによって生きている存在たちなのです。

また水の中に存在している種族たちもいますし、イルカやクジラのように海の中に存在している種族たちもいます。

もちろんイルカやクジラも地球人とは異なる叡智を持つ種族です。

彼らはこの地球を守護するために、そして地球の環境を守り、地球人を進化させるために他の星からやってきた宇宙種族なのです。

イルカと親近感を持つ方もたくさんいらっしゃると思いますが、それはその方の意識がイルカの種族ととても仲の良い種族だからです。

また同じ地球人の格好している全ての方が地球人だというわけではないのです。

地球人の肉体を持っている人たちの中には、アンドロメダ座やシリウス星系の方たちもいらっしゃいます。

それはその方たちを創られた魂や高次の意識が地球人の肉体の中に自分たちの意識を入れて存在しているのです。

地球人の肉体の中にもアンドロメダ座やシリウス星系の遺伝子を持っている方たちやアルクトゥールスや他の星の遺伝子を持っている肉体もあります。

そのような肉体と親和性のある星から来た意識をそれらの地球人の肉体の中に入れて、同じ地球人として一緒に暮らしながら、種族の融合を行う基礎を作ろうと考えているのです。

そして幾つかの種族の人たちのなかには、暖かい場所が好きな種族、寒い場所が好きな種族、あるいは海が好きな種族、山が好きな種族というふうに様々な種族がいますので、そのような種族がそれぞれの場所に住めるように自然環境が豊かな地球が作られていったのです。

また物質的な肉体を持たない種族、半物質的な種族、靈的な種族そういった者たちもたくさんいます。

宇宙からやってきて直接この地球人の肉体を身に付けることができない種族たちは半物質体や非物質体という形で存在しています。

それは全て地球の4次元という世界に存在しているのです。

4次元という世界は物質的な肉体を持たない者たちが存在できる世界です。

皆さまのように肉体を持たなくても地球の中で存在できる場所、

そういった次元が地球の4次元なのです。

実を言いますと、この4次元と3次元の物理的な次元が少し重なり合うようにこの地球は作られているのです。

この地球が人工であるという非常に素晴らしい意味はこの辺りに有るのでです。

同じ地球の中でも3次元の物質的な世界を持っている地球と物質的な世界を持たない地球、そして更に5次元、6次元という高次元の地球がこの地球の大地をベースにして重なり合っているのです。

こういう星というのは自然の中では絶対に作られません。

この宇宙に存在する大いなる意思が、この地球が様々な生命が様々な次元に存在することができるようこの地球というものを創っているのです。

そして様々な種族たちがお互いバランスを取り、意思疎通をしながら地球人という大きな種族としてまとまって生きていく、それが達成できたら地球は天の川銀河にとって素晴らしいユートピアとなるのです。

天の川銀河の星々の中には、お互いが争い合ったり、憎しみ合ったりしている種族たちもたくさんいます。

そのような種族たちがこの地球に集められて同じ星で生活しながら、お互いが仲良く協力し合って良好な関係を保つことができれば、それぞれの星が持っているカルマを解消し合うということもできるのです。

地球人の肉体を持って存在する場合であっても、あるいは半物質体として存在する場合であってもそれは変わりません。

異なる種族の者同士が仲良くなることが大切なのです。

この地球というものはとても壮大な計画の中で生み出された星です。

そしてその壮大な計画を実行するために、アセンションという機会が何度も何度も与えられました。

本来であるならば、物理的な地球、4次元地球、5次元地球、そして地底に象徴される地球、そういうたくさんの地球がアセンションをすることによって、ひとつひとつ統合されていき、最終的なアセンションの結果、全ての地球が調和して交流しあうような世界にすることが地球のアセンションの最終的な目的でもあるのです。

ただ今までそのことが達成できなかった理由はおそらく皆さんもご理解されていると思います。

しかしながら、地球の中でこのまま争いが続いたら、様々な次元を保っている地球のバランスが崩れてしまいます。

現在でもこの地球の3次元世界のバランスが大きく崩れかかっていますので、もう一度この3次元地球のバランスを取り戻し、

4次元、5次元の地球のバランスを保つために、地球自体がアセンションすることを試みているのです。

そのような理由もありますので、これから地球のアセンションがどのような形で行われてくるのかは分かりませんが、これは宇宙の意識と地球の意識が最終的に決めていくことになるでしょう。ただ私たちはどのようなアセンションであったとしても、皆さまがしっかりとアセンションできるように準備を行っているのです。それはこの地球が作られた壮大な理由、幾つもの次元が統合されていくという壮大な目的の中で皆さまは生きていると考えていただければ良いかと思います。

この壮大な夢の実現のためには地球に生きる皆さまひとりひとりが「自分自身はこの肉体が全てではなく、魂によって作られた素晴らしい意識である」ことをご理解されて、地球と皆さまが一緒に歩んでいただければよいのではないかと思います。

PART6 ファーストコンタクトで学ぶこと

意識であり宇宙の愛の意識であること、そしてそこから創り出された意識が地球人という肉体の中に宿っているということです。皆さまがアセンションをするときは、この肉体ではなく肉体に宿っている皆さまの意識がアセンションをしていくことになるわけです。

中には肉体を持ったままアセンションされる方もいますが、それほど多いわけありません。

これからアセンションを前にしていろんなことが地球で起こります。

自分が肉体であると考えているならば、その様々な事柄に混乱してしまいますが、自分が宇宙意識であることを理解している方々は様々な混乱が起こったとしても自分は大丈夫、自分は宇宙とひとつになっている意識だから大丈夫、どこにでも行ける、自分は自由だというふうに考えられると思います。

まずそのことを宇宙種族たちは皆さまにお教えしたいと思っております。

そして次に自分自身が宇宙の愛から生み出された存在であることが分かった時に、自分の中にある宇宙の愛のエネルギーというものが大きく開いていくのです。

皆さまは常に宇宙の愛につながっています。

宇宙の愛のかけらを皆さまはハートの中に持っているのです。この物質世界の便利な生活のために、そのようなことを感じることができないだけなのです。

昔はとても不便な生活でしたので、お互いが助け合い、お互いが生活を見守りあうことを常に行っていました。

あるいは戦争や争いで死んだ人たち、傷ついた人たちを助けてあげる、その魂を見送ってあげる、というようなことも日常的に起こっておりました。

そのたびに自分の中にある愛というものが実際に沸き起こり、愛が広がっていくことを昔の人たちは常に行っていました。

今の皆さまたちはとても豊かな生活の中で暮らしていますので、自分の愛というものを現実世界で感じることがあまり無いのです。

そのために「自分は愛がない存在だ」「この世界には愛は存在しない」というふうに思ってしまいます。

しかしながら宇宙存在たちは、皆さまに対して「皆さまは愛の中に生きている、愛のある存在だ」ということを常にお伝えしております。

そしてそれも家族に対する愛だけではなく、この地球に生きる多くの人たち、多くの生命体たちに対して送ることができる愛であるということを教えてているのです。

この2つのことを、ファーストコンタクトを行われる「宇宙種族」の方たちは地球の方たちに教えてくださることになります。

ただ彼らはインターネットやテレビに出てくるわけではありません。

皆さま、ひとりひとりと会いながら、言葉とエネルギーを使って教えていくのです。

彼らがインターネットやテレビに出た瞬間、この地球の統治者たちは彼らを弾圧するでしょう。

彼らはそのような危険を冒すことはできませんし、また私たちもそれを望んでおりません。

彼らは地球にいる間は肉体を持っていますので、特別な能力を使用できるわけではありません。

皆さまと同じような状態なので、どこかに瞬時に移動したり姿を隠したりすることができます。

皆さまと直接お会いしてお話をしながら、愛を訴える、意識を高めるためのことを行うと思います。

彼らが持っているエネルギーはとても素晴らしいエネルギーです。

皆さまはそのエネルギーに触れることによって、自分の中に持っていた制限や自分を騙し続けてきた意識、そういうものがパンとはじかれていくことになると思います。

本当に素晴らしいエネルギーを持った人たちですので、皆さまとお会いするだけで皆さまが大きく変わることになるでしょう。

ただ自分の中に変わりたくないという恐れを持っている方、あるいはこの現実世界が全てだというような気持ちを持っている方は彼らと会うことはないでしょう。

彼らとの周波数が違いすぎますので、彼らがコンタクトを取ろうと思ってもコンタクトを取れない状態になります。

その具体的な活動はこの2024年から始まると思います。

もちろん最初に会う前には皆さまに対してメッセージを送ったり、夢の中で皆さまと交流したりするようなことが起こります。

そして彼らのエネルギーや彼らのメッセージに慣れ親しんだ方が、どこか人目のつかない場所でお会いすることになるかと思います。

その場所に関しましては皆さま方が住んでいる地域の中でふさわしい場所を彼らが選んでコンタクトしてくると思います。

この宇宙の光の目的というものは、ファーストコンタクトを円滑に進めることです。

そのために長い間、自分たちが宇宙意識であるということを理解して、自分たちの愛を広げることを皆さまは学んできたのです。

そしてその最後の仕上げといいますか、これからは宇宙意識、宇宙の愛を持った状態でファーストコンタクトを行う準備に費やされると思います。

私たちはかつて言いましたように、早い方で 2024 年の終わりから 2025 年にかけて、そして多くの方たちが 2025 年から 2030 年の間にファーストコンタクトをされるでしょう。

ただ実際のファーストコンタクトはメッセージを送ったり夢の中でお会いするだけで終わってしまうのか、あるいは直接会うのか、という違いもあります。

皆さまが夢で与えられたことを本当だと感じ、自分の思いをその方向に向けていく、あるいはエネルギーを受け取って自分の意思を変えていく、そういうことができた人たちは直接彼らと会うことになります。

夢でメッセージを与えたり、ビジョンを送ったりしても、それを信じることができない方たちは直接会うところまではいかないと思います。

そして直接会われた方たちの中でも、彼らと会ったことを自分の中で活かしていきたい、自分が持っている愛を周りに伝えていきたい、ということを考えている方たちや自分が望んでいる生き方を、シンクロを使って実現していこうと思っている方たちは、ファーストコンタクトの相手と何回も何回も会われることでしょう。

そして宇宙種族の方々からは「アセンションした世界ではこういうことをやっているよ」「皆さまが自分の世界を実現するためにはこういうふうにやつたらいいよ」というような具体的なアドバイスを得られることもあるでしょう。

しかし宇宙種族とのコンタクトが1回で終わってしまう方は、そのファーストコンタクトに対して怖れを持たれた方です。

「自分はこのような存在と会って大丈夫だろうか」「この存在のことを信じることができるだろうか」「この存在が言っていることを活かすことができるのだろうか」というような不安や恐れを持っている方たちは1回でコンタクトが終わるでしょう。

「宇宙種族」の方たちは「残念だけど自分のことを受入れてもらえなかった、では次の機会にしよう」というふうに考えるわけです。

このファーストコンタクトを行うためには皆さま方も準備をしなければいけません。

私もかつてお話ししましたように、ファーストコンタクトを行うためには「宇宙種族」と同じような周波数に皆さまを持っていかなければいけないのです。

ファーストコンタクトをする「宇宙種族」の方たちはとても高い周波数を持っていらっしゃいますので、その方たちの波動に近づくように自分たちの波動の調整をしていく必要が有ります。

宇宙の光が毎回瞑想ワークを行っておりますが、自分自身の周波数をとても高い周波数の中にとどめておくという意味が有ります。

そして「宇宙種族」の周波数に近づいたところでタイミングを見計らってファーストコンタクトが行われます。

これは「宇宙種族」の方もそうです。

「宇宙種族」の方たちは第1アセンションが終わっており、周波数がとても高い状態ですので、その方たちがまだアセンションを行っていない地球人と会うということは、周波数のギャップがとても大きいのです。

そのために彼らも地球人と会うことができるような周波数に変えるわけです。

決して彼らの周波数を落とすわけではないのですが、彼らと会ったときに地球人がショックを受けないように周波数の調整をしていくことになります。

それは皆さんも努力していただきますし「宇宙種族」の方たちも努力しています。

そのような状況の中でファーストコンタクトというものが起こっていくのです。

ただもうひとつお話ししておかなければならぬことがあります。ファーストコンタクトというのは皆さんの周波数に合った種族と会うことになります。

地球外種族の中には3次元に存在している地球外種族の方たちもたくさんいます。

皆さんと同じように肉体を持っている存在や自分の肉体を持たないけれど肉体を持っている地球人に憑依して生きている存在たちもいます。

実際そういう種族たちがこの地球人に対していろんなコントロールを行っていますので、皆さんも3次元意識のままだと、この3次元意識の周波数に近い地球外種族とファーストコンタクトをします。

彼らが皆さんとファーストコンタクトを行うときは、彼らはさも皆さんを助けに来たようなことを言います。

「私たちは高次の宇宙からやってきました、皆さんのアセンションを助けています、皆さんの進化を助けています、お会いしてこれから一緒にやって行きましょう」というふうに言っています。

けれどその本質は3次元世界の種族ですので、皆さんを表立て支配するために皆さんをコントロールする存在たちもいます。あるいは武力や精神コントロールを使用して、皆さんを支配しようとするかもしれません。

これだけは皆さん注意してください。

皆さんの意識が3次元意識であり続けた状態でファーストコンタクトが行われた場合にこのようなことが起こります。

「3次元意識のままアセンションをしたい」「宇宙人と会って自分たちを助けてもらいたい」「自分のエゴを満たすために地球外種

族と交流したい」と考えている方たちはそのような3次元世界の種族たちとコンタクトが起こる可能性が有りますので注意してください。

そのために皆さまがある程度宇宙意識であること、愛の意識であることを理解することが必要なのです。

そして3次元世界にフォーカスしている自分の意識を、5次元意識にフォーカスするように変えていく、あるいは宇宙の愛の意識にフォーカスしていくということを実践していかなければなりません。

そうしますと、皆さまが宇宙の愛の意識にフォーカスしている状態でファーストコンタクトが起こりますので、愛の意識を深く持たれた「宇宙種族」の方たちとファーストコンタクトを行うことができるのです。

ぜひ皆さまの意識をここまで持ってきてくださいるようお願いいたします。

第6章

ササニ文明サファイア

宇宙を発展させる

地球人としての経験

2023年1月6日

第6章目次

PART1 宇宙を発展させる地球人としての経験

PART1 宇宙を発展させる地球人としての経験

それでは今日はサファイアから皆さまにお話をさせていただきます。

この地球は現在とても良い状態に向かっているのですが、まだ

まだ過去に身に付けた古いエネルギーや古い感情を落としてか

なければなりません。

中でも地球人を利用して地球人を支配しようとしている地球外

種族が現実世界ではまだまだ力を持って活躍しています。

それは多くの地球人がそのような地球外種族と気持ちをひとつ

にしているために、私たち宇宙連合の者たちも地球の物理世界

から地球人を支配しようとしている地球外種族を閉め出していく

ことができないのです。

彼らは地球を支配したいと考えている地球人から頼まれて力を貸しているだけだと申します。

もちろんそれは正しいことです。

地球人の中でも「お金持ちになりたい」「地球の人々を支配したい」そして「自分が経済的にも政治的にもそして宗教的にもこの地球の中心的な人物になりたい」と考えている人やグループが存在しているために、そのようなことを手助けしている地球外種族の者たちを一掃できないのです。

また彼らが今多くのことを地球人に対して仕掛けてきています。そのことによって「もうこれ以上支配されるのは嫌だ」「もうこれ以上経済的な略奪を許すのは嫌だ」「もうこれ以上宗教的な争いの犠牲になるのは嫌だ」と考えている人たちも増えてきました。

地球を支配しようとする者たちが行動すればするほど「それではいけない」「そうであってはいけない」と考える人たちも確実に増えてきているのです。

ただそのような方たちは決して多くありません。

一握りの地球を支配したいと考える人たちに追従する人たち、また何も考えずにその人たちにコントロールされる者たちがまだまだたくさんいます。

そのためにこの地球は、なかなか希望どおりのバランスを取り戻すことができないのです。

地球はそのような支配のエネルギー、争いのエネルギーから脱却して、新しいエネルギーを持った地球を早く生み出したいと考えています。

今まで自分たちが身にまとってきた争いのエネルギーや支配のエネルギーを解放して、愛のエネルギーに変えたいと考えているのです。

この地球は長いことそのような状況を許してきました。

地球では多くの戦争が起こり、地球外種族が地球人を支配する歴史が繰り返されてきました。

また彼ら自身が神としてこの地に君臨するような時代もたくさん有りました。

宇宙は地球がそのような歴史を刻むことに対してある程度許容してきました。

それはなぜかと言いますと、この宇宙に住む多くの宇宙種族がそのような地球を体験することによって、今まで得られなかつた経験やとても貴重な体験をすることができたからです。

宇宙にとっては、地球が争いや支配が多い世界を作り出していることは、決して不本意なことではなかったのです。

争いの多い星でどのように人々が生きていくのか、支配というものがどのような影響を人々にもたらすのか、戦争や争いがどのような感情やどのような体験を人々にもたらすのか、また星に対して何をもたらすのか、というとても貴重な情報をこの地球

から得ていたからです。

そしてまた多くの宇宙種族は、愛の中で生まれ、愛の中で生きてきましたので「愛がない状況とはどういうものなのか」「愛が傷つけられた状況とはどういうものなのか」ということを知りません。

そのために地球人の肉体を身に付けて地球で生きることで、愛ではない世界、愛が傷つけられている世界を経験し、愛の尊さ、愛の大切さ、そして愛がもたらす様々な恩恵をしっかりと学ぶことができたのです。

つまり地球というものは、愛が不在であればあるほど、愛について学ぶことができる星だったのです。

そしてまた生命の尊さもそうです。

多くの高次元存在たちは、自分たちの生命を傷つけることもありませんし、他の生命を傷つけることもありません。

調和の中で自分が望むとおりに生きてきました。

そのために、そうではない生き方というものを彼らは経験する必要があったのです。

自分の生命が傷つけられる世界、そして自分自身が相手を傷つける世界、それが自分にとってどのような意味を持つのか、生命の尊さ、生命の素晴らしさを再度見直すためにはそのような経験も必要だったのです。

そしてそのような経験が、全てこの宇宙が新しく創り出されるときや宇宙が発展するとき、宇宙が進化するときに必要とされる経験でした。

愛の尊さを再び知った者は今までの愛よりも更に深い愛を体験することができますし、生命の尊さを知った者は今までの生命よりも更に豊かな生命を知ることができます。

この地球で得られた情報をもとにして、宇宙は大きく広がり進化してきたのです。

そのために地球というのは、とても重要な役目を持つ星でもあったのです。

しかしながらこのままでは、地球に生きる人々の感情や欲望によって、地球自らを犠牲にしてしまう可能性も出てきましたので、宇宙は危機的な状況に陥った地球の次元を高めて、新しい愛に満ちた地球へと変えていきたいと願っているのです。

愛を見失い多くの生命たちを傷つけてしまうような地球から、もう一度愛に基づく豊かな地球を作ることはとても大変な作業ですが、そのときに得られる経験というのも非常に重要な経験なのです。

宇宙の中には、この地球のように多くの種族によって支配されてしまった星や傷つけられた星もたくさん有ります。

そういった星々を再生するための貴重な情報や貴重な経験が今この地球で得られようとしているのです。

そして多くの愛を失った人たちが再び愛を持った種族に生まれ
変わる経験もそうです。

そのような経験が宇宙に必要とされているために地球で皆さま
がそのような経験をしているのです。

これから地球の中で多くの方がアセンションという経験を行うこ
とになるでしょう。

それはこの宇宙の中でも力を持った種族から支配されたり抑圧
されたりしている種族の人たちが、その力はねのけて、自分たち
が愛の種族として生まれ変わるために必要な経験や情報を得よ
うとしているのです。

皆さまはとても大切な存在です。

ひとりひとりが異なるパターンでこの支配や抑圧から自由にな
ろうとしています。

ひとりひとりの異なる状況を乗り越えて、愛に満ちた人類になっ
ていく、その全ての経験が重要なのです。

皆さまは貴重な経験を持つ宇宙の教師として、今の皆さまと同じ
ような境遇にある星の人々を助ける役目をすることでしょう。

皆さまが得られた経験は、皆さまの魂を通して宇宙に伝達され
るだけではなく、皆さまひとりひとりがその智恵や経験を活かし
て、多くの人々を助けるという役目を行うのです。

今ブルースカイさんたちが皆さまのことをサポートしていますが、
彼らも同じような経験を何度もしているの、彼らは自分たちの
経験を通して皆さまをサポートしたいと考えているのです。

これから地球の種族はまさにそのような種族になっていくでし
ょう。

皆さまが物理的な肉体を持ったままアセンションをすることは、
物理的な世界で支配され抑圧されている人たちを助けて行く役
目を担うからなのです。

もうすでに意識体、エネルギー一体になっている存在たちは、その
多くがとても自由な立場にありますので、その方たちに対しては
何も手助けする必要は有りません。

しかしながら、まだ肉体を持ったままの種族の人たちは、更に力
を持った種族の人たちから押さえつけられ支配されていますの
で、彼らを力付け、彼らに叡智を与え、彼らが支配から自ら独立
していくという道を歩ませていかなければならぬのです。

皆さまはとても大切な役目を持って地球に生きていることを忘
れないでください。

もちろんその経験を活かすのか、あるいはその経験を選ばない
のか、それは皆さまの自由です。

全ての選択は皆さまの中にあるといつても良いでしょう。

ただそのように「自分の選択が自由である」あるいは「自分の選
択によって多くの事柄が変わる」ということを理解することも大
事です。

今地球に生きる多くの方々が本質的に自分の選択というものを
行っていません。

同じ社会の人たちが生きていくように生きていく、あるいは政
府や会社から言われたとおりに生きていくというように、自分の
意思で自分の人生を生きていくということを皆さまは行ってい
ません。

自分の選択で生きてているように思っているかもしれません、
誰かが作った道を他の人たちと同じように歩んでいるだけの方
たちがあまりにも多いのです。

私たちは皆さまひとりひとりに目覚めていただきたいと考え
います。

自分の選択はしっかりと自分が行う、自分が進む道はしっかりと
自分が選ぶ、ということを行っていただきたいのです。

皆さまがこの地球に来て素晴らしい体験を得て、宇宙に戻った
ときに、皆さまの経験や知恵を活かしていただくことで、宇宙そ
のものが今までよりも更に豊かで素晴らしい宇宙に変わってい
くのではないかと私たちは考えています。

ではどうかよろしくお願ひいたします。

第7章

宇宙連合のマスター

地球での体験と

アセンション

2024年1月6日

第7章目次

PART1 アセンションは宇宙の流れ

PART2 地球での体験を宇宙に持ち帰る大切さ

PART1 アセンションは宇宙の流れ

私は宇宙連合のリーダーのひとりです。

この宇宙連合のリーダーたちは、たくさんの種族たちや幾つかの銀河を代表してここに集まっています。

皆さまの感覚とはかなり異なるのですが、私たちの次元になるとその種族のものたちはほぼ同じ集合意識でひとつになっております。

そしてひとつの種族とまた別の種族が更に深い集合意識でひとつになっています。

そういう集合意識が宇宙単位で存在している場合もあります。あるいは銀河の単位で存在している場合もあります。

皆さまが名前を知っているような銀河はまだまだ発展途上にあ

りますので、銀河そのものがひとつの集合意識というわけではありません。

しかし中には更に高次元の銀河というのも存在します。

そのような銀河は物理的な世界に存在しているのではなく、エネルギー一体として存在しており、そこに存在する多くの者たちの意識がひとつの意識で構成されているのです。

そのような大きな意識というものがこの宇宙連合には存在しております。

もちろんこれは宇宙連合の第1評議会ではなく第3評議会、第4評議会の場合です。

第1評議会はまだ個別の意思を持った者達が集まって構成されており、とても多くの種族、とても多くの意識がたくさん混じり合っています。

皆さま方地球人の意識はまだ宇宙連合には参加しておりませんが、地球に存在している人たちの中でもとても高次元の意識と繋がっている人たちは、個別に宇宙連合に関わることができます。

皆さまは宇宙連合に参加しているわけではありませんが、宇宙連合の者と繋がることによって宇宙連合のエネルギーや宇宙連合の意識を受け取ることができるというふうに考えられてください。

地球の皆さまの中には、ササニ文明の種族やブルースカイの種族の皆さまと、あるいは他の幾つかの種族の方々と関係の深い方がいらっしゃいますので、彼らを通して宇宙連合のエネルギーや宇宙連合の意思というものを受け取ることができるのです。

やがて皆さまがアセンションを終わり、5次元意識、6次元意識になられましたら皆さま方は地球人という種族で宇宙連合に参加することになるでしょう。

私たちはまたそのことを望んでおります。

皆さま方が意識を高め、この宇宙の真実をしっかりと理解されて、地球人としてひとつの意識にまとまることができたならば、皆さまを宇宙連合へと迎える準備はできております。

今皆さまはそのために、様々な体験を通して成長していらっしゃる時期だというふうに私たちは聞いております。

私たちは皆さまが成長してこの私たちの場所へと来てくださることを待ち望んでいるのです。

それでは皆さまに対して私からお話をしたいと思います。

これは宇宙連合に参加されている皆さまに対してお話をする内容ですので、皆さまにはまだ理解できないこともあるかもしれません、やがて理解できるようになるでしょう。

今皆さまが存在していらっしゃるこの宇宙はとても大きな進化

を遂げようとしております。

特に天の川銀河、アンドロメダ銀河、マゼラン銀河、オリオン星雲などまだ物理世界にその姿形を残し、物理的な星に物理的な肉体を持って存在している者たちがいる星雲や銀河はこれからとても大きな進化を迎えるでしょう。

それはどのような進化であるかと申しますとひとつには物質的な世界から非物質的な世界へと移り変わります。

皆さまが物理的な世界にフォーカスをして物理的な世界を楽しむみたいと思われる世界はそのまま残りますが、ただそのような世界は多くの争いや様々競争、支配、略奪などが起こる世界です。

私たちは決してそれが悪いと思っているわけではありません。

私たちが進化する過程においてはそのような世界を体験することはとても重要なことです。

そのようなことを体験しなければ本来の愛というものが理解できないからです。

愛が損なわれた世界、愛が失われた世界を体験することが愛の本質を知るためににはとても重要なことなのです。

地球人の多くは、まだ愛を学んでいる状態です。

多くの星の人々が愛を学ぶために、自分自身を成長させるために、この地球へと降り立ちました。

皆さまと同じように地球人としての肉体を身にまとい、地球人として生きていたのです。

彼らの多くはとても豊かな愛の有る世界からやってきました。

生まれたときから周りには愛しかないというような世界も有ります。

そのような世界で生きている者たちは愛というものがあまりにも当たり前過ぎて、愛の本質が見えなくなっていますので、さらに深い愛を体験するためにこの物理世界へと降りていったのです。

ここにいる宇宙連合の皆さま方も同じようにそのことを体験してきました。

多くの者たちがかつて物理世界に生きて、そして愛が不在な状態、愛が傷つけられている状態を知っているが故にこの宇宙の愛に対してとても大きな信頼を寄せているのです。

地球のような物理世界に生きている者たちは、愛を体験するために地球の物理世界で生きてるので彼らの学びを決して邪魔してはいけません。

彼らはそのような星で愛がない状態を体験しているのは、愛の本質に再び気付くことが目的ですので、皆さまはそのことを妨げてはいけません。

この物理世界で生きている者たちは、そのような世界の中で「愛とはなんだろう、自分たちが持っている愛、そしてこの宇宙が持

っている愛、宇宙種族が持っている愛とは、なんだろう」ということを一生懸命探求しているのです。

その探求している事柄に対して、私たちはサポートすることは可能で有ると考えています。

特に地球のような星では、多くの人たちが本来持っていた愛から切り離され、自分たちが愛の存在であることを知らない状態にされていますので、皆さまが「これが本当の愛なのだよ、皆さまが生まれた宇宙の根源の愛の世界から持ってきた愛なのだよ」ということを教えてあげることも大切なことです。

そうでなければ、愛を見失ったままその人生を終えてしまうからです。

多くの意識をこの地球のような星に降ろしている魂たちは、自分たちの意識のひとつひとつがその愛に気付く体験をさせたいと思っています。

愛に気付く体験をするということは、とても重要なことです。

そこから様々な愛の形や愛の意味、愛の目的などが浮かび上がってくるからです。

それは最初から愛しかない世界で生きている者たちにとっては、とても驚くべきことばかりです。

新たに愛を見つけていく、愛を失った状態から愛を再び取り戻していく、という体験はとても意味があるものです。

そしてそのようにして集められた体験や情報はこの宇宙が新たな愛を創り出すことにも役に立ちます。

皆さまの愛に関する体験は、今ある宇宙の愛の状態を改善していく、あるいは新たな愛に基づいた宇宙を生み出していくことに対して重要な役目を果たしていますので、宇宙連合に属している皆さまはこれらの星の方々が素晴らしい愛の形を発見することをお手伝いしてあげてください。

ただそこに生きている人たちが自分自身でこの愛に気付くというプロセスを大切にしてあげてください。

答えを教えるのではなく、答えを自分でつかめるようにビジョンを見せてあげたりメッセージを送ったりしてお手伝いしてあげるのです。

そしてそこで培われてきた体験というものが、新しい宇宙を生み出し、新しい宇宙のパワーとなり、宇宙が発展していく原動力になるのです。

今多くの物質世界の人たちが新しい愛を体験しています。

皆さま方もこの物質世界の人たちを通して今まで体験したことない愛を体験し、そして今まで味わったことのない感情を味わつていらっしゃるかと思います。

そうすることによって私たちの宇宙は豊かになります。

そしてこのような物理世界を持つ星々がこれからアセンションをしていきます。

物質世界から非物質世界へと入っていく星もあるでしょう。そして本当に闇の深い世界からアセンションをして、新しい世界へと浮かび上がっていく星もあるでしょう。

たくさんの星が幾つもの周期を持って闇から浮かび上がる、そして闇の世界から光の世界へとアセンションをしていく、更に物質体を持つ世界から物質体を持たない意識の世界へとアセンションをしていくことを繰り返しているのです。

そこに生きている人たちも同じように、アセンションを繰り返していきます。

それはこの宇宙にとっては必然の流れです。

全ての星がアセンションをするわけではありませんが、そこに深い愛を持った存在たちが生きて精神的な発展を遂げる星はそのようにアセンションする星へと変わっていくのです。

今地球がその過程を歩もうとしているのです。

地球の方々は「本当にこの地球がアセンションできるのだろうか」「我々はアセンションをしていけるのだろうか」と心配している方がたくさんいらっしゃいますが、心配しないでください。

ひとつの星がアセンションをしていくというのは、この宇宙にとっては必然の流れなのです。

もちろん今の状況を見れば、皆さま全てがアセンションできるような状況ではないと考えていらっしゃるかもしれません。

アセンションを望む人もいればそうでない人たちもいます。

そのような人たちが少しずつ分かれながらアセンションをしていくのです。

ただ今回アセンションをした人、今回アセンションをしなかった人というふうに分けられるかもしれません、今回アセンションをしなかった人たちも、この地球という惑星が一巡りしていくとまたアセンションのチャンスが与えられます。

そして前回アセンションをしなかった人たちの半分もしくは一部の人たちがアセンションをしていくのです。

ちょうど3万年ほど前に、ひとつの地球からアセンションをしていく地球とアセンションをしないで残っていく地球が分かれました。

アセンションをしていく地球はその時の地球の3分の1から5分の1ぐらいの大きさだったかもしれません。

今回また地球からアセンションをしていく地球とアセンションをしていかない地球が分かれると思いますが、それはまた地球の3分の1から5分の1ぐらいの大きさかもしれません。

そしてまた残った地球は長い時を超えてアセンションするためのきっかけを得るのです。

そうやってアセンションする時期は違ったとしても、やがて地球の人々はすべてがアセンションをしていきます。

アセンションをしない地球はとても辛い苦しい時期を迎えるかも

しませんが、そのような時期を乗り越えて地球の人たちはまたアセンションへと向かっていくのです。

どうか心配しないでください。

もちろんその周期は皆さまにとっては考えられないぐらい長い周期ですが、宇宙にとってみればそれほど長い周期ではありません。

それは星の定められた運命あるいは星が運航する周期とでも言いましょうか、そのようなことが行われているのです。

そしてそれは天の川銀河のみならず宇宙全般でも行われているのです。

決して珍しいことではありませんので、どうかそのことを理解してください。

もう少し気持ちをゆったりと持ってアセンションを迎えるようお願いいたします。

PART2 地球での体験を宇宙に持ち帰

る大切さ

皆さま初めて、私たちがこういう形で地球の方たちとお話をするのはあまり経験が無いことです。

地球の方たちが意識といえ、この宇宙連合の中に入ることも大変珍しいことです。

それもこのようにグループで入られるということはあまり有ることではありません。

私たちは皆さまとお会いできたこと、そして皆さまが今地球のために祈ってくださったことに対して深く感謝いたします。

ありがとうございます。

今地球は皆さまも御存知のように大変混乱した状態になっています。

しかしながらその混乱というのは、皆さまが目覚めるための重要なきっかけとなっているのです。

のどかな時代、平穏な時代では、皆さまは自分に対して振り返ることも、自分の本質に気付くこともありません。

このように地球が混乱し「自分たちはどうしたらいいのだろうか」「これから地球はどうなるのだろうか」というような危機的な状

況に置かれることで、皆さま方は自分の本質に気付くのです。そして自分の本質が高次の意識であるということ、そして今地球で様々な体験をするために地球人としての肉体をまとっているということに気付き始めます。

今まで皆さまは地球の中で何度も何度も転生を繰り返してきました。

これはある意味非常に珍しいことです。

つまり皆さまの魂がこの地球の中に連續性を持ってパラレルワールドを生み出しているということでもあるのです。

たくさんのパラレルワールドが有りますが、皆さまの地球だけではなく他の星々にも皆さまの魂が創り出しているパラレルワールドはたくさん有るのです。

皆さまの意識は、本来は自分のパラレルワールドを選ぶことができます。

皆さまは魂と相談して、魂の意識の一部としてこの地球に降りて来て、地球で重要な任務を行い、他の場所では体験できないことを体験しています。

また他の星では学ぶことができないことを学びその経験を持って宇宙へと戻っていくのです。

しかしながら地球というのは、とても特別な場所です。

多くの争いが有ったり、支配や権力争いが有ったりしまでの、そのような人生は1回、2回の人生ではなかなか体験し尽くすことができないのです。

この地球のことをよく理解し、地球人のこともよく理解した上で様々な体験を積むことが皆さまにとって必要でした。

そのために地球で何度も何度もパラレルワールドを繰り返しながら、ここまでやってきたのです。

そしてこれから皆さまはアセンションという素晴らしい体験を行うことになっていますが、この体験は本当に貴重な体験です。

皆さまは自分の意識の本質が全く分からぬ状態、つまり自分が何者か分からぬ状態の中で手探りをしながら繰り返し生きてきました。

そして自分を見出し、アセンションをして再び高次元存在たちの仲間入りをするという本当にドラマティックで壮大な経験をするために何度も何度も地球に生まれてきているのです。

私たちはそのことを見守ってきましたので皆さまがこれから新たなステージへ入ろうとしていることを心から喜んでいます。

皆さまにはとても縁が深い存在たちがたくさんいます。

宇宙連合の中にも皆さまと深い関わりを持っている者たちがたくさんいます。

それは皆さまの魂が創り出した皆さまの兄弟たちがこの宇宙連合にはたくさんいるからです。

その者たちが今皆さまのことをサポートしているので安心して

新しいステージへ向かってください。

決して恐れる必要はありません。

これは多くの存在たちが通る道なのです。

ただ皆さま方は自分が生きている人生のことしか理解できず、他の人生を見ることや知ることができないために「全く未知な体験をこれからする」という気持ちが強いので不安になることは分かります。

今まで見たこともない世界、感じたこともない世界へ皆さまは向かっているのです。

しかしながら皆さまが自分の意識の制限を取り去り、宇宙意識へと繋がったときに皆さまのパラレルワールドが見えてきます。皆さまの魂が皆さまと同じように意識を分けて作った存在たちのことが見えてきますので他の意識が体験したいつもの人生が理解できるようになります。

その中にはもうすでにアセンションを迎えた人生も有りますし、今と同じようにアセンションを迎えようとしている人生もあるのです。

皆さまが意識を変えるとこれから皆さまに何が起ころうとしているのか、皆さまが何を体験しようとしているのかよく理解できます。

そのためにサファイアさんやブルースカイさんが皆さまのことを導いているのです。

この地球にはこれからアセンションをしようとする人たちがたくさんいます。

私たちはそのような人たちも導いていますが、皆さまのようにしっかりと言葉が伝えられるわけでもなく、また一緒に瞑想ワークができるわけではありません。

皆さまは本当に私たちと深い縁を作ってくださったとても素晴らしい存在なのです。

私たちも皆さまと一緒に瞑想ワークをすることで皆さまのことが理解できます。

そしてこれからもっとたくさんの人たちが私たちと一緒に行動するようになるときに、皆さまと過ごした時間というのはとても貴重な時間になるのです。

私たちは皆さまのことをいつも見守っていますのでどうかしっかりと前を向いて歩いてください。

そしてこれから何が起こるか、皆さまの心がよく知っていますので、そのことを恐れないで喜びを持って迎えてください。

そうすることによってあなたの人生がとても豊かな人生に変わっていくでしょう。

今日私たちと共にワークを行ってください、本当にありがとうございます。

心から感謝いたします。

天の川銀河のマスターたち

古代地球と地球外種族

2024年7月1日 初版発行

著者	TAKESHI 瀬戸 武志 (せと たけし)
表紙デザイン	瀬戸 武志
発行人	瀬戸 武志
発行	宇宙の光出版局 〒890-007 鹿児島県鹿児島市伊敷台4丁目34-40 メール joy@k-suai.com
HP	宇宙の光 https://hikari-2021.com/

○本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について著者の承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製、転用、利用、公開することは禁じられています。

著者や「宇宙の光」に関するご連絡はこちらのメールにお願いします。

joy@k-suai.com

ISBN 978-4-910470-09-2

宇宙の光 活動のご案内

○「アセンション 光の世界へ」アーバー・ブログ

「宇宙の光」の活動を紹介するブログです。

スターピープルからのメッセージ、アセンションの状況、意識進化のための Zoom ワークなどもご案内しています。

宇宙の光の活動はこちらをご覧ください。

<https://ameblo.jp/e-stone1/>

○「宇宙の光 2021」公式 HP

2021年から「宇宙の光」は、Zoom を使用して高次元存在のチャネリングライブ、グループセッションなど、地球人のアセンションに向けてスターピープルと共に多彩な活動を行っています。

<https://hikari-2021.com/>

○「宇宙の光 2021」Vimeo チャンネル

スターピープルからのメッセージやアセンションに向けての瞑想ワーク、高次元存在のチャネリングライブ、ファーストコンタクトなどに関する動画を御紹介しています。

<https://vimeo.com/hikarilove>

○宇宙の光 予約サイト

宇宙の光が開催しているチャネリングライブやコズミックワークはこちらからご予約できます。

Zoom をお持ちの方はご自宅から参加できます。

https://cubic.com/ellie-s/booking_pages#pageContent

○他の本のダウンロード版はこちらからお求めください。

<https://hikari1.shop/?mode=cate&cbid=2952860&csid=0>

著者や「宇宙の光」に関するご連絡はこちらのメールにお願いします。

joy@k-suai.com

アセンションの真実

宇宙からの贈り物 PART2

瀬戸 武志 著

アセンションとは何か、アセンションをするために私たちは何をしたらよいのか、そしてスターピープルやダーク・ピープルは地球で何をしてきたのか、地球人は今、アセンションを前にどのような状況を迎えているのか、アセンションを成し遂げるためにスターピープルたちとともに働いてきた著者ならではの情報が満載。

これから起こるスターピープルとのファーストコンタクトの詳細や地球人がアセンションをするためにスターピープルや大天使からのサポートメッセージも掲載。

スターピープルからの アセンション・メッセージ

宇宙からの贈り物 PART1

瀬戸 武志 著

この本は、地球人が目覚めてアセンションを行うために、スターピープルたちが私たちに与えてくれたメッセージとスターピープルがアセンションのために行ってきた活動をご紹介しています。これからアセンションをする地球を歩んでいく人にとって大切なガイドとなる本です。

はくちょうの六芒星物語

天の川銀河の物語1

瀬戸 武志 著

天の川銀河を舞台に地球人の未来をかけて繰り広げられる物語。

こと座のベガ星のマスターの訪問をきっかけに、宇宙に旅立つことになった地球人の活躍を描くファンタジー。

宇宙の光の TAKESHI が描くアセンション・ストーリー。

私たちが、宇宙を旅するきっかけを作ってくれた織姫星(こと座のベガ星)からいらした方は、私には、まるで日本の神様のような姿に見えました。

私たちは、宇宙の星々を巡るための準備を行い、こと座のベガ星を訪れることができました。

私たちは更に幾つもの星々を巡る旅をしました。

それは、私たちにとても重要なミッションが与えられたからなのです。

そのミッションを果たすために、私たちは自由に星々を巡り、星々に住む様々な種族たちを仲間にしていきました。

そして、闇に閉ざされた 一つの星を助けるために、多くの者たちがともに働くことになったのです。

「はくちょうの6芒星」という物語は、これから私たちが、天の川銀河全域にかけて繰り広げる壮大な物語の第1歩にしかすぎません。

これは、私たちの実体験を基にしたファンタジー小説です。

皆さまの常識をはるかに超えた内容も出てくるかもしれませんのが、どうか、楽しんでお読みになってください。

アセンションの扉を開く 前・後巻

ササニ文明サファイアさんの メッセージ集

瀬戸 武志 TAKESHI&Ellie 著

ササニ文明から日本人のアセンションをサポートするために来た
高次元存在サファイアさんのチャネリングメッセージ集

アセンション、パラレルシフト、ファーストコンタクト、5次元意識、
思考の現実化を宇宙存在の生の声で詳しく解説。

日本人の質問に丁寧に答えており、分かりやすいアセン
ション入門書。

サファイアさんは、私たちのアセンションに伴って起こる意識の
拡張やパラレルシフト、ファーストコンタクトのこと、そして地球
外種族の方たちや高次的存在の方たちとの交流について、私
たちをサポートしてくれました。

また私たちが5次元意識となってアセンションをするための方法
や5次元意識の世界の様子なども教えていただきました。

皆さまがこの本を読まれることで、皆さまが望む形でアセンショ
ンをするためのサポートとなればうれしく思います。

私はこの本を通して、皆さまが5次元意識になって、アセンショ
ンの扉を開かれ、アセンションを成し遂げられることを祈ってお
ります。

前巻は高次元存在のチャネリングライブで話されたメッセージを
収録。

後巻はサロンメンバー限定のメンバーズトークと TAKESHI が
受け取った最新のメッセージが収録しています。

宇宙意識に戻る旅

地球の未来種族ライラさん

メッセージ集

瀬戸 武志 TAKESHI&Ellie 著

今回ご紹介する「地球の未来種族ライラ」さんは、今私たちが生きている地球の未来に存在する地球人の一部が、地球から他の星に移られて、その星の種族と融合した結果生み出された種族のひとりです。

ライラさんの種族は、新たな星で進化して独自の生き方をするようになりました。

その生き方とは過度な科学技術に頼ることなく、自然を尊重して生きるという生き方です。

この本は、私たち地球人が宇宙意識に再び戻り、新たな体験をすることができるよう願って作られました。

ライラさんの言葉と瞑想ワークは、その「道しるべ」となることでしょう。

主な内容について

地球人の意識変化から未来種族が誕生

アセンション後の発電や科学技術について、地球人の生き方について

日本人の特質について、言霊について、遺伝子について

エレメントや精霊・妖精について、彼らと仲良くなる方法

3次元、4次元、5次元についての詳細なお話し

宇宙意識、アセンション、パラレルシフトの詳細について

地球は人口の星、地球の原動力について

4次元意識で生まれてくる子供たち、これからの地球人について

アセンションへの道

地球のパラレル種族ブルースカイ

メッセージ集

瀬戸 武志 TAKESHI 著

地球人の遺伝子を持つ宇宙種族が語るアセンションとフォトンベルトの真相。

高次存在からもたらされるアセンションを目指す方へのガイドブック

この本で御紹介しているブルースカイさんは、かつてレムリア時代にアセンションをした地球の人々とファーストコンタクトを行ったシリウス星系の種族が、地球の種族と共に進化してきた末に生まれた種族です。

ブルースカイさんたちの種族は現在の地球のように、天の川銀河の中でアセンションをしようとしている種族たちをサポートすることを主な仕事としているようです。

彼らは地球人の遺伝子を持っており、地球人の考え方や生活習慣あるいはこの地球の特質などについてとても詳しく知っています。

そしてそのことを理解した上で私たち地球人がどのようにしたらアセンションできるのか、あるいは5次元意識になって自分が望む世界を実現することができるのか、ということを詳しくお話しudadateいます。

この本ではフォトンベルトについて科学的な実証を行うということはできませんでしたが「フォトンベルト」をくぐり抜けることによって、私たちにどのような変化が起きてくるのかということを非常に詳しく教えてくれました。

これからアセンションを目指す者たちにとっては、この本はなくてはならないガイドブックとなると私は考えております。

古代地球と宇宙人

ファーストコンタクト最新情報

瀬戸 武志 TAKE SHI 著

古代地球に訪れた宇宙人たちが地球人を生み出し古代文明を作り上げた。

その隠された秘密を、宇宙種族自らのチャネリングメッセージで解説。

ササニ文明のサファイアさんによるアセンションやファーストコンタクトの最新情報も掲載。

今回出版された「古代地球と宇宙人」という本は2部構成となっています。

第1部は古代の地球で地球人を生み出すために、どのような星の種族がどのようなことを行ってきたのか、また地球人が様々な文明を作るにあたって宇宙種族がどのような働きをしたのか、という地球人の誕生秘話と古代から地球に関わってきた地球外種族たちがどのように地球人を支配しコントロールしてきたのかという話をしております。

これらの話は、実際に古代から地球に関わってきた種族の者から直接伝えられた内容を TAKE SHI がチャネリングして皆さんにお伝えしたものです。

この本の第2部は前回出版致しましたササニ文明のサファイアさんが 2023 年 11 月と 12 月にチャネリングライブで話された内容や宇宙連合のマスターからのメッセージが収めていますので、アセンションやファーストコンタクトの最新情報としてお読みください。

地球に生きる一つの命

自然界の精霊瞑想ワーク集

瀬戸 武志 TAKE SHI 著

私たちを生み育ててくれた精霊たちからの衝撃のメッセージと
瞑想ワーク。

そして精霊の基となったエレメントが語る宇宙の成り立ちと地球
人の秘密。

アセンションを目指し宇宙の真理を知りたい人には必読のチャン
ネリング本。

「地球に生きる一つの命」という本の前半は地球に生きる多くの
生命たちを生み育ててきた精霊たちからのメッセージが中心と
なっています。

精霊たちはこの地球を大切にすること、そして私たちが地球人
として愛に目覚めていくことを常に訴え続けてきました。

そしてそのことを実現するために私たちのエネルギー やチャクラ
をクリアリングして高次元の意識と繋がるためにたくさんの瞑想
ワークを行ってくれました。

本の後半は私たちがコズミック・ツインライトの伝授をうけてい
る時に「光の意識」という存在を助けたことから、この「光の意
識」が我々の宇宙を生み出した親となる「光の宇宙」から來てい
る存在であるということが分かりました。

我々が「光の宇宙」のことを学ぶにつれて、その宇宙からエレメ
ントという存在がいくつもの宇宙の星々に派遣され、星々の環
境を整えて多くの生命たちを生み育てる精霊になっていったと
いうことを知ったのです。

そのことを私たちが理解すると多くのエレメントたちが私たちと
関わり、この宇宙がどのようにして成り立っているのか、この宇
宙に生きる生命たちの役割や生命たちが生み出されていくシス
テム、また時間や空間のことについても詳しく話をしてくれまし
た。

愛に目覚めるための クリスタルワーク

レムリアンマスターのメッセージ集

瀬戸 武志 TAKESHI 著

この本は 2023 年に私たちの前に現れたレムリアンマスターたちのクリスタルを使った瞑想ワークとメッセージで構成されています。

レムリアンマスターはレムリア時代にレムリアの崩壊を予測して山奥に移り、宇宙種族の助けを借りてアセンションしていったのです。

彼らは更なる進歩を遂げ、他の宇宙種族と融合しブルースカイ種族を生み出しました。

彼らは現在高次元存在となり肉体を失って意識体となって存在しています。

そして2020年代の地球に戻り、私たちのアセンションをサポートしているのです。

私たちは毎週土曜日に開催されるチャネリングライブでレムリアンマスターたちのメッセージを伝えてきました。

彼らのメッセージはとてもシンプルです。

私たちは再び愛を取り戻し、愛と共に生きることによって地球人は一つの集合意識で繋がっていきます。

そして意識を高めることによってアセンションしていくことが可能になるのです。

また彼らの瞑想ワークも私たちの心の中にある愛は、我々を生み出してくれた「宇宙の愛」と一つであることを理解し、宇宙の愛や創造性と一つになるための瞑想ワークを行っていただきました。

これはすべて動画に収録されており、皆様も動画を繰り返しご覧になり一緒に瞑想ワークを行っていただけることで私達が体験したように「愛に目覚める」という体験ができるのではないかと考えております。

神さまと友達になった 男の子

瀬戸 武志 瀬戸美輝 著

この本は TAKESHI とその娘である美輝（当時7歳）によってつくられたファンタジー絵本です。

ひとりぼっちで寂しがり屋の男の子が、神さまの言葉を聞いて、神さまと友達になるために3つのクリスタルを探すための冒険に出ます。

そして大切な仲間たちと出会いながらクリスタルを探す冒険は進んでいくのです。

小学2年生の娘が考えた内容ですので大人はもちろん小学生のお子様にも楽しんで読んでもらえると思います。

全てのページに AI で作成されたイラストがはいっており、物語を視覚的に楽しめると思います。

これからアセンションする地球を支える子供たちへの大切なギフトです。

